令和3年度

主要施策の成果説明書

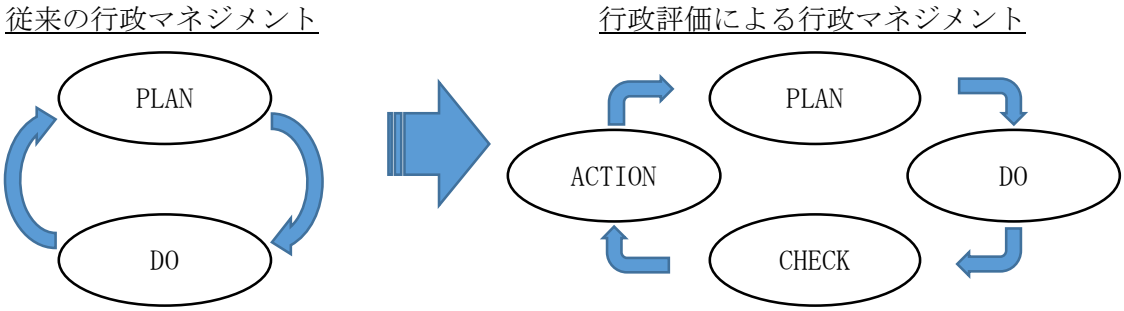
松　島　町

＜主要施策の成果説明書について＞

主要施策の成果説明書とは、地方自治法第233条第5項に基づき、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として作成するものである。
この作成にあたっては、町民に対する説明責任や行政の透明性確保を目的として、令和元年度説明書から松島町行政評価制度の評価結果も併せて記載している。

1　松島町行政評価制度とは

行政評価制度とは、行政活動の目的を明確にしながら成果目標を設定し、その活動に対して投入された予算や人件費、成果物等を総括的に勘案しながら評価を行い、その評価結果に基づく改善を次の行政活動の企画・立案に反映させていく仕組みである。
これにより、全ての行政活動を計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）のマネジメントサイクルの中で行うことで、常に施策や事業の目的・目標を確認し、その遂行状況を把握・評価することにより、問題や課題を速やかに発見し、その見直し・改善等を行うことで、次の計画（PLAN）をより良い状態にしていくことを目的とした制度である。
また、行政活動を客観的に評価し、その評価結果を行財政運営に反映させることはもとより、町民に対して評価結果を公表することで、町民に対する説明責任や行政の透明性確保も目的としている。



2　導入目的

真に地域や時代のニーズにあった行政サービスを展開していけるよう、継続的に政策･施策を構成する事務事業の見直しを図り、業務の改善･改革に取り組む仕組みとして、次のような行政運営を目指すことを目的として導入した。
・長期総合計画における“まちづくり政策”の着実な実現、住民満足度の向上
・事業の選択、改廃等における住民や関係者への適切な説明責任の確保
・職員の改善改革意識の醸成
・行財政改革の推進

3　運用状況

平成28年度の導入以降、平成30年度までの3カ年を試行期間と位置付け、全職員を対象とした基礎研修等によりその目的などの情報共有を行い、全事務事業に対する評価の実施及び施策評価のマネジメントサイクルの実践を行うことにより制度構築を行った。
令和元年度からは本格運用を開始しており、今後ますます財政状況が厳しくなっていくことが想定される中、継続的に政策･施策を構成する事務事業の見直しを図りながら、必要な行政サービスを提供できるよう取り組んでいるところである。

＜主要施策の成果説明書の見方＞

款	項	目
担当部署名		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額 ①	決算額	財源内訳 ②				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源

目的	③

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	④	⑤	⑥	⑦	⑧

実績	⑨

課題方向性	⑩

①当該費目の予算額と決算額を記載しています。

②財源内訳には、国庫支出金、県支出金、地方債、その他、一般財源の区分により内訳を記載しています。

③当該費目の目的（趣旨、目標）を記載しています。

④「事務事業名」を記載しています。

⑤松島町行政評価制度において分類している業務タイプを記載しています。
Aタイプ･･･政策事業、主要な事業など
Bタイプ･･･法定受託事務、定型的・継続的な事務など
Cタイプ･･･作業管理・補助的作業、内部管理のための事務など

⑥ ※Aタイプの場合
松島町行政評価制度におけるの必要性評価3項目（必要性・妥当性・公平性）各5点の平均点を記載しています。
4.1～5.0･･･ますます必要性が高くなっている
3.1～4.0･･･依然、必要性が高い
2.1～3.0･･･必要である
1.1～2.0･･･必要性が低くなりつつあり、改善が必要
0.0～1.0･･･必要性がなく、早急な改善が必要
･･･Bﾀｲﾌﾟ、Cﾀｲﾌﾟの事業のため評価なし

⑦ ※Aタイプ、Bタイプの業務の場合
松島町行政評価制度における有効性評価3項目（適切性・有効性・効率性）各5点の平均点を記載しています。
4.1～5.0･･･適切且つ効率的に実施しており、目標以上の成果・達成度であった
3.1～4.0･･･適切且つ効率的に実施しており、目標水準に達している
2.1～3.0･･･概ね目標水準に達している
1.1～2.0･･･目標水準をやや下回っており、改善が必要
0.0～1.0･･･目標水準を大きく下回っており、早急な改善が必要
･･･Cﾀｲﾌﾟの事業のため評価なし

⑧当該事業の目的がどのように達成されたのか、施策の執行においてどのような成果が出たのかを記載しています。

⑨当該費目の予算執行に係る実績を記載しています。

⑩当該施策の現況や課題と併せて、今後の方向性を記載しています。

＜松島町行政評価制度における評価項目について＞

○必要性評価

行政として当該事務事業を引き続き実施していく必要があるかどうかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
必要性	事業の必要性が事業開始時と比べて小さくなっていないかを評価する。 [5点]ますます必要性が高くなっている [4点]依然、必要性が高い [3点]必要である [2点]必要性が低くなりつつある [1点]必要性がなくなっている
妥当性	行政の関与が必要な事業かどうかを評価する。 [5点]法的な制限などがあり、行政が実施すべき事業である [4点]行政以外には実施できない事業である [3点]行政が行うことが妥当な事業である [2点]民間等でも実施でき、民間等で行うことが妥当な事業である [1点]民間等で実施すべき事業である
公平性	受益者に偏りがあるかどうかを評価する。 [5点]広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない [4点]広い範囲に対して、概ね広く便益の享受がなされている [3点]目的となる対象者に対して、便益を提供している [2点]限定された個人や団体等にのみ便益がもたらされており、改善が必要である [1点]実施による便益を提供できておらず、早急な改善が必要である

○有効性評価

行政として当該事務事業が機能しているか、有効なものであるかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
適切性	事業の実施手段・プロセスが目標に対して適切なものかを評価する。 [5点]現在の手法が最も適切である [4点]現在の手法が適切性が高い [3点]現在の手法が一般的であり、特に問題はない [2点]現在の手法にはやや問題があり、改善の必要がある [1点]手法を変更する必要がある
有効性	事業の目的や目標とされる成果が達成されているかを評価する。 [5点]目標以上の成果・達成度であった [4点]目標水準に達している [3点]概ね目標水準に達している [2点]やや目標を下回っており、改善が必要である [1点]目標をかなり下回っており、早急な改善が必要である
効率性	費用対効果など事業効率が十分な水準にあるかを評価する。 [5点]効率は相当高められている [4点]効率は徐々に高まっている [3点]比較的効率的である [2点]効率は徐々に低くなっている [1点]効率はかなり低下している

目　　次

◆一般会計

款		項		目		ページ
1	議会費	1	議会費	1	議会費	1
2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	4
				2	文書費	8
				3	広報広聴費	10
				6	財産管理費	13
				8	企画費	15
				9	交通安全費	20
				10	諸費	22
				11	電子計算費	24
				12	町民バス運行費	25
				13	施設管理費	28
				15	地上デジタル放送無線共聴施設管理費	30
				18	ふるさと納税費	31
				19	新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費	34
				20	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業費	40
				22	新型コロナウイルス感染症対応事業者支援事業費	41
		2	徴税費	1 2	税務総務費 賦課徴収費	42
		3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	46
		4	選挙費	3	衆議院議員総選挙費	48
				4	宮城県知事選挙費	50
				5	松島町議会議員選挙費	51
		5	統計調査費	1	統計調査総務費	52
				2	指定統計費	53
3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	54
				2	障害者福祉費	56
				3	老人福祉費	61
				4	国民年金費	64
				5	介護保険対策費	65
				6	保健福祉センター管理費	66
				7	住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金事業費	68
		2	児童福祉費	2	児童措置費	69
				3	保育所費	70
				4	母子福祉費	72
				5	子ども医療対策費	73
				6	子育て支援事業費	74
				7	児童福祉施設費	77
				8	児童館費	78
				9	認定こども園推進事業費	80
				10	子育て世帯生活支援特別給付金事業費	81
				11	子育て世帯への臨時特別給付金事業費	82

款		項		目		ページ
4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	83
				2	予防費	85
				3	健康館費	88
				4	母子衛生費	89
				5	環境衛生費	91
				6	公害対策費	95
				7	新型コロナウイルスワクチン接種対策費	96
		2	清掃費	1	塵芥処理費	98
				2	し尿処理費	99
5	労働費	1	労働諸費	1	勤労青少年ホーム費	100
				2	労働諸費	102
6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	103
				3	農業振興費	105
				4	農地費	107
				5	園芸振興費	109
				6	畜産振興費	110
		2	林業費	2	林業振興費	111
		3	水産業費	2	水産業振興費	117
				3	漁港管理費	119
7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	120
				3	観光費	121
				4	文化観光交流館費	128
8	土木費	2	道路橋梁費	2	道路維持費	130
				3	道路新設改良費	132
		3	河川費	1	河川総務費	134
		5	都市計画費	1	都市計画総務費	135
				3	公園管理費	136
				5	街路事業費	139
		6	住宅費	1	住宅管理費	140
				2	木造住宅等震災対策事業費	142
9	消防費	1	消防費	1	非常備消防費	143
				2	水防費	145
				3	災害対策費	146
				4	避難施設管理費	148

款		項		目		ページ
10	教育費	1	教育総務費	2	事務局費	150
		2	小学校費	1	小学校管理費	152
				2	教育振興費（小学校）	154
				3	学校保健衛生費（小学校）	156
		3	中学校費	1	中学校管理費	158
				2	教育振興費（中学校）	159
				3	学校保健衛生費（中学校）	161
				4	学校建設費（中学校）	163
		4	社会教育費	1	社会教育総務費	164
				2	公民館費	168
				3	文化財保護費	170
				4	町民の森費	173
				5	地域交流センター費	175
		5	保健体育費	1	保健体育総務費	176
				2	海洋センター費	178
				3	給食施設費	179
		6	幼稚園費	1	幼稚園費	182
11	災害復旧費	1	農林水産業施設災害復旧費	2	農業用施設災害復旧費	185
		2	公共土木施設災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費	186
		3	文教施設災害復旧費	1	公立学校施設災害復旧費	187
		4	その他施設災害復旧費	1	その他公共施設・公用施設災害復旧費	188

◆特別会計

国民健康保険特別会計	189
後期高齢者医療特別会計	192
介護保険特別会計	194
介護サービス事業特別会計	201
観瀾亭等特別会計	202
下水道事業特別会計	208

一　般　会　計

一　般　会　計

1　款	1　項	1　目	議会費
担当部署名	議会事務局		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	115,678	109,487					109,487

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	議会事務経費	B	－	3.0	概ね目標水準に達している。
	会議録作成経費	B	－	3.3	概ね目標水準に達している。
	議会広報広聴経費	B	－	3.0	概ね目標水準に達している。

実績

【議会事務経費】

会議の開催状況

○定　例　会

	会　　期	日数	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	継続審査	審議未了	一般質問		備　　考
										人数	件数	
第1回	3月3日 ～ 3月18日	16	27	27	0	0	0	0	0	9	15	令和2年度
第2回	6月10日 ～ 6月14日	5	12	12	0	0	0	0	0	7	10	
第3回	9月1日 ～ 9月16日	16	24	24	0	0	0	0	0	7	11	
第4回	12月15日 ～ 12月21日	7	17	17	0	0	0	0	0	7	15	
第1回	3月2日 ～ 3月17日	16	27	27	0	0	0	0	0	6	10	

○臨　時　会

	会　　期	日数	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	継続審査	審議未了	備　　考
第1回	1月28日	1	1	1	0	0	0	0	0	
第2回	3月23日	1	2	2	0	0	0	0	0	

【会議録作成経費】

会議録反訳業務（単価契約）　1,437,370 円
　1時間あたり14,600円（税抜き）
　会議時間　　89.5時間
　・定例会（年4回）　60.5時間
　・臨時会（年2回）　3　時間
　・予算審査特別委員会　1　時間
　・決算審査特別委員会　20.5時間
　・東日本大震災復興対策特別委員会　1.5時間
　・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会　1　時間
　・全員協議会　1　時間
　・議員懇談会　1　時間

（次頁へ続く）

1　款	1　項	1　目

実績

【議会広報広聴経費】

広報「議会だより」の発行
・発行回数　　年 4 回（　各定例会後の5月・8月・11月・翌年2月の1日に発行　）
・発行費用　　925,650 円　1ページあたり1.5円（税抜き）
・発行部数　　22,000 部　1回あたり5,500部

【その他の議会活動】

1　委員会調査・審査

(1) 総務経済常任委員会
○委員会開催日数　12 日間
○所管事務調査内容
◇太陽光発電施設の現状把握と課題について
※調査期間　令和3年12月 ～ 令和4年9月
◇観光振興の施策について
※調査期間　令和2年3月 ～ 令和3年9月
◇請願第2号
上竹谷地区に緊急一時避難所の新設を求める請願について
※調査期間　令和3年3月 ～ 令和3年6月
◇陳情第3号
女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書について
※調査期間　令和2年12月 ～ 令和3年9月
○視察研修
◇福島県双葉町
日程　令和3年7月30日

(2) 教育民生常任委員会
○委員会開催日数　12 日間
○所管事務審査
◇保育教育環境におけるICT活用について
※調査期間　令和元年12月～令和3年9月
○視察研修内容
◇松島町立松島第一小学校
日程　令和3年6月16日
・プログラミング授業、ICTを効果的に活用した授業の取り組みについて
◇福島県新地町、福島市（1泊2日）
日程　令和3年7月7日～8日
・ICTを効果的に活用した教育の取り組み、保育業務支援システム活用状況について
◇宮城県富谷市
日程　令和3年7月14日
・富谷市学校教育情報化推進計画の実行状況

(3) 広報広聴常任委員会
○委員会開催日数　27日間
（広報分科会24日間　広聴分科会3日間）
◇議会広報紙の編集・発行及び配布
◇議会における情報通信技術の活用
◇議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整

(4) 東日本大震災復興対策特別委員会（H29.12.20設置）
○開催日数　1 日間（ 開催日　令和3年8月10日 ）

(5) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会（R2.5.25設置）
○開催日数　1 日間（ 開催日　令和3年8月10日 ）
○現地視察
◇松島町保健福祉センター（ワクチン接種会場 ）
日程　令和3年5月26日

（次頁へ続く）

1　款	1　項	1　目

実績	2　その他の会議 (1) 議員懇談会 ○開催日数　　1 日間（開催日　令和3年9月16日） (2) 一般会議 ○開催日数　　2 日間 ◇行政区長と議会との意見交換（開催日　令和3年7月20日） 参加者：行政区長等12名 ◇認定こども園事業の進捗状況等について（開催日　令和4年3月30日） 参加者：松島町社会福祉協議会6名

一　般　会　計

2　款	1　項	1　目	一般管理費
担当部署名	総務課総務管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	257,329	252,614		649		1,662	250,303

目的

最少の経費で最大の効果を上げるため、人事管理の面から職員の研修、福利厚生を実施することにより、人材育成、組織の活性化を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
職員衛生管理経費	C	―	―	松島町職員安全衛生管理規程に基づき各種健康診断やストレスチェックを実施した。受診結果において再検査が必要な職員に対し医療機関受診勧奨通知を行い、職員の心身の健康管理に対する意識啓発を行うことができた。
研修経費	A	3.3	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響により県外研修は中止したが、市町村職員研修所主催の研修は実施された。 また、庁内研修はリモート研修を実施し、感染症対策を行いながら職務に必要な知識、技能の習得に貢献することができた。

実績

【職員衛生管理経費】

健康診断

・職員等健康診断実施状況

健　診　区　分	職員	会計年度任用職員	計	受診区分割合
定期健康診断	33人	70人	103人	42.9%
人間ドック（30歳以上の職員で希望者）	136人		136人	56.7%
町福利厚生事業	90人		90人	
市町村共済事業・地方職員共済事業	46人		46人	
未受診者	1人	0人	1人	0.4%
計	170人	70人	240人	100.0%

・受診結果

受　診　結　果　区　分	職員		会計年度任用職員	計	受診結果区分割合
	定期健診	人間ドック	定期健診		
異常なし	2人	0人	1人	3人	1.2%
軽度異常の項目あり	10人	11人	5人	26人	10.9%
要経過観察の項目あり	16人	48人	27人	91人	38.1%
要治療の項目あり	0人	6人	9人	15人	6.3%
要精密検査の項目あり	5人	71人	28人	104人	43.5%
（うち要医療継続項目あり）	(3人)	(35人)	(24人)	(62人)	
計	33人	136人	70人	239人	100.0%

・各種がん検診等受診状況（職員）

健診区分	対象区分	受診人数
脳ドック	希望者	25人
子宮がん検診	希望者	20人
乳がん検診	希望者	20人
前立腺がん検診	希望者	0人

（次頁へ続く）

実績

・ストレスチェック実施状況

区分	対象者数	受験者数	高ストレス判定者数	高ストレス割合
職員	163人	162人	23人	14.2%
会計年度任用職員	70人	70人	4人	5.7%
合計	233人	232人	27人	11.6%

※対象者は、病休及び育休・産休の職員を除く

・心と身体の健康相談会（個別相談会）相談者数　3人

【研修経費】

職員研修

（研修所等派遣）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
新規採用職員研修	地域住民の視点に立った行政の担い手としての使命や、公務員として必要となる基本知識と技能を学ぶことで、職務遂行能力の向上を図る。	・公務員としての使命 ・人間関係とｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ・地方公務員制度 ・自治体職員とまちづくり ・地方自治のしくみ ・CS接遇	6人
一般職員研修Ⅰ	実務を振り返り、職場で中心的な役割を担っていく中堅職員を目指し、さらなる職務遂行に必要な知識を習得するとともに、地方公共団体を取り巻く環境の変化に対応するために必要な能力の向上を図る。	・まちづくりの視点 ・発想力・創造力育成 ・行政執行と法の関係論 ・自己管理能力向上	1人
一般職員研修Ⅱ	中堅職員として、魅力あるまちの創造や地域課題を解決するための政策形成の基礎知識と職場内におけるマネジメント能力の向上を図る。	・地域活性化と行政の役割 ・チームマネジメント ・政策形成入門	7人
監督者研修Ⅰ	監督者としての職責を自覚し、地方公共団体を取り巻く環境の変化や地域の課題を的確に捉えチームリーダーとしての職務遂行能力の向上を図る。	・財務基礎実務 ・監督者としての心構え	4人
管理者研修Ⅱ	地方公共団体を取り巻く環境の変化や行政課題を的確に捉え、管理者として組織を効率的かつ効果的に運営するため必要となるマネジメント能力の向上を図る。	・自治体マネジメントの留意点 ・部下指導の理念	3人
契約事務研修	地方公共団体における契約事務を適切に執行するために必要となる、民法や地方自治法の基礎的な知識を学ぶ。	・契約事務	1人

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
条例・規則作成研修（基礎）	法制執務の基礎や条例・規則の立案形式などを学び、基礎的な条例の一部改正等が理解できるなど実務遂行能力の向上を図る。	・条例・規則作成	3人
リスクマネジメント研修	実効性のあるリスクマネジメントに取り組むことで危機の発生防止に努めるとともに、発生時には迅速で適切な対策を講じることにより事態を最小限に留め、住民の生命や財産を守るための知識を習得する。	・リスクマネジメント	1人
民法研修（総則・物権・債権編）	法律の仕組みなどの基礎知識から、自治体職員として、業務遂行上必要となる民法の知識について、事例や判例を通して習得する。	・民法入門	5人
研修所等派遣研修受講者数			31人

（職場研修）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
新規採用職員研修	入庁して日の浅い職員に対し、町役場職員として最低限必要な知識を身につける。	（総務課総務管理班） ・松島町について ・法令について ・公務員とは ・財政について ・予算・決算について ・決裁について ・起案について ・文書について ・経理について ・契約について	9人
ハラスメント防止対策セミナー	職員のハラスメントに対する意識啓発と正しい知識の修得を目的とする。	（一般社団法人メンタルパイロテージジャパン オフィス ろごす） ・ハラスメントのない職場を作るために必要なもの	47人
仕事の効率アップ研修 （2回開催） ※リモートによる研修	時間管理の基本的なスキル修得、優先順位の付け方を学び、限られた人員で効率的に仕事をするための方策を自発的に考える職員を養成する。	（株式会社ぎょうせい） ・仕事の効率化のための行動チェック ・業務効率化のための10の実践 ・仕事のコントロールスキル	46人

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績

職員ストレスチェックに係るセルフケアセミナー （4回開催）	ストレスチェック結果を基に、職員一人一人の心の健康づくりを啓発し、セルフケアの推進を図ることを目的とする。	（一般財団法人宮城県成人病予防協会） ・ストレスチェック結果の見方とセルフケア	133人
職場研修受講者数			235人

【一般庶務経費】

・顧問弁護士への法律相談　8件
（契約、土地利用、法令の解釈、過去の判例に関すること）

・障害者雇用状況（令和3年6月1日現在）

職員数	法定雇用率	法定雇用定数	障害者である職員数	実雇用率	不足数
174.5人	2.60%	4人	4人	2.29%	0人

※職員数は、教育委員会事務部局を除く算定基礎となる職員数
（会計年度任用職員含む）

課題
方向性

人間ドックのほか定期健診を実施し、対象職員全員が健康診断を受診できるよう職員衛生環境の整備に努め、受診結果において再検査が必要な職員については医療機関を受診するよう通知し、適切な健康管理を行う。

研修派遣については、希望する職員が受講できる環境を構築するとともに、職場研修では、職員アンケートを参考とし、職員が求めている内容の研修の開催に努める。

一　般　会　計

2　款	1　項	2　目	文書費
担当部署名	総務課総務管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,100	4,888					4,888

目的

町が保有する情報の公開を図るとともに、町の諸活動を町民に説明する責務を果たすことで、公正で民主的な行政の運営に資する。
文書収受・整理については、正確かつ適切な事務処理を通して、適正な公文書管理を実施する。
規程形式文書審査については、例規システムを活用し、法令等改廃情報の把握や適切な審査を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
情報公開事務経費	B	―	3.3	松島町情報公開条例に基づき、適切な情報の開示を行い、町民の知る権利の充実を図ることができた。
文書法令関係経費	C	―	―	日々送付される文書について、事務部局ごとに遅滞なく適切な処理及び保管を実施し、適正な公文書管理ができた。 また、全庁的に改正が必要な例規類の審査について、例規システムを活用し、統一的かつ適正な審査及び改正を遅滞なく行うことができた。

実績

【情報公開事務経費】

・松島町情報公開条例及び松島町個人情報保護条例の規定による開示等の件数

（単位：件）

処理内容	開示請求件数	全部開示決定件数	部分開示決定件数	不開示決定件数	不服申立処理件数
件　　数	1	0	1	0	0

【文書法令関係経費】

・総務管理班において行った文書整理、文書収受及び文書保存の冊数

文書整理　（単位：冊）

区　　分	文書引継冊数	文書廃棄冊数
冊　　数	123	33

文書収受　（単位：件）

事務部局	収受総数
町長の事務部局	3,463
教育委員会の事務部局	235
選挙管理委員会	13
農業委員会	136
固定資産評価審査委員会	11
計	3,858

（次頁へ続く）

2　款	1　項	2　目

実績

・文書保存　（単位：冊）

事務部局	保存総数
町長の事務部局	3,092
教育委員会の事務部局	59
選挙管理委員会	246
農業委員会	96
固定資産評価審査委員会	2
計	3,495

※令和4年3月31日現在における庁舎書庫内保存文書冊数

【例規関係審査・追録等経費】

・規程形式文書審査事務取扱規程第2条の規定による審査実施件数

（単位：件）

区分	条例	規則	訓令	その他	計
件数	20	31	6	53	110

・松島町例規集編纂等業務委託　2,486,000円

例規システムの導入により、法令情報の提供、条例・規則等の審査の効率化を図り、例規集等編纂事務の向上と経費縮減に努めた。

課題方向性

書庫内の保存文書をリスト化し、適切な管理を行うとともに、保存年限の過ぎた文書は適宜廃棄していく。また、改正を行った規程形式文書については、インターネット版例規集への登載を速やかに行う。

一　般　会　計

2　款	1　項	3　目	広報広聴費
担当部署名	企画調整課		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,178	6,029				955	5,074

目的

あらゆる機会をとらえて情報の提供を行うとともに、地域または全町の建設的な意見を集約して、相互理解のもとに、まちづくりを推進する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
広報紙発行経費	B	-	3.3	体系的にまとめた紙面構成に努め、町内のイベントや地域の身近な情報から、町政や町の動向まで視認性に配慮した紙面づくりができた。
広報事務経費	B	-	3.0	町ホームページや各種SNSの活用により、新型コロナウイルス感染症の関連情報や災害時の避難情報などを適宜発信することができた。
広聴事務経費	C	－	－	定例相談会の相談件数は小数だが、定例で設置していることで住民生活の不安の解消に繋がっている。

実績

【広報紙発行経費】
広報まつしま発行　　2,983,266 円　1ページあたり1.95円（税抜き）
・発行回数及び部数　　毎月　5,700部（年間　68,400部）
・配布先　　町内全世帯及び関係機関

【広報事務経費】
（近年におけるアクセス数等の推移の状況については次頁参照）
1　松島町ホームページの管理・運営
・アクセス数
令和3年4月1日～令和4年3月31日　　2,595,674 件
・外国語翻訳機能利用回数
令和3年4月1日～令和4年3月31日　　5,510 件
2　松島町フェイスブックアカウントの管理・運営
・アクセス数
令和3年4月1日～令和4年3月31日　　76,690 件
・フェイスブックページへの「いいね」数
令和3年4月1日～令和4年3月31日　　30 件
3　松島町インスタグラムアカウントの管理・運営
・フォロワーの増減数
令和3年4月1日～令和4年3月31日　　185 件
4　松島町ラインアカウントの管理・運営
・友達登録者の増加数
令和3年10月1日～令和4年3月31日　　468 件

【広聴事務経費】
行政相談及び法律相談　　36件
・行政相談（毎月第1火曜日）　　8件
①近隣トラブル関係（1件）　②行政関係（4件）　③その他（3件）
・弁護士無料法律相談（毎月第2金曜日）　28件
①近隣トラブル関係（2件）　②金銭関係（3件）　③婚約・離婚関係（3件）
④相続関係（9件）　⑤その他（11件）

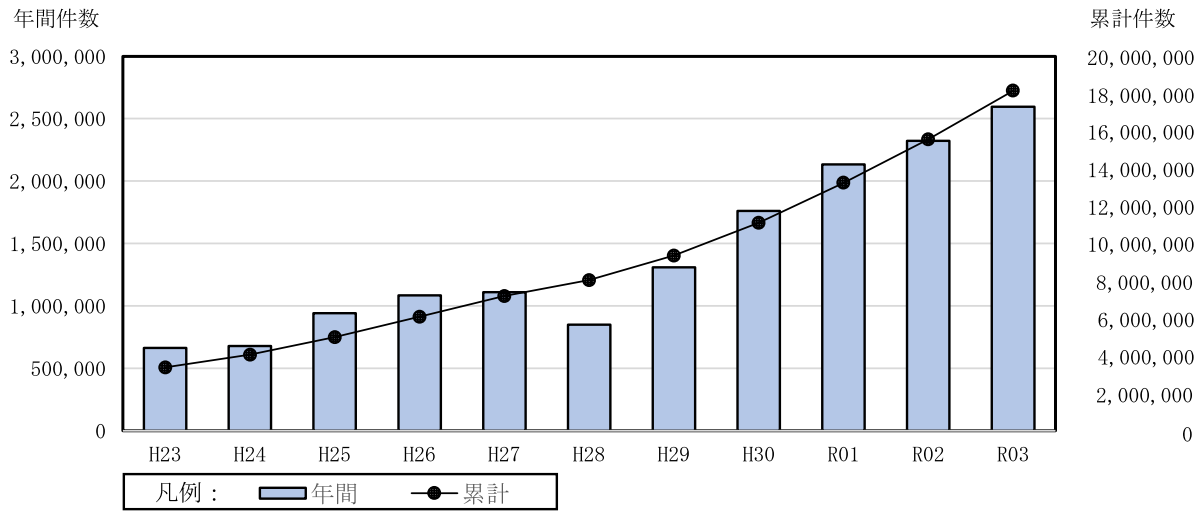
課題方向性

広報紙の発行については限られた紙面の中で町民が求める情報を精査し、見やすさとわかりやすさに留意し、系統的な紙面構成に努める。また、デジタル社会における情報発信のツールとして、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ラインそれぞれの特性に応じた運用を行い、町内外へのタイムリーな情報発信に努める。
公聴事務については、行政相談及び法律相談を引き続き開催するとともに、相談日時を適宜発信し、住民生活の不安の解消に努める。

【松島町ホームページ閲覧状況】

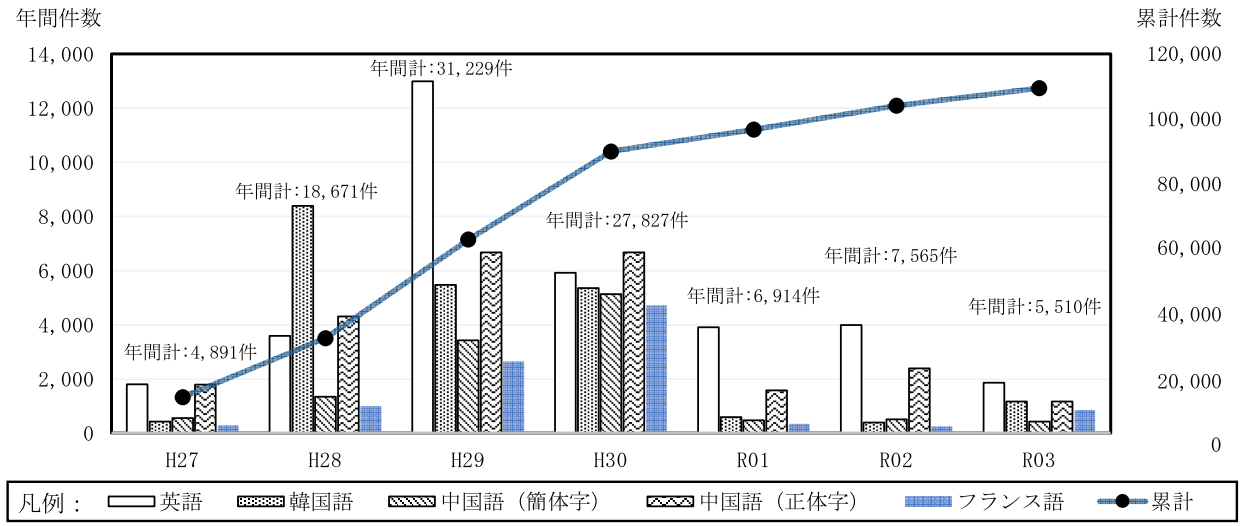
・ アクセス数

令和3年4月1日	～	令和4年3月31日	2,595,674 件
平成9年10月 開設	～	令和4年3月31日	18,164,414 件



・ 外国語翻訳機能利用回数

令和3年4月1日	～	令和4年3月31日	5,510 件
平成24年4月 開設	～	令和4年3月31日	109,125 件



・ 言語別利用回数

① 年間件数 （令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日）

■ 英語	1,863 件
■ 韓国語	1,177 件
■ 中国語（簡体字）	439 件
■ 中国語（正体字）	1,176 件
■ フランス語	855 件

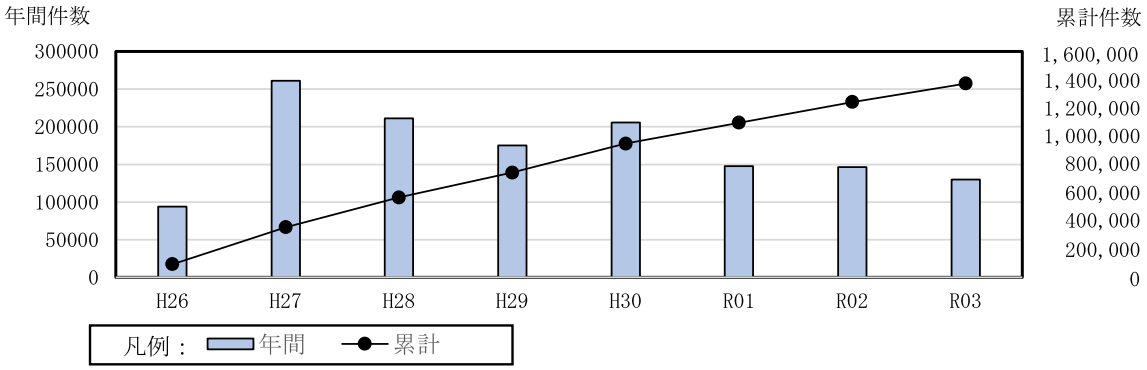
② 累計件数 （平成24年4月1日 ～ 令和4年3月31日）

■ 英語	37,402 件
■ 韓国語	22,298 件
■ 中国語（簡体字）	12,833 件
■ 中国語（正体字）	19,941 件
■ フランス語	10,576 件

【松島町フェイスブックアカウント閲覧状況】

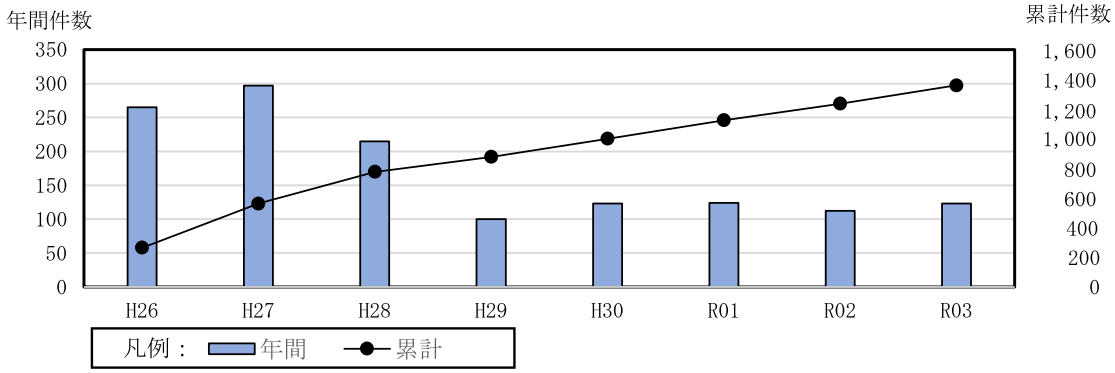
・アクセス数

令和3年4月1日　～　令和4年3月31日　76,690 件
平成25年4月　開設　～　令和4年3月31日　1,448,071 件



・フェイスブックページへの「いいね」数

令和3年4月1日　～　令和4年3月31日　30 件
平成25年4月　開設　～　令和4年3月31日　1,389 件



【松島町インスタグラム閲覧状況】

・フォロワー数

令和3年4月1日　～　令和4年3月31日　185 件
平成30年10月　開設　～　令和4年3月31日　1,188 件

【松島町ライン登録状況】

・友達登録者数

令和3年10月1日　～　令和4年3月31日　468 人

一　般　会　計

2　款	1　項	6　目	財産管理費
担当部署名	財務課財政班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	73,589	72,296				7,760	64,536

目的

財政班所管町有財産の維持管理に努めながら、貸付等により資産の有効活用を図っていく。また、財務諸表を作成することにより、本町の財政状況等を把握していく。
さらに公用車による事故防止等の啓発や、適切な契約事務等について一層の効率化を図っていく。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
庁舎外施設維持管理経費	B	－	3.3	庁舎等施設の適切な維持管理に努めるとともに、契約の複数年化や他施設との合併発注を活用することで、事務の効率化や経費削減が図られた。
公用車管理経費	C	－	－	公用車の適切な管理を行うとともに、塩釜警察署の協力により、職員を対象とした安全運転適性検査等を開催し、事故防止の啓発が図られた。
契約事務経費	B	－	3.3	入札監視委員会の審議において、特に指摘事項はなく、入札及び契約事務の適正化が認められた。
普通財産管理経費	B	－	3.7	普通財産の維持管理を行いながら、貸付、使用許可、払い下げなど資産の活用が図られた。
公共財産管理経費	B	－	3.7	公共物（共用財産）の維持管理を行いながら、貸付、使用許可など資産の活用が図られた。
松島フットボールセンター管理経費	B	－	3.0	松島フットボールセンター施設の適切な維持管理が図られた。
地方公会計整備事業	A	3.7	4.0	令和2年度決算の統一的な基準による財務書類を作成し、同規模自治体平均値と比較した分析を実施した。
各種基金管理	A	3.7	3.0	基金の適切な運用が図られた。

実績

【庁舎外施設維持管理経費】

・修繕料	役場正面入口自動ドア修繕他	（　8 件）	567,413 円
・手数料	庁舎内線電話移設手数料他	（10 件）	1,591,402 円
・業務委託	宿日直・清掃業務委託他	（　8 件）	9,539,068 円
・用地賃借	庁舎用地賃借	（　1 件）	11,580,360 円
・機器等賃借	電話交換機等設備リース他	（　5 件）	520,124 円
・備品購入	事務用机購入他	（　3 件）	154,480 円

（繰越明許費）

・工事請負費	松島町役場庁舎外構整備工事	（　1 件）	4,997,300 円

【公用車管理経費】

・修繕料	公用車修繕	（　1 件）	12,760 円
・手数料	安全運転管理者講習手数料他	（　3 件）	24,353 円
・賃借	公用車リース	（　6 件）	3,015,768 円
	マイクロバス運行	（63 件）	
・研修会等	安全運転適性検査（11月12日開催：29人参加） シートベルト講習、俊敏性測定検査他		

【契約事務経費】

・業務委託	入札参加資格登録（令和4年度追加登録分）		
	情報入力業務委託	（70 者）	99,000 円
	建設工事	（22 者）	
	設計コンサル	（　9 者）	
	物品・役務	（39 者）	
・入札監視委員会	7月30日開催　審議案件（建設工事　3件　業務委託　3件）		
	1月28日開催　審議案件（建設工事　3件　業務委託　3件）		

（次頁へ続く）

2　款	1　項	6　目

実績

【公共財産管理経費】

・業務委託	自然公園他草刈等業務委託他	(　4 件)	1,441,000 円

【松島フットボールセンター管理経費】

・修繕料	高圧分岐ケーブル端末・保護用地絡継電器修繕他	(　2 件)	776,347 円
・手数料	簡易専用水道施設検査	(　1 件)	14,667 円
・業務委託	機械警備業務委託他	(　6 件)	1,001,893 円

【地方公会計整備事業】

・業務委託	財務書類作成等	2,018,500 円

〈令和2年度決算財務分析結果〉

指標	計算式	松島町	同規模団体平均値	分析結果等
純資産比率	純資産合計額÷資産合計額×100	86.3%	81.0%	企業会計でいう自己資本比率に相当し、この比率が高いほど健全であるといえる。同規模団体より良好な数値である。
住民1人当たりの資産額	資産合計額÷人口	344万円	304万円	震災後に避難施設や避難道路を整備したことで、同規模団体を上回ったと分析される。
住民1人当たりの負債額	負債合計額÷人口	47万円	54万円	地方債の新規発行を抑えているため同規模団体を下回ったが、今後は老朽化した施設の更新等により増加が見込まれる。
資産老朽化比率	減価償却累計額÷取得価額等×100	62.6%	56.1%	100%に近いほど償却資産の老朽化が進んでいるといえる。6割以上が帳簿上の価値を失っており、更新の時期や費用に留意する必要がある。
住民1人当たりの行政コスト	純行政コスト÷人口	76万円	54万円	同規模団体を上回っており、行政サービスの効率性改善が必要である。
受益者負担割合	経常収益÷経常費用	2.1%	4.2%	経常費用に対する使用料・手数料の割合である。同規模団体を下回っており、受益者負担の在り方について検討が必要である。

【財産運用】

・行政財産目的外使用許可	(　14 件)	315,832 円
・公共物（公共財産道水路）使用許可	(　52 件)	2,147,750 円
・土地貸付	(　26 件)	2,038,820 円
・土地建物貸付	(　3 件)	1,010,340 円
・土地売払い	(　3 件)	4,624,798 円
・物品売払い	(　1 件)	574,284 円
・役場庁舎用地転貸借	(　1 件)	224,069 円

課題方向性

施設の経年による修繕や町有地の草刈・支障木の撤去など維持管理費用の増加が見込まれる。

引き続き、町有財産の貸付等による有効活用を図るとともに、財務諸表の分析・検討を行い今後の財政運営に活用していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	8　目	企画費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	224,086	199,562		750		500	198,312

目的	
	町民等の満足度を高める施策を効率的・効果的に推進し、誰もが「住んでよかった」、「今後も住み続けたい」と感じられるまちづくりを推進する。

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	企画事務経費(総合計画審議会)	B	－	4.0	長期総合計画後期基本計画の策定に際し、後期基本計画（最終案）の審議を行うとともに、後期基本計画案に対する答申が行われ、適正な会議運営が図られた。
	企画事務経費(広域行政等)	B	－	3.7	塩釜地区広域行政連絡協議会において、宮城県及び宮城県議会へ要望を行った。また、同協議会において、若手職員を対象とした研修会の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 仙台都市圏広域行政推進協議会において、「どこでもパスポート」を発行し、仙台都市圏域内の小学生に配布することで、公共施設の活用の促進と学習機会の創出が図られた。
	長期総合計画関連費	B	－	3.7	長期総合計画後期基本計画の策定にあたり、後期基本計画（最終案）に対する各種確認や議論を行い、効果的かつ適切な計画策定が図られた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う各種委員会等の中止、延期等により令和2年度末から繰越となっていた長期総合計画後期基本計画策定業務は、令和3年7月に完了となった。
	景観形成推進経費	B	－	3.3	事前協議や届出制度による景観形成に係る協議等に加え、令和4年2月以降に協議を行った行為に対し、新たに行為完了後の終了報告書の提出を求めることで、良好な景観形成に寄与することができた。
	企業立地・誘致関連経費	A	4.7	4.0	コロナ禍により、令和2年度から引き続き宮城県主催の企業立地セミナーや各種会議は中止となったが、直接企業訪問や打合せを実施したことで、初原地区への立地に意欲を示す企業の創出に繋がった。 また、初原地区における工業系企業の誘致を目的とした新たな土地利用計画についても、宮城県及び事業予定者と協議を重ね、事業計画の推進を図ることができた。
	定住促進事業費	A	3.7	3.3	地方移住を検討している方に対し、オンラインで開催された移住フェア等を通じ、町のPRや情報発信が図られた。 また、本町への移住を検討されているご家族に対し、町職員がまち歩きに同行し、町の魅力を肌で感じていただけたことで、移住につなげることができた。
	定住促進事業費(定住促進事業補助金)	B	－	3.7	本町の定住促進事業補助金は、移住と併せてマイホームの夢を叶えたいと考える方に好評をいただき、本町の転入者増に寄与した。 また、首都圏からの移住者を対象に交付している移住支援金についても、本町では初となる交付申請を受け付けるなど、首都圏からの転入増にも寄与した。

（次頁へ続く）

評価成果	国土利用計画法関連経費	C	－	－	町土の適正かつ効率的な利活用のための国土利用計画に基づき、一定規模以上の土地の売買の届出を受け付け、適正かつ合理的な土地利用を確保できた。
	行政評価事務経費	A	4.0	3.7	各事務事業の目的や達成度の目標数値を明確化した上で事業費も考慮し、事業の現状、課題を標準化された基準で客観的に評価することができた。
	松島海岸駅整備事業	A	4.3	4.3	令和元年度より着手していた松島海岸駅整備事業について、宮城県及び東日本旅客鉄道株式会社と継続的に事業及び工程の調整を図り、令和3年度内で事業が完了した。

実績

【企画事務経費(総合計画審議会)】

・総合計画審議会の開催

開催日	内　　容	場　　所
令和3年 6月3日	○後期基本計画（最終案）について ○答申：松島町長期総合計画後期基本計画案について （出席17人、欠席2人）	役場3階 大会議室

【企画事務経費(広域行政等)】

1　塩釜地区広域行政連絡協議会

(1)　協議会及び幹事会の開催(協議会2回、幹事会4回)
・宮城県に対する要望
・自治体DX推進計画について
・新型コロナウイルス感染症感染拡大について

(2)　宮城県に対する要望
・塩釜地区二市三町の圏域振興にかかる行政課題について要望を行った。
・塩釜地区二市三町の圏域の復興・振興に必要な要望を行った。

(3)　負担金　24,000 円
・塩釜地区広域行政連絡協議会負担金

2　仙台都市圏広域行政推進協議会

(1)　協議会及び幹事会の開催(協議会2回、幹事会3回)
・国及び宮城県に対する要望
・第六次仙台都市圏広域行政計画の策定について

(2)　国及び宮城県に対する要望
・圏域振興にかかる行政課題について要望

(3)　「どこでもパスポート」事業の実施
・圏域内の小学生約2万人に対し配布

(4)　ホームページの公開

(5)　負担金　68,000 円
・仙台都市圏広域行政推進協議会負担金

（次頁へ続く）

実績

【長期総合計画関連費】

（繰越明許費）
1　松島町長期総合計画後期基本計画策定業務委託　7,140,000 円

2　パブリックコメントの実施
・計画の案件名　松島町長期総合計画後期基本計画(案)
・公表日　令和3年4月12日
・意見提出期間　令和3年4月12日～4月23日
・閲覧場所　町ホームページ、役場企画調整課窓口、文化観光交流館、勤労青少年ホーム、品井沼農村環境改善センター
・意見提出人数　0人
・意見提出件数　0件
・意見により案を修正　0件

3　まちづくり検討委員会の開催

開催日	内　容	場　所
令和3年 5月24日	○後期基本計画（最終案）について （出席12人、欠席3人(委員2名､アドバイザー1人)）	役場3階 大会議室

4　まちづくり検討庁内委員会の開催

開催日	内　容	場　所
令和3年 7月	○実施計画一覧表の確認 （書面ヒアリング）	

【景観形成推進経費】

1　景観計画の運用状況について

(1)景観条例における事前協議　56 件
景観条例に基づき、町全域を対象に事業の企画・提案などの段階から事業者と景観形成に関する協議を実施するもの。
建築物　14 件（松島：9件、高城：1件、磯崎：3件、根廻：1件）
工作物　42 件（松島：16件、高城：6件、本郷：3件、磯崎：4件、手樽：2件、北小泉：1件、幡谷：2件、根廻：3件、初原：4件、桜渡戸：1件）
開発行為　0 件
土砂の採取等　0 件

(2)景観法における届出　6 件
景観法に基づき、「特別名勝松島」指定区域外における行為の届出に関する審査事務を実施するもの。
建築物　1 件（根廻：1件）
工作物　5 件（根廻：1件、初原：3件、桜渡戸：1件）
開発行為　0 件
土砂の採取等　0 件

（繰越明許費）
2　松島町景観重点地区景観整備事業補助金

交付件数　1 件　1,000,000 円

【企業立地・誘致関連経費】

・企業誘致に関する打合せ　23社
・町内立地に関心を示す企業との打合せ　8社

（次頁へ続く）

実績

【定住促進事業費】

1　移住・定住フェアへの参加　　1回

名　称	開催日	内　容	問合件数	場　所
宮城まるごとオンライン移住フェア	令和3年 11月6日,7日	宮城県主催の移住フェア。宮城で住みたい、働きたい方を対象に出展自治体と個別相談会を行った。 県内自治体18団体と移住希望者142組が参加した。 （参加自治体：気仙沼市,白石市,角田市,多賀城市,栗原市,東松島市,大崎市,富谷市,蔵王町,柴田町,丸森町,亘理町,松島町,大衡村,涌谷町,美里町,女川町,南三陸町）	7	オンライン開催 （松島町役場会議室）

2　個別移住相談（町内施設等をご案内）　　2世帯
　移住希望者が移住を検討するにあたり、小学校等の公共施設の内見をはじめ町内各所を職員が同行し案内した。

【定住促進事業費(定住促進事業補助金)】

松島町定住促進事業補助金
　交付世帯数　　町内　1世帯　3人　　町外　23世帯　66人　　10,750,000 円

（繰越明許費）
松島町復興支援定住促進事業補助金
　交付世帯数　　町内　0世帯　0人　　町外　2世帯　8人　　1,500,000 円

松島町移住支援金
　交付世帯数　　町外　1世帯　2人　　1,000,000 円

【空き家バンク】

新規登録及び売買等契約成立件数

（単位：件）

区　分	建物			土地	計
	戸建て住宅	空き部屋	事務所・店舗		
年度当初登録数	6	13	1	17	37
年度内新規登録数	4	6	0	3	13
年度内売買等契約成立数	3	4	0	3	10
年度末登録数	7	15	1	17	40

【国土利用計画法関連経費】

1　土地売買等届出書　　5件　（幡谷：2件、桜渡戸：2件、手樽：1件）
　国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定面積以上の土地の取引をしたときに届け出るもの。

2　土地有償譲渡届出書　　1件　（高城：1件）
　公有地の拡大の推進に関する法律に基づき、公有地の拡大の計画的な推進を図り、地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資することを目的として、都市計画区域内の一定規模以上の土地を有償で譲渡しようとするときに届け出るもの。

（次頁へ続く）

2　款	1　項	8　目

実績

【行政評価事務経費】

松島町行政評価システムリース　1,782,000 円

地域や時代のニーズに合った、効果的・効率的な行政サービスの提供、行政運営を展開していけるよう、行政評価に用いるシステムを導入し、各事務事業について体系的な進捗管理、PDCAサイクルによる継続的な検証と見直しを図る仕組みを構築するもの。

【松島海岸駅整備事業】

（繰越明許費）

松島海岸駅整備事業費補助金　174,158,000 円

東日本旅客鉄道株式会社が実施する松島海岸駅整備事業に対して、松島海岸駅整備事業費補助金交付要綱に基づく補助金の令和2年度繰越明許費分。

【子ども版タウンミーティング】

1　目的

町の将来を担う子ども達に、町政・まちづくりに関心を持ち、生まれ育ってきた松島への郷土愛を育むとともに、町の継承者としての定住意識の醸成につなげること。

2　出前講座

団体名	開催日	参加人数	内容
第一小学校	令和4年1月25日（火）	50人	「長期総合計画子ども版」を用いて町づくりについて説明した後、グループ分けをし、町の「よいところ」「よくないところ」「よくないところをよくするには」について考えるワークショップを実施した。
第二小学校	令和4年2月10日（木）	28人	
第五小学校	令和4年2月 2日（水）	14人	

3　子ども版タウンミーティング

団体名	開催日	参加人数	内容
第一小学校	令和4年2月21日（月）	50人	出前講座におけるワークショップを継続実施し、町の未来についてグループ毎に意見を発表した。 また、第一小学校においては、発表した内容を元に町長が児童達と意見交換会を実施した。
第二小学校	令和4年2月22日（火）	28人	
第五小学校	令和4年2月 4日（金）	14人	

課題
方向性

本町の現状や社会情勢を鑑みながら各種施策を引き続き推進し、特色を生かした魅力あふれるまちづくりを進めることで、住民が安心して働き、潤いのある豊かな生活を送れまちづくりを目指す。

特に、移住・定住については、子育て世代や生産年齢人口の呼び込み施策に加え、人口流出を緩和できるよう、町民を対象とした施策について積極的に検討していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	9　目	交通安全費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,936	5,843		224		105	5,514

目的

住民や松島を訪れる方の安全を確保するため、事故防止に向けた交通安全意識の高揚を図る啓発活動を推進するとともに、安全な道路交通環境を保持するための交通安全施設等の整備や危険箇所の改善に努める。

さらに、交通安全協会等の関係団体及び警察等の協力を得ながら安全運転の啓発と交通安全思想の普及を推進する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
交通安全指導啓発事業経費	B	－	3.7	交通安全指導員の街頭指導により歩行者の交通事故を防止するとともに、交通安全教室等の交通安全啓発活動により、交通安全ルールの周知やマナーの向上を図ることができた。 また、町や交通安全団体、警察が連携し、春・秋の交通安全運動をはじめ、高齢者並びに児童に対する事故防止の啓発活動や飲酒運転撲滅啓発活動を実施したことにより、交通安全意識の向上を図ることができた。
交通安全施設整備事業経費	B	－	3.3	町道への路面標示を整備し通行車両へ注意喚起を図ることがでた。また、交差点における視認性を高めるようカーブミラーを設置、交換し、安全・安心な交通環境の整備を推進することができた。
臨時運行許可事務経費	B	－	3.7	自動車臨時運行に伴う許可申請の審査及び許可について、道路運送車両法第34条第2項の規定に基づき適正な受付業務を行うことができた。

実績

【交通安全指導啓発事業経費】

1　交通安全指導員による街頭指導　（交通安全指導員数14人）
- 総出動回数　延べ 547回　（月平均　延べ45回）
- 出動内容
  - ①交通安全日街頭指導
  - ②春の交通安全運動
  - ③秋の交通安全運動
  - ④交通安全教室交通指導
  - ⑤瑞巌寺大施餓鬼会
  - ⑥全日本実業団女子駅伝競走大会
  - ⑦かき祭り（磯島）
  - ⑧成人式
  - ⑨各種行事の街頭指導
  - ⑩各地区行事の街頭指導

2　松島町内における交通事故発生件数の推移

	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
発生件数 (前年比)	32 (9)	23 (△ 8)	31 (△ 4)	35 (△ 5)	40 (△ 8)	48 (△ 12)
死 者 数	0	2	0	0	0	0
傷 者 数	39	30	41	42	55	82

※期間は、各年1月1日から12月31日まで
※交通死亡事故は令和2年9月21日の交通事故以降の発生はなく、令和3年9月22日に交通死亡事故ゼロ1年間を達成

3　交通安全教育
- 小学校・幼稚園における交通安全教室　4回
  （松島第一小学校、松島第二小学校、松島第五小学校・松島第五幼稚園、松島第一幼稚園）

（次頁へ続く）

2　款	1　項	9　目

実績

4　交通安全思想普及活動

・春の交通安全町民総ぐるみ運動　運動期間：4月6日　～4月15日（10日間）
・秋の交通安全町民総ぐるみ運動　運動期間：9月21日～9月30日（10日間）
・交通安全施設の点検　毎月

5　交通安全啓発活動

・高齢者等事故防止啓発活動　2回（2施設）
・児童等事故防止啓発活動　2回（2施設）
・飲酒運転撲滅啓発活動　2回
・広報車による啓発活動　毎月

6　交通安全団体に対する事業費補助

・塩釜地区交通安全協会松島支部　250,000 円
・松島町交通安全母の会　100,000 円

【交通安全施設整備事業経費】

1　交通安全施設整備事業

・カーブミラー設置工事　N ＝ 4基　647,900 円
　○シングルミラー設置工　N ＝ 2基
　○ダブルミラー交換工　N ＝ 1基
　○シングルミラー交換工　N ＝ 1基

・区画線整備工事　1,342,000 円
　○指導停止線　L ＝ 67.1 m
　○止まる　L ＝ 411.9 m
　○十字記号　L ＝ 48.6 m
　○T字記号　L ＝ 118.8 m
　○外側線　L ＝ 22.0 m
　○導流帯　L ＝ 43.3 m
　○保育所あり　L ＝ 76.0 m
　○区画線消去　L ＝ 44.9 m

課題方向性

令和3年9月22日に達成した「交通死亡事故ゼロ」の記録継続のため、引き続き関係機関と協力して交通安全啓発活動を推進し、交通事故防止の徹底を図る。なお、本町における令和3年中の交通事故発生件数については、令和2年中と比べて増加していることから、継続的な交通安全啓発活動が重要である。特に近年では高齢者による運転操作による事故や子どもや高齢者が歩行中に巻き込まれる事故が全国的に多発しているため、高齢者啓発活動や交通安全教室等の実施に努める。

カーブミラー等の交通安全施設については、見通しが悪い交差点等の危険箇所を把握し、学校周辺や通学路などの緊急性が高い箇所から整備を行っていく。

一　般　会　計

2　款	1　項	10　目	諸費
担当部署名	総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,057	29,595	145	1,301			28,149

目的

自治活動の普及推進を図り、町民の自治意識の高揚と社会福祉の増進に寄与する。
警察や学校などの関係機関と連携して、防犯対策等の普及を図り、犯罪を未然に防ぎ住民の安全を確保する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
自治振興経費 ※総務課 総務管理班所管	B	―	3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に引き続き行政区長移動研修会は中止となったが、区長等を通じて町と町民との連絡を密にすることで、行政事務の円滑かつ効果的な運営を図ることができた。
表彰式典関係経費	B	―	4.0	対象者の選定から表彰式の実施まで滞りなく進めることができ、善行・功労のあった表彰者への表彰状の贈呈を行うことができた。
災害補償等関係経費	B	―	3.7	全国町村会総合賠償補償保険に加入し、町の損害賠償責任が発生した事案に対する申請等の事故対応を適正に行うことができた。
防犯対策関係経費	B	－	3.3	各地区防犯指導隊などの関係団体と連携し地域の防犯対策に努め、地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図ることができた。また、各地区の防犯灯維持管理並びにLED化更新費用、電気料の助成等にて犯罪が発生しにくい環境づくりに取り組み、各地域の防犯・非行の未然防止が図られた。
自治振興経費 ※企画調整課所管	B	－	3.3	品井沼ステーション有限会社の運営を支援することで、品井沼駅の利便性向上及び周辺地域コミュニティの維持・活性化に繋がった。
自衛官募集関係経費	B	－	3.7	令和3年度は重点市町村に指定されたことに伴い、自衛官募集に係る広報周知を広報用品作成等、重点的に実施し、町内在住者の継続的採用に繋げた。

実績

■総務課 総務管理班所管

【自治振興経費】

・行政区長等報償　114 人　18,325,080 円
・行政区長移動研修会　新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止

【表彰式典関係経費】

・善行者・功労者表彰
　開催日　令和3年11月12日（金）
　会場　役場大会議室
　表彰該当者　功労者（7名）

【災害補償等関係経費】

・全国町村会総合賠償補償保険　1,370,275 円
・保険適用申請対応件数　1 件

（次頁へ続く）

2　款	1　項	10　目

実績

■総務課 環境防災班所管

【防犯対策関係経費】

1　松島町における犯罪認知件数

	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
認知件数	37	33	86	66	55	95
(前年比)	(　4)	(△ 53)	(　20)	(　11)	(△ 40)	(△ 2)

※期間は、各年1月1日から12月31日まで

2　主な防犯活動
・地域安全運動による防犯パトロール等
春の地域安全運動　(運動期間： 4月 15日 ～ 5月 14日)
夏の地域安全運動　(運動期間： 7月 15日 ～ 8月 25日)
全国地域安全運動　(運動期間：10月 11日 ～10月 20日)
年末年始特別警戒　(運動期間：12月 15日 ～ 1月 7日)
・定期的な町内パトロール活動　(随時)

3　防犯指導隊への補助　5 団体　300,000 円

4　防犯灯設置等補助　96 基　1,241,256 円
(松島区・高城区・本郷区・手樽区・下竹谷区・上竹谷区・幡谷区・初原区・桜渡戸区)

5　防犯灯電気料助成　1,637 基　3,959,788 円
(12行政区・品井沼街灯組合)

6　東北電力(株)寄贈防犯灯　10 基
(高城区・本郷区・磯崎区・手樽区・下竹谷区・根廻区・桜渡戸区)

■企画調整課所管

【自治振興経費】

・品井沼ステーション運営費補助金　900,000 円

課題方向性

■総務課 総務管理班所管
善行者・功労者の表彰については、対象者選定を適正に行い、町への貢献に敬意を表し、引き続き年1回の表彰を行う。

■総務課 環境防災班所管
地域住民が安全安心に暮らすことのできる生活環境づくりのため、各地区防犯指導隊の協力を得ながら地域安全運動や定期的な防犯パトロール等にて犯罪の抑止に努める。
また、特殊詐欺や犯罪に巻き込まれることのないよう「安全・安心メール」及び「各種SNS」を活用して迅速な情報提供や広報紙による防犯啓蒙活動に努める。
防犯灯については、町管理防犯灯の適正管理並びにLED化の推進を図るとともに、地区管理防犯灯の修繕やLED化更新にあたり、各地区の負担軽減を図るため町補助金を交付する。

■企画調整課所管
品井沼駅の利便性向上及び地域コミュニティの維持・活性化を図るため、引き続き運営費の補助を実施する。
また、自衛官募集事務については、市町村委託事務として募集広報等を継続して実施し、安定的な自衛官採用に繋げる。

一　般　会　計

2　款	1　項	11　目	電子計算費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	81,623	81,497	1,064			4,045	76,388

目的

電算システムによる事務処理の高度化・効率化を進めるとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）に係るハード・ソフト両面の最適化を図り、新たな住民ニーズへの対応、行政サービスの向上に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
基幹系システム経費	A	4.7	3.7	基幹系システム（住民基本台帳関係、税務情報関係、介護保険関係他）により、事務の効率化及び適正化が図られた。
公会計システム経費	A	4.3	3.7	財務会計システムにより、事務の効率化及び適正化が図られた。
地域情報システム整備事業経費	B	－	4.0	最新のオペレーションシステムを搭載した事務用端末により、セキュリティレベルの確保を図りながら事務の効率化が図られた。

実績

【基幹系システム経費】

- 基幹系システム大量データ作成業務委託　464,640 円
- 基幹系システム賃借料　56,477,436 円
  （ハードウェア、ソフトウェア、LGWAN及びセキュリティ強化対策保守含む）
- 自治体中間サーバー・プラットフォーム利用負担金　4,163,000 円

【公会計システム経費】

- 公会計システム賃借料　12,506,400 円
  （ハードウェア及びソフトウェア保守含む）

【地域情報システム整備事業経費】

- 地域情報システム賃借料　5,536,512 円
- 宮城県自治体情報セキュリティクラウド運用費負担金　786,200 円
- 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）一般事業負担金　45,000 円
- 宮城県高度情報化推進協議会会費　7,000 円

課題方向性

国の自治体情報システム標準化に係る動向を注視し、リースアップに係るシステム入れ替え時期を鑑みて追加改修などについてロスなく対応できるような準備が課題である。

DX推進本部及び推進検討委員会の意見を踏まえ、情報セキュリティに対してシステム標準化を含めたハード・ソフト両面から対策し、さらに職員においても情報処理スキル及び情報倫理の向上を図っていく必要がある。

一　般　会　計

2　款	1　項	12　目	町民バス運行費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,606	38,708				1,185	37,523

目的

公共交通空白地域の解消及び生活利便性の向上、福祉の増進を図るとともに、高齢者や学生をはじめとする交通弱者の移動手段として町内全域に町営の路線バスを運行させ、交通地域格差の是正に努める。

また、持続可能な公共交通体系を目指し、町民の地域間交流を促進させ、活力のあるまちづくりに寄与する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
町民バス運行事務経費	A	4.3	3.3	町民バスの効率的な運行により持続可能な運営を図ることを目的として、利用者ニーズに即した運行を進めるべく、利用者乗降調査を行ったほか、新規利用者を考慮し、既存の時刻表や路線図等の様式を更新した。
町民バス運行経費	A	4.0	3.0	高齢者や学生などの交通弱者の交通手段を確保し、生活環境の向上と福祉の増進、さらには交通の地域格差の是正が図られた。 また、旧三小学区及び旧四小学区の児童・幼児の通学便を運行委託し、適正な管理の下で効率的に運行することができた。

実績

○　運行・利用状況

内容／路線	便数	運行日数	走行距離（km）	利用人数（人）	収入金額(円)
北松島線〔中廻含む〕	14 (4)	308	113,131 (14,725)	18,990 (4,881)	314,100
松島東線	8 (4)	308	45,026 (11,599)	9,288 (5,396)	32,300
松島西線	5	308	38,649	6,766	142,700
定期券・回数券	―	―	―	―	460,190
計	―	―	196,806 (26,324)	35,044 (10,277)	949,290

※(　)内は通学便分

課題方向性

自動車中心の社会において、高齢者や学生等の交通弱者への対応が全国的な社会問題となっており、交通移動支援策としての公共交通の重要性が高まっている。一方、当町の町営バスは利用者の減少、事業費の増加、運行効率、運転手確保等の課題が山積している状況である。人口減少や急速な高齢化並びに利用者ニーズに対応し、まちづくりとも連携した持続可能な公共交通を再構築する必要性があることから、今後、運行効率の改善及び運行形態やルートの見直し等を実施していく。

令和3年度町営バス月別利用状況

(北松島線分)

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額	
4	26	9,365	621	60	17	82	159	423	4	25	452	52	312	0	1,596	18,900	
5	26	9,597	531	31	41	108	180	608	0	24	632	62	290	4	1,699	24,000	
6	26	10,194	564	45	51	124	220	638	3	30	671	71	354	4	1,884	27,800	
7	27	9,507	528	21	58	106	185	404	30	34	468	47	314	39	1,581	24,600	
8	26	8,273	522	9	47	122	178	128	11	13	152	16	278	44	1,190	25,700	
9	26	9,923	455	10	53	105	168	577	13	24	614	74	301	17	1,629	23,400	
10	26	10,108	497	50	35	133	218	522	5	11	538	75	341	20	1,689	27,700	
11	26	9,861	561	57	46	122	225	531	19	30	580	72	304	0	1,742	27,400	
12	24	8,989	550	16	59	126	201	436	16	30	482	58	276	0	1,567	28,200	29～31日運休
1	24	8,650	480	20	54	122	196	368	15	34	417	50	294	0	1,437	27,800	1日～3日運休
2	24	8,958	463	9	45	111	165	402	8	44	454	53	285	8	1,428	26,600	
3	27	9,706	521	1	57	145	203	359	18	30	407	59	335	23	1,548	32,000	
合計	308	113,131	6,293	329	563	1,406	2,298	5,396	142	329	5,867	689	3,684	159	18,990	314,100	
月平均		9,428	524	27	47	117	192	450	12	27	489	57	307	13	1,583	26,175	

(松島東線分)

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額	
4	26	3,562	193	2	5	12	19	405	29	7	441	69	0	0	722	3,100	
5	26	3,860	194	0	6	8	14	482	38	14	534	55	1	3	801	3,000	
6	26	4,268	202	4	7	11	22	599	32	6	637	69	0	3	933	2,800	
7	27	3,632	175	4	9	10	23	385	26	6	417	46	3	13	677	2,600	
8	26	2,701	159	2	0	10	12	140	9	4	153	9	3	13	349	2,400	
9	26	4,180	145	1	0	13	14	563	37	3	603	73	6	10	851	2,900	
10	26	4,174	194	2	0	22	24	578	13	2	593	61	0	0	872	4,600	
11	26	4,148	231	2	0	10	12	551	39	2	592	68	0	0	903	2,200	
12	24	3,626	248	0	0	10	10	468	45	3	516	54	1	0	829	2,300	29～31日運休
1	24	3,390	230	5	1	9	15	431	27	5	463	47	2	0	757	2,300	1日～3日運休
2	24	3,732	195	0	0	6	6	522	28	4	554	47	4	2	808	1,600	
3	27	3,753	256	0	0	10	10	423	32	5	460	48	3	9	786	2,500	
合計	308	45,026	2,422	22	28	131	181	5,547	355	61	5,963	646	23	53	9,288	32,300	
月平均		3,752	202	2	2	11	15	462	30	5	497	54	2	4	774	2,692	

（松島西線分）

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額	
4	26	3,280	403	44	13	38	95	2	0	4	6	0	77	0	581	8,000	
5	26	3,181	360	51	8	36	95	0	0	5	5	4	63	4	531	7,700	
6	26	3,328	415	71	13	42	126	1	0	4	5	0	81	7	634	8,800	
7	27	3,385	368	60	8	72	140	0	1	5	6	1	81	25	621	14,900	
8	26	3,293	348	54	6	57	117	0	0	7	7	1	81	20	574	12,100	
9	26	3,242	259	23	21	52	96	0	0	2	2	0	75	12	444	10,600	
10	26	3,376	327	62	11	54	127	0	0	5	5	0	53	8	520	11,300	
11	26	3,241	388	66	13	50	129	0	0	21	21	0	78	0	616	12,100	
12	24	3,050	391	22	17	65	104	1	0	20	21	0	61	0	577	15,000	29～31日運休
1	24	2,947	337	11	10	60	81	1	0	46	47	0	69	0	534	16,600	1日～3日運休
2	24	2,987	356	9	9	44	62	0	0	36	36	0	61	3	518	12,400	
3	27	3,339	441	0	4	63	67	0	0	6	6	0	91	11	616	13,200	
合計	308	38,649	4,393	473	133	633	1,239	5	1	161	167	6	871	90	6,766	142,700	
月平均		3,221	366	39	11	53	103	0	0	13	14	1	73	8	564	11,892	

（合　計）

定期券・回数券	460,190

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額	
合計	308	196,806	13,108	824	724	2,170	3,718	10,948	498	551	11,997	1,341	4,578	302	35,044	949,290	

（回数券・定期券販売実績）

種類	回数券		定期券									販売金額
区分	一般	小中学生	中学生			高校生			一般(69歳以下)			
	2,000円	1,000円	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円	17,100円	32,400円	
販売数(件)	66	50	53	9	3	12	1	0	9	0	0	460,190

一　般　会　計

2　款	1　項	13　目	施設管理費
担当部署名	総務課総務管理班・建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,459	5,241					5,241

目的

集会施設の適切な維持管理を行い、住民のための地域コミュニティの場として、安全かつ利用しやすい環境を提供する。また、公衆便所の適切な維持管理を行い、利用しやすい環境を提供する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
集会施設指定管理経費	B	－	3.3	集会施設27施設のうち古浦集会場を除く26施設について、行政区等への指定管理により適正な管理運営を行うことができた。
高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費	B	－	3.7	公衆便所の清掃等、適切な維持管理を実施することにより、利用しやすい環境を提供した。
集会施設等維持管理経費	B	－	3.3	集会施設の設備修繕並びに適切な維持管理を実施することにより、良好な利用環境の整備を図り、地域住民のコミュニティ構築の場を提供した。 また、集会施設の管理方針を定めた集会施設個別施設計画を策定した。

実績

■総務課 総務管理班所管

【集会施設等維持管理経費】

1　工事請負費
・北小泉・下竹谷地区コミュニティーセンタートイレ改修工事　970,200 円

【集会施設指定管理経費】　2,403,371 円

1　委託料
・集会施設26施設

■建設課　管理班所管

【高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費】

1　需用費（修繕料）　39,380 円
・愛宕駅前公衆便所（大便器・手洗器）

2　委託料　287,100 円
・公衆便所清掃業務委託
高城町駅前公衆便所（月3回）
愛宕駅前公衆便所、元禄潜穴公衆便所（月2回）

（次頁へ続く）

2　款	1　項	13　目

実績

【集会施設等維持管理経費】

1　需用費（修繕料）	623,004 円
・上竹谷生活センター修繕（玄関）	30,360 円
・華園集会場修繕（カーテンレール・玄関）	219,120 円
・後小泉サブセンター修繕（給水管）	69,850 円
・滝ノ沢サブセンター修繕（廊下床）	58,080 円
・北小泉・下竹谷地区コミュニティーセンター修繕（水抜栓）	65,194 円
・初原コミュニティーセンター修繕（エアコン）	8,800 円
・反町支館修繕（壁）	171,600 円

課題方向性

■総務課 総務管理班所管
　令和4年3月に策定した集会施設個別施設計画に基づき、主に老朽化した施設の廃止に関して理解を得るため、地域に対し引き続き丁寧な説明を実施していく。

■建設課 管理班所管
　集会施設や公衆便所は利用頻度も有り、設備数も多いことから、故障等が発生した場合には適宜修繕しながら適切な維持管理を継続し、安全かつ利用しやすい施設環境を提供していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	15　目	地上デジタル放送無線共聴施設管理費
担当部署名	企画調整課・建設課管理班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,843	1,704					1,704

目的

町内で地形等の理由により地上デジタル放送が難視聴になっている地区に設置した地上デジタル放送無線共聴施設について、維持管理を実施する。
また、松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を交付し、良好な地上デジタル放送の受信環境を維持する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）	B	－	4.0	難視聴になっている地区の組合に対し補助金を交付することで、良好な地上デジタル放送の受信環境維持に寄与した。
地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）	B	－	3.7	地上デジタル放送無線共聴施設の設備修繕及び保守点検等を行い、施設の維持管理を行った。

実績

■企画調整課所管

【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）】

・ 松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金
　帰命院地区テレビ共同受信組合　（139世帯）　120,000 円

■建設課 管理班所管

【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）】

・ 地上デジタル放送無線共聴施設（受信・送信点11箇所）の維持管理
　松島海岸、小石浜地区　（受信点：3箇所　送信点：5箇所）
　反町、初原地区　（受信点：1箇所　送信点：2箇所）

・ 需用費（修繕料）　184,800 円
　三十刈地区送信機修繕

・ 委託料　1,140,700 円
　地上デジタル放送無線共聴施設保守点検業務委託（年1回）

課題方向性

■企画調整課所管
松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を引き続き交付し、当該地区における地上デジタル放送の受信環境の維持に努める。

■建設課 管理班所管
電波障害が発生した場合の原因究明や部品調達に時間を要する可能性があるため、今後も適切な維持管理を実施し、常に良好な視聴環境の維持に努める。

一　般　会　計

2　款	1　項	18　目	ふるさと納税費
担当部署名	財務課財政班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	74,861	73,877				51,072	22,805

目的

松島町を応援して下さる方からの寄附金を活用し、寄附者の思いを反映した魅力あるまちづくり事業を展開する。また、返礼品により町の魅力を発信するとともに、返礼品事業者の販路拡大と、松島町に対する興味・関心を高め、来町を促すことで地域の活性化を図ることを目的とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
ふるさと納税費	A	4.3	3.7	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではあったが、新たなポータルサイトを開設することによる寄附窓口拡大の効果もあり、前年度と比較して寄附件数及び寄附金額ともに増加が図られた。また、6件の事業に対する財源として寄附金を活用することができた。

実績

1　郵便振替・クレジット決済・アプリ決済・コンビニ支払い手数料

区　分　等		件　数	金　額
郵便振替手数料	1件あたり30円	38　件	1,140　円
指定代理納付者登録手数料	1件あたり11,000円	3　件	33,000　円
クレジット決済手数料		644　件	435,511　円
JCB	寄附額の1.5%	193　件	193,230　円
VISA	寄附額の1%	341　件	140,960　円
DGフィナンシャル	寄附額の1%	110　件	101,321　円
アプリ決済手数料		213　件	395,625　円
ドコモ	寄附額の3.5%	22　件	12,936　円
ａｕ		2　件	847　円
ソフトバンク		3　件	1,155　円
アマゾンペイ		35　件	58,250　円
PayPal		1　件	385　円
メルペイ		0　件	0　円
楽天ペイ（ふるさとチョイス経由）		13　件	8,932　円
ペイジー	寄附額の3%	4　件	4,422　円
楽天ペイ（楽天経由）	寄附額の2.7%	133　件	308,698　円
コンビニ支払い	寄附額の3%	25　件	9,933　円
手数料合計		923　件	875,209　円

2　ポータルサイト掲載料

区　分　等		金　額
ふるさとチョイス	寄附額の5%	1,689,585　円
楽天ふるさと納税	寄附額の5.1%	599,670　円
ふるなび	寄附額の10～12%	442,618　円
ANAのふるさと納税	寄附額の8%	127,248　円
JRE MALLふるさと納税	寄附額の7%	136,088　円
ポータルサイト掲載料合計		2,995,209　円

※「ふるなび」は令和3年11月から開設
※「ANAのふるさと納税」「JRE MALLふるさと納税」は令和3年12月から開設

3　ふるさと納税業務委託料

区　分　等		金　額
寄附受付・データ管理・返礼品手配等	寄附額の5%	2,808,560　円
返礼品代金	返礼品実費	15,198,077　円
返礼品送料	送料実費	915,325　円
業務委託料合計		18,921,962　円

（次頁へ続く）

実績

4 寄附実績

・寄附受付窓口別

寄附受付窓口区分	件 数	寄附額
ふるさとチョイス	676 件	30,719,750 円
楽天ふるさと納税	133 件	10,412,000 円
ふるなび	25 件	3,973,000 円
ANAのふるさと納税	12 件	1,446,000 円
JRE MALLふるさと納税	59 件	1,758,000 円
自治体窓口等	33 件	2,756,000 円
合 計	938 件	51,064,750 円

・支払手段別

支払手段別区分	件 数	寄附額
郵便振替	55 件	1,428,750 円
クレジットカード決済	630 件	34,155,000 円
アプリ決済	213 件	12,689,000 円
コンビニ支払い	25 件	301,000 円
銀行振込	14 件	2,391,000 円
現金支払い	1 件	100,000 円
合 計	938 件	51,064,750 円

・返礼品カテゴリー別

返礼品カテゴリー区分	件 数	寄附額
米・パン	38 件	496,000 円
野菜・果物	5 件	50,000 円
水産物	59 件	606,000 円
肉類	0 件	0 円
加工食品	232 件	5,116,000 円
菓子・スイーツ	54 件	576,000 円
飲み物・酒類	36 件	400,000 円
セット・詰め合わせ	196 件	3,804,000 円
雑貨	0 件	0 円
民芸・工芸	9 件	128,000 円
宿泊券・チケット	248 件	39,455,000 円
希望無し	2 件	60,000 円
対象外	59 件	373,750 円
合 計	938 件	51,064,750 円

・使途別

使 途 区 分	件 数	寄附額
道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	140 件	10,152,000 円
環境、安全・防災に関する事業	166 件	6,916,750 円
福祉・保健・医療に関する事業	162 件	9,343,000 円
教育に関する事業	152 件	7,058,000 円
観光、歴史・文化に関する事業	114 件	6,469,000 円
産業振興、コミュニティに関する事業	42 件	2,341,000 円
魅力あるまちづくりを推進するため必要と認められる事業	162 件	8,785,000 円
合 計	938 件	51,064,750 円

・寄附金額別

寄附金額区分	件 数	寄附額
10,000円未満	41 件	96,750 円
10,000円以上30,000円未満	502 件	5,339,000 円
30,000円以上50,000円未満	96 件	2,894,000 円
50,000円以上100,000円未満	83 件	4,150,000 円
100,000円以上200,000円未満	78 件	8,480,000 円
200,000円以上	138 件	30,105,000 円
合 計	938 件	51,064,750 円

（次頁へ続く）

2　款	1　項	18　目

実績

5　ふるさと納税基金残高

使　途		積立残高	積立額	取崩額	年度末残高	繰入事業
①	道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	5,791,000	10,152,000	0	15,943,000	
②	環境、安全・防災に関する事業	12,188,100	6,916,750	1,500,000	17,604,850	松くい虫防除事業
③	福祉・保健・医療に関する事業	35,307,000	9,348,000	8,000,000	36,655,000	認定こども園推進事業
④	教育に関する事業	9,427,500	7,053,000	1,000,000	15,480,500	松島中学校義務教育教材経費 こども英語ガイド事業
⑤	観光、歴史・文化に関する事業	11,291,000	6,469,000	1,500,000	16,260,000	松島海岸駅観光案内板整備事業
⑥	産業振興、コミュニティに関する事業	2,504,900	2,341,000	1,000,000	3,845,900	創業者支援事業
⑦	その他魅力あるまちづくりを推進するため、必要と認められる事業	301,983,000	8,785,000	0	310,768,000	
基金運用利子収入分		42,609	7,398		50,007	
合計		378,535,109	51,072,148	13,000,000	416,607,257	

課題
方向性

新型コロナウイルス感染症の影響がある中において、令和2年度以降ポータルサイトを5つまで拡大した効果もあり寄附件数及び寄附額ともに増加した。

引き続き、町の魅力を全国に発信するとともに、返礼品事業者の販路拡大と松島町への興味・関心を高めることで、地域の活性化を図るため、ポータルサイトの更なる拡充を検討していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	19　目	新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費
担当部署名	総務課環境防災班・企画調整課・町民福祉課町民サービス班・町民福祉課福祉班・町民福祉課こども支援班・健康長寿課高齢者支援班・産業観光課産業振興班・産業観光課観光班・教育課学校教育班・教育課生涯学習班・中央公民館		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	225,786	217,561	138,687	27,000		4,743	47,131

目的

新型コロナウイルス感染症流行のため大きく影響を受けた各種産業や住民生活に対し、感染防止対策支援や観光誘客促進等の各種事業を実施することにより、地域経済の回復を促すことを目的とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
No.1 公共空間感染対策事業	A	3.7	3.7	新型コロナウイルス等の不活性化に有効である除菌用オゾン発生装置を整備することにより、会議室等における除菌の徹底が図られた。
No.2 デジタルワーキングスペース構築事業	A	4.0	3.7	民間企業等の在宅勤務者支援として、石田沢防災センター内にテレワークスペースを構築し、テレワーク利用者の促進を図ることができた。 また、観光地の特色を生かしたワーケーション（観光と仕事の融合）事業に取り組む町内宿泊事業者に対し支援補助金の交付を実施し、町内におけるワーケーション環境の整備に寄与した。
No.3 コンビニエンスストア等証明書自動交付システム構築事業	A	4.0	3.7	庁舎窓口への来庁者を分散させ、感染拡大防止を図ることを目的とするコンビニエンスストア等証明書自動交付システム（令和4年4月からサービス開始）の構築が遅滞なく完了した。
No.4 新生児給付金事業	A	4.0	4.0	出生又は出生予定の子がいる家庭を対象に給付金を支給したことで、出生をお祝いするとともにコロナ禍での子育て家庭への生活支援を図った。
No.5 保育施設衛生環境対策事業	A	3.7	3.7	町立4保育所の感染症対策として、児童が使用する水道蛇口を非接触型の自動水栓に変更し、安心・安全な保育環境の整備を図った。
No.6 新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援事業	A	4.0	4.3	医療機関等における感染症対応に係る負担に対し、10万円から300万円の支援金を交付したことで事業者の事業継続に寄与した。
No.7 松島町事業継続応援給付金事業	A	4.0	4.0	コロナ禍の影響で売上が減少した事業者に対し給付金を交付することで、事業継続を支援することができた。
No.8 学校施設衛生環境対策事業	A	3.0	3.7	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町立学校の水道蛇口を自動水栓化を実施したことで、施設での感染防止を図った。
No.9 中学校特別教室感染対策空調設備整備事業	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中学校特別教室に、エアコン設置工事を実施したことで、施設での感染防止を図った。
No.10 帰省自粛学生支援事業	A	4.0	3.7	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策が出される中、地元への帰省自粛を余儀なくされている県外学生に対し、地元食材等を送付したことで学生生活を支援するとともに、地元食材の消費喚起を図ることができた。
No.11 保育所児童エクスカーション事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止となった保育所における町外親子遠足の代替事業として、町内の観光事業を実施し、親子の思い出づくり、地元愛の醸成や地域活性化を図った。

（次頁へ続く）

2　款	1　項	19　目

	事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
評価成果	No.12 松島産カキ販路拡大事業	A	4.0	4.0	コロナ禍で需要が落ち込んだカキの販路拡大を支援することで、漁業者の事業継続を支援することができた。
	No.13 カキ養殖資材購入支援事業	A	4.0	4.0	コロナ禍で売上が減少した漁業者の資材購入費用を助成することで、事業継続を支援することができた。
	No.14 令和3年産主食用米作付け農家応援事業	A	4.0	4.0	コロナ禍で外食産業等における主食用米の需要減少や、資材高騰等の影響を受けている農業者に給付金を交付することで、事業継続を支援することができた。
	No.15 八百八島のクーポン券発行事業	A	3.0	3.3	遊覧船代1,500円と地域限定クーポン券1,500円を合わせた3,000円分のクーポン券を1セット1,000円で合計8,800セットを販売し、誘客促進を図ったことで地域経済の回復に寄与した。
	No.16 団体旅行の食事提供における衛生対策助成事業	A	3.3	3.7	団体旅行に食事を提供する飲食店等において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための衛生対策設備の設置を行うことにより、観光客が安心して訪れることができる環境の整備を図った。
	No.17 安全・安心なイベント開催を応援する事業	A	3.7	3.3	イベントの開催に伴う新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、衛生対策に係る経費を助成し、参加者が、安全で安心に楽しめるイベント開催につなげることで誘客促進に寄与した。
	No.18 宿泊施設の観光誘客支援事業	A	3.0	3.0	宿泊施設と体験型観光メニュー等が連携した今後の観光誘客につながるセットプランの新規開拓・販売及びイベントの実施などの取組みを支援することで誘客促進に寄与した。
	No.19 幼稚園児エクスカーション事業	A	3.7	4.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止となった幼稚園における町外親子遠足の代替事業として、町内の観光事業を実施し、地元愛の醸成と地域活性化を図った。
	No.20 社会教育施設・社会体育施設感染症拡大防止事業	A	4.0	4.0	多くの利用者が訪れる社会教育施設、社会体育施設にサーマルカメラを設置し、利用者間における感染症の拡大防止の一助となった。
	No.21 松島町事業継続応援給付金事業(加算分)	A	4.0	4.0	No.7事業で支援した事業者に対し更なる給付金を交付することで、事業継続を支援することができた。
	No.22 観光バス等応援事業	A	3.3	3.7	新型コロナウイルス感染症の流行及び拡大防止対策により打撃を受けた町内のバス、タクシー事業者に対し支援金を交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。
	No.23 子育て世帯への臨時特別給付金事業(所得制限撤廃分)	A	3.0	3.0	所得制限により子育て世帯への臨時特別給付金の対象とならなかった者に対して、臨時特別給付金を支給することで、子育て世帯間の差をなくし、感染症の影響が長期化する中で子育て世帯への支援を図れた。
	No.24 感染症予防対策換気型空調整備事業(高城保育所)	－	－	－	令和4年度へ繰越
	No.25 令和3年度主食用米作付け農家応援事業(追加分)	A	4.0	4.0	No.14事業で支援した農業者に対し更なる給付金を交付することで、事業継続を支援することができた。
	No.26 農水産業燃油価格高騰対策支援事業	A	4.0	4.0	燃油価格高騰の影響を強く受けているハウス園芸農家とカキ養殖業者に対し給付金を交付することで、事業継続を支援することができた。

(次頁へ続く)

実績

■総務課　環境防災班所管

【No.1　公共空間感染対策事業】

1　備品購入費
・除菌用オゾン発生装置　5台　1,247,004 円
内訳　町民バス／会議室用（60㎡）　2台
会議室等（100㎡）　2台
ホール等用（185㎡）　1台

■企画調整課所管

【No.2デジタルワーキングスペース構築事業 】

1　石田沢防災センター内テレワークスペース構築事業　712,580 円
・Wi-Fi環境構築、間仕切り・卓上パネル設置　17 ブース
令和3年度利用者数（令和3年9月～令和4年3月）　274 人（延べ）
2　松島町ワーケーション導入支援補助金交付事業　4,313,500 円
・町内宿泊事業者　9 事業者

■町民福祉課　町民サービス班所管

【No.3 コンビニエンスストア等証明書自動交付システム構築事業】

1　委託料
・コンビニエンスストア等証明書自動交付システム構築業務委託　16,500,000 円
・コンビニエンスストア等証明書自動交付システムデータ連携業務委託　22,000,000 円
・コンビニエンスストア等証明書自動交付システム導入ネットワーク環境構築業務委託　748,000 円

■町民福祉課　福祉班所管

【No.23　子育て世帯への臨時特別給付金事業(所得制限撤廃分)】

1　給付実績
100,000円×48人　4,800,000 円

■町民福祉課　こども支援班所管

【No.4　新生児給付金事業】

1　支給対象者数　48 人
2　給付金支給実績　4,900,000 円

【No.5　保育施設衛生環境対策事業】

1　工事請負費
・保育施設衛生環境対策工事　4,587,000 円

【No.10　帰省自粛学生支援事業】

1　利府松島商工会への補助金額　710,000 円
（商工会からの支援対象者数　39名）

【No.11　保育所児童エクスカーション事業】

1　観光ガイド謝礼及び見学料等　99,400 円
・観光ガイド料　10,050 円
・遊覧船乗船料　58,800 円
・瑞巌寺見学料　30,550 円

（次頁へ続く）

実績

■健康長寿課　高齢者支援班所管

【No.6　新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援事業】

1　交付件数　26件
2　交付決定額　20,900,000 円

■産業観光課　産業振興班所管

【No.7　松島町事業継続応援給付金事業】

1　交付決定事業者数　351事業者
2　交付決定額　45,000,000 円

【No.12　松島産カキ販路拡大事業】

1　宮城県漁業協同組合松島支所への補助金額　2,312,000 円
小サイズの剥き身カキ容器(300g･200g･150g)開発及びネット販売環境整備

【No.13　カキ養殖資材購入支援事業】

1　宮城県漁業協同組合松島支所への補助金額　2,003,581 円
（漁協から交付を受けた漁業者数　41名）

【No.14　令和3年産主食用米作付け農家応援事業】

1　交付決定農業者数　235名
2　交付決定額　8,884,800 円

【No.21　松島町事業継続応援給付金事業(加算分)】

1　交付決定事業者数　349事業者
2　交付決定額　10,720,000 円

【No.25　令和3年度主食用米作付け農家応援事業(追加分)】

1　交付決定農業者数　239名
2　交付決定額　14,038,000 円

【No.26　農水産業燃油価格高騰対策支援事業】

農業者支援
1　交付決定農業者数　4名
2　交付決定額　2,216,000 円

漁業者支援
3　宮城県漁業協同組合松島支所への補助金額　1,721,500 円
（漁協から交付を受けた漁業者数　43名）

■産業観光課　観光班所管

【No.15　八百八島のクーポン券発行事業】　18,995,567 円

1　内容　遊覧船代1,500円分と地域限定のクーポン券1,500円分を1セットとし、1,000円で8,800セットを販売する。
2　日程　遊覧船利用券及び地域限定クーポン券使用期間　令和3年9月4日～11月30日
3　参加数　遊覧船利用券対象　2事業者
地域限定クーポン券対象　116施設等

（次頁へ続く）

実績

【No.16　団体旅行の食事提供における衛生対策助成事業】　1,148,000 円

1　内容　団体旅行に食事を提供する飲食店等の事業者に対し、感染拡大防止のための衛生対策費を助成する。
対象経費の5分の4以内
上限　1施設につき250,000円
2　日程　申請期間　令和3年6月15日～8月31日
3　申請　6事業者

【No.17　安全・安心なイベント開催を応援する事業】　4,890,000 円

1　内容　イベントの実行委員会に対し、感染拡大防止のための費用について助成する。
上限　1イベントあたり15,000,000円
2　日程　申請期間　令和3年6月15日～11月30日
3　申請　4イベント実行委員会

【No.18　宿泊施設の観光誘客支援事業】　4,454,000 円

1　内容　宿泊施設事業者に対し、今後の観光誘客につながる宿泊施設と体験型観光メニュー等が連携したセットプランの新規開拓・販売及びイベントの実施などの取組みに係る費用を助成する。
対象経費の5分の4以内
上限　・30室未満：250,000円
・30室～100室未満：400,000円
・100室以上：800,000円
2　日程　申請期間　令和3年6月15日～12月31日
3　申請　2件（8事業者）

【No.22　観光バス等応援事業】　6,000,000 円

1　内容　バス、タクシー事業者に対し、保有する台数に応じた支援金を交付する。
貸切バス1車両あたり200,000円
タクシー1車両あたり100,000円
上限　1事業者につき20台
2　日程　申請期間　令和3年9月16日～10月29日
3　申請　3事業者

■教育課　学校教育班所管

【No.8　学校施設衛生環境対策事業】

1　工事請負費
・松島町立学校施設衛生環境対策工事　7,370,000 円

【No.9　中学校特別教室感染対策空調設備整備事業】　4,510,000 円

1　工事請負費
・松島中学校特別教室感染対策空調設備整備工事　3,025,000 円
・松島中学校特別教室感染対策空調設備整備その2工事　1,485,000 円

【No.19　幼稚園児エクスカーション事業】

1　観光ガイド謝礼及び見学料等　67,500 円
・観光ガイド料　10,050円
・遊覧船乗船料　36,000円
・瑞巌寺見学料　21,450円

（次頁へ続く）

2　款	1　項	19　目

実績

■教育課　生涯学習班、中央公民館所管

【No.20　社会教育施設・社会体育施設感染症拡大防止事業】

1　サーマルカメラ（4台）購入　1,361,800 円
2　設置場所
　社会教育施設（文化観光交流館、勤労青少年ホーム）　2箇所
　社会体育施設（温水プール美遊、B&G海洋センター）　2箇所

一　般　会　計

2　款	1　項	20　目	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	271,602	271,527		271,339			188

目的

宮城県の時短要請に協力した飲食店に対し、宮城県の新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業補助金を財源に、松島町感染症拡大防止協力金を交付する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業	A	4.0	4.0	令和3年4月～5月に宮城県内でまん延防止等重点措置が発令され、時短要請に協力した飲食店に対し、速やかに協力金を交付することができた。
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業(その2)	A	4.0	4.0	令和3年8月～9月に宮城県内で緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発令され、時短要請に協力した飲食店に対し、速やかに協力金を交付することができた。

実績

1　新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金

(1)第5期分(4.5～5.6要請対応分)

交付決定事業者数　55事業者
交付決定店舗数　69店舗
交付決定額　85,560,000 円

(2)第5期延長分(5.6～5.12要請対応分)

交付決定事業者数　0 55事業者
交付決定店舗数　69店舗
交付決定額　8,280,000 円

2　新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(その2)

(1)第10期分(8.20～8.26要請対応分)

交付決定事業者数　62事業者
交付決定店舗数　77店舗
交付決定額　23,709,000 円

(2)第11期分(8.27～9.12要請対応分)

交付決定事業者数　82事業者
交付決定店舗数　100店舗
交付決定額　97,155,000 円

(3)第12期分(9.13～9.30要請対応分)

交付決定事業者数　60事業者
交付決定店舗数　74店舗
交付決定額　56,286,000 円

課題方向性

今後も同様の要請により協力金を交付する事態が発生した場合は、今回と同様に速やかな交付に努める。

一　般　会　計

2　款	1　項	22　目	新型コロナウイルス感染症対応事業者支援事業費
担当部署名	産業観光課産業振興班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,939	6,007		5,875			132

目的

宮城県の新型コロナウイルス感染症対応事業者支援市町村事業補助金を財源に、感染症の影響を受けている中小企業・小規模企業者の事業継続を目的とした給付金を交付する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
酒類販売事業者応援事業	A	4.0	4.0	コロナ禍の影響で需要が低下している酒類販売事業者の事業継続を支援することができた。
事業所家賃補助事業	A	4.0	4.0	コロナ禍の影響で売上が減少し、家賃支払いが事業継続の負担となっている事業者を支援することができた。

実績

1　酒類販売事業者応援事業補助金
交付決定事業者数　12事業者
交付決定額　2,600,000 円

2　事業所家賃補助金
交付決定事業者数　45事業者
交付決定額　3,392,000 円

課題方向性

今後も同様の補助金があった場合、適切に運用し事業者支援を図る。

一　般　会　計

2　款	2　項	1 2　目	税務総務費 賦課徴収費
担当部署名	財務課税務班・特別滞納整理室		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	66,204 36,262	65,630 30,214		8,337 11,617		489 616	56,804 17,981

目的

課税資料の収集と課税台帳の整備をし、適正な課税を行う。
また、的確な滞納整理を行い、徴収率の向上及び収入未済額の縮減を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
納税貯蓄組合関係事務	A	2.0	2.5	個人町民税賦課に関する確定申告の受付については、昨年に引き続き申告会場において新型コロナウイルス感染症への感染予防対策を行い、また電子申告の周知、勧奨を実施した。 固定資産税の賦課事務については、評価替えを実施し、資産価格の変動に対応した適正な評価額の見直しを行った。 徴収率については、個別の状況に応じた滞納整理の実施や新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例制度適用分の納付もあり、現年課税分が99.7%で前年度より5.4%の増、現年課税分及び滞納繰越分を合わせた町税全体が96.5%（調定額1,738,424千円、収入済額1,677,902千円）で前年度より3.8%の増となった。
住民税賦課事務	B	－	3.7	
固定資産税賦課事務	B	－	4.0	
徴収関係事務	B	－	3.7	
その他賦課関係事務	B	－	3.7	
特別滞納整理事務	A	4.0	4.0	
（参考） 国保税賦課徴収事務	B	－	4.0	

実績

1　個人町民税

・現年課税分の内訳

所得区分		課税額（千円）	納税義務者（人）
給与所得者		427,626	4,887
営業等所得者		22,903	326
農業所得者		1,304	22
その他の所得者		52,677	1,331
家屋敷等のみ		18	5
計		504,528	6,571
内訳	特別徴収にかかる課税	416,218	5,401
	普通徴収にかかる課税	88,310	1,170

※所得区分は、総務省統計の課税状況等調査区分による。
※「その他の所得者」の主な者は、年金所得者、譲渡所得者である。

・申告相談受付　期　間　令和　4　年　2月　16　日～　3月　15　日
　　場　所　松島町文化観光交流館
　　件　数　確定申告　1,121 件
　　町・県民税申告　555 件

2　法人町民税

・現年課税分の内訳

区　分	課税額（円）	納税義務者（事業所）
均等割	32,382,200	340
税　割	13,148,700	121
計	45,530,900	461

※納税義務者（事業者）均等割のうち税割分も含む。

実績

3　固定資産税

・現年課税分の内訳

区　　分	課税額（円）	納税義務者（人）
土　　地	219,692,600	5,264
家　　屋	274,208,800	4,797
償　却　資　産	376,931,500	178
国有資産等所在市町村交付金	835,400	3
計	871,668,300	10,242

・地方税法附則第63条の規定による課税標準の特例措置（コロナ特例）の減収額

区　　分	固定資産税（円）	都市計画税（円）	件数（件）
家　　屋	112,216,000	10,754,000	73
償　却　資　産	29,596,000		60
計	141,812,000	10,754,000	133

4　軽自動車税

・現年課税分の内訳

区　　分		課税額（円）	課税台数（台）
環境性能割	軽　自　動　車	1,348,200	70

区　　分		課税額（円）	課税台数（台）
種別割	原動機付自転車	671,400	315
	軽　自　動　車	33,280,500	4,101
	小型特殊自動車	872,700	333
	二輪の小型自動車	888,000	148
計		35,712,600	4,897

5　町たばこ税

区　　分	課税額（円）	売上本数（本）
製　造　た　ば　こ	86,054,650	13,686,622
手　持　ち　品	226,885	527,646
計	86,281,535	14,214,268

6　入湯税

・現年課税分の内訳

区　　分	課税額（円）	入湯者数（人）
宿　　泊	19,725,150	131,501
日　帰　り	1,285,200	25,704
計	21,010,350	157,205

7　都市計画税

・現年課税分の内訳

区　　分	課税額（円）	納税義務者（人）
土　　地	28,379,600	3,529
家　　屋	28,553,300	3,359
計	56,932,900	6,888

実績

8　徴収の状況

・現年課税分

区分 / 税目	令和3年度 調定額（千円）	令和3年度 収入済額（千円）	令和3年度 徴収率(%)	令和2年度 調定額（千円）	令和2年度 収入済額（千円）	令和2年度 徴収率(%)	比較増減（令和3年度-令和2年度） 調定額（千円）	比較増減 収入済額（千円）	比較増減 徴収率(%)
町民税	550,059	548,114	99.6	581,856	578,274	99.4	△ 31,797	△ 30,160	0.2
（個人）	504,528	502,686	99.6	531,294	528,359	99.5	△ 26,766	△ 25,673	0.1
（法人）	45,531	45,428	99.8	50,562	49,915	98.7	△ 5,031	△ 4,487	1.1
固定資産税	871,668	869,268	99.7	830,275	748,935	90.2	41,393	120,333	9.5
軽自動車税	37,061	36,995	99.8	36,358	36,310	99.9	703	685	△ 0.1
町たばこ税	86,282	86,282	100.0	79,383	79,383	100.0	6,899	6,899	0.0
入湯税	21,010	21,010	100.0	22,299	22,299	100.0	△ 1,289	△ 1,289	0.0
都市計画税	56,933	56,650	99.5	69,361	62,715	90.4	△ 12,428	△ 6,065	9.1
計	1,623,013	1,618,319	99.7	1,619,532	1,527,916	94.3	3,481	90,403	5.4
※国民健康保険税	212,375	207,380	97.6	234,494	226,603	96.6	△ 22,119	△ 19,223	1.0

・滞納繰越分

区分 / 税目	令和3年度 調定額（千円）	令和3年度 収入済額（千円）	令和3年度 徴収率(%)	令和2年度 調定額（千円）	令和2年度 収入済額（千円）	令和2年度 徴収率(%)	比較増減（令和3年度-令和2年度） 調定額（千円）	比較増減 収入済額（千円）	比較増減 徴収率(%)
町民税	14,717	3,373	22.9	18,641	3,382	18.1	△ 3,924	△ 9	4.8
（個人）	13,579	2,978	21.9	17,797	3,229	18.1	△ 4,218	△ 251	3.8
（法人）	1,138	395	34.7	844	153	18.1	294	242	16.6
固定資産税	92,678	50,279	54.3	16,723	3,700	22.1	75,955	46,579	32.2
軽自動車税	252	39	15.5	357	40	11.2	△ 105	△ 1	4.3
町たばこ税	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
入湯税	92	92	100.0	462	370	80.1	△ 370	△ 278	19.9
都市計画税	7,672	5,800	75.6	1,589	460	28.9	6,083	5,340	46.7
計	115,411	59,583	51.6	37,772	7,952	21.1	77,639	51,631	30.5
※国民健康保険税	40,239	7,202	17.9	56,795	8,301	14.6	△ 16,556	△ 1,099	3.3

9　納税貯蓄組合関係

・納税貯蓄組合からの収入状況

税目	収入件数(件)	収入金額(円)	組合数
個人町県民税	209	4,823,100	24
固定資産税・都市計画税	1,716	24,333,400	
軽自動車税	223	1,399,700	
国民健康保険税	908	9,426,900	
計	3,056	39,983,100	

※本表の件数は、期別単位で集計している。

・補助金交付額　町税関係（一般会計）　830,382 円
　国民健康保険税関係（国保会計）　228,363 円

10　口座振替の状況

税目	口座振替 請求(依頼)件数(件) ①	請求(依頼)金額(千円) ②	振替件数(件) ③	振替金額(千円) ④	振替不能件数(件) ①-③	振替不能金額(千円) ②-④
個人町県民税	1,049	29,933	1,006	28,659	43	1,274
固定資産税・都市計画税	8,591	181,659	8,440	179,272	151	2,387
軽自動車税	584	3,587	570	3,473	14	114
国民健康保険税	5,509	59,514	5,362	57,222	147	2,292
計	15,733	274,693	15,378	268,626	355	6,067

※本表の件数は、期別単位で集計している。

実績

11　コンビニ収納の状況

税目	コンビニ収納					
	現年課税分		滞納繰越分		計	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
個人町県民税	2,023	44,494	71	1,187	2,094	45,681
固定資産税・都市計画税	6,226	86,513	31	393	6,257	86,906
軽自動車税	1,940	15,203	3	13	1,943	15,216
国民健康保険税	4,251	48,259	243	2,952	4,494	51,211
計	14,440	194,469	348	4,545	14,788	199,014

12　スマートフォン等アプリ決済の状況

税目	スマートフォン等アプリ決済					
	現年課税分		滞納繰越分		計	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
個人町県民税	215	4,596	14	466	229	5,062
固定資産税・都市計画税	641	10,621	0	0	641	10,621
軽自動車税	209	1,540	0	0	209	1,540
国民健康保険税	234	2,226	9	171	243	2,397
計	1,299	18,983	23	637	1,322	19,620

13　催告文書等発送

区分	件数
督促状	5,913
催告書	1,659

14　滞納処分等状況

区分		件数
差押	不動産	1
	預貯金	183
	給与（賞与）・年金	13
	国税・県税還付金	9
	その他債権	7
	自動車・小型船舶	0
参加差押	動産	1
	不動産	3
差押・参加差押計		217
交付要求		6
徴収猶予		10
換価の猶予		48
捜索		2
滞納処分執行停止		54

課題方向性

課税事務については、今後も税務署や県税事務所等と連携、協力を図りながら、課税資料の収集や調査等を行い、公平・公正な課税を行っていく。

徴収事務においては、未だ新型コロナウイルス感染症による影響が続く中ではあるが、引き続き、現年課税分を優先し、新たな滞納を発生させないことに主眼を置き、税収の確保や租税負担の公平を期するため、猶予制度の適用も含めた早期の滞納整理に着手する。

また、納税者の納付手段の拡大に継続して取組み、口座振替の推進やスマートフォン等アプリ決済の利用促進により、納税意識の啓発に努めるとともに、納期内納税者の増加を図る。

一　般　会　計

2　款	3　項	1　目	戸籍住民基本台帳費
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	48,976	43,834	8,383	18		4,430	31,003

目的

戸籍法や住民基本台帳法等の各種法令に基づき、住民の居住関係、身分関係等を正確、迅速に記録し、住民ニーズに即した各種証明書やマイナンバーカード等の交付に努め、行政サービスの向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
戸籍・住民基本台帳事務経費	B	－	3.7	戸籍や住民基本台帳について、正確な記録等の事務処理を行ったことにより行政サービスの向上に繋がった。 また、戸籍法等の改正に伴う戸籍総合システムや住基システムについて、国の示すスケジュールに沿い適切に改修作業を実施した。
住民基本台帳ネットワークシステム業務経費	B	－	3.7	住民基本台帳ネットワークシステムについて、正確な記録等の事務処理を行ったことで、本人確認情報の記録や、住民票等の記載事項に関する通知等の送受信が行われ、行政サービスの向上に繋がった。
番号制度（マイナンバー）導入事業	B	－	3.7	マイナンバーカードについて、未作成者への申請書再送付やマイナポイント事業により交付件数が増えたが、細心の注意を払い迅速に事務処理を行うことで普及に努めた。

実績

1　戸籍事務

・本籍数・本籍人口数(令和4年3月31日現在)

本籍数	7,380
本籍人口数	17,172

・戸籍編纂　（単位：件）

新戸籍編製数	104
除籍数	158

・戸籍届出件数　（単位：件）

出生	101	職権訂正	14	婚姻	150	姻族関係終了	3
転籍	78	死亡	276	養子離縁	3	国籍選択	2
法第73条の2※1	2	養子縁組	12	離婚	34		
法第77条の2※2	12	認知	3	復氏	4		
入籍	42	分籍	4	不受理申出	4	合計	744

※1　戸籍法第73条の2（離縁の際に称していた氏を称する届）
※2　戸籍法第77条の2（離婚の際に称していた氏を称する届）

・戸籍謄抄本交付件数　（単位：件）

種別	一般交付	公用交付	合計
戸籍謄本	2,072	556	2,628
戸籍抄本	332	8	340
除籍謄本	1,862	1,365	3,227
除籍抄本	4	2	6
受理証明	24	0	24
戸籍届出証明	2	0	2

（次頁へ続く）

2　款	3　項	1　目

実績

2　住民基本台帳事務

・住民基本台帳登録者数（令和4年3月31日現在）

人口及び世帯数	日　本　人	13,373 人	5,653 世帯
	外　国　人	72 人	61 世帯
	合　計	13,445 人	5,714 世帯

・異動関係

区分		処理件数	
転入届		257 件	375 人
転出届		284 件	351 人
転居届		105 件	170 人
世帯主変更届		110 件	
住民票職権修正		457 件	
内訳	出生	50 件	
	死亡	230 件	
	その他修正	177 件	

・交付件数

種別	一般交付	公用交付	合計
住民票謄本	1,856 件	150 件	2,006 件
住民票抄本	3,304 件	214 件	3,518 件
住民票閲覧	174 件	0 件	174 件
附票	312 件	601 件	913 件
広域交付住民票	3 件	0 件	3 件

・住基カード登録済件数　103 件
・マイナンバーカード登録済件数　5,165 件　交付件数　1,688 件

3　印鑑登録事務
・新規登録件数　257 件　登録済件数　9,662 件
・印鑑再登録　153 件
・印鑑証明　一般交付　3,512 件　公用交付　5 件

4　埋火葬許可に関する事務
・許可件数　230 件

5　戸籍住民基本台帳等手数料

種別		交付数(件)	金額(円)	延長窓口交付数(件)	金額(円)	手数料計(円)
戸籍関係		4,260	2,472,400	36	18,000	2,490,400
住民票関係		5,522	1,136,200	124	25,200	1,161,400
印鑑証明		3,563	712,600	102	20,400	733,000
住基ネット	広域	3	900	0	0	900
その他証明	身分証明	141	28,200	2	400	28,600
	独身証明	29	5,800	1	200	6,000
	不在住証明等	18	3,600	0	0	3,600
マイナンバーカード		9	7,200	0	0	7,200
合計		13,545	4,366,900	265	64,200	4,431,100

課題方向性

各種法令に基づき、適法な記録、証明等を行い、正確、迅速な事務処理によって行政サービスの向上に努める。

なお、戸籍法等の改正により今後本籍地以外での戸籍謄本の取得等が行われることや、転出・転入ワンストップ化に係るシステム変更により運用が大きく見直されることから、新たな事務を正確に行えるよう制度改正について引続き注視する。

一　般　会　計

2　款	4　項	3　目	衆議院議員総選挙費
担当部署名	選挙管理委員会事務局		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,566	7,561	7,561				

目的

衆議院議員総選挙により、小選挙区選出議員・比例代表選出議員・最高裁判所裁判官国民審査の投票を行い、国会議員選出と最高裁判所裁判官の国民審査を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
衆議院議員総選挙費	B	－	3.7	近年、国政選挙、地方選挙とも投票率の低下が問題となっており、特に国政選挙にあっては5割台となっている現状のため、有権者への投票を呼びかける啓発等を行った。 当町での投票率を前回選挙と比較すると、期日前投票で4.44％下回ったものの、最終的な投票率では、4.71％上回る結果となった。 また、コロナ禍における選挙の執行となったが、大きな混乱もなく適切に選挙事務を管理執行できた。

実績

1　選挙期日の公示日　　令和3年10月19日

2　選挙の期日（投開票日）　令和3年10月31日

3　期日前投票者数

投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）		
	男	女	計	男	女	計
R3.10.31	1,272	1,528	2,800	35.53	38.34	37.01
H29.10.22	1,393	1,710	3,103	39.02	43.66	41.45

−4.44

4　投票の結果（小選挙区）

区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）
男	5,713	3,580	62.66
女	6,232	3,985	63.94
計	11,945	7,565	63.33

＋4.71

＊前回(H29.10.22)の投票率

投票率（%）
56.68
58.57
58.62

5　開票の結果（小選挙区）

【候補者別得票数】（得票順）

安住　淳　　4,220 票

もりした　千里　　3,168 票

投票総数　7,565 票

有効投票数　7,388 票

無効投票数　177 票

（次頁へ続く）

実績

6　開票の結果（比例代表）

政党別得票数(個人名得票含む)		
届出順	政党名	得票数
1	社会民主党	174.000
2	立憲民主党	1,673.875
3	日本共産党	681.000
4	自由民主党	2,864.000
5	日本維新の会	516.000
6	国民民主党	239.125
7	れいわ新選組	203.000
8	公明党	949.000
9	NHKと裁判してる党弁護士法第72条違反で	81.000
計		7,381.000

投 票 総 数
7,565.000 票
有効投票数
7,381.000 票
按分切捨票数
0.000 票
無効投票数
184.000 票

7　開票の結果（最高裁判所裁判官国民審査）

裁判官氏名	罷免可とする得票数	罷免不可とする得票数
深山　卓也	466	6,816
岡　正晶	351	6,931
宇賀　克也	378	6,904
堺　徹	358	6,924
林　道晴	429	6,853
岡村　和美	385	6,897
三浦　守	395	6,887
草野　耕一	384	6,898
渡邉　惠理子	361	6,921
安浪　亮介	325	6,957
長嶺　安政	403	6,879

投 票 総 数
7,509 票
有効投票数
7,282 票
無効投票数
227 票

課題
方向性

宮城県知事選挙が同日に執行されたことで、通常より投票事務が増大し、事務量に適した選挙事務従事者の確保に苦慮するところがあったことから、職員へ早めの協力要請を行い人員の確保に努める。

一　般　会　計

2　款	4　項	4　目	宮城県知事選挙費
担当部署名	選挙管理委員会事務局		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,693	1,688		1,688			

目的

任期満了に伴う宮城県知事の選出を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
宮城県知事選挙費	B	－	3.7	東日本大震災からの復興の方向性の評価、また、今後のコロナウイルス対策が主な焦点となる県民の関心の高い選挙であったため、前回選挙と比較すると、期日前投票で4.46％下回ったものの最終的な投票率では4.64％上回る結果となった。また、コロナ禍における選挙の執行となったが、大きな混乱もなく適切に選挙事務を管理執行できた。

実績

1　選挙期日の告示日　　令和3年10月14日

2　選挙の期日（投開票日）　令和3年10月31日

3　期日前投票者数

投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）		
	男	女	計	男	女	計
R3.10.31	1,273	1,530	2,803	35.57	38.37	37.04
H29.10.22	1,395	1,713	3,108	39.06	43.72	41.50

－4.46

4　投票の結果

区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）
男	5,670	3,579	63.12
女	6,198	3,988	64.34
計	11,868	7,567	63.76

＋4.64

＊前回(H29.10.22)の投票率

投票率（%）
59.12
59.12
59.12

5　開票の結果

【候補者別得票数】（得票順）

村井　よしひろ　　5,166 票

長　　純一　　2,287 票

投票総数　7,567 票

有効投票数　7,453 票

無効投票数　114 票

課題方向性

衆議院議員総選挙が同日に執行されたことで、通常より投票事務が増大し、事務量に適した選挙事務従事者の確保に苦慮するところがあったことから、職員へ早めの協力要請を行い人員の確保に努める。

一　般　会　計

2　款	4　項	5　目	松島町議会議員選挙費
担当部署名	選挙管理委員会事務局		（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,758	11,522					11,522

目的

任期満了に伴う松島町議会議員一般選挙による町議会議員の選出を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
松島町議会議員選挙費	B	－	3.7	任期満了に伴う松島町議会議員一般選挙は、議員定数14人に対し18人が立候補した。当選挙の期日前投票者数が投票者総数に占める割合は30.55％、最終的な投票率は62.38％といずれも前回の同選挙の投票率を上回り、町民の関心の高さが伺えた。また、松島町議会議員及び松島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例が施行されて最初の選挙であったが、大きな混乱もなく条例に基づく事務が適切に執行された。

実績

1　選挙期日の告示日　　令和3年11月30日

2　選挙の期日（投開票日）　令和3年12月5日

3　期日前投票者数

投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）		
	男	女	計	男	女	計
R3.12.5	960	1,298	2,258	28.19	32.56	30.55
H29.12.3	922	1,203	2,125	25.38	28.49	27.05

＋3.50

4　投票の結果

区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）
男	5,661	3,405	60.15
女	6,187	3,986	64.43
計	11,848	7,391	62.38

＋0.29

＊前回（H29.12.3）の投票率

投票率（%）
60.22
63.79
62.09

5　開票の結果

【候補者別得票数】（得票順）

杉原　たかし	804.000 票	片山　正弘	403.000 票
かんの　隆二	640.000 票	阿部　ゆきお	381.000 票
色川　晴夫	582.000 票	桜井　やすし	324.142 票
後藤　よしろう	553.000 票	高橋　としのり	305.000 票
桜井　ていこ	526.857 票	赤間　ゆきお	304.000 票
今野　章	504.000 票	しぶや　秀夫	297.000 票
米川　しゅうじ	491.000 票	緑山　市朗	166.000 票
小澤　陽子	449.000 票	角田　ゆういち	122.000 票
高橋　ゆきひこ	429.000 票	佐藤　皓一	43.000 票

投票総数	7,391.000　票
有効投票数	7,323.999　票
按分切捨票数	0.001　票
無効投票数	67.000　票

課題方向性

コロナ禍においては、啓発活動が困難な状態となるため、他自治体の事例を参考にするなどし、投票の棄権防止と投票率低下の抑制を図る。

一　般　会　計

2　款	5　項	1　目	統計調査総務費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,078	6,965		18		4	6,943

目的

正確かつ円滑な統計調査の実施のため、統計調査員を確保する。また、調査結果などを基に松島町統計資料を作成・発行する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
統計調査員確保対策経費	B	－	3.0	町統計調査員協議会への補助金交付事務により、統計調査員の資質向上、新規の統計調査員の加入促進を図り、また各種統計調査への協力を得ることができた。

実績

【統計書等発行経費】

「松島町統計資料」の発行
・発行時期　　令和4年3月
・発行部数　　松島町統計資料：100部
　　松島町統計資料ダイジェスト版：300部

【統計調査員確保対策経費】

統計調査員事務研究会会員数

（単位：人）

年度	総数	男	女
令和元年度	25	19	6
令和2年度	26	18	8
令和3年度	26	18	8

課題方向性

統計調査員事務研究会の会員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、新規会員を募集し、統計調査員の次世代育成を図っていく。
また、松島町統計資料の作成・発行を継続し、各種行政施策に活用していく。

一　般　会　計

2　款	5　項	2　目	指定統計費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,005	981		940			41

目的

各種統計調査を迅速かつ正確に実施し、行政施策の企画・立案等の基礎資料を得る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
経済センサス	B	－	3.7	令和3年経済センサス-活動調査を地域の実情に合わせ国統一の調査要領で、令和3年6月1日を基準日とし、町内の事務所及び企業を対象に調査を実施し、全産業分野の売上金額や費用などの経理項目の情報が得られた。また、経済センサス調査区設定において、設定調査区を報告した。
工業統計調査事務経費	B	－	3.0	令和4年工業統計調査に係る準備事務を予定したが、令和4年以降、基幹統計調査である工業統計調査は中止され、経済構造実態調査に包摂されることとなった。

実績

【経済センサス】

令和3年経済センサス-活動調査：事務所及び企業を対象に実施し、調査書類等の県への提出が完了した。

- 調査基準日：令和3年6月1日
- 指導員：1名
- 調査員：8名
- 設定調査区：31調査区

課題方向性

国や地方公共団体の行政施策に係る基礎資料を得るため、無事故で正確かつ円滑な調査に引き続き努める。

一　般　会　計

3　款	1　項	1　目	社会福祉総務費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	204,977	200,752	11,676	39,380		738	148,958

目的

地域社会における社会福祉の諸問題に取り組み、福祉の向上を図るため、関係団体との連携、支援を行い、その活動の円滑な推進を図る。また、高齢者や障がい者を含めた低所得世帯の相談窓口となり、生活の安定に向けた支援を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
民生委員等に要する経費	B	－	4.0	社会情勢の変化に伴い、所得格差による貧困・虐待・高齢化などの問題が山積みしているが、このような問題を顕在化するためにも民生委員児童委員の活動は重要な役割を果たした。
社会福祉協議会に要する経費	B	－	3.7	社会情勢の変化に伴い、社会福祉協議会のニーズは高まっている。民生委員・児童委員、各種団体との連携を取りながら地域福祉の推進を図ることができた。
社会福祉団体等に要する経費	B	－	3.0	人権擁護委員会、遺族会、保護司会、更生保護女性会の活動を支援することにより、町民へ必要情報等を定期的に周知することができた。
その他社会福祉に要する経費	B	－	3.7	生活困窮者等への支援や相談を関係機関等と連携しながら適切に行うことができた。
緊急福祉灯油助成事業	B	－	3.0	原油価格高騰で灯油価格が大幅に引き上げられていることから、冬季間における生活困窮者等の負担軽減を図ることができた。

実績

【民生委員等に要する経費】

・民生委員児童委員活動報償　1,920,000 円
　支給人数　40人

【社会福祉協議会に要する経費】

・(社)松島町社会福祉協議会　8,500,000 円
　社会福祉協議会の地域福祉活動、ボランティア活動及び運営に関する事業の経費について助成を行った。

【社会福祉団体等に要する経費】

1 塩釜地区人権擁護委員協議会　45,000 円
　塩釜地区人権擁護委員協議会の事業に要する経費について助成を行った。

2 松島町保護司会　200,000 円
　保護司会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。

3 松島町更生保護女性会　30,000 円
　更生保護女性会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。

（次頁へ続く）

3　款	1　項	1　目

実績	4 松島町遺族会　50,000 円 戦没者遺族の援護事業に関する事業の経費について助成を行った。 【その他社会福祉に要する経費】 1　生活保護申請受付件数　22件　相談件数　30件 2　行旅死亡人火葬費用等　4件　920,070 円 【緊急福祉灯油購入助成事業】　5,700,000 円 原油価格高騰で灯油価格が大幅に引き上げられていることから、冬季間における生活困窮者等(住民税均等割非課税世帯)の負担軽減を図った。 支給世帯　1,140世帯
課題 方向性	民生委員児童委員はコロナ禍に即した活動をしており、住民の福祉向上や安心な生活環境づくりに寄与している。各種団体も社会福祉の増進のため、事業を実施している。それぞれが各地域に根ざし現在の状況を踏まえた活動を実施していることから、今後も継続して行っていく必要がある。

一　般　会　計

3　款	1　項	2　目	障害者福祉費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	405,203	379,882	168,116	99,557		938	111,271

目的

障害者自立支援給付事業及び地域生活支援事業の実施により、福祉サービス体制の充実を図り、障がい者・障がい児の自立や社会参加を支援すると共に、家族や支援者の負担の軽減につなげる。

また、心身障がい者の医療費を助成することにより、医療機会を確保し、心身障がい者の家庭の経済的安定と福祉の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
障害者自立支援給付事業	B	－	3.0	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス（介護給付及び訓練給付）の支給決定、補装具費及び自立支援医療給付を実施し、障がい者の日常生活の支援に努めた。 また、児童福祉法に基づく障害児通所支援給付を行った。
相談支援事業	B	－	3.0	町内の障がい者（児）からの相談に対し、相談支援専門員による支援を行えるよう、特定指定相談支援事業所を設置し、適切な計画作成業務や障害福祉サービスの適正な利用ができるよう努めた。
地域活動支援センター事業	B	－	3.0	障がい者（児）並びに保護者や家族が交流できる場所として、希望園を地域活動支援センターとして創作作業等を実施し、日常生活や社会生活への支援を実施することができた。
地域生活支援事業	B	－	3.0	障がい者（児）に対して、日常生活用具（ストーマ・人工鼻等）購入に係る助成を実施し、また、外出のための移動支援、訪問入浴サービスの支給を実施し、日常生活の支援を行うことができた。
障害者医療対策費	B	－	3.0	重度の身体障がい者（身体障害者手帳1級、2級及び内部障害3級）、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方の医療費に関して助成を行い、経済的負担の軽減を図った。
在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業	B	－	3.0	町内に住所を有する在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障がい者に対し、酸素濃縮器の使用による電気料を一部助成し、経済的負担の軽減を図ることができた。
身体障害者相談員事業	B	－	3.0	相談員は、障がい者からの相談を受け、必要に応じ助言や指導を行い、地域活動の促進や関係団体との連携を図り、広く福祉の増進に努めることができた。
福祉団体等に要する経費	B	－	3.0	松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会及び松島町身体障害者福祉協会の研修会や車いすテニス体験会などの活動への助成を行うことで、会員相互の交流や情報交換、関係機関との連携などが図られた。
障害者自立支援推進委員会経費	A	3.7	3.0	障がい福祉計画及び障がい児福祉計画、障がい者計画の策定及び見直しを行う際に民意の反映や適正な実施を図るため、委員会に計画の実施状況を報告する予定であったが、コロナ禍により開催できなかった。
障害者福祉助成事業	B	－	3.0	在宅で障がいの重い方々を対象に、外出支援として福祉タクシー券及びガソリン利用券の共通券を配布し、また、在宅生活で常時おむつを必要とする方に、紙おむつ購入費用を助成し、経済的負担と軽減を図った。
難聴児補聴器購入助成事業	B	－	3.0	町内在住の身体障害者手帳の交付対象とならない軽度または中等度の難聴児の補聴器購入に係る費用が助成される事業があることにより、難聴児を養育する家庭の精神的負担の軽減に繋がる体制を確保した。

（次頁へ続く）

3　款	1　項	2　目

実績

【障害者自立支援給付事業】

1　障害支援区分にかかる審査判定

障がい福祉サービスのうち介護給付利用申請者について、障害支援区分の審査判定を塩釜地区消防事務組合の障害支援区分審査会にて実施し、審査判定を行った。

○ 令和3年度審査受付数　31　人

2　障がい福祉サービス等事業

○ 障がい福祉サービス　234,530,009 円

・ 障がい福祉サービス受給者証交付　115　人

・ 利用者数及び支給額

サービス種類	延利用者数（人）	支給額（円）
居宅介護	243	10,036,454
同行援護	36	853,433
療養介護	24	6,116,450
生活介護	348	65,726,316
短期入所	143	6,015,232
施設入所支援	164	20,586,397
共同生活援助（グループホーム）	203	31,210,675
宿泊型自立訓練	7	941,475
自立訓練（生活訓練）	7	1,269,237
就労移行支援	44	8,604,681
就労継続支援（A型）	126	18,697,968
就労継続支援（B型）	432	55,442,951
就労定着支援	9	240,937
計画相談支援	368	5,204,565
地域定着支援	12	36,770
特定障害者特別給付費（施設入所支援分）	－	1,526,973
特定障害者特別給付費（共同生活援助分）	－	2,019,495

○ 障がい児通所支援　37,435,454 円

・ 障がい児通所支援受給者証交付　26　人

・ 利用者数及び支給額

サービス種類	延利用者数（人）	支給額（円）
障害児相談支援	138	2,184,526
児童発達支援	169	22,706,457
放課後等デイサービス	171	12,486,957
保育所等訪問支援	3	57,514

○ 補装具費給付事業（購入及び修理）　1,441,776 円

（補聴器、短下肢装具、長下肢装具、車いす、電動車いすなど）

給付人数　延べ　25人

○ 高額障害福祉サービス等給付事業　275,699 円

給付世帯　2世帯

○ 特別介護給付事業　26,620 円

給付人数　1人

○ 自立支援医療（更生医療）給付事業　43,187,507 円

・ 利用者　実人数　53人

（腎臓52人、免疫1人）

○ 自立支援医療（育成医療）給付事業　153,231 円

・ 利用者　実人数　2人

（聴覚・平衡機能障害1人、音声・言語・そしゃく機能障害1人）

（次頁へ続く）

実績

○ 療養介護医療給付事業 1,297,676 円
・利用者　　実人数　2人（身体障害者2人）

○ 未熟児養育医療給付事業 108,156 円
・利用者　　実人数　1人

【相談支援事業】
在宅の障がい者の自立を目的として各種の事業を行った。

○ 宮城東部地域生活支援拠点等事業 2,285,000 円
在宅で暮らす障がい者や障がい児とその家族等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう相談支援事業を実施した。
また、家族等が緊急かつやむを得ない事情等により一時的に不在となる場合等について、緊急の受入れ体制を整備しセーフティーネットとした。
さらに、地域における障がい者等への支援体制に関する課題について、地域の実情に応じた体制整備を行うため、二市三町で構成する宮城東部地域自立支援協議会において、情報共有や関係機関等の連携の緊密化を図った。
・相談件数　114件
・実人数　19人

○ 障がい者等一般相談支援事業 5,300,000 円
松島町の障がい者の相談支援並びに計画相談支援への対応、災害時の支援等を委託した。地域の障がい者及びその家族等からの福祉に関する各般の相談に対して必要な情報提供や援助支援、関係機関との連携を図り、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要な相談支援事業を実施した。
・相談件数　2,748件
・延べ人数　308人

【地域活動支援センター事業】
希望園を地域活動支援センターとして開所し、週1日は障がい者の交流サロンとして、週4日は障がい児及び保護者の日中支援事業として、障がい者や障がい児、その家族の方が交流し、社会参加しやすい環境をつくり、日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業を実施した。

○ 地域活動支援センター基礎的事業（毎週水曜） 1,440,700 円
通所者　実10人　延べ　193人　（1日平均3.8人）

○ 地域活動支援センター日中一時支援事業 6,129,000 円
通園児　実21人　延べ　823人　（1日平均4.6人）

【地域生活支援事業】
○ 日中一時支援事業（町外等利用分） 6,390 円
町外の施設を利用して、障がい児や障がい者の日中一時支援を実施し、療育支援と保護者の介護負担の軽減を図った。
・利用者　実人数　1人
・利用回数　延べ　2回

○ 移動支援事業 1,288,800 円
一人では外出困難な障がい児や障がい者に対して、ガイドヘルパー等を派遣し、外出支援をした。
・利用者　実人数　8人
・利用時間　延べ　556時間

（次頁へ続く）

実績

○ 日常生活用具給付事業 3,775,787 円

障がい者に必要な日常生活用具（ストーマ装具、人工鼻、点字ディスプレイ等）の給付を実施し、自立支援を図った。

・ 利用者　実人数　46人
・ 利用件数　延べ　369件

○ 訪問入浴サービス事業 956,250 円

居宅において入浴することが困難な障害者に対し、訪問入浴サービス事業を実施することにより、障害者の身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図った。

・利用者　実人数　3人
・利用回数　延べ　85回

○ 意思疎通支援事業（コミュニケーション支援事業） 10,380 円

聴覚障害者等に対し、手話通訳者等を派遣し、他の者との意思疎通の仲介を実施することにより、日常生活上の便宜の供与、社会参加の促進及び交流活動の充実を図った。

・利用者　実人数　1人
・利用回数　延べ　1回

【障害者医療対策費】

身体障害者手帳1・2級及び内部障害の3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方に医療費を助成し、障がい者の適正な医療の確保と経済的負担の軽減に努めた。

年度	対象者数(人)	助成件数(件)	助成額(円)
令和元年度	359	8,186	35,323,065
令和2年度	350	7,662	32,093,711
令和3年度	338	7,521	30,968,067

※対象者数（人）は、各年度10月1日現在

【在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業】 154,860 円

在宅酸素の療法を必要とする呼吸器機能障害のある方に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成し、障がい者の家庭の経済的負担の軽減を図った。

・ 利用者　13人

【身体障害者相談員事業】 48,960 円

身体障害者相談員が、障がいのある方の更生援護（身体障害者手帳の交付、自立支援医療、補装具の修理、年金など）に関する相談を受け、助言・指導を行った。

・ 相談員　2人
・ 相談件数　35件

【福祉団体等に要する経費】

○ 松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会 48,000 円

障がい者の手をつなぐ親の会事業の助成を通じて、研修や会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

○ 松島町身体障害者福祉協会 77,000 円

会員である障がい者の自立更正に努め、車いすテニス体験会などの事業を通じて、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

【障害者自立支援推進委員会経費】

障がい福祉計画及び障がい児福祉計画、障がい者計画の策定及び見直しを行う際に民意の反映や適正な実施を図るため、委員会に計画の実施状況を報告する予定であったが、コロナ禍により開催できなかった。

（次頁へ続く）

3　款	1　項	2　目

実績

【障害者福祉助成事業】

○障害者福祉タクシー券・燃料費助成事業　3,283,500円

在宅で重度の身体・知的・精神・難病等の障がい者を対象にタクシー利用と燃料費助成を実施し、社会参加できるよう外出の支援を図った。

・支援対象者

身体障害者手帳1・2級所持者
療育手帳A所持者
精神保健福祉手帳1・2級所持者
特定疾患・小児慢性特定疾患受給者重症者認定の方

・障害者(児)タクシー利用助成とガソリン等燃料費助成の共通券の交付者数

293人

○障害者（児）紙おむつ購入助成事業　10,500円

在宅で生活する常時おむつを使用している障がい者（児）を対象に、紙おむつ購入に係る費用を助成し、介護者の負担軽減を図った。

・支援対象者

満64歳以下で松島町の住民基本台帳に登録され、かつ、居住する方で、身体障害者手帳又は療育手帳保持者（社会福祉施設、医療施設に入所又は入院している方、他制度での給付者は除く）

・交付者数　4人

【難聴児補聴器購入助成事業】　12,720円

身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中等度の難聴児に対し、補聴器購入費用等の一部を助成し、難聴児を養育する家庭の経済的負担の軽減を図った。

・利用者　1人
・利用件数　1件（イヤモールド交換2個）

課題方向性

町内在住又は町外施設に入所している障がい者及び障がい児へ適切な障害サービスを提供するため、相談支援事業所等と連携し、利用者のニーズに対応できるよう努める。

また、町内のサービス提供事業所は多くはないが、塩釜圏域等の事業所を利用できるよう、二市三町で構成している宮城東部地域自立支援協議会で情報共有や協議を行い、地域の実情に応じた支援体制を整備していく。

一　般　会　計

3　款	1　項	3　目	老人福祉費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	314,449	312,227		32,972		13,187	266,068

目的

高齢化が進行する状況においても、高齢者自身が意欲や目標を持って生活機能の維持・向上が図れるよう、社会参加、社会貢献、健康づくりを推進し、在宅福祉の向上に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
老人クラブ助成事業	B	－	3.3	新型コロナウイルス感染症対策として、町内外でのスポーツ活動等が中止・縮小となったが、地域での声がけ活動、健康づくり研修会や交流会等を実施し、健康増進に寄与した。
ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業	B	－	3.3	緊急時に迅速に駆け付け、適切な救急対応を行うことができた。
老人福祉施設入所措置事業	B	－	3.7	やむを得ない事情により保護が必要な高齢者の対象者に対し適切な措置及び保護を行い、必要な支援を実施した。
敬老会関係経費	B	－	3.0	77歳以上の町内高齢者を対象に、祝辞・記念品を郵送した。
敬老祝金等支援事業	B	－	3.3	88歳（米寿）の祝金として2万円、99歳（白寿）は10万円支給した。
宅配夕食サービス事業	B	－	3.7	日頃食生活に不安を抱える高齢者に栄養バランスのとれた食事を提供した。配達時の見守りにより、高齢者が安心して生活できる一助となった。事業開始以来初めて利用者負担金を見直し一食当たり50円増の550円とした。
高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）	B	－	3.7	75歳以上の高齢者のみの非課税世帯等の他、在宅の要介護4、5の認定者がいる非課税世帯等に対しタクシー利用に係る外出支援及び経済的負担の軽減を図ることができた。また、在宅で常時紙おむつを必要とする高齢者に対し紙おむつ購入に係る経済的負担の軽減を図ることができた。
松島ケアハウス建設事業負担金	B	－	4.3	松島ケアハウス建設事業の償還に対する負担金の支払いを償還計画どおり実施した。
避難行動要支援者対策事業	B	－	3.0	対象要件に該当する方の名簿の更新を行い、地域の避難協力関係機関へ配布することにより、避難協力関係機関と情報共有を実施し、災害協力体制の構築の推進が図られた。
ふれあい施設等維持管理経費	B	－	3.3	高齢者の介護予防に関する事業や余暇活動が安全・快適に行えるよう、ふれあいの家等の維持管理業務として、光熱水費の管理や施設保守点検業務等適切に実施した。3月16日の地震被害により破損したひだまりの家浄化槽の災害普及工事を実施し地域住民の利用に寄与した。

（次頁へ続く）

実績

■高齢者の状況　（令和3年3月31日現在）

	65歳以上		75歳以上		ひとり暮らし		高齢者のみ世帯	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	世帯数（世帯）	割合
松島町	5,328	39.2	2,869	21.1	1,001	18.8	1,933	33.8
宮城県	646,330	28.4	318,701	14.0	139,393	21.6	―	―
国	3,640万	29.1	1,880万	15	―	―	―	―

※国は令和3年9月15日現在推計（総務省データ）
※ひとり暮らしは、65歳以上人数に対する割合

【老人クラブ助成事業】

1　主な活動内容
県老連健康づくり研修会、県老連シルバーリーダー研修会、モデル指定老連関係会議、石巻ブロック会議、友愛訪問
2　会員数　499 人
3　単位老人クラブ（9クラブ）補助金　522,000 円
4　町老人クラブ連合会補助金　240,000 円

【ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業】
高齢者ひとり暮らし世帯又は高齢者のみの世帯に対し緊急通報システムにおける緊急時の対応を行った。緊急装置による通報のうち、固定電話利用型の2件が救急搬送に繋がった。

1　固定電話回線利用型
・緊急通報システム機器利用実台数（年間）　14 台
・事業費　290,371 円

2　携帯端末利用型
・緊急通報システム機器利用実台数（年間）　17 台
・事業費　595,545 円

【老人福祉施設入所措置事業】
家庭の事情や心身の障害、経済的な事情等で在宅生活が困難な方を養護老人ホームへ1名、視覚障害老人ホームへ1名計2名継続して措置を行った。また、緊急的に保護が必要な方について、緊急ショートステイによる措置を行った。

1　施設入所措置者数（養護老人ホーム1人・視覚障害老人ホーム1人）　2 人
2　緊急ショートステイ利用者数　1 人
3　事業費　6,115,737 円

【敬老会関係経費】

1　対　象　77歳以上の高齢者
2　内　容　敬老会の開催は中止し、対象者に郵送で記念品と祝辞を送付した。
3　人　数　2,611 人
4　事業費　1,724,886 円

【敬老祝金等支援事業】

1　88歳に達した方（米寿　2万円）　100 人
2　99歳に達した方（白寿　10万円）　8 人
3　支給総額　2,800,000 円

（次頁へ続く）

3　款	1　項	3　目

実績

【宅配夕食サービス事業】

社会福祉協議会に業務を委託し、調理等が困難な単身または高齢者世帯等の希望する高齢者に、栄養バランスのとれた夕食を宅配し、併せて安否確認を実施した。

延べ実施日数（日）	295
延べ配食数（食）	10,695
１日平均食数（食）	36

※登録者数　50人（男性:18人、女性:32人）
※利用頻度　週6回 :21人、週5回 :7人
週3～4回 ： 12人、週1～2回 ： 10人

・事業費　10,890,355 円

【高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）】

①　高齢者等タクシー助成事業

対象要件	対象者数	交付者数	1人(世帯)あたりの助成額
75歳以上の住民税非課税世帯等	358人	305人	6,000円
在宅の要介護4又は5の認定者がいる住民税非課税世帯等	9人	5人	12,000円

②　紙おむつ購入助成事業

対象要件	対象者数	交付枚数	使用枚数	1人あたりの助成額
65歳以上で常時紙おむつが必要な在宅の方	延べ　348人	1,047枚	890枚	1,500円×2回(6月･12月) (1回あたり500円券3枚)

・事業費　1,898,958 円

【松島ケアハウス建設事業負担金】
・2,330,000円　（独立行政法人福祉医療機構借入金）　※令和3年度で終了

【避難行動要支援者対策事業】

・対象者　要介護3～5、身体障害者手帳1,2級、精神障害者手帳1級、療育手帳A,B、その他高齢単身または高齢世帯で登録を希望する方
・避難行動要支援者名簿登録者数　694 人
・事業費　75,680 円

課題
方向性

宅配夕食サービス事業においては利用者負担金を見直した。配食数が伸びていることから今後も引き続き業務内容を精査していく必要がある。
特別敬老祝金においては高齢化による対象者の増加が進む中、米寿及び白寿それぞれの金額の検討を行っていくことが課題。
また、高齢化率が進行し、ひとり暮らし高齢者世帯が増加している一方、元気な高齢者が多いことから老人クラブ等の協力を得ながら交流や活躍の場づくり支援に努めていくことが課題。

一　般　会　計

3　款	1　項	4　目	国民年金費
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,119	5,500	5,014				486

目的

法定受託事務である国民年金の事務事業について年金事務所と協力・連携しながら、資格取得・喪失等の届出の受理及び報告事務をはじめ、相談業務や広報を行い、年金事業の運営を推進する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
国民年金事務に要する経費	B	－	3.7	国民年金の法定受託業務として、年金事務所と連携を密にし、各種手続きや相談業務について迅速に対応することができた。また、年金制度について広報紙に掲載し、制度の周知を図ることができた。

実績

【国民年金事務に要する経費】

1　法定受託事務（町の受付状況）

（単位：人）

区分＼年度	令和3年度	令和2年度	区分＼年度	令和3年度	令和2年度
資格取得届	233	335	任意加入	2	6
資格喪失届	0	13	付加年金加入	4	2
種別変更届	34	53	免除申請（一般）	209	358
口座振替納付申出	11	8	免除申請（学生）	45	105
老齢基礎年金請求	8	20	免除該当（法定）	6	19
障害基礎年金請求	4	4			
未支給年金請求	47	96			

2　被保険者状況

第1号被保険者状況　（単位：人）

区分＼年度		令和3年度	令和2年度
年間平均被保険者		1,333	1,342
内訳	付加年金加入者数	46	41
	免除者数	640	629
	20歳到達者	80	82

課題方向性

各種年金制度について、迅速かつ円滑に手続きを進めことができるよう年金事務所との連携を密にしていく。また、年金制度についての広報を強化し、将来の保障の確保へ向け未加入者の加入促進や納付が困難な方への免除制度などについて周知を図る。

一　般　会　計

3　款	1　項	5　目	介護保険対策費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	320,948	320,942	10,840	5,816			304,286

目的

低所得者の利用者負担額を軽減することにより、施設等のサービス利用を円滑にする。また、軽減措置を実施した社会福祉法人等に対し、軽減額に応じ補助金を交付する。

一般会計から介護保険特別会計へ町負担分の繰り出しを行うことにより、円滑で安定的な介護保険制度の運営を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
介護保険対策費	B	－	3.3	社会福祉法人等が運営する特別養護老人ホーム等に入所中の低所得者の食費や居住費の利用料の軽減を実施することで、低所得者の円滑なサービス利用に繋がった。
介護保険特別会計繰出	B	－	4.3	介護保険特別会計に法定給付町負担分や必要人件費及び事務費を適切に繰り出すことで、介護保険事業を安定的に運営することができた。

実績

【介護保険対策費】

利用料の軽減対策

・社会福祉法人等利用者負担軽減措置
　特別養護老人ホーム(3施設)、短期入所（1施設）　　利用者数　4 人
　　軽減額　543,279 円

【介護保険特別会計繰出】

介護保険特別会計への繰出金　320,817,000 円

（内訳）
・介護給付費分（12.5%）　236,716,000 円

・地域支援事業分
　介護予防・日常生活支援総合事業分（12.5%）　5,091,000 円
　包括的支援・任意事業分（19.25%）　7,471,000 円

・低所得者保険料軽減分（25%）　22,827,000 円

・職員給与費等分　26,192,000 円

・事務費分　22,520,000 円

課題方向性

今後も継続的に円滑な介護保険制度の運営を図るため、国や県の情報収集を充分に行いながら適切な事務処理を実施するとともに、低所得者の相談業務や制度の周知・情報提供を継続して行う。

一　般　会　計

3　款	1　項	6　目	保健福祉センター管理費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	44,676	43,364				6,674	36,690

目的

保健福祉センター「どんぐり」を拠点として、住民が健やかに生まれ、健やかに老い、生涯元気で暮らせるよう、健康増進、疾病予防等の保健福祉事業、及びふれあいの湯の運営を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
保健福祉センター維持管理経費	A	4.0	3.3	新型コロナウイルスワクチン接種会場として町民の利用に寄与した。ふれあいの湯については、施設の保守点検や修繕を適正に実施し、利用者の安心・安全な利用に寄与することができた。

実績

【保健福祉センター維持管理経費】

1　保健福祉センター利用状況

（単位：人）

	各種保健福祉事業他							ふれあいの湯			合計
	健康増進事業	母子保健事業	地域支援事業	介護保険事業	コロナワクチン関係	その他	小計	町内	町外	小計	
4月	29	43	69	136	13	78	368	2,116	111	2,227	2,595
5月	27	9	91	108	2,154	31	2,420	2,167	138	2,305	4,725
6月	24	9	63	295	3,762	55	4,208	2,012	135	2,147	6,355
7月	24	1	85	220	5,472	18	5,820	1,581	98	1,679	7,499
8月	30	6	48	180	3,450	50	3,764	1,405	107	1,512	5,276
9月	21	9	49	175	2,019	53	2,326	655	51	706	3,032
10月	7	12	50	153	1,444	63	1,729	1,020	75	1,095	2,824
11月	61	7	44	150	0	86	348	1,755	119	1,874	2,222
12月	31	11	77	203	3	59	384	1,941	131	2,072	2,456
1月	38	9	34	140	30	52	303	1,993	117	2,110	2,413
2月	42	7	51	190	2,761	33	3,084	1,841	100	1,941	5,025
3月	80	7	64	158	3,916	0	4,225	2,064	158	2,222	6,447
計	414	130	725	2,108	25,024	578	28,979	20,550	1,340	21,890	50,869

※令和3年9月13日から11月9日までジェットバスろ過器等故障のため一般風呂のみ営業した。

【保健福祉センターで実施した主要保健福祉事業】

・ 健康増進事業
　健康相談・食生活推進員会・スタイルアップセミナー　他

・ 母子保健事業
　母子健康手帳交付、予防接種手帳交付、他

・ 地域支援事業
　介護予防事業（まつしま元気塾他）
　地域包括支援センター業務(総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント、他)

・ 新型コロナワクチン集団接種（5～10月：1・2回目、2～3月：3回目）

（次頁へ続く）

3　款	1　項	6　目

実績

2　ふれあいの湯利用状況（再掲）　　単位：人

	町内						町外				計	入浴料（円）
	60歳以上		高校生～59歳		中学生以下	小計	高校生以上	小・中学生	乳幼児	小計		
	減免無し	減免有り	減免無し	減免有り								
R3年度	17,189	1,122	1,983	171	85	20,550	1,297	25	18	1,340	21,890	2,656,400
R2年度	15,719	1,246	1,904	139	104	19,112	1,183	79	32	1,294	20,406	2,452,900
R1年度	24,162	1,629	3,068	168	623	29,650	2,336	81	29	2,446	32,096	3,986,800

※ 平成30年度より障がい者手帳を所有する町民に対し、ふれあいの湯使用料5割減免を継続実施。
（R3減免額：129,300円）

【ふれあいの湯利用登録状況】
・60歳以上の方の利用登録　　477 人　（うち、町内444人、町外33人）
・障がい者の利用登録　　19 人　（うち、60歳未満3人）

3　松島長松園デイサービスセンター利用状況

・指定管理期間　　令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
・指定管理者　　社会福祉法人　千賀の浦福祉会

	年間活動日数（日）	延べ人数（人）	1日平均利用人数（人）
令和3年度	242	5,020	20.7
令和2年度	232	6,082	26.2
令和元年度	244	6,772	27.8

4　保健福祉センター修繕の状況

【修繕】

・ろ過器修繕（循環ポンプ、循環装置）	492,800 円
・外灯修繕	124,817 円
・非常用照明器具修繕	84,150 円
・空調修繕(脱衣･休憩･風除室系統、エントランス系統、蓄熱槽給水配管凍結破損)	598,400 円
・通用口サッシ戸等修繕	28,600 円
・浄化槽(修繕ポンプ制御マグネットスイッチ、放流ポンプ制御スイッチ)	180,026 円
・長松園デイサービス浴槽給湯大型混合栓修繕	313,500 円
・車いす用トイレ自動水栓手洗器修繕	167,200 円
・非常用放送設備修繕	35,200 円
・真空温水ヒーターバーナー漏洩不良修繕	156,200 円
・防火扉修繕	23,100 円
・受水槽修繕(通気口破損、凍結破損)	311,740 円
・ボイラー室防火扉修繕	88,000 円
計	2,603,733 円

課題方向性

町民が安心して利用できるよう施設運営に努めるとともに、点検や修繕等についてはできるだけ休館日を利用し計画的に実施する。
さらに、建設から20年以上経過し、施設・設備等の更新工事等が必要になってくることから、大規模改修に向けた実施設計を行い、計画的に改修工事等を実施しより良い施設運営に向け検討を重ねていく。

一　般　会　計

3　款	1　項	7　目	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	169,990	130,941	109,640				21,301

目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金を支給し、経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	B	―	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている住民税非課税世帯等における経済的負担の軽減が図られた。

実績

【住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業】

1　給付対象者　基準日(R3.12.10)において、下記①または②に該当する世帯の世帯主
　① 令和3年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯
　② 令和3年1月以降の家計急変世帯

2　支給額
　・1世帯につき100,000円

3　支給実績
　・対象世帯数　1,292 世帯

　・支給額　129,200,000 円

一　般　会　計

3　款	2　項	2　目	児童措置費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	147,932	147,852	102,207	22,746			22,899

目的

児童を養育している保護者を対象に、児童手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健全な育成を促す。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
児童手当等支給経費	B		3.7	中学校修了前までの児童を養育している保護者に児童手当を年3回（6月、10月、2月）支給し、子育て世帯の生活の安定及び児童の健全な育成に寄与できた。

実績

【児童手当等支給経費】

○ 児童手当の支給（令和3年6月・10月、令和4年2月支払分）

中学校修了前までの児童を養育するものに支給される。

・支給額（月額）　3歳未満　一律　15,000 円

3歳以上小学校修了前
第1子　10,000 円
第2子　10,000 円
第3子以降　15,000 円

中学生　一律　10,000 円
特例給付　一律　5,000 円

年　度	給付区分	3歳未満対象児童（人）	3歳以上小学校修了前対象児童（人）	小学校修了後中学校修了前対象児童（人）	支給額（円）
令和元年度	一般	2,206	1,326（第3子～） 7,285（第1・2子）	3,062	158,425,000
	特例	30	246	119	
令和2年度	一般	2,079	1,333（第3子～） 6,969（第1・2子）	2,829	151,230,000
	特例	12	282	120	
令和3年度	一般	1,834	1,439（第3子～） 6,807（第1・2子）	2,866	147,775,000
	特例	8	260	122	

課題方向性

少子化が課題となっていることから、子育てしやすい環境づくりが必要であり、児童手当の支給はその一助となっている。今後も、適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図っていく必要がある。

一　般　会　計

3　款	2　項	3　目	保育所費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	282,419	276,536	1,352	752		35,949	238,483

目的

保護者が仕事等で子どもの保育ができない家庭の子どもを預かり、月齢にあった保育を行うことで、子どもの心身の健やかな成長を促すことを目的とする。

また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、子どもたちが安心して快適に楽しく過ごせる環境づくりに努めるとともに、保護者とのよりよい信頼関係を築けるよう保護者との対話を大切にした保育所を目指す。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
保育所管理運営費	A	3.7	3.3	様々なニーズの保育の必要とする児童を預かり、保護者の負担を軽減するとともに、多くの保護者に就労の機会を提供することができた。保育士派遣や給食調理を民間委託することで、入所児童の安全確保や保育士の負担軽減、安全安心で栄養バランスのとれた給食の提供など安定した保育所運営をすることができた。
一時預かり保育事業	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少してはいるが、就労や緊急時の預け先がない保護者のニーズに対応することができた。また、育児疲れのリフレッシュのために利用してもらうことで、保護者のメンタルケアにもつながった。

実績

【保育所管理運営費】

1　通常保育事業

○ 入所児童状況（令和4年3月31日現在）

保育所名	定員（人）	保育実児童数（人）	年間延保育児童数(人)	充足率（%）
高城保育所	120	97	1,154	80.8
高城保育所分園	29	18	215	62.1
松島保育所	60	56	676	93.3
磯崎保育所	60	52	667	86.7
計	269	223	2,712	82.9

2　（特別）延長保育事業

保護者の就労形態の多様化に対応するため、4保育所で午前7時30分から午後6時まで延長保育を実施した。更に高城保育所では、午前7時から午後7時まで特別延長保育を実施し、勤務先が遠い保護者や勤務時間が長い保護者などが利用した。

○ 延長保育（4保育所）　（単位：人）

		高城保育所	高城保育所分園	松島保育所	磯崎保育所
入所児童数（月平均）		96	18	56	55
延長保育児童数（延べ）	7:30～ 8:00	6,448	990	3,790	4,268
	16:00～18:00	8,556	2,141	8,369	7,616
一日平均児童数	7:30～ 8:00	22	3	13	14
	16:00～18:00	29	7	29	26

○ 特別延長保育（高城保育所）　（単位：人）

実保育児童数	7:00～7:30			18:00～19:00		
	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均
34	2,612	9	10.1	5,162	17.7	21.4

（次頁へ続く）

3　款	2　項	3　目

実績

3　施設等修繕　1,951,931 円

・松島保育所及び磯崎保育所遊具修繕
・松島保育所給湯補給水管修繕
・高城保育所給食室シンク排水管等修繕
・高城保育所テラスサッシ交換修繕　等

4　委託料　60,979,223 円

・保育所給食調理等業務委託
・保育士派遣業務委託　等

【一時預かり保育事業】

1　一時預かり事業
磯崎保育所において、保護者の就労や求職活動、入院・通院・出産・介護・冠婚葬祭等の緊急時、保護者の育児疲れ等のリフレッシュ・災害時のボランティア活動・学校行事等の際に、預け先のない1歳から就学前までの乳幼児を一時的に預かる事業として実施した。

○利用実績（利用延べ人数・年齢別延べ人数）　（単位：人）

登録児童数	利用児童数		利用年齢				
	半日	1日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
9	14	13	7	20	0	0	0

○利用料金

世帯区分	半日利用	1日利用	給食利用
生活保護法による被保護世帯	0円	0円	300円
上記以外の世帯	1,000円	2,000円	300円

【新型コロナウイルス感染症対策事業】
○保育対策総合支援事業費補助金事業　857,374 円
除菌用アルコール、塩素系除菌漂白剤、ペーパータオル、ゴム手袋、マスク他

課題
方向性

幼児教育・保育の無償化や核家族世帯及び女性の社会進出の増加により、保育所の入所希望が増えている。保護者が安心して保育所に預けることができるよう、保育サービスの充実と保育環境を向上させることが必要である。
新型コロナウイルス感染症対策の業務が増えているため、人材を確保することにより基本的な衛生対策の徹底と保育士の負担を軽減することが必要である。また、個別の支援が必要な児童について、一人ひとりの個性を生かしたきめ細かい保育ができるよう、専門的な知識と技術の習得が必要となってきている。
令和5年度から保育所・幼稚園の再編及び認定こども園の開園に伴い、保護者の多様なニーズに対応した利用調整となるよう努める。

一　般　会　計

3　款	2　項	4　目	母子福祉費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,751	3,021		1,972			1,049

目的

ひとり親家庭の父母及び子どもにかかる医療費の自己負担分を助成することにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の質を高めることを目的とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
母子・父子家庭医療費支給	B	－	3.3	ひとり親家庭の父母及び子どもにかかる医療費のうち、自己負担分を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会の確保と、医療費の経済的負担軽減をさせることができた。
母子･父子家庭臨時特別支援金給付事業	B	－	3.7	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、経済面をはじめとして、さまざまな困難に直面するひとり親家庭世帯を対象に支援金を給付することにより、生活支援を図ることができた。

実績

【母子・父子家庭医療費支給】

助成対象者
・母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童
・母子家庭の母、父子家庭の父
・父母のいない18歳の年度末までの児童

年　　度	対象者数（人）	助成件数（件）	助成額（円）
令和元年度	281	731	2,229,416
令和2年度	260	713	2,078,197
令和3年度	259	627	1,834,626

※対象者数は、各年度10月1日現在

【母子･父子家庭臨時特別支援金給付事業】

給付対象者
・母子・父子家庭医療費助成に登録されている父又は母

1　支給対象者数　104 人

2　給付金支給実績　1,040,000 円

課題方向性

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、様々な困難に直面するひとり親家庭の生活を支援するために県補助金を活用し、支援金給付事業を行ったが、今後も同様の補助金があれば積極的に活用していく。

母子・父子家庭医療費の助成は、当該家庭の経済的負担の軽減に寄与しており、生活の安定と児童の健全育成に資するものであるため、今後も県補助金を活用して継続的に実施していく。

一　般　会　計

3　款	2　項	5　目	子ども医療対策費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	47,582	46,088		5,706			40,382

目的

子どもの医療費を助成することにより、医療機会を確保し、経済的安定と福祉の向上に努める。また、経済的負担を軽減することにより、少子化対策の一助を担うことを目的とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
子ども医療費支給	B	―	3.7	入通院とも対象年齢を18歳までとして医療費の一部負担金を助成することにより、子どもの医療機関受診の機会が確保され、子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。

実績

【子ども医療費支給】

1　助成対象年齢
　通院・入院　0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日まで

2　助成実績

年　　度	対象者数（人）	助成件数（件）	助成額（円）
令和元年度	1,642	23,221	47,773,419
令和2年度	1,570	18,327	40,546,578
令和3年度	1,558	19,727	44,636,269

※対象者数は、各年度10月1日現在

課題方向性

入通院ともに対象年齢を18歳までとすることにより医療機会の確保が図られ、子育て支援の一助となり子どもの福祉向上と経済的負担の軽減が図られている。

一　般　会　計

3　款	2　項	6　目	子育て支援事業費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,405	8,725	2,450	2,278			3,997

目的

子育て支援事業として、子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。また、虐待等が心配な家庭や発達に支援が必要な子どもが地域で安心して生活するため、子どもと保護者間の育児に対する負担・不安を軽減し、様々なニーズに対して柔軟に対応できるよう支援体制のネットワークの構築や指導者の育成を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
ファミリー・サポート・センター事業	A	3.3	3.3	昨年度に比べて支援活動回数は減少したが、利用会員、協力会員がコミュニケーションを取りながら活動し、保護者の仕事と育児の両立の一助となるよう子育て支援を行うことができた。
子育て支援事業	A	3.3	3.7	親子教室等で児童館来館の際は、感染対策を講じたうえで活動を行い、親子が安心して楽しめる環境づくりに努めた。 発達に関して支援が必要な子ども及びその保護者を対象に発達相談等を実施し、各関係機関と連携して安心して子育てできるよう早期支援を行った。
施設型給付費	B	-	3.7	保護者の就労などのため、入所を希望する町外施設に対して経費を負担することで、安定的な施設運営を支援し、希望施設に継続して入所することができた。
次世代育成支援対策費	A	4.3	3.7	子ども・子育て会議では、子ども・子育て支援事業計画に基づき町の子育て支援施策について、子育て支援事業の実績報告や意見交換などを実施した。 子育て支援ホームページについては、町事業の案内や保育所や児童館等でのイベント報告を積極的に行い、サイト閲覧数が増加した。

実績

【ファミリー・サポート・センター事業】

- 利用会員　48 人
- 協力会員　7 人
- 両方会員　2 人
- 支援活動回数　44 回

【子育て支援事業】

1　各種相談事業

分　　類	実施回数（回）	利用者（人）
巡回心理相談	12	152
電話相談	5	5
訪問相談（こんにちは赤ちゃん訪問等）	41	101
来館相談	3	3
発達相談（子育てひろば）	6	70
計	67	331

（次頁へ続く）

実績

2　仲間づくり支援事業

事　業　名	実施回数（回）	参加者（人）
あそびの広場（自由来館）	279	2,632
計	279	2,632

3　親子教室関係

教　室　名	実施回数(回)	参加者（延べ人数）
読み聞かせの会	10	157
リズム遊びの会	6	66
親子ヨガ教室	2	30
なかよし教室	11	257
文化芸術鑑賞「パーカッション」	1	88
人形劇	1	19
計	31	617

（参加者は、保護者と子どもの人数）

4　社会全体の子育てへの関心を高めるための取り組み

事　業　名	回数（回）	備考
児童館だよりの発行	12	毎月5,700部（※全戸配布）

※広報紙に児童館だよりを掲載

5　子ども虐待防止事業（要保護児童対策地域協議会関係）

事　業　名	実施回数（回）	参加者（人）
代表者会議	1	15
実務者会議	7	40
ケース会議	7	72
計	15	127

※代表者会議は書面により開催

訪問支援　35 回
電話件数　64 件

6　障がい児等育児支援

事　業　名	実施回数（回）	利用者（人）
親の会定例会（いるかの会）	8	59
希望園に行ってみよう会	1	2
発達障害児支援（のびっこクラブ）	6	118
計	15	179

7　子育てボランティア協力・育成事業

事　業　名	実施回数（回）	活動者数(人)
読み聞かせの会	10	31

（次頁へ続く）

3　款	2　項	6　目

実績

【施設型給付費】

・利府町利府聖光幼稚園	459,590 円
・利府町利府第二おおぞら幼稚園	867,708 円
・仙台市小さき花幼稚園	554,666 円
・東松島市矢本西保育園	430,920 円
・天童市天童しぜん幼稚園	1,332,170 円

【施設等利用給付費】

・石巻市石巻赤十字病院 院内保育園げんきっず	207,250 円

【次世代育成支援対策費】

1　子ども・子育て会議

・委員報酬　　1回開催	60,400 円

2　委託料

・子育て支援ホームページ保守管理業務委託	924,000 円
・施設等利用給付システム保守管理業務委託	264,000 円

課題方向性

子育て支援事業及びファミリーサポートセンター事業は、指定管理者制度を導入しており、次年度もこども支援班と児童館の職員との連携を強化し、事業の充実を図っていく。ファミリーサポートセンター事業は、利用頻度が減少傾向なため、今後も広報紙や子育て支援サイトを通じて、引き続き協力会員の人数を増やす取り組みを行っていく。

子育て支援ホームページについては、子育て家庭が求めている情報を発信していくよう努めていく。

要保護児童対策については、家庭環境がそれぞれ異なるため、児童の安全や健やかな成長を育むことができるよう、見守りの強化や早期発見に努める。また、令和4年度から子ども家庭総合支援拠点を設置し、関係機関との連携をこれまで通り密にし、要支援児童若しくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等を対象にした支援業務の強化を図っていく。

一　般　会　計

3　款	2　項	7　目	児童福祉施設費
担当部署名	建設課管理班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,765	1,616					1,616

目的

児童等の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とし、安全かつ健全な遊び場を提供するため、公園環境の適切な維持管理を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
児童公園・遊園維持管理費	B	－	3.7	事故を未然に防ぐため、遊具等の点検及び修繕を実施し、児童等が安全に遊べる場所を提供した。 また、公園内の除草や清掃活動については、地域住民の協力を得ながら環境整備が図られた。

実績

【児童公園・遊園維持管理費】

児童公園（22箇所）の維持管理

1　需用費（修繕料）	272,030 円
・高城浜児童公園トイレ修繕（大便器・小便器）	54,230 円
・本郷ふれあい児童公園トイレ修繕（大便器）	8,800 円
・華園児童公園トイレ修繕（手洗器）	7,480 円
・城内児童公園水飲み場修繕（水栓）	7,040 円
・根崎山神児童公園トイレ修繕（手洗器）	7,480 円
・小石浜児童公園遊具修繕（ブランコ）	187,000 円
2　委託料	705,711 円
・児童公園公衆便所清掃業務委託（11箇所：月1回）	242,000 円
・児童公園遊具定期点検業務委託（19箇所：年1回）	330,000 円
・くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）	45,711 円
・くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）	88,000 円

課題方向性

安全・安心に利用できる公園環境を維持するために、遊具定期点検やトイレ清掃を行い適切な維持管理を継続する。また、防犯面や衛生面においては地域住民の協力を得ながら健全な公園環境を保っていく。

今後は中長期的に利用実態が無い児童公園については、再編等を検討していく必要がある。

一　般　会　計

3　款	2　項	8　目	児童館費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	34,378	33,904	5,911	5,760		2,712	19,521

目的

児童館は、子育て家庭支援の拠点施設として、子どもたちへ遊びの場を提供し、遊びを通して子どもの心身の健全な発達を促す。また、留守家庭児童学級では、就労等で放課後保護者が家庭にいない子どもに適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
児童館運営費	A	3.7	3.7	新型コロナウイルスの影響により、2月は休館となったが、自由来館は前年度より増となった。児童対象のイベントについても開催することはできなかったが、少人数でコロナ対策を講じながら児童館活動を行った。
留守家庭児童学級運営経費	A	3.7	4.0	児童の安全に配慮した運営を行い、大きな事故等がなく過ごすことができた。専門的知識を有する指定管理者が主催する研修を、支援員が積極的に受講し、資質の向上が図られた。 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら学級活動を行い、子どもたちが放課後安心して過ごすことができる場を提供することができた。

実績

【児童館運営費】

1　年間利用者数

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	91	95	164	164	160	59	117	64	76	85	0	78	1,153
中学生	2	2	6	2	4	0	19	0	2	3	0	4	44
高校生	0	0	7	0	0	0	0	2	0	6	0	3	18
一般	26	39	43	42	13	54	68	35	59	33	0	93	505
相談	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
合計	119	136	221	209	177	113	205	101	137	127	0	178	1,723

※2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自由来館を中止した。

2　出前事業

事業名	実施回数（回）	参加者（人）
割りばし鉄砲つくり	1	10
キーホルダー作り	1	27
スミセイアフタースクール	1	40
人権教育	1	59
計	4	136

【留守家庭児童学級運営費】

1　留守家庭児童学級

・学級児童数（令和4年3月31日現在）　（単位：人）

施設名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
松島第一小学校（たんぽぽ学級）	26	28	12	0	0	0	66
松島第二小学校（ひまわり学級）	13	10	4	3	7	1	38
松島第五小学校（どんぐり学級）	4	4	2	1	4	0	15
計	43	42	18	4	11	1	119

※実施場所

一小：児童館（土曜日は合同学級・長期休業はひまわり学級と合同）

二小：学校内

五小：品井沼農村環境改善センター

3　款	2　項	8　目

実績

2　年間利用児童数及び開設日数

上段：延べ利用児童数　（単位：人）
下段：開設日数　（単位：日）

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校（たんぽぽ学級）	1,038	1,036	1,171	1,071	911	1,092	1,125	1,024	1,030	789	674	838	11,799
	24	22	26	25	25	24	25	24	24	21	21	25	286
松島第二小学校（ひまわり学級）	596	546	671	591	455	602	619	643	618	513	488	543	6,885
	23	22	26	24	25	24	24	24	24	19	20	21	276
松島第五小学校（どんぐり学級）	251	275	276	248	175	226	229	193	207	179	173	156	2,588
	21	18	21	20	19	20	21	19	18	18	17	18	230
計(児童数)	1,885	1,857	2,118	1,910	1,541	1,920	1,973	1,860	1,855	1,481	1,335	1,537	21,272

3　放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業費補助金

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く、放課後児童支援員や補助員等の処遇の改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、令和4年2月から収入を引き上げるための措置を実施。

・対象留守家庭児童学級数　3 学級

・補助金交付額（令和4年2月から3月分）　151,800 円

課題
方向性

児童館では、新型コロナウイルスの影響により、現状では大規模なイベント事業を行うことは難しいが、子どもたちの自主性や豊かな創造性を育成するため、感染症対策を徹底しながら事業の実施に努めていく。

共働き世帯の増加により、留守家庭児童学級のニーズが高まり、入級希望者が増加傾向にある。より安全に配慮し、安心して過ごすことができる学級運営を行い、子どもが健康で楽しく過ごせる場となるよう努める。また、異学年の交流活動を通して、子どもの自主性や社会性を育むことができるよう学級活動を進めていく。

一　般　会　計

3　款	2　項	9　目	認定こども園推進事業費
担当部署名	企画調整課認定こども園準備室		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	99,344	97,915	10,270	5,163		8,000	74,482

目的

子ども達の心身の健全な育成及び子育て世帯の定住促進を図ることを目的とし、幼児教育・保育を一体的に行い幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持ち、地域の子育て支援を実施する認定こども園の施設整備を推進する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
認定こども園推進事業	A	3.7	3.3	事業主体である松島町社会福祉協議会が、各種設計業務並びに造成工事を行った。それに対し町は、技術的支援や助言を行い、予定どおり令和3年度中に建設工事に着手することができた。 また、昨年度締結した「松島町における認定こども園施設整備に関する協定書」に基づき補助金の交付を行った。

実績

【認定こども園推進事業】

1　補助金

・認定こども園用地取得等事業補助金　21,206,930円

・認定こども園用地造成事業補助金　60,992,800円

・幼保連携型認定こども園整備費補助金　15,112,000円

・認定こども園開園準備事務費補助金　520,000円

2　認定こども園施設整備及び開園に向けた主な打合せ等実績

項目	回数
認定こども園開設委員会及び分科会	12回
松島町社会福祉協議会との打合せ	64回
関係機関との打合せ	22回
保護者説明会	各幼稚園、保育所1回ずつ開催

課題方向性

令和5年4月の開園に向け、職員の採用、認可申請、園児募集等の開園準備を松島町社会福祉協議会と協働で行っていく。

また、引き続き「松島町における認定こども園施設整備に関する協定書」の負担割合に基づき、補助金の交付を行う。

令和4年2月に着工した建設工事については、令和5年2月の完成に向け適切な進捗管理及び技術的支援を行っていく。

一　般　会　計

3　款	2　項	10　目	子育て世帯生活支援特別給付金事業費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,394	5,952	5,952				

目的

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
子育て世帯生活支援特別給付金事業	B	―	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた低所得の子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。

実績

【子育て世帯生活支援特別給付金事業】

1　給付対象者
養育要件の①～③のいずれかに該当し、かつ所得要件A・Bのいずれかに該当する者

〈養育要件〉
① 令和3年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の受給者
② 令和3年5月から令和4年3月までの新規児童手当または特別児童扶養手当の受給者
③ その他対象児童養育世帯(H15.4.2～H17.4.1生まれの児童を養育する者)

〈所得要件〉
A　令和3年度住民税均等割が非課税であるもの
B　令和3年1月以降の家計急変者

2　支給額
・対象児童1人につき50,000円

3　支給実績
・対象児童数　99名　（うち家計急変　8名）

・支給額　4,950,000 円

一　般　会　計

3　款	2　項	11　目	子育て世帯への臨時特別給付金事業費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	157,544	156,274	156,223				51

目的

新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯に対して臨時特別的な措置として、子育て世帯への臨時特別給付金を支給し、経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
子育て世帯への臨時特別給付金事業	B	－	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。

実績

【子育て世帯への臨時特別給付金事業】

1　給付対象者
- 平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた児童で、児童手当本則給付の給付要件に該当する者。

2　支給額
- 対象児童1人につき100,000円

3　支給実績
- 対象児童数　1,533名
- 支給額　153,300,000 円

一　般　会　計

4　款	1　項	1　目	保健衛生総務費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	69,435	68,629		245		6	68,378

目的

町民が生涯にわたり、安心して健康的な生活ができるように、保健・医療・福祉の連携を図りながらライフサイクルに応じた多様な健康支援を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
休日昼夜間診療に要する経費	A	3.7	3.0	松島病院において休日・昼夜間の急患診療受入体制を確保し、年間を通して身近な医療機関で救急対応できたことは、町民が安心した生活を送る一助となった。
保健活動事業経費	A	5.0	3.7	健康寿命を延伸するために口腔機能の維持が重視されていることをふまえ、乳幼児期から高齢期まで各年代の健康課題に応じた歯科保健事業を実施し、町民のQOLの向上と健康増進につながった。
塩釜地区休日急患診療センター運営事業	A	3.7	2.3	塩釜医師会管内2市3町で分担金を拠出し、塩釜地区休日急患診療センターを一次診療、7病院を二次医療機関として指定しコロナ禍においての休日急患医療体制を継続して確保した。
休日歯科診療に要する経費	A	3.3	3.0	塩釜歯科医師会管内2市3町で分担金を拠出し、在宅当番医制により休日・年末年始にかかりつけ医以外でも急患対応できる歯科診療体制を維持した。
献血推進事業に要する経費	B	－	3.0	新型コロナウイルス感染症の流行で献血者が減少する中、献血事業に対して補助金を交付し、必要とする血液を確保でき、安全な輸血用血液製剤の安定かつ円滑な確保に協力できた。
地域医療対策事業に要する経費	B	－	3.7	塩釜地区地域医療対策委員会に参画し、管内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防事務組合、保健福祉事務所等が連携して地域医療体制の充実を図るための協議を行った。
栄養指導業務に要する経費	B	－	3.3	町民の健康づくり及び栄養・食育を推進すると共に、食生活改善推進員を育成し、地域の健康増進に寄与した。
自死対策強化事業	A	3.0	3.0	自死予防やメンタルヘルスケア等に取り組む人材の育成、悩みや不安を抱える方への個別支援、コロナ禍に対応したオンライン健康相談等を実施し、地域の中で見守り支え合う体制の基盤づくりを行った。

実績

【休日昼夜間診療に要する経費】　6,750,000 円

休日昼夜間診療（松島病院）　（単位：人）

市町名／年度	松島町	東松島市	その他	計
令和3年度	264 （ 74.6% ）	34 （ 9.6% ）	56 （ 15.8% ）	354 （ 100.0% ）
令和2年度	236 （ 75.9% ）	26 （ 8.4% ）	49 （ 15.8% ）	311 （ 100.0% ）

（次頁へ続く）

4　款	1　項	1　目

実績

【塩釜地区休日急患診療センター運営事業】　3,363,177 円

塩釜地区休日急患診療（塩釜地区休日急患診療センター）　（単位：人）

年度＼市町名		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和3年度	土・日祝日	34 （4.5%）	211 （28.1%）	255 （33.9%）	31 （4.1%）	133 （17.7%）	88 （11.7%）	752 （100.0%）
令和2年度	土・日祝日	31 （6.2%）	168 （33.6%）	159 （31.8%）	17 （3.4%）	89 （17.8%）	36 （7.2%）	500 （100.0%）

【休日歯科診療に要する経費】　257,325 円

休日歯科診療（輪番制）　（単位：人）

年度＼市町名	松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和3年度	17 （5.4%）	103 （32.5%）	94 （29.7%）	41 （12.9%）	29 （9.1%）	33 （10.4%）	317 （100.0%）
令和2年度	14 （4.0%）	123 （34.9%）	98 （27.8%）	37 （10.5%）	40 （11.4%）	40 （11.4%）	352 （100.0%）

【献血推進事業に要する経費】

献血種別	採血目標（人）	採血者数（人）	構成比（%）	達成率（%）
全血献血（200ml）	3	8	5.1	266.7
全血献血（400ml）	128	149	94.9	116.4
計	131	157	100.0	119.8

・献血推進事業補助金　160,000 円

【栄養指導業務に要する経費】

事業名	回数（回）	参加人数（人）
食生活改善推進員育成講習会	11	278
うす味定着化事業（訪問事業）	288	288
全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト（高齢世代）	3	36
設立60周年記念式典	1	28
計	303	延べ　630

・食生活改善推進事業補助金　130,000 円

【自死対策強化事業】　251,866 円

町民の孤立化を予防し、うつの発症や自死予防を図るため、住民及び地域の支援者を対象にメンタルヘルス向上の取組を実施した。

事 業 名	実施状況
保健福祉ネットワーク研修	「自死予防」をテーマに精神保健福祉士による研修を開催（1回　25人参加）
自死対策本部会議（庁舎内戦略会議）	全国的に自殺者が増加していることを踏まえ、町の現状を共有し、今後の取組の方向性を協議
中学生向けメンタルヘルスチラシ配布	松島中学校在校生へチラシの配布（300枚）を実施

課題方向性

町民が心身の健康状態をより良く保ち、松島町で安心して暮らし健康長寿を享受できるよう、救急医療を含む医療体制を確保する。また、地域の健康課題と住民のニーズを把握し、保健・医療・福祉等の関係機関と連携を図り健康支援施策を推進する。

4　款	1　項	2　目	予防費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	72,592	69,669	2,168	1,103		10,601	55,797

目的

町民が健康を保持し、生涯にわたって健やかな生活を送ることができるよう、個人の生活を尊重した保健・栄養指導を実施し、町民の主体的な健康づくりの取組を支援する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
健康教育	A	4.0	3.3	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、生活習慣病発症や重症化予防のための健康教育・健康相談を実施し、住民が自ら生活習慣の改善に取り組む一助になるよう事業を適切に行うことができた。
健康診査	A	5.0	3.0	新型コロナウイルス感染症対策を行い、集団健診及び個別検診の実施により、疾病の早期発見、生活習慣病の予防、健康増進につながるよう実施した。
予防接種事業	A	5.0	3.7	対象者に必要な予防接種の勧奨を適時実施したことにより乳幼児の接種率が向上し、感染症のまん延防止が図られた。
結核予防事業	A	4.3	3.3	乳児へのBCG接種により結核の新規感染を防ぐとともに、結核検診を実施することで結核の早期発見、感染拡大予防を図った。
宮城ハンセン予防協会	B	－	4.0	宮城県市長会、町村会より法令外負担金として承認された額を宮城ハンセン協会に助成し、ハンセン病回復者への支援及び病気を正しく理解する活動を支援した。

実績

【健康教育】　3,751,053 円

1　健康増進事業（対象：40～64歳まで）

事　業　名	回数（回）	参加人数（人）	実施内容
総合健康相談	7	122	個別健康相談
重点健康相談	22	65	病態別・歯周病・骨粗しょう症等の健康相談
集団健康教育	20	134	生活習慣病予防、がん予防、一般健康教育

2　健康教育・健康相談事業（対象：全年齢）

事　業　名	回数(回)	人数(人)	実施内容
まちかど健康相談	5	118	町内の事業所（5カ所）において、生活習慣病予防や心の健康等について普及啓発及び健康相談を実施
食生活改善推進員育成事業	11	278	健康講話、実技研修他 （食生活改善推進員数29人）
地域運動普及講習会	5	76	健康教育（保健師、栄養士）、レシピの紹介（食生活改善推進員）、運動の実践（健康運動指導士）
ノルディックウォーキング教室	2	40	ノルディックウォーキングの実技指導
ウォーキングマップ普及事業	通年	—	ウォーキングマップ（手樽編、北部編、西部編、海岸編）の普及
松島町オリジナル体操普及講習会	1	25	筋力トレーニング、バランス力強化を踏まえたどんぐりバランス体操の実践（健康運動指導士）
歯科保健指導	24	135	口腔ケア・歯周疾患予防等に関する指導、口腔機能向上トレーニング
健診結果説明会	1	7	糖尿病重症化予防の講話と保健指導
健康ポイント事業	—	38	生活習慣病予防のための自主的な取組を実施した者へのインセンティブの付与
訪問指導事業	7	7	健診の要指導者、医療機関未受診者など健康上保健指導が必要な者（40～64歳）に対し訪問指導を実施

（次頁へ続く）

実績

3　長寿・健康増進事業

宮城県後期高齢者医療広域連合の受託事業として、被保険者の心身の健康保持・増進を目的に、75歳以上を対象とする転倒・骨折予防及び運動器の機能向上のための運動教室を実施した。

事業名	内　容	人　数
健康体操教室	ストレッチ・座位立位運動・歩行練習・リズム運動を実施　（年48回）	受講者 62人、延べ 434人
健康水中運動教室	ストレッチ・水中ウォーキング・バランス及び筋力トレーニングを実施　（年16回）	受講者 19人、延べ 133人

【健康診査】　34,812,383 円

1　各種健（検）診受診状況

内訳 / 検診名	令和3年度		
	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
結核・肺がん検診	5,499	2,082	37.9
子宮がん検診　(※1)	3,636	1,112	30.6
胃がん検診	5,061	1,048	20.7
乳がん検診　(※2)	1,506	642	42.6
大腸がん検診	5,271	1,746	33.1
前立腺がん検診	1,812	512	28.3
青年健康診査	1,128	158	14.0
お達者健康診査	2,599	586	22.5
骨粗しょう症検診	615	90	14.6
肝炎ウイルス検査	133	18	13.5
歯周病検診　(※3)	希望者	13	―

各種健診の対象者は、健診申込み者と家族申込み表未提出者とした。ただし、お達者健診については、健診実施日において後期高齢者医療制度加入者全員を対象者とした。

※1 子宮がん検診及び乳がん検診の受診者数は「がん検診推進事業」における無料検診（クーポン券使用）の受診者を含む。（子宮頸がん検診3人、乳がん検診20人）

※2 乳がん検診は、マンモグラフィー検査により実施した。対象者は40歳以上の女性で偶数年齢とした。

※3 歯周病検診の対象を40・50・60・70歳とし、一般社団法人塩釜歯科医師会に委託して実施した。

2　申し込み状況　（人）

項目 / 検診名	申込	病院・職場等町の検診以外で受ける	入院・入所中	寝たきりまたは歩行困難等	その他（不備を含む）	未提出	計
結核・肺がん検診	2,495	2,838	133	50	187	3,905	9,608
子宮がん検診	1,664	1,019	99	40	422	2,885	6,129
胃がん検診	1,471	3,490	135	56	536	5,092	10,780
乳がん検診	784	448	52	20	147	1,104	2,555
大腸がん検診	2,254	2,621	133	47	349	4,258	9,662
青年健康診査	250	733	2	0	64	1,273	2,322

3　脳検診費用助成事業

40・45・50・55・60・65・70・75歳を対象に頭部MRI検査を含む脳検診費用の一部（上限額10,000円）を助成した。

助成人数：106人

4　医療用ウイッグ購入費助成事業

がん患者の治療と就労の両立や療養生活の質の向上を図るため、がん治療に伴う脱毛に対応する目的で購入したウイッグに係る経費の一部（上限額20,000円）を助成した。

助成人数：4人

（次頁へ続く）

【予防接種事業】 28,533,734 円

1 定期予防接種

種類	対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)	備考
ロタ	42	41	97.6	令和3年度生（年度内に生後6週以上の者）
B型肝炎	54	54	100.0	令和2年4月～令和3年3月生
ヒブ	76	75	98.7	3歳6か月児健診時点で接種完了した者
小児肺炎球菌	76	75	98.7	3歳6か月児健診時点で接種完了した者
四種混合	76	75	98.7	3歳6か月児健診時点で接種完了した者
二種混合	92	74	80.4	11歳～12歳で接種した者
麻しん風しん混合1期	59	58	98.3	生後12月～24月未満で接種した者
麻しん風しん混合2期	81	79	97.5	令和4年度就学予定者で接種した者
水痘	76	71	93.4	3歳6か月児健診時点で接種完了した者
日本脳炎1期	78	77	98.7	90月（7歳5か月）までに接種完了した者
日本脳炎2期	92	69	75.0	12歳で接種した者
HPV（子宮頸がん予防ワクチン）	—	累計38	—	中学校1年生（13歳相当）～高校1年生（16歳相当）の女子
風しん第5期（風しんの追加的対策）	—	28	—	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の男性
高齢者肺炎球菌	713	145	20.3	65歳以上で5歳刻みの者、過去に1度も接種していない者
高齢者インフルエンザ	5,245	3,293	62.8	65歳以上の者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓、呼吸器機能に障害を有する者（町外施設入所者に対する償還払いによる費用助成13人を含む）

※ 日本脳炎ワクチンは平成17年から平成21年度まで接種を見合わせていたため、その間に接種の機会を逃していた20歳未満の者も対象とし接種を行った。（接種人数：1期 179回、2期 55回）

※ HPVワクチンは平成25年4月に定期接種となったが同年6月から積極的な接種勧奨が差し控えられた。令和3年11月厚生労働省通知により接種勧奨を再開した。

※ 風しん第5期の対象者は抗体検査を受けた結果、十分な風しんの抗体がないと判明した者である。（抗体検査受検者：111人）

2 風しんワクチン接種費用助成事業

対象者：19歳から49歳までの女性、妊婦の配偶者及び同居者
内　容：風しんワクチン接種費用を全額助成
助成人数：3人

【結核予防事業】 2,566,094 円

1 BCG予防接種

種類	対象者(人)	接種者（人）	終了率（%）	対象者
BCG	51	50	98.0	1歳未満の者

2 結核・肺がん検診

内訳／検診名	令和3年度		
	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
結核・肺がん検診	5,499	2,082	37.9

【ハンセン病回復者支援】 4,750 円

宮城県市長会、町村会より法令外負担金として承認された額を宮城ハンセン協会に助成した。
助成回数：1回

課題方向性

糖尿病等の生活習慣病、循環器疾患、がん等の疾病を予防し、さらに重症化を予防することが課題である。課題を解決するために、町民が健康づくりに関心を持ち、健康行動につながるための事業を実施するとともに、ハイリスク者等に対する重症化予防事業を実施し、町民の健康増進、疾病予防につながるよう支援する必要がある。

予防接種については、対象者が標準的な接種期間に終了するよう接種勧奨を実施する。また全国的に風しん抗体検査受診者数が低迷しているため、未受診者に対し再勧奨を行い、感染症のまん延防止に努める。

一　般　会　計

4　款	1　項	3　目	健康館費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,898	2,681				678	2,003

目的

住民が生涯にわたり安心して健康な生活が送れるよう地域との連携を図り、高齢になっても住み慣れたところでお互いに支え合いながら暮らせるまちづくりを推進する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
健康館管理運営経費	B	－	2.7	地域住民及びデイサービス通所者が安全・安心に施設を利用できるよう、健康館の管理運営（保守・修繕）を実施した。

実績

【健康館管理運営経費】

1　松島町健康館デイサービスセンター利用状況

・指定管理期間　　令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
・指定管理者　　社会福祉法人　松島町社会福祉協議会

	年間活動日数（日）	延べ人数（人）	1日平均利用人数（人）
令和3年度	291	4,436	15.2
令和2年度	291	4,514	15.5
令和元年度	288	4,718	16.4

2　修繕料　196,933　円

・浴槽ろ過設備漏水箇所修繕　63,800　円
・水洗便器・水抜栓修繕　133,133　円

課題方向性

施設・設備等の老朽化によりメンテナンスにかかる費用の増加が見込まれるが、利用者の安心と安全を確保し地域に密着した介護サービスが提供されるよう、健康館デイサービスセンターの指定管理者である松島町社会福祉協議会と協議を行い、管理運営を継続して実施する。

一　般　会　計

4　款	1　項	4　目	母子衛生費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,638	9,047	383	64			8,600

目的

町で安心して出産でき、良好な親子関係のもと、子どもたちがより良い発育・発達ができるよう支援する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
母子保健事業	A	5.0	3.0	令和3年度より、産後ケア事業や産婦健康診査、乳幼児精神発達精密健康診査事業を開始し、関係機関との連携により安心して出産・子育てができるよう支援体制を強化した。
特定不妊治療助成事業	B	－	3.3	医療保険適用外の不妊治療に要する費用を助成し、不妊に悩む夫婦の経済的負担と精神的負担の軽減につながった。

実績

【母子保健事業】

1　母子健康手帳交付・育児相談等

事業名	回数（回）	参加延べ人数（人）
母子健康手帳交付	47	47
妊婦支援プラン作成	47	47
妊産婦・新生児訪問指導	50	55
モグモグ教室	6	42
赤ちゃんほっとサロン	8	100
どんぐり保健室	6	56
3歳児ダイレクトメール事業	12	73
保育所・幼稚園児対象わんぱく教室	12	139
小学校・中学校歯科指導	11	192
希望園歯科指導	1	保護者3、子4
栄養だよりの発行	4	4,256
まつしまの食育通信	12	総アクセス数　716

2　思春期保健指導

内容	場所・対象	回数(回)	参加人数(人)
講話「たばこ、お酒、ドラッグと依存症」	松島第五小学校 6学年	1	12

3　健康相談・訪問指導

電話相談（件）			来所相談（件）		訪問指導（人）			
					乳児		幼児	
健診	予防接種	発育・発達	健康相談日	随時	実	延	実	延
41	70	214	32	3	4	11	9	23

4　乳幼児健康診査事業

内訳 健診名	令和3年度		
	対象(人)	受診者(人)	受診率(%)
3～4か月児健康診査	50	49	98.0%
1歳6か月児健康診査	62	59	95.2%
2歳6か月児歯科健康診査	66	63	95.5%
3歳6か月児健康診査	84	81	96.4%

（次頁へ続く）

実績

5　乳幼児精神発達精密健康診査事業
対象 ： 発達に遅れや偏りが疑われる乳幼児（保護者等の希望による）
内容 ： 臨床心理士や言語聴覚士等の資格を有する者に依頼し乳幼児精神発達精密健康診査を実施した。保護者等への結果説明、報告書の提出、事後指導を行い、所属する保育所・幼稚園の支援計画作成や療育等につながった。
実施人数：7人

6　乳児一般健康診査　536,670 円

健診時期	2か月	8～9か月	合計
受診人数（人）	50	39	89

7　妊婦健康診査　5,107,230 円

妊娠週数	初回	12～15週	16～19週	20～23週	24～25週	26～27週	28～29週	30～31週	32～33週	34～35週	36週	37週	38週	39週	合計
受診人数（人）	49	44	45	43	43	41	44	47	50	41	43	40	33	20	583

計14回の妊婦健診自己負担分を助成（実人数：80人）

8　産婦健康診査　457,880 円
産後うつ予防と新生児への虐待防止のため令和3年度より実施した。

健診時期	2週間	1か月	合計
受診人数（人）	42	44	86

＊乳児一般（2か月児・8～9か月児）健康診査、妊婦健康診査、産婦健康診査は、公益社団法人宮城県医師会に委託し、指定医療機関で実施した。

9　妊産婦・乳児健康診査費助成事業
里帰り出産等により県外医療機関を受診した場合の費用について、償還払いによる助成を行った。
助成人数：2人

10　産後ケア事業
出産直後から切れ目のない妊産婦への支援のため、令和3年9月より医療法人友仁会松島病院に委託し、居宅訪問型で実施した。
利用人数：1人

【特定不妊治療助成事業】　300,000 円

1　特定不妊治療助成事業
特定不妊治療に要した費用の一部（1回の治療につき150,000円）を助成した。
助成件数：2件（実人数2人）

課題方向性

ホームページや子育て支援サイト、オンライン健康相談などSNSを活用して役立つ情報をタイムリーに発信し周知するとともに、赤ちゃんほっとサロンやどんぐり保健室など相談支援を実施する。妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して、児童館や町民福祉課、医療機関等と連携して包括的な支援体制を構築する。

一　般　会　計

4　款	1　項	5　目	環境衛生費
担当部署名	総務課環境防災班・水道事業所施設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	35,401	33,706	1,380			416	31,910

目的

健全で安心な町民の生活環境の確保と自然環境保護を目的に、ごみゼロ運動や秋の一斉清掃活動を全町で実施し、環境美化の推進とごみの減量化の意識向上に努める。また、狂犬病の発生を防止するため、飼い犬の登録と狂犬病予防注射接種を行う。

公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）においては、合併処理浄化槽設置整備事業を推進し、町民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全等を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
環境衛生経費（公衆衛生）	A	3.7	3.7	地域住民をはじめ、小中高校生や各種団体が地域の環境美化活動を実施したことで、住みよい生活環境の構築並びに環境保全を図ることができた。 不法投棄ごみの回収や抑止等を目的に、環境美化推進員24名（各行政区2名）による巡回パトロールを実施し、環境美化を推進することができた。
環境衛生経費（狂犬病）	B	－	3.7	公益社団法人宮城県獣医師会の協力のもと、狂犬病予防集合接種を実施し接種率向上を図ることができた。また、犬の登録状況を整理し、より正確な台帳管理に努めた結果、接種率の向上に繋がった。
塩釜地区斎場運営経費	B	－	3.7	塩釜地区消防事務組合に対して新斎場建設に係る投資的経費負担金を支出し、「りふ斎苑」の建設工事を完了することができた。 「りふ斎苑」及び新斎場建設前までの「塩竈斎場」の運営については、負担金を支出し適正な管理下において運営することができた。
合併処理浄化槽設置事業	A	4.7	3.7	公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）における合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付し、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に寄与した。

実績

■総務課 環境防災班所管

【環境衛生経費（公衆衛生）】

1　ごみゼロ運動・秋の一斉清掃

・　マスク着用等の新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら、町民全体で環境美化活動を実施し、きれいなまちづくりを推進した。

○ 一斉清掃実施回数　2 回
（・ごみゼロ運動：5月～6月　・秋の一斉清掃：9月）
（各地区や各種団体においては、年間を通じて清掃活動を実施。）

○ ごみ回収量　68 ㎥

2　松島町環境美化推進員の設置

○ 環境美化推進員　24名（各行政区2名）

○ 不法投棄防止巡回パトロール　延べ 313回

【環境衛生経費（狂犬病）】

犬の登録及び狂犬病予防注射

・　窓口において犬の登録等の申請手続き並びに狂犬病予防注射済票の交付事務を実施。
狂犬病予防集合接種については、町内11会場にて4月に実施し、狂犬病予防注射の接種率向上を図った。

○ 飼い犬台帳登録数　511 頭　※令和4年3月31日現在

○ 飼い犬新規登録数　45 頭

○ 狂犬病予防注射済票交付数　488 頭（盲導犬1頭含む）
※接種率95.49%（R2:81.93%）

○ 狂犬病予防注射集合接種　（1次集合）　4/21・4/22・4/23　11 会場
（2次集合）　5/16　1 会場

（次頁へ続く）

4　款	1　項	5　目

実績

【塩釜地区斎場運営経費】

1　利用実績

年度 種別	令和3年度 （件）	令和2年度 （件）	令和元年度 （件）
火 葬 件 数	204	212	185
前　年　比	△ 8	27	0

2　塩釜地区斎場負担金　16,071,000 円
※内訳　管理費負担金　6,355,000 円
　　投資的経費負担金　9,716,000 円

■水道事業所 施設班所管

【合併処理浄化槽設置事業】

1　補助金交付実績

公共下水道計画区域外

人槽区分	補助基数（基）	補助金額（円）
5人槽	4（　2）	1,328,000
6　～　7人槽	4（　1）	1,656,000
8　～　10人槽	1（　0）	548,000
合　計	9（　3）	3,532,000

※上記表中、補助基数の内（　）の数字は、優良田園住宅「くぬぎ台」設置分である。

公共下水道計画区域内

人槽区分	補助基数（基）	補助金額（円）
5人槽	0	0
6　～　7人槽	0	0
8　～　10人槽	0	0
合　計	0	0

2　浄化槽法関連権限移譲事務処理実績

①浄化槽の設置等に関する届出受理件数（建築確認経由分を含む） ※法第5条第1項、第2項、第4項、法第10条の2に基づく事務	27　件
②浄化槽管理者等への立入検査・報告徴収件数 ※法第12条、第53条に基づく事務	0　件
③浄化槽工事業者への指示件数 ※法第32条第1項に基づく事務	0　件

3　合併処理浄化槽設置等改造資金斡旋状況

斡旋申請件数(件)	斡旋金額（円）	利子補給金額	
		予算額（円）	決算額（円）
0	0	96,000	1,466

課題
方向性

■総務課 環境防災班所管

コロナ禍においても感染症対策を行いながらごみゼロ運動等の環境美化活動を実施できたことにより、地域の美化はもちろんのこと、環境に対する意識の向上にも繋がった。

住みよい環境づくりに向け、住民一人一人の意識向上を図るとともに、環境美化推進員が行う定期的な巡回パトロールでの不法投棄の抑止等により、ごみのない綺麗なまちづくりに努める。

狂犬病予防接種については、予防接種の必要性や重要性の周知徹底を図り、更なる接種率の向上を目指す。

■水道事業所　施設班所管

交付金事業であるため事業の計画的な実施が求められており、適切なニーズの把握が必要である。公共下水道計画区域内も一部が補助対象となったため、広報紙等による情報提供を行い合併処理浄化槽の普及促進を図っていく。

合併処理浄化槽設置整備事業の整備状況

年　度	設置基数（基）	整備済人口（人）	設置基数内訳（基）				総事業費（千円）	内訳（千円）			備　考
			5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上		国庫補助金	県補助金	一般財源	
平成　3～28　年度	422	1,926	93	224	97	8	212,161	70,674	56,421	85,066	
平成　29　年度	13	1,984	2	8	3	0	5,620	1,960	0	3,660	
平成　30　年度	12	2,015	6	5	1	0	4,610	1,183	0	3,427	下水道計画区域外 10基 下水道計画区域内　2基
令和　元　年度	5	1,991	2	2	1	0	2,040	477	0	1,563	下水道計画区域外　4基 下水道計画区域内　1基
令和　2　年度	8	1,994	3	4	1	0	3,200	1,067	0	2,133	下水道計画区域外　8基 下水道計画区域内　0基
令和　3　年度	9	2,011	4	4	1	0	3,532	1,380	0	2,152	下水道計画区域外　9基 下水道計画区域内　0基
計	469		110	247	104	8	231,163	76,741	56,421	98,001	

※補助金額（平成19年度より改定）　（単位：千円）

	5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上
17年度まで	354	411	519	981
18年度まで	342	414	537	939
現行(19年度から)	332	414	548	939

合併処理浄化槽地域別設置状況

（単位：基）

年　度	磯　崎	高　城	桜渡戸	手　樽	根　廻	初　原	幡　谷	竹　谷	北小泉	計
平成　3～28　年度	0	24	14	98	25	32	161	49	19	422
平成　29　年度	0	0	3	3	1	0	3	1	2	13
平成　30　年度	3	1	0	3	1	0	3	1	0	12
令和　元　年度	0	1	0	0	0	0	3	1	0	5
令和　2　年度	0	1	0	1	0	1	4	1	0	8
令和　3　年度	0	0	1	2	1	1	4	0	0	9
計	3	27	18	107	28	34	178	53	21	469

し尿処理の状況（人口内訳の推移）

年　度	計画処理区域面積	計画処理区域内世帯数	総人口	計画処理区域内人口	非水洗化人口			水洗化人口			浄化槽人口						水洗化率	備　考
						し尿汲取り人口	自家処理人口		公共下水道人口	コミプラ人口		合併処理浄化槽人口				単独処理浄化槽人口		
													補助	農業	その他			
	(km^2)	(世帯)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	
平成 24 年度	54.00	5,507	15,104	15,104	1,488	1,488	0	13,616	9,731	0	3,885	2,087	1,630	0	457	1,798	90.1	
平成 25 年度	54.00	5,576	15,040	15,040	946	946	0	14,094	10,075	0	4,019	2,239	1,777	0	462	1,780	93.7	
平成 26 年度	53.56	5,647	14,918	14,918	961	961	0	13,957	9,929	0	4,028	2,280	1,808	0	472	1,748	93.5	
平成 27 年度	53.56	5,683	14,817	14,817	896	896	0	13,921	9,251	0	4,670	2,929	1,873	0	1,056	1,741	93.9	
平成 28 年度	53.56	5,676	14,632	14,632	626	626	0	14,006	9,238	0	4,768	3,027	1,926	0	1,101	1,741	95.7	
平成 29 年度	53.56	5,652	14,366	14,366	565	565	0	13,801	8,950	0	4,851	3,116	1,984	0	1,132	1,735	96.0	
平成 30 年度	53.56	5,630	14,073	14,073	1,752	1,752	0	12,321	8,993	0	3,328	3,158	2,015	0	1,143	170	87.5	
令和 元 年度	53.56	5,637	13,820	13,820	1,654	1,654	0	12,166	8,939	0	3,227	3,073	1,991	0	1,082	154	88.0	
令和 2 年度	53.56	5,676	13,594	13,594	1,635	1,635	0	11,959	9,182	0	2,777	2,626	1,994	0	632	151	87.9	
令和 3 年度	53.56	5,714	13,445	13,445	1,505	1,505	0	11,940	9,155	0	2,785	2,636	2,011	0	625	149	88.8	

○人口は各年度の3月31日現在の人数とする
○用語の解説
　コミプラ･･･コミュニティプラント　　補助･･･合併処理浄化槽設置整備事業により整備したもの　　農業･･･農業集落排水施設
○公共下水道、浄化槽等の人口は当該年度内に設置したもの

一　般　会　計

4　款	1　項	6　目	公害対策費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	536	476					476

目的

生活環境(自動車交通騒音・環境騒音)の騒音に関する実態を把握するため、町内5地点において騒音測定を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
公害対策事務事業経費（騒音）	C	－	－	自動車騒音測定を町内3地点で実施し、昼夜ともに規制基準値及び環境基準値を満足する結果であった。 また、環境騒音測定については、町内2地点で実施し、共に環境基準値以内の結果となった。

実績

【公害対策事務事業経費（騒音）】

1　自動車交通騒音測定（主要幹線道路3地点）　（単位：dB）

測定地点	調査結果	
	昼　間	夜　間
①根廻交差点（国道45号・三陸自動車道）	66	61
②初原町営住宅入口（県道仙台松島線・三陸自動車道）	65	59
③磯崎長田（奥松島松島公園線）	69	62
環境基準値	70	65
規制（要請限度）基準値	75	70

※測定実施日：令和3年11月17日～18日（昼間：6時～22時／夜間：22時～6時）

2　環境騒音測定（町内2地点）　（単位：dB）

測定地点	調査結果	
	昼　間	夜　間
④華園集会場	48	40
⑤垣ノ内集会場	49	45
環境基準値	55	45

※測定実施日：令和3年11月17日～18日（昼間：6時～22時／夜間：22時～6時）

・環境基準値
　環境基本法に基づき、騒音に係る環境基準について、都市計画法に基づく用途地域の区分毎に設定している。
　①・②：市街化調整区域で適用外だが、③を準用　昼間：70db／夜間：65db
　③：第2種住居地域で2車線以上の道路に面する地域　昼間：70db／夜間：65db
　④・⑤：第1種低層住居専用地域・第1種住居地域　昼間：55db／夜間：45db

・規制（要請限度）基準値
　騒音規制法により、自動車騒音の限度を設定している。
　①～③：高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道に近接する区域
　昼間：75db／夜間：70db

・測定時期について
　測定時期は、騒音が1年間を通じて平均的な状況を呈する日(秋期の平日)を選定

課題方向性

測定については、新設された避難道路を測定地点に加え、関係機関と調整を図りながら対応・検討を行う。
生活騒音や建設作業に伴う騒音等の苦情並びに相談については、実状を把握し、定量的な記録等を基に宮城県と連携して早期解決に努める。

一　般　会　計

4　款	1　項	7　目	新型コロナウイルスワクチン接種対策費
担当部署名	健康長寿課新型コロナウイルスワクチン接種対策室		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	109,246	103,726	95,799			1,019	6,908

目的

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種（大臣指示）に基づき、町民の接種体制を確保し、安全かつ速やかに接種を希望する者へのワクチン接種を実施する。接種の実施により新型コロナウイルス感染症のまん延防止、重症化予防を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
新型コロナウイルスワクチン接種対策費	A	5.0	5.0	町の特性に合わせた接種方法（期日指定集団接種、各種優先接種、医療機関個別接種、在宅高齢者巡回接種等）で接種を実施したことにより、混乱なくスムーズに接種が進み、全ての年齢で国・県平均以上の接種率となった。

実績

【接種体制の確保業務】

1　接種機会の確保

・需用費（光熱水費）　1,338,000円

・需用費（燃料費）　900,000円

接種体制

区分		接種期間	実施回数	接種枠数	接種会場	総実施日数
集団接種	1回目	R3年5月12日～10月24日	58回	10,800回	保健福祉センター	151回 ＊R4年3月31日まで
	2回目	R3年5月12日～10月24日	58回	10,800回		
	3回目	R4年2月 8日～ 3月31日	32回	7,040回		
	小　児	R4年3月28日～ 3月30日	3回	70回		
個別接種	医療機関接種		R3.4月～R4.3月まで随時実施	2,500回 ＊町内医療機関確保分	全国医療機関	随時
	宮城県大規模接種会場・職域接種				仙台市内	
	高齢者施設等の入所者接種				町内3施設	
	巡回接種（在宅療養者等）				自宅及びグループホーム	

2　相談対応

相談対応件数：7,321件

・コールセンター労働派遣委託料　8,924,960 円

相談実績

内容	件数
接種予約・日程変更に関する相談	3,119件
ワクチン接種の手続き、接種券に関する事他	2,685件
ワクチン接種を希望しない	1,193件
ワクチンの特徴・副反応について	255件
送迎について	69件

3　ワクチン接種送迎

・送迎業務委託料　6,286,944 円

送迎実績

区分	送迎便数(往復で1便)	利用者数	車1台あたり乗車人数
初回接種（1・2回目）	348便	1,516人	4.4人
追加接種（3回目）	64便	661人	10.4人

4　接種券の作成

・接種券作成業務委託料　6,562,952 円

対象者：5歳以上の町民　13,019人に対し、1～3回目までの接種券を発行

・システム改修費、予約システム業務委託料　7,260,000 円

4　款	1　項	7　目

実績

【ワクチン接種業務】

・集団接種業務委託料（塩釜医師会分）	26,636,200 円
・集団接種業務委託料（塩釜地区薬剤師会分）	3,874,000 円
・個別接種業務委託料	14,291,699 円
・健康観察看護師等報酬	3,432,000 円
・会場業務労働派遣委託料	9,060,909 円
・東北大学ワクチン接種センター設置運営委託料	133,000 円
・小児接種体制確保業務委託料	126,000 円
・感染性廃棄物処理業務委託料	199,100 円

1　接種実績

総接種回数：30,587回（うち、休日接種7,281回）

＊ 予診のみ：47回

2　接種率　（令和4年3月31日時点の現存者分）

区分	1回接種者		2回接種者		3回接種者		未接種者	
	人数（人）	率（%）	人数（人）	率（%）	人数（人）	率（%）	人数（人）	率（%）
75歳以上	10	0.4	116	4.1	2,591	91.5	116	4.1
65歳～74歳	7	0.3	113	4.6	2,227	91.3	93	3.8
60歳～64歳	7	0.7	109	11.2	810	83.1	49	5.0
50歳～59歳	2	0.1	821	47.8	725	42.2	169	9.8
40歳～49歳	9	0.6	914	57.6	468	29.5	197	12.4
30歳～39歳	3	0.3	657	58.0	292	25.8	180	15.9
20歳～29歳	3	0.3	518	59.8	211	24.4	134	15.5
12歳～19歳	69	7.9	607	69.2	44	5.0	157	17.9
5歳～11歳	77	13.5	0	0.0	0	0	492	86.5
合計	187	1.4	3,855	29.7	7,368	56.7	1,587	12.2

【予防接種事故発生調査費】　13,400 円

予防接種健康被害調査委員会開催：1回（書面会議）

（繰越明許費）	41,411,901 円
（現年）	62,313,437 円

課題方向性

ワクチン接種が3回目まで進み、接種対象年齢や接種間隔が変更になったことに加え、年齢や既接種回数によって使用できるワクチンの種類や接種量が異なる等、接種業務内容が非常にわかりにくい中で、接種会場においても間違い接種が起こらないように体制整備や確認業務を確実に行う必要がある。

また、町民がワクチン接種について正しく理解し、間違いなく安全に接種できるよう接種券発送案内や広報、ホームページ等で周知に努める。

現在、本町では3種類の新型コロナワクチンを管理・使用しているが、ワクチン接種を希望しながら、アレルギー等で接種を見合わせている人の選択肢を広げる必要があり、町で取り扱うワクチンの種類を増やすことも念頭に接種体制を充実することが課題である。

一　般　会　計

4　款	2　項	1　目	塵芥処理費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	181,081	179,594				20,423	159,171

目的

一般廃棄物の処理に関する計画に基づき収集運搬を行うとともに、廃棄物の減量化を図り再利用を促進することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
塵芥処理経費	A	4.0	4.3	各家庭から排出される家庭系廃棄物について、新たに作成したごみカレンダーによる分別収集日の徹底を図り、迅速かつ適正な回収を行った結果、廃棄物の減量と清潔な生活環境を保全することができた。
宮城東部衛生処理組合負担金	B	－	4.0	多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町で構成する宮城東部衛生処理組合において、ごみ処理施設等でのごみ処理及び施設管理に係る事務の経費に関し、構成市町が負担金を支出して適正な処理を行うことができた。

実績

【塵芥処理経費】

1　ごみ処理実績

（単位：　t　）

区　分	年度／種別	令和3年度	令和2年度	令和元年度
家庭系ごみ	可燃ごみ	2,662	2,743	2,773
	不燃ごみ	99	112	88
	プラスチック製容器包装	99	102	90
	粗大ごみ	234	237	200
	資源物	754	618	564
	小計	3,848	3,812	3,715
事業系ごみ	可燃ごみ	1,348	1,288	1,734
	不燃ごみ	10	42	9
	小計	1,358	1,330	1,743
直接搬入ごみ		593	659	879
合計		5,799	5,801	6,337

2　松島町一般廃棄物収集運搬業務委託（家庭系ごみの収集）　62,436,000 円

【宮城東部衛生処理組合負担金】

・宮城東部衛生処理組合負担金　116,757,564 円
　※内訳　ごみ処理負担金　108,789,564 円
　　投資的経費負担金　7,968,000 円

課題方向性

ごみ処理実績における全体としての排出量は前年度と同水準であるが、分別意識の向上により資源物の回収量が増加した。

ごみの排出量については、今後もコロナ過の影響を受け増減することが想定されるが、ごみカレンダーの裏面に分別の仕方を記載するなど、分別意識の向上並びに分別方法の周知徹底を図り、廃棄物の抑制とリサイクルを促進する。

一　般　会　計

4　款	2　項	2　目	し尿処理費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	58,056	58,056					58,056

目的

町内のし尿・浄化槽汚泥の処理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
塩釜地区環境センター負担金	B	－	4.0	各家庭や事業所から排出された、し尿及び汚泥について、塩釜地区環境センターで処理を行ったことにより、公衆衛生の保全を行うことができた。

実績

【塩釜地区環境センター負担金】

1　塩釜地区環境センター負担金　58,056,000 円

2　し尿・汚泥処理実績

種別＼年度	令和3年度 (t)	令和2年度 (t)	令和元年度 (t)
し　　尿	2,593	2,780	2,849
汚　　泥	1,208	1,405	1,282
合　　計 （前 年 比）	3,801 （△ 384）	4,185 （ 54）	4,131 （△ 217）

課題方向性

公共下水道並びに浄化槽の普及により、し尿の処理量は年々減少している状況である。塩釜地区環境センターの管理運営については、機器設備のメンテナンス等が適正な管理の下に行われるよう情報を共有し、迅速かつ適切なし尿処理により公衆衛生の向上を図る。

一　般　会　計

5　款	1　項	1　目	勤労青少年ホーム費
担当部署名	勤労青少年ホーム		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,264	10,945				451	10,494

目的

施設の有効活用のために新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、町民への貸出しや自主グループの育成を図る。また、図書室については、年齢の早い段階から読書の習慣を身につけるため、ブックラリー等の事業を実施した。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
管理運営費	B	－	3.0	新たな図書を購入し、蔵書の充実を図った。 また、図書室の利用については、在宅時間が増えていることもあり、利用者、貸出冊数共に増加した。

実績

【管理運営費】　10,803,861 円

1　講座・事業等

名　称	内　容	期　日	回　数
図書巡回文庫	幼稚園、保育所、児童館、小学校などに移動文庫を設置し、子どもが本と触れ合い親しむ機会を提供した。	毎月	○幼稚園　10回 ○保育所　10回 ○児童館　11回 ○小学校　9回

2　施設利用状況

・集会室、講座室、音楽室、調理室、研修室

区　分	利用回数	利用人数
一　般	529回	3,176人

3　図書室

利用人数等

	区　分	利用人数及び貸出冊数		1日平均	
		人数（人）	冊数（冊）	人数（人）	冊数（冊）
松島町内	一　般	4,440	15,070	14.9	50.6
	児　童	1,510	6,880	5.1	23.1
松島町外	一　般	36	76	0.1	0.3
仙台都市圏	一　般	63	230	0.2	0.8
県図書	一　般	128	576	0.4	1.9
団体		20	112	0.1	0.4
閲覧者	全	1,273	－	4.3	－
合　計	－	7,470	22,944	25.1	77.0

※開館日数　298日

※上表に、図書巡回文庫の利用は含んでいない。

4　ブックラリー参加者

	実施期間	参加者数(人)	貸出冊数（冊）
春のブックラリー	4月17日 ～ 5月30日	40	400
秋のブックラリー	10月23日 ～ 11月28日	60	600

※上表は、「利用人数等」の利用人数、冊数に含む。

（次頁へ続く）

5　款	1　項	1　目

実績

5　蔵書内訳

区　分	蔵書冊数	蔵書比率
一　般　図　書	32,944	70.55　%
児　童　図　書	12,601	26.99　%
洋　　書	96	0.21　%
参　考　図　書	17	0.04　%
郷　土　資　料	1,035	2.22　%
合　　計	46,693	100　%

令和3年度図書増減内訳

区　分	冊　数
一　般　図　書	243
児　童　図　書	169
寄　　贈	76
抹　　消	△ 10
合　　計	478

※令和4年3月末日の蔵書冊数は、46,693冊である。

6　子どもの本移動展示会

実施期間　令和3年7月31日～8月9日まで　　9日間（休館日を除く）

展示冊数　200冊　・　期間中の閲覧者　109人

※「子どもの本展示会」は県内の希望する市町村図書館・図書室を巡回展示し、児童書にふれる機会や新しい本との出会いの場として、また選書の参考として宮城県図書館が実施する事業である。

※「子どもの本展示会」閲覧者は、利用人数の閲覧者に含まない。

課題方向性

一般図書の充実を図り、図書室の利用促進に努める。加えて、低年齢の段階で読書の習慣が身につくように、ブックラリー、読み聞かせ等の事業推進を図っていく。

また、施設が老朽化していることから、適宜修繕を行い，維持管理に努める。

一　般　会　計

5　款	1　項	2　目	労働諸費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	38,781	38,781				33,000	5,781

目的

シルバー人材センターの支援、勤労者融資制度運営のための預託、職業訓練校の事業支援等を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
労働振興経費	B	－	3.3	各補助金、預託金の支払いを行い、健全な事業運営に寄与することができた。

実績

1　松島町勤労者生活安定資金融資預託金　10,000,000円

・令和3年度融資状況（令和4年3月末現在）

融資の種類	融資限度額	返済期間	金利	融資件数	融資金額
生活資金	100万円	7年以内	年2.75%	1件	418,143円
教育資金	300万円	10年以内	年1.55%	1件	1,629,282円
福祉資金	100万円	7年以内	年1.25%	0件	0円
自動車資金	200万円	7年以内	年1.55%	11件	12,249,830円
			うち令和3年度中新規	6件	10,600,000円

2　勤労者福祉一般預託金　23,000,000円

・令和3年度融資状況（令和4年3月末現在）

資金使途	融資件数	融資金額
住宅ローン、教育ローン、マイカーローン等	309件	1,234,173,902円
うち令和3年度中新規	28件	121,040,000円

3　塩釜建設技能者訓練協会補助金　171,000円

・令和3年度訓練生…4名（松島町からの訓練生1名）

4　宮城県労働保険事務組合連合会負担金　10,000円

5　松島町シルバー人材センター事業補助金　5,600,000円

・令和3年度事業実績

項目	令和3年度実績	令和2年度実績	前年度との比較
会員数	137人	113人	24人
うち男性	103人	89人	14人
うち女性	34人	24人	10人
受注件数	427件	389件	38件
うち公共	27件	20件	7件
うち民間	399件	369件	30件
うち派遣	1件	0件	1件
契約金額	48,060千円	44,318千円	3,742千円
うち公共	22,989千円	21,445千円	1,544千円
うち民間	25,071千円	22,873千円	2,198千円
うち派遣	4千円	0千円	4千円
就業延人数	8,024人	7,431人	593人
就業率	63.50%	67.30%	△3.8%

課題方向性

シルバー人材センター事業について、会員数・受注状況ともに向上しているが、就業率が60％台に留まっている。会員になっても働きたい仕事がなければ会員数の減少に繋がりシルバー人材センターの経営にも支障をきたすため、同団体への支援を継続しつつ動向を注視していきたい。

一　般　会　計

6　款	1　項	1　目	農業委員会費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,627	11,227		1,714		511	9,002

目的

農業委員会等に関する法律が平成27年に改正され、農業委員会は、「農地等の利用の最適化の推進」が最も重要な必須業務として位置づけられたことにより、地域の実態に応じた取組の推進に向け、対策の強化を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
農業委員関係経費	A	3.7	3.0	遊休農地の発生防止・解消については、所有者の意向も踏まえながら非農地証明を積極的に行った。 機構集積協力金を活用し、担い手への農地利用集積を行った。 新規参入の相談に対し農地あっせん等の情報提供を実施した。

実績

【農業委員関係経費】

※農地等の利用の最適化の推進とは
(1) 遊休農地の発生防止・解消
(2) 担い手への農地利用の集積・集約化
(3) 新規参入の促進

農地等の利用状況

1　遊休農地の発生状況

年　　度	農地面積	遊休農地面積	遊休農地割合	遊休農地面積（前年比）
令和元年度	1,047 ha	49.70 ha	4.75 %	8.09 ha 増
令和2年度	1,045 ha	52.28 ha	5.00 %	2.58 ha 増
令和3年度	1,043 ha	55.40 ha	5.31 %	3.12 ha 増

（農地面積は、農業委員会が行う農地利用状況調査から集計）

2　担い手への農地利用の集積・集約化

年　　度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率
令和元年度	949 ha	533 ha	56.1 %
令和2年度	942 ha	542 ha	57.5 %
令和3年度	935 ha	548 ha	58.6 %

（農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積）

（次頁へ続く）

6　款	1　項	1　目

実績	農地法等に基づく権限に属する事務 1　農地法第3条に基づく許可事務 （12件：97,558㎡）　（前年度　12件：18,744㎡） 2　農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付） （12件：29,579㎡）　（前年度　9件：10,153㎡） 農地転用に関する事務（市街化区域内） （ 4件：1,596㎡）　（前年度　2件：4,464㎡） 3　非農地証明願 （ 8件：17,474㎡）　（前年度　9件：9,013.62㎡） 4　農地中間管理事業における農用地利用配分（案） （ 6件：54,048㎡）　（前年度　16件：95,617㎡） 5　農業経営基盤強化法促進法による農用地利用集積 所有権の移転 （ 2件：3,850㎡）　（前年度　2件：10,222㎡） 利用権の設定 （51件：487,476㎡）　（前年度　54件：465,798㎡） 6　農業者年金事業（受給者） （95人）　（前年度　103人）
課題 方向性	農業従事者の高齢化等により農地集積が難しくなっている中で、担い手の意向を踏まえた農地中間管理機構の活用により農地の集約化を図り、新たな生産法人等の参入についても宮城県等とともに推進していく。

一　般　会　計

6　款	1　項	3　目	農業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,483	14,562		4,577		141	9,844

目的

町の農業振興については、経営所得安定対策により、米の需給均衡を図りつつ、稲作経営の安定を継続すると供に、認定農業者及び生産組織等の担い手による集団転作・遊休農地の活用等を推進する。また、農業関係の各種団体活動への支援と農業制度資金への支援を実施し、農業振興と農業経営の安定に資する。

手樽海浜公園及び農村公園3箇所の維持管理を行い、利用者の憩いの場として、安全な公園環境を提供する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
経営所得安定対策等推進事業費	B	－	3.7	仙台農業協同組合等の関係機関と連携し、認定農業者及び生産組織等の担い手を主体として、大豆、飼料作物を中心とした土地利用型作物の本格的生産を推進し、産地づくり対策事業により円滑に実施された。
農業振興経費	A	3.3	3.7	中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を行った。また、農業制度資金への利子助成により農業経営の安定に資することができた。
農村環境改善センター管理運営経費	B	－	3.3	指定管理者による適切な管理運営がなされた。
中山間地農業ルネッサンス推進事業	A	3.0	3.0	ワークショップを開催し、松島町に見合った特産品の試作等を行った。
手樽海浜公園等管理経費	B	－	3.3	手樽海浜公園及び農村公園について、適切な維持管理を行い、利用者が安心して集える場を提供することができた。

実績

1　経営所得安定対策等推進事業

協議会を構成する町、仙台農業協同組合等の関係者で連携し、各種説明会や農協の地区別懇談会等を活用し、本対策の趣旨、内容の周知等の推進活動を行った。

○事業実施主体　　松島町地域農業推進協議会
○補助額　　722,000 円
○国から農業者への交付実績
・水田活用の直接支払交付金

戦略作物助成	大豆	4件	12,740,000 円
	飼料用米	40件	104,348,520 円
	飼料作物（牧草）	9件	1,165,500 円
産地交付金		44件	30,240,800 円

転作実施面積	344.5 ha
一般作物	166.4 ha
大豆	36.4 ha
飼料用米	126.7 ha
飼料作物	3.3 ha
備蓄米	30.0 ha
永年作物（果樹・花木他）	5.9 ha
特例作物（野菜）	24.3 ha
調整水田・養魚水田	1.2 ha
自己保全管理	112.4 ha
その他	4.3 ha

対象水田：	826.2 ha
生産の目安面積換算：	522.0 ha
生産の目安割合：	63.2 %
主食用水稲作付面積：	481.5 ha
主食用米作付割合：	58.3 %
実施農家数：	466.0 戸

（次頁へ続く）

6　款	1　項	3　目

実績

2　農業経営基盤強化資金利子助成事業
○ 融資対象農家数　1 戸
○ 利子助成額　2,703 円

3　品井沼農村環境改善センター管理運営経費
○ 指定管理料　4,732,184 円
・利用件数　629 件
・利用者数　8,212 人

4　農地集積・集約化対策事業補助金
農地中間管理機構を活用し、農地の集積に協力した地域の担い手(農業者)への協力金

	地域集積協力金	経営転換協力金
補助対象	－	5　戸
補助金額	－	834　千円

5　中山間地農業ルネッサンス事業
○ 高収益作物（セリ）実証栽培業務委託　489,500 円
・遊休農地活用し、セリの実証栽培を行った。
○ 農林水産物加工品試作業務委託　484,000 円
・タケノコの味付け水煮の試作を行った。
○ 土壌診断業務委託　772,200 円
・野菜圃場の土壌診断（全項目・アブラナ科）を実施し連作栽培に関する指導を行った。

6　手樽海浜公園等管理経費
手樽海浜公園、古浦農村公園、上竹谷農村公園、下竹谷・北小泉農村公園の維持管理

○ 需用費（修繕料）　198,154 円
・手樽海浜公園トイレ修繕（小便器、大便器）　191,554 円
・上竹谷農村公園トイレ修繕（小便器）　6,600 円

○ 委託料　2,100,640 円
・手樽海浜公園除草業務委託（年2回）　1,106,600 円
・手樽海浜公園清掃業務委託（週1回）　607,200 円
・手樽海浜公園他遊具定期点検業務委託（年1回）　51,700 円
・手樽海浜公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）　61,900 円
・手樽海浜公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）　273,240 円

課題方向性

■産業観光課 産業振興班
農業振興及び米価の安定のためには、町や県、農業協同組合が水田計画を策定するだけでなく、農業者個人が需要に応じた米生産に取り組む必要がある。農業者の所得向上を図るために、集団転作や収益性の高い作物の作付への誘導を行い、各農業者が営農を継続できるよう引き続き支援を行っていく。
また、担い手の育成や、担い手・集落営農組織へ農地集積を促し、地域農業を継続していくことが重要である。
手樽海浜公園及び各農村公園については、利用状況等も踏まえ設備や遊具の点検・修繕を行い、適切な維持管理に努めていく。
なお、手樽海浜公園については、管理手法を含め関係団体と連携しながら有効利活用方法を検討していく必要がある。

6　款	1　項	4　目	農地費
担当部署名	産業観光課産業振興班・建設課建設班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,299	30,297		17,478			12,819

目的

松島農業振興地域整備計画に位置づけられている農業生産基盤整備事業を、各種農業・農村整備事業により実施し、優良農地の区画整理による効率的利用と、基幹水利施設の整備により、湛水・冠水被害の防止を図り、農作物の安定生産と農業経営の効率化に資する。

また、農村・農地の多面的機能の維持・発揮を図り、農業振興に寄与するとともに、歴史ある土地改良施設を後世まで保全することを目的とする。

さらに、農業生産基盤整備と土地改良施設の整備改修等により、農地の保全と農業用排水等の円滑化を図り、農作物の安定生産と農作業の効率化に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
県営土地改良事業負担金＜ほ場＞	A	4.3	3.7	暗渠工事等の補完工事が実施され、農業者の補修要望の解消に努め、農地集積が図られた。
多面的機能支払交付金事業（旧：農地・水・環境保全工向上対策事業）	B	－	3.3	各地域の6協議会によって道刈り・泥上げ等が実施され、地域環境等の保全管理が図られた。
土地改良事業費＜営農に係る経費＞	B	－	4.0	各種土地改良事業に係る団体の経常経費の負担することで、施設の運転管理や適切な維持管理が図られた。
中山間地域等農村活性化事業	A	3.3	3.3	歴史旧跡や農村・農地等の地域資源の保全並びに活性化が図られた。
県営土地改良事業	B	－	4.0	県営かんがい排水事業については、安全施設工事を実施し、農業用排水施設への転落等の事故防止に対する安全対策が図られた。
土地改良施設維持管理工事（ため池ネットフェンス工事）	A	4.0	4.0	ため池にネットフェンスを設置し、転落事故防止に対する安全対策が図られた。
土地改良施設維持管理経費	A	4.0	3.7	土地改良施設の各管理団体により、施設の運転管理等が実施され、適切な維持管理が図られた。

実績

【多面的機能支払交付金事業】

○多面的機能支払交付金事業補助金
- ・協議会数　6協議会
- ・補助金　21,966,790 円

【中山間地域等農村活性化事業】

○中山間地域等農村活性化事業補助金
- ・事業主体　根廻ふるさと保全隊
- ・補助額　200,000 円

（次頁へ続く）

6　款	1　項	4　目

実績

【土地改良施設維持管理工事（ため池ネットフェンス工事）】
後蒲ため池、中才1ため池のネットフェンス設置工事を実施した。

1　工事請負費　1,634,600 円

・後蒲ため池外ネットフェンス設置工事　1,634,600 円
　ネットフェンス設置工（後蒲ため池）　L=54.0m
　ネットフェンス設置工（中才１ため池）　L=50.9m

【土地改良施設維持管理経費】
土地改良施設の各管理団体により施設の運転管理や補修等を行った。

1　負担金及び補助金　4,041,059 円

・土地改良施設維持管理等負担金　3,339,059 円
　国営造成施設2箇所、排水機場14箇所　他
・土地改良施設維持管理補助金　702,000 円
　松島町土地改良事業（補修事業）

■建設課 建設班所管

【県営土地改良事業 】
水利施設整備事業負担金
　県営事業により用水路整備工事、志田谷地排水機場の機能保全を図る実施設計業務を実施した。

1　県営水利施設整備事業負担金　245,000 円

・県営かんがい排水事業負担金（銭神地区）　212,000 円
　（市町負担割合　17.7%）
　事 業 費　12,000,000 円
　事業内容　安全施設工

・県営湛水防除事業負担金（志田谷地地区）　33,000 円
　（市町負担割合　4.18%）
　事 業 費　10,000,000 円
　事業内容　ゲート整備補修工、附帯施設工

課題方向性

■産業観光課 産業振興班
　多面的機能の維持活動により、農道等の草刈りや水路の土砂上げなど、地域共同による農村環境保全に努めていく。
　土地改良施設の維持管理経費について、次年度は老朽化した排水機場の改修工事を実施するが、それ以降は引き続きため池のネットフェンス設置工事を実施していく。
■建設課　建設班
　県営土地改良事業については、宮城県や関係市町と連携しながら事業の完了を目指していく。

一　般　会　計

6　款	1　項	5　目	園芸振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,742	1,303				66	1,237

目的

地産地消イベントの支援を行い、地産地消の機運醸成を図りひいては地域産業の活性化に寄与する。さらに、町花セッコクの再生を目指し、培養事業を支援する。
また、農村婦人の家の施設維持管理を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
園芸振興関係経費	A	3.3	3.3	松島町地産地消実行委員会が行う「まつの市」及び「まつしま産業まつり」が2年ぶりに開催し、地産地消の機運醸成が図られた。
農村婦人の家等維持管理経費	B	－	3.0	適切に施設の維持管理を行うことができた。

実績

1　園芸振興関係経費

・松島町地産地消実行委員会への補助金　331,000 円

実施イベント

イベント名	日付	会場	来場者数
第1回まつの市	6月27日	松島町役場駐車場	200名
第2回まつの市	7月25日	松島町文化観光交流館駐車場	230名
まつしま産業まつり	11月7日	松島町文化観光交流館駐車場	650名
		計	1,080名

・松島・夢・農業農村活性化推進協議会への補助金　500,000 円

実施事業

・町花「石斛」の再生を目指し、培養事業を行った。

2　農村婦人の家等維持管理経費　455,672 円

・消耗品費(清掃用品)、光熱水費、修繕料等

課題方向性

地産地消イベントの実施については、感染対策を講じながら開催できるよう引き続き支援したい。
町花セッコクの再生については、有識者の意見等を伺いながら達成できるよう努めていきたい。
農村婦人の家の施設維持管理については、引き続き継続していきたい。

一　般　会　計

6　款	1　項	6　目	畜産振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	105	55					55

目的

稲作と畜産の複合経営推進と優良仔牛の生産のため、畜産団体への支援を図る。
また、家畜伝染病への対策として関係機関との連携及び情報収集を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
畜産業振興関係経費	A	3.3	3.3	コロナ禍で支援団体は活動できなかったが、生産者は優良仔牛の育成・販売に努めた。

実績

1　和牛生産団体育成支援事業

・事業主体　松島町和牛改良組合　14戸
・補助額　　0円（コロナ禍で事業実施困難のため補助金申請なし）
・事業内容　繁殖牛の資質向上による優良仔牛の生産並びに
　　母牛の生産率向上及び町内産優良仔牛の保留

2　令和3年度出荷実績

・仔牛出荷頭数　76 頭
・仔牛出荷額（平均）　715,645 円
・高額販売額※　去勢牛　1,020,000 円
　　雌牛　0 円
　　牝牛　1,094,000 円
※松島町和牛改良組合の組合員個人が販売した牛1頭価格の最高額

3　松島町の飼養頭羽数

畜種別 年度	繁殖牛（頭）	乳用牛（頭）	採卵鶏（千羽）
平成27年度	121	24	193
平成28年度	120	32	194
平成29年度	123	28	193
平成30年度	119	24	143
令和元年度	112	27	143
令和2年度	106	34	141
令和3年度	103	33	115

課題方向性

生産者の高齢化、飼料代の高騰など課題が多いが、担い手確保のための支援を継続していく。

一　般　会　計

6　款	2　項	2　目	林業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,589	40,448		20,377		2,663	17,408

目的

特別名勝松島の景観保全のため、松くい虫被害の拡大防止に努める。
また、林業関係団体事業の支援と緑化推進を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
松くい虫防除事業	A	4.7	3.7	地域の松林等を守るために、薬剤の空中散布や地上散布、樹幹注入を実施し、併せて被害木の伐倒駆除などを行い、松くい虫被害の拡大防止が図られた。
林業振興事務経費	B	－	3.3	民有林の林業振興・担い手育成並びに特用林産の振興に寄与した。

実績

【松くい虫防除事業】

1　特別防除事業（空中散布）

区　分	実施面積（ha）	事業費（円）	主な実施箇所
宮城県分	49.38	3,044,776	雁金森・湯ノ原
松島町分	43.68	2,693,314	白坂山・三十刈
全　体	93.06	5,738,090	

事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注

2　地上散布事業

区　分	実施面積（ha）	事業費（円）	主な実施箇所
宮城県分	17.03	1,483,344	大沢平・雁金森
松島町分	19.28	1,685,852	銭神・西ノ浜
全　体	36.31	3,169,196	長松園

事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注

3　伐倒駆除事業（上段：R2実績・下段：R3実績）

区　分	被害本数（本）	材積（㎥）	事業費（円）
補助対象	652	553.469	18,509,216
	750	577.934	21,765,170
対象外	102	109.022	3,547,241
	70	52.674	1,636,822
計	754	662.491	22,056,457
	820	630.608	23,401,992

4　松くい虫被害木調査業務委託　825,000 円

5　森林機能回復事業（抵抗性植樹下刈）業務委託　1,310,100 円
松島字雁金森周辺に抵抗性松を植樹した箇所周辺の下刈を実施しました。

6　ナラ枯れ被害駆除事業

実施本数（本）	材積（㎥）	事業費（円）	主な実施箇所
41	35.3	2,112,000	桜渡戸字土井下

（次頁へ続く）

6　款	2　項	2　目

実績

【林業振興事務経費】

1　林業振興事業

・長松園等生活環境保全林施設管理及び道刈業務委託　4,290,000 円
　○刈払面積：92,900㎡
・森林情報管理システム保守管理業務委託　297,000 円

2　林業団体活動育成事業補助

No.	団　体　名　等	補助額
1	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円
2	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	100,000 円

主な事業内容
・ 林業振興・林業諸施策等の情報提供及び林業後継者の育成・組織強化への支援
・ 町内の地域緑化活動、みどりの少年団活動への支援

課題
方向性

松くい虫被害は未だ増加傾向にあり、特別名勝「松島」の景観を守るため、薬剤散布や伐倒駆除を継続し、松林保全のためこれまで植樹した抵抗性松の下刈り等育成事業も継続していく。
また、地域緑化活動やみどりの少年団活動の他、小学5年生を対象とした林業体験や木工教室なども支援していく。

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（被害発生状況）

1，年度別松くい虫被害発生状況

令和4年3月末現在　　（単位：m³）

年度 / 市町	昭和 55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5
塩竈市	52	37	16	18	11	30	41	41	65	249	923	281	456	561
多賀城市	－	3	－	－	－	－	－	4	－	－	－	1	16	27
松島町	11	20	9	6	21	25	57	45	45	61	277	415	249	923
七ヶ浜町	13	9	2	7	10	11	4	19	9	63	188	158	207	306
利府町	10	1	1	6	11	3	18	13	24	7	22	23	35	19
東松島市（旧鳴瀬町）	68	30	109	107	277	846	765	1,058	1,560	1,315	1,699	1,952	2,203	1,865
特別名勝計（A）	154	100	137	144	330	915	885	1,180	1,703	1,695	3,109	2,830	3,166	3,701
県全体　（B）	2,521	3,661	5,181	5,826	7,797	12,841	14,060	14,324	13,952	13,756	18,552	18,255	18,402	17,651
（A）／（B）（%）	6.1%	2.7%	2.6%	2.5%	4.2%	7.1%	6.3%	8.2%	12.2%	12.3%	16.8%	15.5%	17.2%	21.0%

年度 / 市町	平成 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
塩竈市	313	1,719	2,644	1,473	1,235	900	688	316	1,298	574	364	293	325	364
多賀城市	15	50	13	10	－	34	－	－	－	－	15	9	3	－
松島町	602	1,189	1,198	1,178	628	622	637	827	887	737	734	959	643	779
七ヶ浜町	469	362	760	1,863	1,060	1,351	389	1,048	907	1,276	654	429	630	256
利府町	169	370	524	1,414	896	871	651	459	734	1,037	1,198	773	1111	672
東松島市（旧鳴瀬町）	2,502	3,115	3,108	3,819	4,173	5,300	2,595	1,884	1,682	1,982	1,607	2,250	1,715	1,705
特別名勝計（A）	4,070	6,805	8,247	9,757	7,992	9,078	4,960	4,534	5,508	5,606	4,572	4,713	4,427	3,776
県全体　（B）	21,185	27,731	28,986	28,353	26,195	26,287	20,465	21,562	23,447	23,455	23,132	19,253	18,428	17,445
（A）／（B）（%）	19.2%	24.5%	28.5%	34.4%	30.5%	34.5%	24.2%	21.0%	23.5%	23.9%	19.8%	24.5%	24.0%	21.6%

年度 / 市町	平成 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
塩竈市	198	120	206	261	617	708	223	518	629	442	393	178	86	170
多賀城市	－	－	－	－	－	1	－	－	2	－	4	0	0	0
松島町	577	457	506	312	655	933	1,658	3,192	2,416	2,271	1,632	1,433	1,201	797
七ヶ浜町	161	125	134	157	349	2167	987	1,249	105	821	594	612	653	267
利府町	597	260	308	40	649	731	1069	1,513	1,204	907	1,141	622	533	409
東松島市	1,681	1,751	2,041	1,014	3,357	3,665	3,503	2,884	1,786	3,109	2,386	1,944	1,511	1,297
特別名勝計（A）	3,214	2,713	3,195	1,784	5,627	8,205	7,440	9,356	6,142	7,550	6,150	4,789	3,984	2,940
県全体　（B）	14,213	13,742	13,742	11,160	15,401	17,335	15,208	16,523	13,700	14,935	13,215	9,612	10,151	9,305
（A）／（B）（%）	22.6%	19.7%	23.2%	16.0%	36.5%	47.3%	48.9%	56.6%	44.8%	50.6%	46.5%	49.8%	39.2%	31.6%

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：空中散布）

２－１，年度別松くい虫防除事業実施状況（空中散布）

（単位：ha）

	年度 / 市町	昭和 55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	110	113	113	113	150	150	150	160	160	160	160	160	100	90
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	78	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	30	32	33	33	33	33	156	156	188	189	189	182	96	75
	特別名勝計（D）	218	145	146	146	183	183	306	316	348	349	349	342	196	165
	県全体　（E）	539	467	327	327	391	424	577	622	636	654	647	625	402	312
	（D）／（E）（%）	40.4%	31.0%	44.6%	44.6%	46.8%	43.2%	53.0%	50.8%	54.7%	53.4%	53.9%	54.7%	48.8%	52.9%

	年度 / 市町	平成 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	98	98	98	98
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	75	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	67
	特別名勝計（D）	165	163	163	163	163	163	163	163	163	163	171	171	171	165
	県全体　（E）	312	310	344	459	388	386	418	417	415	415	434	392	392	386
	（D）／（E）（%）	52.9%	52.6%	47.4%	35.5%	42.0%	42.2%	39.0%	39.1%	39.3%	39.3%	39.4%	43.6%	43.6%	42.7%

	年度 / 市町	平成 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	98	98	98	－	－	98	98	98	98	98	98	95	95	93
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市	67	67	67	－	－	67	61	58	58	57	57	57	80	80
	特別名勝計（D）	165	165	165	－	－	165	159	156	156	155	155	151	174	173
	県全体　（E）	386	386	386	－	－	386	379	377	377	376	376	370	392	388
	（D）／（E）（%）	42.7%	42.7%	42.7%	－	－	42.7%	42.0%	41.4%	41.4%	41.2%	41.2%	40.8%	44.4%	44.6%

※H23,24は東日本大震災の影響ため実施せず

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：地上散布）

２－２，年度別松くい虫防除事業実施状況（地上散布）

（単位：ha）

	年度 / 市町	昭和 55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5
地上散布	塩竈市	9	9	－	－	－	－	－	－	－	－	6	6	6	6
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	80	80	80	80	90	90	90	75	73	73	73	73	74	74
	七ヶ浜町	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	22	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	12	15	－	－	－	－	－	－	10	15	15	17	17	17
	特別名勝計（D）	127	108	80	80	90	90	90	75	83	88	94	96	97	97
	県全体　（E）	150	133	88	93	103	115	120	138	192	196	203	207	240	243
	（D）／（E）（%）	84.7%	81.2%	90.9%	86.0%	87.4%	78.3%	75.0%	54.3%	43.2%	44.9%	46.3%	46.4%	40.4%	39.9%

	年度 / 市町	平成 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
地上散布	塩竈市	6	6	6	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	74	74	74	91	91	91	90	94	62	62	62	62	62	61
	七ヶ浜町	－	－	40	40	40	61	50	45	45	50	50	50	51	50
	利府町	－	－	11	11	14	15	15	13	8	8	8	8	9	8
	東松島市（旧鳴瀬町）	17	17	17	17	17	37	37	37	37	37	26	37	67	68
	特別名勝計（D）	97	97	148	181	184	226	214	211	174	179	168	179	211	209
	県全体　（E）	279	323	412	477	452	540	478	487	487	490	524	430	593	547
	（D）／（E）（%）	34.8%	30.0%	35.9%	37.9%	40.7%	41.9%	44.8%	43.3%	35.7%	36.5%	32.1%	41.6%	35.6%	38.2%

	年度 / 市町	平成 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
地上散布	塩竈市	22	22	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	66	65	65	43	65	65	64	64	61	61	52	47	40	36
	七ヶ浜町	50	50	50	0	28	36	36	35	33	25	25	25	25	25
	利府町	8	8	8	0	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	東松島市	67	67	67	0	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	特別名勝計（D）	213	212	212	62	126	128	127	126	121	113	104	99	92	88
	県全体　（E）	580	577	586	106	200	227	223	221	211	183	178	157	143	139
	（D）／（E）（%）	36.7%	36.7%	36.2%	58.5%	63.0%	56.4%	57.0%	57.0%	57.3%	61.7%	58.4%	63.1%	64.3%	63.3%

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：樹幹注入）

２－３，年度別松くい虫防除事業実施状況（樹幹注入）

（単位：本）

	年度 / 市町	昭和 55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5
樹幹注入	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	25	20	90	66	139	69
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	－	－	－	－	746	1,367	1,198	738	585	738	708	738	725	833
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	21	－	21	21	20	22	23	21	22
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	53	47	112
	特別名勝計（D）	0	0	0	0	746	1,388	1,198	759	631	778	820	880	932	1,036
	県全体　（E）	0	0	0	0	746	1,794	1,649	1,266	1,178	1,412	1,611	1,702	1,951	3,213
	（D）／（E）（%）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	77.4%	72.7%	60.0%	53.6%	55.1%	50.9%	51.7%	47.8%	32.2%

	年度 / 市町	平成 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
樹幹注入	塩竈市	90	69	154	776	848	1,097	832	841	900	799	845	－	809	797
	多賀城市	－	－	－	－	－	60	34	76	28	41	25	34	44	－
	松島町	793	838	793	838	887	819	419	588	661	430	－	691	722	363
	七ヶ浜町	25	25	68	105	114	243	466	81	269	442	－	68	256	306
	利府町	－	21	58	60	101	115	177	140	111	140	－	120	111	117
	東松島市（旧鳴瀬町）	422	440	780	702	613	366	－	596	394	453	－	325	587	364
	特別名勝計（D）	1,330	1,393	1,853	2,481	2,563	2,700	1,928	2,322	2,363	2,305	870	1,238	2,529	1,947
	県全体　（E）	3,463	3,629	4,130	4,845	4,787	4,480	3,392	4,318	4,337	4,456	3,333	3,293	5,020	2,818
	（D）／（E）（%）	38.4%	38.4%	44.9%	51.2%	53.5%	60.3%	56.8%	53.8%	54.5%	51.7%	26.1%	37.6%	50.4%	69.1%

	年度 / 市町	平成 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
樹幹注入	塩竈市	466	258	845	248	170	177	－	－	1945	52	846	151	155	0
	多賀城市	66	69	－	73	43	70	44	68	29	51	80	37	28	29
	松島町	253	696	558	105	31	－	－	551	1258	1,793	705	744	62	657
	七ヶ浜町	96	68	203	0	292	－	－	－	891	195	114	0	0	51
	利府町	0	133	93	93	115	－	－	134	432	－	－	819	1,178	200
	東松島市	94	673	455	566	108	65	－	－	183	477	152	29	0	0
	特別名勝計（D）	975	1,897	2,154	1,085	759	312	44	753	4,738	2,568	1,897	1,780	1,423	937
	県全体　（E）	2,914	3,773	4,067	2,274	1,846	2,495	1,856	2,070	6,269	4,976	4,519	3,310	2,311	2,221
	（D）／（E）（%）	33.5%	50.3%	53.0%	47.7%	41.1%	12.5%	2.4%	36.4%	75.6%	51.6%	42.0%	53.8%	61.6%	42.2%

一　般　会　計

6　款	3　項	2　目	水産業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,819	3,757					3,757

目的　カキ・アサリ等の浅海養殖漁業の振興を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
水産業振興関係経費	A	3.3	3.3	コロナ禍の影響でカキの需要が減少しており、生産経営が厳しい中でも安心安全なカキが供給できるよう支援を継続できた。また、アサリ漁場については徐々にではあるが資源の回復に寄与できた。

実績

○ 宮城県漁業協同組合松島支所への補助金

1　水産振興事業補助金　3,000,000 円

(1)　カキ衛生対策支援

・目的…　生食用カキ出荷に求められる衛生対策、検査体制の強化

・状況…　原因不明の成育不良が続き、さらにコロナ禍の影響を受け消費が落ち込み、非常に厳しい生産経営となった。

・効果…　上記のような厳しい状況下においても、処理施設を停止することなく安心安全なカキを常時供給できるよう、施設の衛生管理や各種検査を徹底することができた。

(2)　アサリ稚貝撒布支援・サキグロタマツメタ貝駆除支援

・目的…　混獲されるアサリ稚貝購入による再放流、自然増殖の増加及びサキグロタマツメタ貝の駆除による漁場整備

・状況…　磯崎、松島、名籠、古浦地区で採取時に混獲されるアサリ稚貝購入により、再放流し増殖を図った。
また、サキグロタマツメタ貝の成貝又は卵塊の駆除を実施しアサリ資源の保全を図った。

・効果…　稚貝撒布や漁場環境の整備等により、徐々にではあるが資源が回復傾向に向かっている。

2　松島産カキPR事業補助金　300,000 円

・目的…　町内のカキ直売所に「松島産かき」のぼり旗の設置、パンフレット作成による松島産カキのPR

・状況…　コロナ禍で需要が落ち込む中でも各直売所や催事においてのPRに努めた。

・効果…　令和2年度は中止となった「松島大漁かきまつりin磯島」を2年ぶりに開催し、松島産カキのPRを行うことができた。

○ 宮城県漁業協同組合松島支所青年研究会への補助金

1　漁業後継者育成支援事業補助金　50,000 円

・目的…　漁業後継者育成のための新たな養殖方法への取組等

・状況…　従来の垂下式による養殖に加え、石巻湾や牡鹿半島周辺で実施されている延縄式による養殖を実施するための漁場の見極め等を行った。

・効果…　青年研究会で出店する事業は中止となったが、新たに青年漁業士が青年研究会の会長に就任し、今後の松島町の漁業を担う後継者育成の機運醸成を図ることができた。

課題方向性

コロナ禍に加え、燃料価格を始めとした物価高騰の影響もあり漁業者を取り巻く環境は依然として厳しい。
地域の特産品であり全国的な知名度も高い松島産カキの魅力を、発信し続けていきたい。

令和3年度　カキ水揚げ高調べ

（資料:宮城県漁業協同組合松島支所）

令和3年9月～令和4年3月

（ 単位 ： kg ・ 円 ）

地　区	松　島		磯　崎		名　込		古　浦		合　計		備　考
月	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
9月	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
10月	980.0	1,541,960	4,720.0	7,543,890	280.0	456,340	290.0	453,840	6,270.0	9,996,030	
11月	800.0	1,196,640	5,209.0	7,636,280	680.0	1,053,490	169.0	211,270	6,858.0	10,097,680	
12月	688.0	851,320	460.0	567,680	480.0	725,560	0.0	0	1,628.0	2,144,560	
1月	960.0	939,460	2,730.0	2,808,890	610.0	651,270	250.0	251,040	4,550.0	4,650,660	
2月	810.0	861,270	1,328.0	1,371,310	640.0	685,670	180.0	177,010	2,958.0	3,095,260	
3月	367.0	407,640	260.0	301,890	877.0	1,048,480	0.0	0	1,504.0	1,758,010	
計	4,605.0	5,798,290	14,707.0	20,229,940	3,567.0	4,620,810	889.0	1,093,160	23,768.0	31,742,200	
kg当たり単価		1,259.1		1,375.5		1,295.4		1,229.7		1,335.5	

一　般　会　計

6　款	3　項	3　目	漁港管理費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,804	4,712			4,000		712

目的

漁港施設の機能を適切に維持管理することにより、漁港施設の機能保全と水産物の安定供給、水産業の健全な発展を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
漁港施設機能保全事業	A	4.3	3.3	県営の磯崎漁港において、宮城県が防波堤の調査設計を行い、保全工事の実施に向けて事業の進捗が図られた。

実績

1　県営漁港事業負担金　4,500,000 円

・水産基盤整備事業の施工に伴う町負担金（磯崎漁港）　4,500,000 円
（負担割合　15%）
事 業 費　30,000,000 円
事業内容　磯崎漁港の防波堤鋼矢板等に鋼材に腐食が確認されたことにより、漁港機能の保全を図るための工事実施に向けた調査設計業務を行った。

課題方向性

宮城県において、磯崎漁港の防波堤と物揚場の調査設計を実施した。調査計画に基づき令和5年度から、北防波堤の保全工事を実施していき、以降は西防波堤、東防波堤と物揚場の保全工事を実施していく。

一　般　会　計

7　款	1　項	2　目	商工業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	55,910	55,807		926		43,000	11,881

目的

商工業振興と商工業者の経営安定等を図るため、商工団体と連携し適正な育成と指導を行う。
また、消費者保護と消費生活トラブル防止を図るため、相談員による相談や啓発活動を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
商工業振興経費	A	3.3	3.3	利府松島商工会と連携し、コロナ禍の影響を受けている中小企業・小規模企業者の経営支援を行い、金融機関と連携した町制度融資のあっせんも迅速に対応することができた。
消費者生活相談員設置事業費	A	3.0	3.0	相談件数は少なかったが、相談員と協力し寄せられた相談については適切に対応し、出前講座や啓発品の配付など消費者トラブルを未然に防ぐ活動も実施することができた。

実績

1　商工業振興経費

(1)利府松島商工会への補助金

①地域総合振興事業　6,000,000円

・利府松島商工会　会員数(松島地区)

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	計
会員数	18	73	10	97	127	14	339

②松島ブランド推進事業　500,000円

・令和3年度新規認定品…1品(特産品部門1品、観光部門0品)

③松島出会いサポート事業

・新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(2)松島町中小企業振興資金融資預託金　42,000,000円

・融資利用状況(令和4年3月末現在)

事業者数…46件、融資残額…153,698,200円

(3)保証料補給金　3,207,419円

・保証料補給件数…23件(新規融資20件、条件変更3件)

(4)宮城黒川地域地場産業振興協議会負担金　65,880円

(5)松島町創業者支援事業補助金　3,000,000円

・交付件数…4件

2　消費者生活相談員設置事業費　980,901円

・相談員の数…1名※週2日(火・金)

・相談件数…12件(架空請求・送り付け詐欺等)

・啓発活動…出前講座(2回)、啓発品送付(敬老会記念品、成人式記念品に同封)

課題方向性

商工業振興については、当面はコロナ禍の影響が続くことが見込まれるので、現存する中小企業・小規模企業者の経営継続を支援しつつ、新規創業者への支援も行い地域経済の活性化を図りたい。

消費生活相談については、相談員がいないことから職員で対応することとなるが、町民が消費者トラブルに巻き込まれないよう相談受付と注意喚起に努めていきたい。

7　款	1　項	3　目	観光費
担当部署名	産業観光課観光班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	54,739	49,628				6,096	43,532

目的

松島観光の復興とともに、観光客の来訪を促進するため、積極的な情報提供や宣伝活動を行う。
また、観光客の安全・安心と利便性を確保するため、観光施設等の整備・維持管理を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
観光行政費	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症の流行及び感染対策のため、観光客数が大幅に減少した。1～3月の落ち込みが激しく、春から夏にかけて観光客数の回復がみられたものの、緊急事態宣言の発令もあり、前年を上回ることは無かった。昨年に引き続き感染対策と状況の不透明さからイベント等の中止が相次いだ。 コロナ禍でも実施可能な事業はコロナウイルス感染症対策を講じ実施した。また、マイクロツーリズムや新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて情報発信を図った。
国際交流関係経費	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染症の世界的感染の終息が不透明であり、往来が制限されている状況下で、オンラインを活用して海外との会議を行った。 終息後のインバウンド需要回復を見据え、宮城県やDMO、関係機関との情報共有や商品造成などの打合せ・会議を行った。
施設維持管理経費	B	－	3.7	観光施設の維持管理について、適切な方法で実施し、観光客の安全性と利便性を確保した。 また、維持管理業務を概ね委託することにより効率化を図った。

実績

【観光客等年別入込数】

・観光客等年別入込数(令和3年1月～令和3年12月)　1,239,155 人（前年　1,607,172 人）
・観光客等年別宿泊数(令和3年1月～令和3年12月)　242,390 人（前年　340,361 人）
・主要観光イベント入込数　別頁（P126）のとおり
・観光案内所外国人観光客利用者実績　512 人（前年　860 人）

【観光行政費】　24,502,192 円

・松島町観光審議会の開催
○第1回　日程　令和3年12月23日
　　内容　令和3年度取組状況について
　　松島町観光振興計画について
○第2回　日程　令和4年3月28日
　　内容　令和3年度取組状況及び令和4年度予算について
　　松島町観光振興計画策定について

・ディスカバー松島プロジェクト推進事業「Route 227s’ Café TOHOKU×松島フェア」
○内容　東北227市町村の魅力を料理で発信する『Route 227s’Café TOHOKU』で「松島フェア」を開催し、松島産の牡蠣や松島とまと、松島白菜、かまぼこなど、松島町の食材を活用した特別メニューを提供した。フェア期間中はプロモーション動画の放映や、パンフレット等も配布し、観光PRも併せて実施した。
○日程　令和4年1月21日～令和4年2月28日
○場所　Route 227s’ Café TOHOKU（仙台市勾当台公園内）
○来場者 3,537人

（次頁へ続く）

実績

・「日本三景の日」記念事業
　○内容　　中止

・JR東日本連携企画「駅長オススメの小さな旅」
　○秋編　　内容　　『日本遺産“伊達”な文化の源流を探る』
　　日程　　令和3年11月18日
　　参加者　11人

・松島ファンクラブ事業
　○協力店　33店舗
　○ホームページ閲覧数 特典一覧ページ（令和4年3月31日時点）　4,863件
　○松島ファンクラブ観光応援プレゼント企画
　　日程　　令和4年2月14日～プレゼント無くなり次第終了
　　ノベルティ提供数250枚

・松島湾アマモ再生事業「松島湾SDGs（探そう　誰もが　Go!!する社会）」
　○「橋の日」記念イベント（アマモ生育環境整備）
　　日程　　令和3年8月7日
　　場所　　福浦橋
　　参加者　一般参加者　956人
　○「文化の日」記念イベント（アマモ生育環境整備）
　　日程　　令和3年11月6日
　　場所　　福浦橋
　　参加者　一般参加者　1,370人

・JR東日本「TRAIN SUITE　四季島」おもてなし
　○日程　　令和3年12月16日～令和4年3月10日（全7回）
　○場所　　JR松島駅構内

・第67回松島芭蕉祭並びに全国俳句大会
　○日程　　令和3年11月14日
　○場所　　瑞巌寺本堂、松島町文化観光交流館
　○参加者　190人（1,820句）

・仙石線松島海岸駅デジタルサイネージ他備品購入　1,489,136 円
　○備品　　デジタルサイネージ　1台
　　タブレット端末　　3台
　　パンフレットラック　1基

【国際交流関係経費】　565,629 円

・世界で最も美しい湾事業
　○世界で最も美しい湾2021年総会
　　日程　　令和4年3月11日
　　内容　　オンライン開催

【施設維持管理経費】　24,559,980 円

・観光施設清掃業務委託　4,122,000 円
　○内容　　観光施設公衆便所清掃他
　○場所　　西行戻しの松公園公衆便所、富山観音公衆便所、
　　西行戻しの松公園防災器具庫脇公衆便所、三十刈駐車場公衆便所、
　　双観山公衆便所、松島パノラマハウス

・観光施設日常清掃業務委託　2,422,200 円
　○内容　　観光施設清掃他
　○場所　　三十刈駐車場、西行戻しの松公園、国際交流村、白衣観音周辺、新富山、
　　双観山、雁金森、観瀾亭・松島博物館

（次頁へ続く）

7　款	1　項	3　目

・観光施設樹木剪定等業務委託　3,179,000 円
○内容　樹木剪定工・枯枝撤去工他
○場所　国際交流村、双観山、新富山、白衣観音周辺、はす池広場

・観光施設除草業務委託　3,977,600 円
○内容　除草・集草・側溝清掃他
○場所　国際交流村、双観山、新富山、西行戻しの松公園

・仙石線松島海岸駅観光案内業務委託　782,100 円
○内容　観光案内業務他
○場所　JR仙石線松島海岸駅

課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの事業・イベント等が中止となった昨年と比して、未だ終息が見えない状況ではあるが、徐々に再開に向けた動きが見られる。 教育旅行の誘致など、現況で効果の見込める国内向けの誘客事業に注力しながら、政府が再開に向けて動き出したインバウンドについて、関係機関との連携を深めながら新たなコンテンツの造成、情報発信に努め、需要の取り込みに向けた取り組みを行う必要がある。

観光客年別月別入込数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	年	
14年	149,000	176,000	194,000	292,000	408,000	298,000	370,000	652,000	335,000	376,000	345,000	142,000	**3,737,000**	14年	ワールドカップサッカー競技開催・東北新幹線八戸開業
15年	163,000	179,000	207,000	286,000	393,000	303,000	371,000	626,000	318,000	373,000	343,000	136,000	**3,698,000**	15年	7月宮城県北部連続地震
16年	161,000	174,000	193,000	273,000	406,000	294,000	374,000	641,000	316,000	360,000	331,000	137,000	**3,660,000**	16年	新潟中越地震
17年	124,000	259,000	175,000	223,000	374,000	304,000	258,000	600,000	308,000	366,000	278,000	150,000	**3,419,000**	17年	東北楽天イーグルス誕生、名古屋万博「愛地球博」
18年	120,000	240,000	173,000	211,000	395,000	303,000	279,000	816,000	313,000	366,000	342,000	153,000	**3,711,000**	18年	8月五大堂御開帳祭典
19年	132,000	267,000	168,000	222,000	364,000	321,000	273,000	681,000	349,000	384,000	356,000	168,000	**3,685,000**	19年	3月18日仙台空港アクセス鉄道運行開始
20年	133,000	247,000	205,000	210,000	331,000	289,000	235,000	610,000	282,000	348,000	391,000	192,000	**3,473,000**	20年	8月松島温泉開湯、10月～12月宮城デスティネーションキャンペーン
21年	138,000	246,000	203,000	216,000	379,000	295,000	280,000	719,000	380,000	343,000	381,000	155,000	**3,735,000**	21年	3月ETC1,000円割引スタート、9月シルバーウィーク、9月瑞巌寺大改修開始
22年	137,986	216,572	183,737	192,126	337,265	287,199	281,213	714,110	302,772	341,763	385,404	188,474	**3,568,621**	22年	1～3月天候不順、2月28日大津波警報、7～8月夏猛暑
23年	150,024	245,152	45,739	93,634	186,917	152,531	195,141	319,965	194,921	227,657	280,565	145,552	**2,237,798**	23年	3月11日：東日本大震災　4月7日：余震　9月：台風15号
24年	114,862	173,494	151,754	149,475	240,288	228,818	222,488	430,654	257,229	270,335	287,176	124,211	**2,650,784**	24年	8/19,8/20宮城国際ヒーローサミット
25年	120,852	189,307	173,579	187,347	290,227	258,377	235,265	446,261	259,475	272,864	360,992	186,647	**2,981,193**	25年	4月～6月仙台・宮城ディスティネーションキャンペーン 9/28～10/13ルツェルンフェスティバルアークノヴァ松島2013
26年	140,419	170,119	179,370	181,883	284,594	253,048	218,269	434,181	273,807	280,683	365,518	149,358	**2,931,249**	26年	4/1消費税増税(8%) 9/20GLAY EXPO 2014 TOHOKU
27年	137,404	197,490	204,441	226,092	327,278	199,567	201,279	345,945	246,345	260,335	320,530	143,047	**2,809,753**	27年	3月1日常磐自動車道全線開通　5月10日マリンピア松島水族館営業終了 5月30日JR仙石線全線運転再開・JR仙石東北ライン開業
28年	124,268	162,947	168,439	187,834	269,559	218,218	228,138	367,364	242,795	305,635	343,858	149,785	**2,768,840**	28年	3月26日北海道新幹線開業　4月5日瑞巌寺本堂再拝観開始 9月2日ザ・ミュージアム松島開館
29年	135,376	162,751	173,411	177,345	257,875	210,339	214,368	356,531	250,260	284,240	378,292	145,997	**2,746,785**	29年	7月22日～9月10日Reborn-Art Festival開催 9月2日松島ファンタスティック音楽祭×Reborn-Art Festival開催
30年	129,264	173,653	181,893	193,763	272,621	300,750	233,850	387,109	282,472	328,299	400,468	170,617	**3,054,759**	30年	6月22日国宝瑞巌寺落慶慶祝前夜祭開催、6月24日国宝瑞巌寺落慶法要
31年 1年	137,010	181,601	190,319	221,053	316,807	239,124	234,554	399,082	266,907	259,114	371,814	164,131	**2,981,516**	31年 1年	8月3日～9月29日Reborn-Art Festival開催 10月12日台風19号
2年	147,773	197,429	115,921	9,957	6,708	46,128	86,997	159,264	162,208	223,674	331,578	119,535	**1,607,172**	2年	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行(4月7日緊急事態宣言) 10月17日宮城県松島離宮オープン
3年	35,884	29,129	69,467	39,869	74,411	63,679	111,157	132,600	91,271	168,102	264,872	158,714	**1,239,155**	3年	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行(8月27日緊急事態宣言) 8月11日～9月26日Reborn-Art Festiva2021-2022開催

（過去20年分を記載）

観光客年別月別宿泊数

（単位：人）

年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
14年	55,000	54,700	62,600	62,000	69,700	70,700	62,000	93,700	66,600	78,900	75,400	74,400	825,700
15年	53,500	48,500	60,900	50,700	69,300	70,600	61,900	85,600	65,500	73,200	75,700	76,200	791,600
16年	54,300	52,100	61,400	53,800	67,000	66,300	63,700	91,200	71,200	71,300	69,500	63,800	785,600
17年	43,900	44,000	50,700	49,300	56,500	59,100	53,400	77,800	54,000	67,900	58,600	62,300	677,500
18年	47,200	43,000	48,300	45,500	56,300	58,500	56,200	80,400	56,000	66,200	60,900	57,000	675,500
19年	41,200	42,800	48,000	43,600	59,100	62,400	54,900	81,900	56,300	66,700	60,500	56,600	674,000
20年	41,100	40,700	49,700	42,600	53,900	55,500	46,700	70,500	50,000	60,100	65,600	59,500	635,900
21年	43,900	44,200	53,400	48,500	55,500	57,800	55,200	77,800	56,000	64,700	65,100	53,800	675,900
22年	46,024	46,298	51,355	48,866	50,291	55,790	55,814	78,530	58,583	65,692	67,783	64,314	689,340
23年	52,920	45,625	20,160	76,163	112,004	95,693	96,112	90,645	69,615	71,293	79,045	74,298	883,573
24年	54,141	47,519	53,988	38,062	45,862	49,791	48,300	67,930	56,037	59,760	60,032	52,867	634,289
25年	45,365	46,384	55,053	45,577	49,530	52,843	50,484	69,728	54,325	57,997	62,038	55,036	644,360
26年	47,470	42,827	53,948	42,223	48,086	50,962	48,792	63,377	49,044	57,751	58,453	55,356	618,289
27年	46,546	41,827	51,065	44,506	48,781	48,279	52,348	73,764	54,644	62,202	61,563	56,752	642,277
28年	50,178	45,779	55,307	48,836	48,407	51,041	51,221	64,660	52,888	62,426	57,760	54,828	643,331
29年	45,810	39,996	50,164	49,948	43,635	46,174	50,259	67,636	51,340	56,585	57,330	50,279	609,156
30年	43,769	42,257	51,278	43,053	47,504	51,915	43,149	62,364	51,495	56,507	55,090	51,671	600,052
31年・1年	40,633	39,006	48,477	41,905	44,838	47,644	45,317	64,063	47,142	47,869	53,754	48,997	569,645
2年	41,496	40,485	28,413	3,671	708	7,255	19,739	36,220	33,545	44,342	50,457	34,030	340,361
3年	8,628	5,341	15,088	7,245	10,984	11,312	20,037	26,690	15,333	28,466	45,086	48,180	242,390

（過去20年分を記載）

松島町主要観光イベント入込数

（単位：人）

年度	瑞巌寺灯灯道	灯籠流し花火大会	松島流灯会 海の盆	園遊茶会	紅葉ライトアップ	芭蕉祭並びに全国俳句大会	松島かき祭り	冬のとっておき松島
14	第 6 回　55,000	220,000		第14回　3,100		第48回　287人　2,072句	第25回　105,000	9,297
15	第 7 回　52,000	150,000		第15回　3,000		第49回　260人　2,087句	第26回　155,000	9,518
16	第 8 回　78,500	180,000		第16回　2,500		第50回　300人　2,536句	第27回　125,000	10,043
17	第 9 回　63,000	110,000		第17回　3,000		第51回　275人　2,019句	第28回　115,000	7,912
18	第10回　61,000	160,000		第18回　3,500	第 1 回　15,000	第52回　250人　2,145句	第29回　120,000	10,711
19	第11回　50,000	120,000		第19回　3,000	第 2 回　22,000	第53回　250人　2,098句	第30回　100,000	11,295
20	第12回　56,500	140,000		第20回　3,500	第 3 回　32,000	第54回　250人　1,839句	第31回　100,000	10,882
21	第13回　64,000	143,000		第21回　3,500	第 4 回　39,000	第55回　250人　1,722句	第32回　73,000	14,851
22	第14回　69,100	154,000		第22回　3,000	第 5 回　52,000	第56回　300人　2,054句	第33回　95,000	8,733
23	第15回　24,800	―	第1回　58,000	―	第 6 回　33,600	第57回　280人　2,108句	第34回　67,000	3,141
24	第16回　25,900	―	第2回　42,000	―	第 7 回　43,384	第58回　250人　1,710句	第35回　52,000	―
25	第17回　16,500	―	第3回　42,500	―	第 8 回　47,926	第59回　160人　1,852句	第36回　52,500	5,046
26	第18回　10,000	―	第4回　47,000	―	第 9 回　54,065	第60回　200人　1,893句	第37回　51,500	5,047
27	―	―	第5回　28,000	―	第10回　55,005	第61回　200人　1,758句	第38回　30,000	6,196
28	―	―	第6回　42,000	―	第11回　69,546	第62回　150人　1,790句	第39回　35,000	―
29	―	―	第7回　20,000	―	第12回　76,487	第63回　160人　1,710句	第40回　36,000	―
30	―	―	第8回　33,000	―	第13回　82,696	第64回　190人　1,731句	第41回　38,000	―
31・1	―	―	第9回　33,000	―	第14回　62,050	第65回　200人　1,731句	第42回　43,000	―
2	―	―	―	―	―	第66回　―　1,536句	―	―
3	―	―	―	―	松島 ライトアップ　3，169	第67回　190人　1,820句	―	―

（過去20年分を記載）

年度別観光案内所外国人観光客利用者実績

（単位：人）

国　名	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度	令和2年度	令和3年度
アメリカ	806	1,022	803	1,078	848	1,098	879	838	875	276	524	643	609	712	770	1,713	2,333	2,803	260	146
台湾	629	324	617	976	1,149	1,270	1,201	1,081	1,525	248	876	1,139	1,695	2,491	4,074	33,815	32,304	51,158	21	22
フランス	266	194	200	354	373	493	671	557	627	65	152	204	232	293	317	223	425	431	37	29
シンガポール	109	65	130	127	184	264	301	406	613	52	101	93	116	143	149	225	137	217	2	0
ドイツ	235	201	231	243	326	311	397	395	442	61	105	202	216	268	306	274	331	403	13	2
韓国	729	517	682	665	598	752	581	597	750	80	260	223	166	219	288	328	617	397	6	7
イギリス	306	201	202	266	245	324	337	227	239	78	112	167	255	186	291	201	244	322	26	17
香港	1,995	899	1,326	966	1,135	2,497	1,674	1,505	1,936	87	260	242	485	389	478	418	571	567	0	0
中国	480	383	263	457	271	463	499	402	646	260	605	688	908	1,886	2,206	1,042	983	1,173	91	60
オーストラリア	168	204	240	240	289	373	514	378	478	39	188	158	308	291	397	399	688	1,029	17	7
カナダ	162	178	163	195	144	177	211	185	217	41	78	103	98	124	136	135	138	217	6	29
スイス	62	48	57	82	51	88	125	148	154	7	51	78	64	87	105	62	71	142	0	0
スペイン	45	69	77	94	288	171	272	308	320	29	67	80	109	131	143	118	133	140	9	2
ブラジル	31	51	33	34	23	28	44	17	42	13	33	16	71	27	32	62	21	91	8	4
アフリカ諸国	7	6	9	20	6	20	19	0	0	0	0	1	21	26	41	27	50	36	6	1
イスラエル	22	16	19	30	75	55	55	53	83	16	4	44	45	46	82	146	118	186	1	0
タイ	116	74	76	107	207	472	637	779	899	94	406	936	780	603	780	1,602	1,413	5,366	18	2
ロシア	33	43	32	52	58	53	30	61	57	18	51	40	47	39	52	80	56	116	17	1
ポーランド	8	8	14	14	39	45	48	42	119	14	21	64	28	60	49	26	34	40	4	4
フィリピン	25	12	23	47	19	23	31	25	20	3	20	29	57	44	61	39	63	74	33	18
スウェーデン	70	12	10	34	36	49	41	50	24	12	38	22	26	20	38	14	25	64	3	1
インド	65	60	135	80	86	125	133	72	73	33	61	57	93	88	125	106	84	115	103	32
マレーシア	18	30	38	38	35	32	85	49	125	35	52	71	99	88	99	114	79	399	2	6
イタリア	51	57	39	34	86	95	98	167	161	7	23	29	55	84	125	56	53	107	9	7
その他	3,389	2,366	2,713	2,515	3,708	630	528	646	709	185	458	564	592	537	614	630	1,041	1,262	168	115
人　数	9,827	7,040	8,132	8,748	10,279	9,908	9,411	8,988	11,134	1,753	4,546	5,893	7,175	8,882	11,758	41,855	42,012	66,855	860	512
国　数	73	57	66	71	76	79	79	84	87	66	74	78	90	69	79	76	92	85	49	38

※令和4年3月末現在の数値
※平成28年度まで松島海岸駅前観光案内所外国人利用者実績
※平成29年度から松島観光協会観光案内所外国人利用者実績

一　般　会　計

7　款	1　項	4　目	文化観光交流館費
担当部署名	中央公民館		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,254	23,004					23,004

目的

町の文化創造の拠点として、質の高い舞台芸術や音楽文化鑑賞などの学習機会を提供し、生涯学習の推進と芸術文化の裾野拡大を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
文化観光交流館施設維持管理経費	A	3.3	3.0	新型コロナウイルス感染症対策に留意し、指定管理者による貸館業務や主催事業が行われ、利用者数が増加してきている。
文化観光交流館運営経費	A	3.3	3.0	これまで町が主体で行ってきた保守点検等の業務委託について概ね指定管理者へ移行し、一体的な施設の維持管理が行えるようになった。

実績

【文化観光交流館施設維持管理経費】

1　文化観光交流館指定管理

・指定管理料　21,949,000円（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）
・指定管理期間　令和2年10月1日から令和7年9月30日まで（5年間）
・指定管理者　株式会社BBI

2　指定管理者主催事業

名　称	内　容	実施日	来館者数
アンブレラスカイ	文化観光交流館の中庭に約130本の色とりどりの傘を吊り下げて展示した。	8月1日～10月31日	2,403人
アンブレラスカイ イブニングライブ	ギタリストの佐藤正隆さんのライブイベントを企画した。	8月29日	中止
アンブレラスカイ イブニングライブ	ヴォーカリスト菅田かおりさんとピアニスト江波純子さんによるJAZZの夕べを開催した。	9月18日	9人
第6回二人会	六華亭遊花さんの落語とブラボー中谷さんによるマジックショーを開催した。	1月23日	122人
水引細工のワークショップ	水引でマスクチャームやストラップを作成した。	6月13日	9人
紙クラフトバンド ワークショップ	紙クラフトバンドを使ってワンハンドルバスケットなどを作成した。	9月12日	15人
クリスマスリースを つくろう！	プリザーブドフラワーでオリジナルリースを作成した。	12月4日	9人
つまみ細工 ワークショップ	つまみ細工でブローチなどを作成した。	2月6日	7人

（次頁へ続く）

7　款	1　項	4　目

実績

3　利用状況　　単位：人　　（　）内は申請件数

	一般	町外	社教	役場	教室	計
4月	254 (16)	339 (25)	142 (18)	163 (12)	126 (14)	1,024 (85)
5月	269 (21)	69 (7)	182 (16)	172 (12)	219 (21)	911 (77)
6月	90 (12)	541 (26)	118 (10)	824 (34)	341 (30)	1,914 (112)
7月	163 (22)	665 (28)	162 (15)	490 (27)	282 (28)	1,762 (120)
8月	943 (16)	179 (10)	60 (5)	1,700 (29)	194 (22)	3,076 (82)
9月	1,148 (22)	194 (14)	59 (6)	2,297 (38)	79 (14)	3,777 (94)
10月	799 (25)	280 (28)	99 (6)	550 (66)	355 (35)	2,083 (160)
11月	122 (18)	1,771 (27)	83 (8)	400 (26)	413 (42)	2,789 (121)
12月	136 (16)	1,075 (66)	92 (7)	347 (57)	289 (31)	1,939 (177)
1月	330 (31)	577 (40)	164 (13)	280 (45)	175 (19)	1,526 (148)
2月	75 (15)	327 (22)	29 (5)	163 (60)	139 (16)	733 (118)
3月	193 (24)	241 (18)	121 (11)	1,429 (40)	147 (18)	2,131 (111)
合計	4,522 (238)	6,258 (311)	1,311 (120)	8,815 (446)	2,759 (290)	23,665 (1,405)

※施設別利用状況　　単位：人

大ホール	会議室	調理室	リハーサル室	研修室	和室	講座室	その他
12,379	1,958	28	791	1,538	1,029	2,176	3,766

【文化観光交流館運営経費】　1,054,691 円

・委託料　776,616 円
①機械警備業務委託　389,400 円
②自家用電気工作物保守点検業務委託　265,490 円
③消防設備保守点検業務委託　99,726 円
④油分分離沈殿槽清掃業務委託　22,000 円

課題
方向性

新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行ったことで、利用者数は前年度の5割増となっている。主催事業については、1事業の中止にとどまり、町民の生涯学習の機会を確保することができた。昨年度に引き続き、アンブレラスカイを実施するなどコロナ禍でも来館者が楽しむことができる企画を指定管理者の創意工夫により実施している。

コロナ禍における事業の企画・運営については、より一層の新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、町民の生涯学習の機会が損なわれないようにしていく。

一　般　会　計

8　款	2　項	2　目	道路維持費
担当部署名	建設課建設班・管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	138,229	137,018	42,150		44,100	4,820	45,948

目的

町道等を健全な状態に保つため、補修や草刈、除雪・融雪などを実施し、住民等が利用しやすい道路環境を保全する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
道路施設長寿命化対策事業（橋梁長寿命化対策事業）	A	5.0	4.7	舗装長寿命化修繕計画に基づき道路舗装補修工事を実施し、道路環境の保全が図られた。また、町道橋の補修設計を実施した。
定期点検	A	5.0	4.7	道路法に基づき町道橋の定期点検を実施し、施設の状態、健全性の把握に努めた。
道路維持工事経費	A	4.3	4.7	水路改修工事を実施し、雨水対策事業の進捗が図られた。また、町道等の維持工事を実施し、交通の安全と快適性が図られた。
道路維持管理経費	B	－	3.7	町道等の維持管理を実施したことにより、道路環境の保全が図られた。また、地域住民と協同で草刈及び除融雪を実施し交通安全等に努めた。

実績

■建設課 建設班所管

【道路施設長寿命化対策事業】
町道の舗装補修工事および町道橋の補修設計を実施した。

1　工事請負費　9,986,900 円

・町道品井沼駅・大山崎下線舗装補修工事　6,380,000 円
　舗装補修工　L=436m

・町道猪里沢・後沢線外舗装補修工事　3,606,900 円
　舗装補修工　L=140m

（繰越明許費）

2　委託料　19,734,000 円

・町頭一号跨線橋外橋梁補修設計業務委託　19,734,000 円
　補修設計　N=5橋

3　工事請負費　55,148,500 円

・町道高城・桜渡戸線舗装補修工事　40,973,900 円
　舗装補修工　L=228m

・町道高城・桜渡戸線舗装補修その2工事　10,672,200 円
　舗装補修工　L=340m

・町道高城・桜渡戸線舗装補修その3工事　3,502,400 円
　舗装補修工　L=102m

（次頁へ続く）

8　款	2　項	2　目

実績

【定期点検】道路附属物点検事業
町道橋の定期点検を実施した。

1　委託料　6,776,000 円
・松島町橋梁定期点検業務委託　5,896,000 円
町道橋点検　N=28橋
・松島町橋梁塗膜調査業務委託　880,000 円
塗膜調査　N=2橋

【道路維持工事経費】
水路改修工事および町道等の維持工事を実施した。

1　工事請負費　4,992,900 円
・初原字樋田地区水路改修工事　2,805,000 円
水路改修工　L=7m
・町道根廻・磯崎線外区画線工事　1,472,900 円
区画線工　1式
・町道釜ヶ沢線外道路維持工事　715,000 円
道路補修工　N=4箇所

■建設課　管理班所管

【道路維持管理経費】

1　需用費（消耗品費）
・融雪剤購入費　400袋（10,000kg）　528,000 円
融雪箱等　79箇所（補充回数38回）
・草刈機刈刃購入費　440枚　787,140 円
各行政区の除草作業時支給（年1枚／人）

2　委託料　28,536,200 円
・道路維持管理業務委託（その1～その3）　12,202,300 円
道路補修、側溝補修、側溝清掃、道路支障木伐採等
・道路除草業務委託　3,293,400 円
8路線（年2回）、通学路等（随時実施）
・道路除雪業務委託（北部・南部・西部）　7,988,200 円
幹線道路等（12月1回、2月2回）
小型除雪機6台を5地区に配置
・道路融雪剤散布業務委託　5,052,300 円
8路線（12月4回、1月7回、2月4回）

3　原材料費
・維持管理用原材料　2,194,369 円
常温合材、砕石、単管パイプ、側溝蓋他

課題方向性

■建設課　建設班所管
道路施設長寿命化対策事業については、ランニングコストの縮減を図りつつ、適切な維持管理を継続的に行うため、各施設の長寿命化修繕計画を策定し、計画的に補修工事を行っていく。
道路附属物点検事業については、業務量の平準化を図りつつ事業を継続する。結果を長寿命化修繕計画へ反映させる。
道路維持工事経費については、交通の安全と快適性を保つため、舗装補修等を行っていく。町全体のなかで優先順位を付け、継続して進めていく。

■建設課 管理班所管
道路整備により利便性が向上した一方で、安全対策や道路施設修繕等の維持管理が増加している。
また、除草や除雪・融雪についても地域要望が増加しており、業務委託・直営・地域と調整を図りながら、適切な道路維持管理を実施していく。

一　般　会　計

8　款	2　項	3　目	道路新設改良費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	44,968	43,935				22,792	21,143

目的

砂利道や狭くて車両が通りづらい道、見通しが悪い道路などを改善して、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備を図る。
また、震災復興計画の具体化に向け、東日本大震災復興交付金事業として避難道路を整備し、沿岸部住民の迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
道路舗装事業	A	4.0	3.3	砂利道について舗装を行い、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備を図られた。
品井沼地区道路整備事業	A	3.0	3.0	幅員が4mに満たない道路の用地買収を行い、事業進捗が図られた。
高城町駅周辺整備事業	A	4.0	3.3	高城町駅前周辺において、利用者の交通利便性と安全性を確保するため、駐輪場や車両の乗降場の整備された。
避難道路整備事業	A	5.0	3.7	東日本大震災の地震や津波により、甚大な被害を受けた松島地区において、住民や観光客を高台の避難場所へ迅速かつ安全に避難させるため避難道路整備された。

実績

【道路舗装事業】
町道の砂利道について舗装工事を実施した。

1　工事請負費　2,099,900 円

・町道道珍浜線舗装工事　2,099,900 円
　道路舗装工　L=71m

【品井沼地区道路整備事業】
品井沼地区道路の用地買収を実施した。

1　公有財産購入費　1,135,820 円

・品井沼地区道路整備事業土地購入費　1,135,820 円

【高城町駅周辺整備事業】
高城町駅周辺整備工事を実施した。

1　工事請負費　9,978,100 円

・高城町駅前周辺整備工事　7,978,300 円
　施工面積　A=508㎡

・高城町駅前周辺整備その２工事　1,999,800 円
　道路付属施設工　1式

（次頁へ続く）

8　款	2　項	3　目

実績

【避難道路整備事業】（東日本大震災復興交付金）
避難道路整備工事を実施した。

（繰越明許費）

1　工事請負費　22,000,000 円

・町道松島海岸・湯ノ原線外避難道路整備工事　22,000,000 円
道路改良工　L=223m

町道整備等の状況　（令和3年度末現在）

区分	延長（m）	改良済延長（m）	改良率（%）	舗装済延長（m）	舗装率（%）
町道全体	165,601	118,577	71.60	134,019	80.93
うち幹線町道	32,879	24,608	74.84	27,481	83.58

課題
方向性

道路舗装事業については、砂利道舗装について町全体のなかで優先順位を付けて行っており、今後も継続して進めていく。
品井沼地区道路整備事業については、用地買収を実施しており、今後も継続して進めていく。
高城町駅周辺整備事業については、高城町駅前の駐輪場および車両の乗降場を整備し、事業が完了した。
避難道路整備事業については、松島、高城・磯崎、手樽地区で35路線、約17.9kmを計画しており、令和3年5月末に事業が完了した。

一　般　会　計

8　款	3　項	1　目	河川総務費
担当部署名	建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,279	3,796					3,796

目的

河川公園施設について住民や見学者等が利用しやすい環境を整備する。また、明治潜穴の歴史構造物について見学しやすい施設管理に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
明治潜穴公園等維持管理経費	B	－	3.3	河川公園の清掃・除草及び高城川桜並木の剪定・薬剤散布を実施することで、住民や見学者等が集いやすい環境整備が図られた。

実績

【明治潜穴公園等維持管理経費】

明治潜穴公園、ふれあいの広場、やすらぎの水辺、かたらいの水辺の維持管理

1　需用費（修繕料）　53,460 円
・明治潜穴公園公衆便所修繕（手洗器）

2　委託料　1,720,537 円
・明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託　587,400 円
　明治潜穴公園（週4回）、その他の河川公園（月2回）
・河川公園遊具定期点検業務委託（年1回）　17,600 円
・明治潜穴公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）　77,137 円
・明治潜穴公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）　290,400 円
・高城川桜並木樹木剪定業務委託（年1回）　528,000 円
・高城川桜並木薬剤散布業務委託（年1回）　220,000 円

課題方向性

今後も河川公園施設の適切な維持管理を行い、住民や見学者等が利用しやすい環境を提供していく。また、明治潜穴公園施設については、宮城県と連携を図りながら管理に努める。

一　般　会　計

8　款	5　項	1　目	都市計画総務費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,044	14,863				40	14,823

目的

本町の将来像を踏まえ、バランスのとれた計画的な土地利用を図り、緑豊かな潤いのある都市を創出する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
都市計画事業運営経費	B	－	4.3	初原地区において、令和4年度の一般保留地区解除に向け、宮城県に対し継続的な協議を実施したことにより、解除を決定する宮城県と町において合意形成に向け、進捗が図れた。 また、本地区の土地所有者により令和3年5月に結成された、（仮称）松島町初原土地区画整理組合設立準備委員会との協議や指導・助言を行ったことで、事業計画の推進が図られた。
地区計画事業推進経費	A	5.0	3.7	品井沼地区及び明神地区の地区整備計画区域内における建築行為について、適切な指導及び手続きを実施した。

実績

【都市計画事業運営経費】

1　初原地区における一般保留地区解除に向け宮城県と協議を実施

・宮城県土木部都市計画課と協議を実施　　令和3年4月14日～令和4年3月25日（計24回）

2　建築の許可に関する業務（都市計画法第53条第1項）

・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。
　申請件数：0件（指導・助言は通年で実施）

【地区計画事業推進経費】

1　地区計画内における行為の届出に関する業務

・品井沼地区地区整備計画（くぬぎ台）に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。
　届出件数：2件

・明神地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。
　届出件数：1件

課題方向性

新たに仙塩広域都市計画地区計画の決定をした「明神地区」を含めた、町内における地区計画が策定されている地区については、引き続き都市計画マスタープラン等に基づいて計画的な土地利用の推進を図っていく必要がある。
一般保留地区解除申請中の「初原地区」について、今後は令和4年度の市街化区域編入を目指し宮城県と都市計画決定に向けた法手続きを進めていくことに加え、土地利用計画についても事業計画の策定に向けて事業予定者と協議を実施していく。

一　般　会　計

8　款	5　項	3　目	公園管理費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	61,908	61,366				62	61,304

目的

スポーツを通じた町民の健康増進及びスポーツ競技力向上のため、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者が、安全にそして快適にスポーツを楽しめるよう施設の充実を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
運動公園管理事務所経費	A	4.0	2.7	新型コロナウイルス感染症による時短営業措置や多くの各種大会等が中止となったことから、利用者数がコロナ禍前までの水準には回復していない。しかし、年間をとおした運用ができたため、前年比では4,144人(15%)増となった。
温水プール管理経費	A	4.0	3.3	新型コロナウイルス感染症による時短営業措置や利用者減少により、利用者数がコロナ禍前までの水準には回復していない。しかしながら、年間をとおした運用ができたため、前年比では5,869人増となった。施設運営については屋内施設のため感染症対策に細心の注意を払いながら運営を実施した。

実績

【運動公園管理事務所経費】　16,766,988 円

1　松島運動公園指定管理料　15,983,000 円
○指定管理期間　令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）

2　松島運動公園月別利用状況　（単位：人）

月	野球場	テニスコート	多目的運動広場	会議室	グラウンドゴルフ	合　計
4	143	550	1,535	7	252	2,487
5	555	909	2,309	40	117	3,930
6	480	721	2,523	48	260	4,032
7	210	668	2,931	45	77	3,931
8	1,010	505	1,973	64	133	3,685
9	558	415	1,009	13	72	2,067
10	400	663	1,764	26	294	3,147
11	237	466	2,264	70	437	3,474
12	125	298	1,262	57	145	1,887
1	0	191	929	10	34	1,164
2	0	164	332	3	73	572
3	0	272	1,571	37	194	2,074
計	3,718	5,822	20,402	420	2,088	32,450

3　松島運動公園リース料（令和3年度分）

・野球場等芝生管理用乗用芝刈り機リース　339,900 円

4　需用費（修繕料）

・野球場トイレ漏水修繕　他　395,450 円

（次頁へ続く）

実績

【温水プール管理経費】 44,312,189 円

1 松島運動公園（温水プール）指定管理料 39,226,000 円
○指定管理期間 令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）

2 温水プール施設別利用状況

（プール） （単位：人）

月	町内(個人)			町外(個人)			計			コース貸切		減免	幼児	教室		合計
	学生	一般	計	学生	一般	計	学生	一般	計	利用者数	団体数			参加者数	件数	
4	142	137	279	38	199	237	180	336	516	117	13	1	7	0	0	641
5	169	155	324	48	201	249	217	356	573	174	15	3	17	0	0	767
6	187	179	366	39	194	233	226	373	599	242	19	6	25	7	1	879
7	476	263	739	168	291	459	644	554	1,198	404	28	3	58	34	4	1,697
8	432	299	731	217	299	516	649	598	1,247	248	18	2	74	26	3	1,597
9	123	184	307	77	227	304	200	411	611	195	17	8	19	0	0	833
10	94	126	220	46	89	135	140	215	355	147	14	8	18	26	3	554
11	94	143	237	61	123	184	155	266	421	162	16	9	28	32	4	652
12	69	113	182	34	114	148	103	227	330	213	17	6	6	0	0	555
1	71	125	196	53	186	239	124	311	435	154	15	1	19	0	0	609
2	53	138	191	39	218	257	92	356	448	44	8	1	11	0	0	504
3	124	150	274	59	134	193	183	284	467	92	11	1	14	0	0	574
計	2,034	2,012	4,046	879	2,275	3,154	2,913	4,287	7,200	2,192	191	49	296	125	15	9,862

（トレーニングジム） （単位：人）

月	町内計	町外計	講習会		減免	合計
			参加者数	件数		
4	228	67	4	4	0	299
5	259	99	17	5	0	375
6	257	93	8	4	0	358
7	291	92	6	2	0	389
8	243	64	5	4	0	312
9	181	48	5	2	0	234
10	219	47	6	3	0	272
11	264	51	7	4	0	322
12	228	61	2	1	0	291
1	293	58	8	5	0	359
2	318	77	10	6	0	405
3	289	86	9	3	0	384
計	3,070	843	87	43	0	4,000

（シルバートレーニングルーム） （単位：人）

月	町内計	町外計	教室		減免	合計
			参加者数	件数		
4	1	0	0	0	0	1
5	1	0	0	0	0	1
6	8	0	8	1	0	16
7	5	0	29	4	0	34
8	6	0	19	3	0	25
9	7	0	0	0	0	7
10	3	0	29	4	0	32
11	4	0	31	4	0	35
12	1	0	21	3	0	22
1	0	0	24	3	0	24
2	5	0	16	2	0	21
3	7	1	0	0	0	8
計	48	1	177	24	0	226

（スタジオ） （単位：人）

月	一般		教室		合計	
	利用者数	件数	参加者数	件数	人数計	件数計
4	18	3	254	8	272	11
5	21	4	218	6	239	10
6	20	3	318	8	338	11
7	33	5	300	8	333	13
8	21	3	247	6	268	9
9	13	2	367	8	380	10
10	16	3	280	6	296	9
11	19	3	433	8	452	11
12	17	3	315	8	332	11
1	23	4	321	8	344	12
2	14	3	270	8	284	11
3	60	4	306	8	366	12
計	275	40	3,629	90	3,904	130

（会員） （単位：人）

月	スクール会員	フルタイム会員	ナイト会員	合計
4	646	677	0	1,323
5	671	593	0	1,264
6	866	707	0	1,573
7	903	690	0	1,593
8	739	662	0	1,401
9	909	693	0	1,602
10	691	504	0	1,195
11	942	684	0	1,626
12	918	552	0	1,470
1	820	498	0	1,318
2	738	555	0	1,293
3	920	639	0	1,559
計	9,763	7,454	0	17,217

（次頁へ続く）

8　款	5　項	3　目

実績

（温水プール全施設月別集計人数）　（単位：人）

月	プール	トレーニングジム	シルバートレーニングルーム	スタジオ	会員	合計
4	641	299	1	272	1,323	2,536
5	767	375	1	239	1,264	2,646
6	879	358	16	338	1,573	3,164
7	1,697	389	34	333	1,593	4,046
8	1,597	312	25	268	1,401	3,603
9	833	234	7	380	1,602	3,056
10	554	272	32	296	1,195	2,349
11	652	322	35	452	1,626	3,087
12	555	291	22	332	1,470	2,670
1	609	359	24	344	1,318	2,654
2	504	405	21	284	1,293	2,507
3	574	384	8	366	1,559	2,891
計	9,862	4,000	226	3,904	17,217	35,209

3　温水プールリース料（令和3年度分）

・トレーニングマシーンリース　4,199,040 円
・複合機リース料　171,600 円

4　委託料

・温水プール建築基準法第12条に基づく定期調査業務委託　276,100 円

5　需用費（修繕料）

・温水プール自動制御機器修繕　225,500 円

課題方向性

社会体育施設として町民がスポーツをする機会を確保するとともに、適切な利用者負担や施設の効率的な維持管理について検討していく。さらには、経年劣化により修繕等を必要とする箇所が増えていることから、計画的な修繕を実施していく。

また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた予防対策を実施し、利用者が安心して利用できる施設運営を目指す。

一　般　会　計

8　款	5　項	5　目	街路事業費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	96,326	96,326	52,981		2,100		41,245

目的

震災復興計画の具現化に向けて、避難道路を整備し、沿岸部の集落からの迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。また、被災地と防災拠点及び緊急輸送路線等を結ぶ道路築造を行い防災道路ネットワークの構築を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
根廻・磯崎線道路整備事業(根廻側)	A	5.0	3.7	道路築造工事等を実施して、令和3年6月に事業が完了した。

実績

【根廻・磯崎線道路整備事業(根廻側)】

交差点改良工事および関連する情報ボックス移設工事を実施して、事業が完成した。

（事故繰越費）

1	工事請負費	91,521,645　円
・	町道根廻･磯崎線国道45号交差点改良工事 道路改良工　L=216m	72,600,000　円
・	町道根廻･磯崎線国道45号情報ボックス移設工事 光ケーブル撤去・設置工　L=1,800m	18,921,645　円
2	補償金	4,803,495　円
・	町道根廻･磯崎線道路整備事業（根廻側）に伴う電気通信事業用施設の補償金	4,803,495　円

課題方向性

町道根廻･磯崎線道路整備事業については、令和3年6月に磯崎側の計画延長550mと、根廻側の計画延長1,550mが完成し、令和3年7月4日に開通式が執り行われた。

一　般　会　計

8　款	6　項	1　目	住宅管理費
担当部署名	建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,803	6,424				6,424	

目的

住宅に困窮する低所得者等に低廉な家賃で住宅を提供し、町民生活の安定と福祉増進に寄与すること。また、入居者の居住性を確保するため維持管理を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
町営住宅管理経費	B	－	3.3	修繕については、主に入居者より要望があった箇所を実施し、生活環境の維持を図った。住宅使用料については、納付相談、臨戸・夜間徴収を実施し、個人の実情に即した対応を図ったため、徴収額は前年度比で増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が低下している等の理由から、滞納額も増加したことにより、徴収率は前年度比で減少した。駐車場使用料については、徴収率100％を維持できた。

実績

【町営住宅管理経費】

町営住宅（156戸77棟）、災害公営住宅（52戸30棟）の維持管理

1　需用費（修繕料）

・住宅別修繕内訳

住宅名	設置年数	修　繕　内　訳	金　額
愛　宕	S39～43	台所、内壁	51,150 円
上初原	S42～45	台所、浴室、水栓、トイレ、建具、床	401,377 円
幡　谷	S42	建具、電気設備	114,950 円
小石浜	S45	床	88,440 円
高　城	S56～57 H7	台所、浴室、水栓、トイレ、建具、床、屋根、電気設備	2,555,238 円
災害公営住宅 華園・美映の丘	H27	浴室、トイレ、建具	280,940 円
合　計			3,492,095 円

2　委託料　825,550 円

・町営住宅遊具定期点検業務委託（年1回）　34,100 円

・町営住宅除草業務委託（年2回）　602,250 円

・町営住宅高城団地汚水管渠清掃業務委託（年1回）　189,200 円

（次頁へ続く）

実績

3　町営住宅管理戸数及び住宅使用料徴収状況

住宅名	管理戸数	住宅使用料徴収状況				備考
		調定額（円）	収入済額（円）	収入未済額（円）	徴収率（%）	
愛　宕	11	705,600	705,600	0	100.0%	
上初原	50	1,980,700	1,980,700	0	100.0%	
幡　谷	10	286,800	286,800	0	100.0%	
小石浜	7	98,400	98,400	0	100.0%	
高　城	78	20,706,900	20,260,440	446,460	97.8%	
災害公営住宅 華園・美映の丘	52	13,647,700	12,746,600	901,100	93.4%	
現年度分	208	37,426,100	36,078,540	1,347,560	96.4%	
滞納繰越分		4,659,957	642,230	4,017,727	13.8%	
合計		42,086,057	36,720,770	5,365,287	87.3%	

4　町営住宅駐車場利用数及び駐車場使用料徴収状況

住宅名	利用数	駐車場使用料徴収状況				備考
		調定額（円）	収入済額（円）	収入未済額（円）	徴収率（%）	
高城現年度分	35	878,800	878,800	0	100.0%	
合計		878,800	878,800	0	100.0%	

5　町営住宅敷金会計別状況

	戸　数（戸）	金　額（円）	備　考
一般会計分	74	2,046,000	3世帯退居 ▲ 36,600円
歳計外現金分	56	2,384,040	4世帯退去 ▲256,800円 6世帯入居　337,500円
合　計	130	4,430,040	

課題
方向性

修繕については、住宅の建築年数経過に伴い増加傾向にあるので、軽微な修繕はできるだけ直営で行い、経費を抑えつつ入居者の居住性確保のため適切に維持管理を行っていく。
建物の長寿命化については、耐用年数が経過した住宅の入居者に対し、優先入居制度の使用を継続して呼びかけ高城住宅に移動を促しながら、社会情勢に合わせた住宅ストック数を検討していく。
住宅使用料については、滞納者と納付折衝の機会を多くし、滞納額の縮減を目指していく。

一　般　会　計

8　款	6　項	2　目	木造住宅等震災対策事業費
担当部署名	建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,392	2,386	1,086	385			915

目的

昭和56年5月以前に建築された木造住宅に対し耐震化の促進を図り、今後発生する恐れのある大規模地震での被害を最小限に抑えるため、助成を行う。
また、通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等の除却・設置に対し助成を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
木造住宅等震災対策事業	A	3.7	3.7	木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業、並びに危険ブロック塀等除却事業について、広報による周知や戸別訪問を行い、事業の推進に努めた。

実績

【木造住宅等震災対策事業】

1　木造住宅耐震診断助成事業業務委託

・事業概要　町が耐震診断士を派遣して耐震一般診断及び耐震改修計画の作成をすることにより、住宅の地震に対する安全性の確保・向上を図り、震災に強いまちづくりを推進する。

・実　　績　3件（耐震性あり　0件・耐震性なし　3件）　427,200 円
【国1/2・県1/4の補助あり】

2　木造住宅耐震改修工事助成事業補助金

・事業概要　大規模地震による住宅被害を減ずるために、町内にある木造住宅の所有者が住宅の耐震改修工事、又は同じ場所で建替工事を実施する場合に補助金を交付する。

・実　　績　1件（耐震改修工事　1件）　1,100,000 円
【国2/5・県1/5の補助あり】

3　危険ブロック塀等除却事業補助金

・事業概要　通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、通行人の安全を確保するため、ブロック塀の除却及び除却箇所に生垣・フェンス等を設置する場合に補助金を交付する。

・実　　績　3件（除却事業　3件・設置事業　3件）　775,000 円
【国1/2の補助あり】

課題方向性

木造住宅の耐震化及び危険ブロック塀等除却の実施においては、所有者の経済的負担や高齢化問題等もあり、大幅な事業進捗は難しい状況となっている。
地震防災対策は生命の安全面からも必要な事業であるため、引き続き広報での周知や戸別訪問等を行い、耐震助成事業の活用を促していく。

一　般　会　計

9　款	1　項	1　目	非常備消防費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	35,043	31,572		8,922	1,900	2	20,748

目的

住民の生命、財産を火災や自然災害から守るため、消防団の機能維持、団員の確保に努めるとともに、防災関係機関等との連携強化、情報共有、資機材等の充実を図り、消防防災活動に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
消防団活動運営経費	B	－	4.7	消防団活動を安全かつ円滑に行うため、防火衣(下衣)を整備し、装備品の充実を図ることができた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年実施出来なかった出初式について、開催規模を縮小しながらも、団長を筆頭に分列行進や纏振りを行い、団員相互の団結力向上を図ることができた。 また、火災現場や福島県沖地震等の災害対応においては、常備消防の後方援護を行うとともに、迅速に防潮堤を閉鎖したほか、巡回・広報を行い、人的被害を未然に防ぐことができた。
消防施設整備事業	A	5.0	4.7	火災をはじめ、複雑多様化する各種災害時に機能が果たせるよう、消防団車両の更新及び小型動力ポンプの点検整備などを行ったほか、消火栓の修繕を行い、消防資機材の充実強化と適正管理を図ることができた。
自主防災組織運営経費	A	4.0	3.0	住民の地域防災力の強化を果たせるよう、自主防災組織としての訓練実施及び公助として運営支援を実施した。

実績

1　松島町内における火災発生状況　（単位：件）

	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
発生件数	9	4	3	4	6	3
(前年比)	(　5)	(　1)	(△ 1)	(△ 2)	(　3)	(△ 1)
建物火災	3	1	1	4	2	1
林野火災	3	0	0	0	3	0
車両火災	1	1	1	0	0	1
そ の 他	2	2	1	0	1	1

※期間は、各年1月1日から12月31日まで

2　消防団員数　200人　（令和3年4月１日現在）

役職：団長1人　・副団長2人・分団長6人・副分団長14人・班長40人・団員137人

本　部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団
3 人	25 人	42 人	49 人	21 人	40 人	20 人

3　消防団員出場状況

○ 火災出場　22 人

○ 警戒出場

・災害警戒（台風8号警戒・トンガ沖海底火山噴火に伴う津波注意報発令に伴う警戒・福島県沖を震源とする地震警戒等）　188 人

・火気警戒（行事等）　95 人

○ 火災予防啓発

・春・秋の火災予防運動一斉広報・防火査察及び消防水利点検等　208 人

○ 出初式　131 人

（次頁へ続く）

9　款	1　項	1　目

実績

4　防火思想啓発事業
・火災予防運動【秋：令和3年11月9日～11月15日　春：令和4年3月1日～3月7日】
　活動内容（消防団一斉広報、防火指導、消防水利点検、広報活動【防災行政無線他】）

5　災害時の消防団活動状況

・ 5月1日	宮城県沖を震源とする地震に係る警戒活動等	3人
・ 7月27日～28日	台風8号に係る警戒活動等	延べ 59人
・ 7月29日	アリューシャン列島地震に係る警戒活動等	5人
・ 10月1日	台風16号に係る警戒活動等	1人
・ 1月16日	トンガ沖海底火山噴火に伴う津波注意報発令に伴う警戒等	延べ 28人
・ 3月16日～17日	福島県沖を震源とする地震に係る警戒活動等 活動内容（警戒巡回、広報活動）	延べ 92人

6　車両及び安全装備品等購入

・消防小型動力ポンプ付軽積載車（第2分団配備）	5,984,000 円
・防火衣(下衣)　57着	3,373,260 円

7　消防施設整備

・北小泉字山神地内消火栓補修工事負担金(北小泉区)	2,737,350 円

8　自主防災組織育成事業
・自主防災組織訓練運営補助金　90,000 円　（実施団体数　2団体）

訓　練　実　施　地　区	実施日
1 初原区	10 月　17 日
2 松島区松島一地区	11 月　7 日

課題
方向性

近年消防団員が多く入れ替わっていることから、幅広い層の団員が消防ポンプ操作や資機材の取扱いができるよう、常備消防からの指導を仰ぎながら各種訓練を実施するなど、迅速な消火・災害活動のための対応力向上に努めていく。また、老朽化した消防車両や消火栓(消防水利)など各種施設の定期的な更新を図っていく。

自主防災組織については、各自主防災組織の活動(訓練)を自発的に実施できるよう支援を行い、地域住民間での自助及び共助の意識向上に努め、地域防災力の強化を図っていく。

一　般　会　計

9　款	1　項	2　目	水防費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	718	613		370			243

目的

大雨による河川氾濫等の洪水や津波被害による水災害を警戒及び防御、抑制するため、定期的な水防関連施設の確認、点検を行い被害の軽減を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
水防活動経費	B	－	3.0	毎月の陸閘点検による、水防施設の設置箇所及び操作方法の確認や、河川の重要水防合同巡視を関係機関で行うことにより、水防施設の適正管理と、水防活動の強化を図ることができた。

実績

【水防活動経費】

1　漁港・海岸・河川の陸閘点検【毎月1回】　延べ 146人

対象箇所：
○松島区【15箇所】（第1分団）
○高城区【 6箇所】（第2分団）（河川）
○磯崎区【 6箇所】（第3分団）
○手樽区【23箇所】（第3分団）

2　河川（吉田川等）の重要水防箇所合同巡視

目　　的：台風等に伴う本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる重要水防箇所や要注意区間を関係機関が合同で巡視を行い、迅速な水防活動に必要な情報共有を図る。

実施日：令和3年6月21日（月）

巡視箇所：
① 吉田川右岸　7.2km付近　重要水防箇所（R2災害復旧箇所）
② 吉田川右岸　8.4km付近　重要水防箇所（R3堤防補修箇所）

参加者：27人

北上川下流河川事務所【河川管理者】	10人
各行政区代表（北小泉区長、下竹谷区長、上竹谷区長、幡谷区長）	4人
水防団【消防団】（団長、副団長2人、第5分団長、第6分団長）	5人
松島消防署（署長）	1人
松島町　（町長、総務課、産業観光課、建設課）	7人

課題方向性

河川や海岸の水害発生時における対応力向上を目指して、関係機関と連携を図りながら定期的な水防施設の点検や所管毎の合同巡視、水防工法等の訓練を行っていく。
また、洪水時等に使用する水防資機材の充実を図る。

一　般　会　計

9　款	1　項	3　目	災害対策費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,690	11,533					11,533

目的

地震や津波災害をはじめ、台風、高潮等の風水害から住民の生命保護と財産被害を最小化するため、防災体制の構築と地域防災力強化、更には啓蒙活動や訓練をとおして防災意識の高揚を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
防災会議運営経費	C	－	－	令和3年3月に見直しを行った松島町地域防災計画について、次期見直しに向けた内容の整理等を行った。
防災行政無線関係経費	A	4.3	3.7	防災情報通信機器の保守等を実施し、災害時の情報発信が確実に行えるよう、適正な管理運営が図られた。
災害応急対策経費	C	－	－	災害対応にあたった職員に対し、手当等を支払った。
災害対策経費	A	4.0	3.3	情報技術が高度化し、行政から住民への災害時における情報伝達手段の多様化が求められていることから、登録制メールやSNS等を活用した避難情報等の発信に努め、迅速な情報提供を行うことができた。

実績

1　松島町防災会議

・委員名簿

No	委員区分	委　員
1	会長	松島町長
2	町長部局	松島町　副町長
3	教育部局	松島町　教育委員会　教育長
4	指定地方行政機関	北上川下流河川事務所長
5	指定地方行政機関	仙台河川国道事務所長
6	宮城県	宮城県仙台保健福祉事務所長
7	宮城県	宮城県仙台土木事務所長
8	宮城県	宮城県仙台地方振興事務所長
9	警察	宮城県塩釜警察署長
10	消防	塩釜地区消防事務組合消防本部消防長
11	松島町消防団	松島町消防団　団長
12	防災上の必要性	宮城海上保安部長
13	防災上の必要性	公益社団法人　宮城県塩釜医師会　理事
14	防災上の必要性	松島町自主防災組織（初原区自主防災組織代表）
15	指定地方公共機関	日本郵政事業株式会社　松島郵便局長
16	指定地方公共機関	東日本旅客鉄道株式会社　松島海岸駅長
17	指定地方公共機関	東北電力ネットワーク株式会社　塩釜電力センター所長
18	指定地方公共機関	東日本電信電話株式会社　宮城事業部　災害対策室長

2　防災行政無線・全国瞬時警報システム(J-ALERT)

・親局　1箇所　(松島町役場)
・遠隔操作卓　2箇所　(松島消防署・石田沢防災センター)
・屋外拡声子局　38箇所　(町内各所)
・施設スピーカー連動　2箇所　(松島海岸レストハウス・石田沢防災センター)
※全国瞬時警報システム(J-ALERT)は防災行政無線に連動

（次頁へ続く）

9　款	1　項	3　目

実績

3　委託料
・防災行政無線等施設保守点検業務委託　4,400,000 円

4　備品購入費
・防災行政無線戸別受信機電波受信補助機（20セット）　142,120 円

5　安心安全メール配信状況
・登録件数(令和4年3月31日現在)　2,601 件
・配信件数　85 件

防災情報	24 件	(災害:11件・防災無線放送内容:13件)
防犯情報	18 件	(不審者:7件・事件:5件・特殊詐欺等:6件)
交通情報	8 件	(町民バス:6件・交通安全啓発:2件)
生活情報	25 件	(ゴミ:1件・その他:24件)

課題方向性

自然災害が常襲化、激甚化している状況を踏まえ、住民参加型の総合防災訓練を実施し、防災意識の向上に努め、防災関係機関との相互連携の強化を図る必要がある。
また、防災訓練の他にも身の安全を守る方法や災害リスクを考える機会をつくるため積極的な広報活動を行う必要がある。
情報技術が高度化し、行政から住民への災害時における情報伝達手段の多様化が求められていることから、今後も継続して登録制メールやSNS等を活用した避難情報等の発信に努めるとともに、防災行政無線で放送された内容を登録制メールやSNSと自動で連動されるよう防災行政無線のシステムを改修し、発信する情報の一元管理や一斉発信により情報伝達機能の強化を図る。

9　款	1　項	4　目	避難施設管理費
担当部署名	総務課環境防災班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,593	20,304				2,489	17,815

目的

避難施設や避難場所等の適正な管理を行い有事における防災機能の確保に努めるとともに、平常時の有効活用により、地域の防災拠点としての機能強化を図る。
また、災害時における食料や資機材等に不足が生じないように備蓄倉庫へ災害用備蓄品を計画的に購入し充足させるとともに、防災関連施設の維持管理に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
松島地区等避難施設管理費	C	－	－	避難施設（8施設）や緊急避難場所について、災害時に避難者を受け入れ出来るよう適切な管理を行うことができた。
備蓄倉庫管理費	B	－	3.7	松島町備蓄計画に則り、災害時の避難者に対して提供する食料品、飲料水、更には災害時の避難所で使用する資機材などを計画的に購入し、備蓄品を充足することができた。
高城津波避難施設管理経費	B	－	3.3	災害時に避難者を受け入れ出来るよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。
石田沢防災まちづくり拠点施設管理費	B	－	3.3	防災まちづくり拠点施設及び避難施設として災害時に避難者を受け入れ出来るよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。
自家発電装置整備管理費	C	－	－	災害時に停電となった状況において、最小限の電力を確保し、避難生活等に支障がでないよう、適切な管理を行うことができた。

実績

1　災害時用備蓄品購入事業

・消耗品費（災害時用備蓄食料品購入）　1,463,605 円
　アルファ米　5,050 食
　ビスケット　600 食
　飲料水（500ml）　2,400 本

・備品購入費　490,050 円
　避難所用マット　30 枚
　イージーコンテナ　1 台
　運搬台車　1 台

2　委託料

・避難施設指定管理業務委託（10施設）　3,022,440 円
・高城避難所機械警備業務委託　620,400 円
・石田沢防災センター浄化槽清掃業務委託　715,000 円
・石田沢防災センター浄化槽保守点検業務委託　397,115 円
・石田沢防災センター機械警備業務委託　290,400 円
・石田沢防災センター清掃業務委託　682,000 円
・石田沢防災センター草刈業務委託（年3回）　715,000 円
・石田沢防災センター自家用電気工作物保守点検業務委託　192,095 円
・石田沢防災センター消防設備保守点検業務委託　123,326 円

（次頁へ続く）

実績

・石田沢防災センター駐車場除雪業務委託 137,280 円
・石田沢防災センター危険樹木伐採業務委託 396,000 円
・石田沢防災センター他施設管理業務委託 3,085,465 円
・東浜避難場所草刈業務委託（年3回） 257,400 円
・東浜避難場所法面草刈業務委託 1,122,000 円
・自家用発電装置保守点検業務委託 649,000 円

3 負担金補助及び交付金

・高城避難所維持管理負担金 1,100,880 円
（清掃業務、空調設備保守点検、エレベーター保守点検）
・高城避難所防火設備点検負担金 66,000 円
・高城避難所昇降機機能維持修理負担金 18,480 円

4 石田沢防災センター利用状況

年度 内訳	令和3年度	令和2年度	令和元年度
駐車場利用台数	6,062 台	4,947 台	12,236 台
防災まちづくりセンター棟利用者数	1,236 人	1,272 人	5,485 人
会議室棟利用者数	841 人	602 人	1,886 人

5 高城避難所利用者数

年度 内訳	令和3年度	令和2年度	令和元年度
多目的室利用者数	1,565 人	396 人	1,370 人

課題
方向性

災害時における食料や資機材等の災害用備蓄品の確保に努めたことによって防災機能の向上が図られた。
防災拠点である石田沢防災センター及び高城避難所の管理については、有事の際に迅速に対応できるよう適正な維持管理に努める。また、施設利用者にとって利用しやすい環境を構築し、施設の有効活用を図る。

一　般　会　計

10　款	1　項	2　目	事務局費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	110,816	105,241		3,140		200	101,901

目的

児童・生徒における家庭学習の習慣形成、基礎基本を着実に定着させ、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」を体感させ、学習に対する自信を持たせることを目標とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
事務局運営経費	B	－	3.7	教育指導専門員を任用し、小・中学校・幼稚園の指導を行った。
子供安全対策事業	B	－	3.3	スクールガードリーダーを配置し、週2回の見守り活動を実施し、小学校の登下校時における安全確保が図られた。（長期休暇時等を除く）
外国青年招致事業	B	－	3.7	外国語指導助手（ALT）を小学校、中学校、幼稚園、保育所等へ派遣し、国際教育の機会を増やすことで、外国語及び外国文化に慣れ親しむ国際理解教育一助となった。
松島こども英語ガイド事業	A	3.0	3.3	松島在住の参加を希望する小・中学生に対し、授業において学んだ英語を使って実際に言語活動にチャレンジできる場を提供した。
心のケア・不登校対策事業	B	－	3.3	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒が抱える諸問題に対し、教職員等とのケース会議や面談を通して、児童生徒の置かれている様々な環境への働きかけや関係機関等との連携・調整を行ったことにより、学校生活復帰への一助となった。
心のケアハウス事業	B	－	3.3	心理的要因等により不登校（傾向含む）となっている児童生徒やその保護者に対し、教育相談、生活相談を行った。また、学習支援等を通して、児童生徒の自立及び学校生活への自発的な復帰に向けた支援を行った。

実績

【子供安全対策事業】
（スクールガードリーダーの配置）

児童・生徒の安心安全対策として登下校時に週2回の見守り活動の実施
1名（活動回数　81回にかかる報酬）　436,428 円

【外国青年招致事業】
（外国語指導助手（ALT）事業）

○ 年間指導実績　（単位:延べ日数）

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	7	7	9	6	2	7	8	7	8	6	4	7	78
松島第二小学校	5	7	7	6	2	7	7	7	6	6	5	5	70
松島第五小学校	6	6	8	5	1	8	7	5	7	6	6	6	71
小計	18	20	24	17	5	22	22	19	21	18	15	18	219
松島中学校	10	15	14	10	2	14	13	13	13	11	10	11	136
総計	28	35	38	27	7	36	35	32	34	29	25	29	355

※ 上記の学校教育活動の他、幼稚園に計37回、保育所に計32回訪問し、未就学児への英語に親しむ機会を設けた。

（次頁へ続く）

10　款	1　項	2　目

実績

【松島こども英語ガイド】
松島の魅力を英語で案内する動画を作成し、世界に向けて発信した。

期間　令和3年7月21日から令和3年8月19日
（オリエンテーション1回、現地研修2回、英語サロン4回、修了式1回）
場所　雄島、五大堂、かまぼこ手焼き体験
参加者 町内の小学5年生～中学生　12名

【心のケア・不登校対策事業】
（県委託事業　スクールソーシャルワーカー活用事業）
・SSW活動にかかる報酬　807,500 円
・SSWとして雇用した実人数　2人

・年間勤務時間数及び年間勤務日数

年間勤務時間数	242.0 時間
年間勤務日数	73.0 日
平均勤務時間数	3.3 時間／日

・訪問活動の回数

学校	64 回
家庭	29 回
教育委員会	33 回
その他関係機関	0 回

・ケース会議の開催状況

①教職員等とのケース会議

開催回数	1 回
ケース件数	2 件
参加教職員数	2 人
参加関係機関の人数	0 人

②関係機関等とのケース会議

開催回数	11 回
ケース件数	21 件
参加教職員数	0 人
参加関係機関の人数	7 人

【心のケアハウス事業】
（県補助事業　みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業）

◯ 年間活動状況　（単位：延べ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童生徒支援人数（人）	1	3	4	9	2	5	6	7	8	8	6	8	67
保護者支援人数（人）	2	5	4	7	3	5	2	3	1	2	0	1	35
開所日数（日）	16	18	22	14	4	20	21	20	17	15	18	17	202

課題方向性

外国語指導助手（ALT）を学校に配置し、幼児教育から中学生まで全学年において、生きた英語を学ぶ機会をさらに増やしていく。
松島こども英語ガイド事業は、外国人観光客に向けた対面でのガイドを行ってきたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から内容を変更し実施した。松島の魅力を英語で案内する動画を作成し、世界に向けて発信したことで得られた成果もあった。参加したこどものやりがいや効果などを考慮し、今後も継続し事業を実施していく。
心のケアハウス事業については、事業の財源となっている県補助金が令和3年度から補助対象経費の見直しや補助率の引き下げが行われている。本事業は不登校等様々な問題を抱える児童生徒や保護者を支援する存在となっており、不登校解消に繋がったケースもあることから今後ますます重要性が増すと考えられる。このため、継続可能な事業の在り方を検討する。

10　款	2　項	1　目	小学校管理費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,082	55,160		2,700			52,460

目的

町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、児童の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
第一小学校	B	－	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。
第二小学校	B	－	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。
第五小学校	B	－	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。

実績

1　児童数及び学校職員数　　（令和3年5月1日現在）

（単位：人）

学　校　名	児童数	教職員数						
		学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総　計
松島第一小学校	300	24	1	1	0	2	1	29
松島第二小学校	145	12	1	1	0	1	1	16
松島第五小学校	69	13	1	1	0	1	1	17
合計	514	49	3	3	0	4	3	62

2　校務用コンピュータ整備状況

項目／学校名	整備年度	整備台数
松島第一小学校	H29	29台
松島第二小学校	R1	17台
松島第五小学校	R2	17台
合計		63台

3　需用費（修繕料）

・松島第一小学校　灯油タンク漏洩修繕ほか　（　15件）　1,151,865 円
・松島第二小学校　プールろ過装置修繕ほか　（　10件）　1,110,450 円
・松島第五小学校　屋外給水管修繕ほか　（　6件）　233,849 円

4　工事請負費

・松島第二小学校　体育館LED照明化工事（N=19台）　2,915,000 円
　第二小学校遊具改修工事　280,500 円
・松島第五小学校　防火扉床改修工事　318,318 円
　第五小学校遊具改修工事　242,000 円

（次頁へ続く）

10　款	2　項	1　目

実績

5　備品購入費

（庁用備品）

・松島第一小学校	配膳台、職員室用椅子ほか	（　4 品目 、	15 個）	562,038 円
・松島第二小学校	ﾜｲﾔﾚｽｱﾝﾌﾟ、ﾗﾐﾈｰﾀｰほか	（　6 品目 、	11 個）	454,520 円
・松島第五小学校	学習用机、椅子	（　7 品目 、	45 個）	267,960 円

（消防備品）

・松島第一小学校	消火器	（　8 本　）	36,960 円

課題方向性

各施設の状況に合わせて、必要な維持修繕等を実施しているが、各学校とも建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要となる学校が多い状況となっている。

学校施設長寿命化計画に基づき、経費の平準化や計画的な維持管理を行い、子ども達の安全確保を図っていく。併せて、環境配慮と経費節減のため、学校体育館のLED照明化事業を継続して実施していく。

一　般　会　計

10　款	2　項	2　目	教育振興費（小学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,614	21,872	252	170		385	21,065

目的

児童の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な世帯並びに特別支援学級入級世帯の児童の保護者に対し、必要な援助を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
義務教育教材費	B	－	3.0	児童がよりよい環境の下、授業が受けられるように教育上必要な教材の整備が図られた。
要保護・準要保護関係経費	B	－	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対し必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。
特別支援教育就学奨励経費	B	－	4.0	特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。
GIGAスクールサポーター配置支援事業(繰越事業)	A	4.0	4.0	GIGAスクール構想のもと整備したICT機器の操作研修を行った。

実績

1　教育用コンピュータ整備状況

項目／学校名		松一小	松二小	松五小	計
賃貸借	整備年度	R2	R1	R1	―
	整備台数 （うちタブレット）	99 台 58 台	62 台 30 台	39 台 16 台	200 台 104 台
購入	整備年度	R2			―
	整備台数 （タブレット）	276 台	131 台	77 台	484 台

2　備品購入費

（教材備品）

・松島第一小学校　一輪車練習ｽﾀﾝﾄﾞほか　（　3 品目、　7 個）　59,070 円
・松島第二小学校　画用紙乾燥棚ほか　（　2 品目、　5 個）　304,667 円
・松島第五小学校　文字練習短冊黒板ｼｰﾄほか　（　8 品目、　9 個）　204,765 円

（図書備品）

・松島第一小学校　課題図書、一般図書　（　46 冊）　76,020 円
・松島第二小学校　課題図書、一般図書　（　46 冊）　75,517 円
・松島第五小学校　課題図書、一般図書　（　31 冊）　76,914 円

3　委託料（繰越明許費）

・GIGAスクールサポーター配置事業　770,000 円
（可動式教育用コンピュータ運用支援）

（次頁へ続く）

10　款	2　項	2　目

実績

4　要保護・準要保護家庭及び特別支援学級児童に対する教育扶助費

（単位：円）

内容（一人当たり限度額）	学校名 該当人員	就学援助費 松一小	就学援助費 松二小	就学援助費 松五小	就学援助費 小計	特別支援教育就学奨励費	合計
		29 人	16 人	3 人	48 人	11 人	59 人
学用品費	11,630	268,460	186,080	23,260	477,800	64,020	541,820
通学用品費	2,270	47,860	29,510	4,540	81,910	7,945	89,855
校外活動費（泊有）	3,690	18,450	0	0	18,450	3,690	22,140
校外活動費（泊無）	1,600	27,200	3,270	0	30,470	7,450	37,920
新入学用品費	51,060	0	102,120	0	102,120	102,220	204,340
通学交通費	9,720	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	22,690	68,070	42,956	22,690	133,716	21,580	155,296
医療費	（実費）	0	0	0	0	0	0
給食費	（実費）	1,144,248	763,840	95,942	2,004,030	261,972	2,266,002
入学準備金	51,060	102,120		51,060	153,180	0	153,180
支給総額		1,676,408	1,127,776	197,492	3,001,676	468,877	3,470,553

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 小学校全体 ： 就学援助費48人【要保護2人・準要保護（従来要件）39人・準要保護（被災要件）4人・就学予定者3人】
特別支援教育就学奨励費11人

課題方向性

教科書改訂や授業内容の充実のため、必要となる教材や備品等を計画的に整備していく。
また、整備した1人1台端末の有効活用のため、学習ソフトの充実と機器更新を計画的に進めていく。

一　般　会　計

10　款	2　項	3　目	学校保健衛生費（小学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,855	7,300	90			213	6,997

目的

学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、児童及び教職員の健康保持増進に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
就学時健康診断費	B	－	3.7	学校保健安全法に基づき、就学前の児童に各種健康診断を実施した。健康な状態または就学が可能な心身の状態で入学できるように適切な治療の勧めや保健上の助言を行った。
児童健康診断費	B	－	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、児童及び教職員の健康保持増進が図られた。
その他学校保健衛生経費	B	－	3.0	小学校における児童の健康保持のため、衛生面の強化や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	A	4.0	4.0	新型コロナウイルス感染症対策として必要となるマスク等の保健衛生消耗品を購入し、感染予防が図られた。

実績

1　教職員検診　（単位：人）

項　目	受診者	結果	備考
結核検診　（全教職員対象）	52	要精検 0人	※異常なし
胃がん検診　（30歳以上希望者）	16	要精検 0人	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。
一般健診　（20歳以上希望者）	40	要精検 9人	※重篤な疾患なし。

2　備品購入費

（保健衛生備品）

松島第二小学校	保健室用椅子	（　1 品目 、　1 個）	21,780 円
松島第五小学校	掃除機	（　1 品目 、　1 個）	11,770 円

3　新型コロナウイルス感染症対策費【学校保健特別対策事業費補助金】

・感染症対策等の学校教育活動継続支援事業
（マスク、泡ハンドソープ、消毒液ほか保健衛生消耗品）

松島第一小学校	80,000 円
松島第二小学校	60,000 円
松島第五小学校	40,000 円

（次頁へ続く）

10　款	2　項	3　目

実績

4　児童検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検、要受診となった人数を掲載

（単位：人）

項目＼学年				小学校 1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	備考
在籍者数				87	89	75	85	86	92	514	
内科	肥満傾向			5	7	7	5	10	3	37	※肥満傾向=軽度肥満以上
内科	脊柱・胸郭			0	0	0	0	0	0	0	
内科	心雑音			0	0	0	0	0	0	0	
内科	皮膚	アトピー		0	3	2	1	0	0	6	
内科	皮膚	その他		0	1	0	1	0	1	3	
内科	尿	1次所見有り		0	0	0	0	0	0	0	
内科	尿	2次所見有り	蛋白	0	0	0	0	0	0	0	
内科	尿	2次所見有り	糖	0	0	0	0	0	0	0	
内科	尿	2次所見有り	潜血	0	0	0	0	0	0	0	
内科	四肢	事前問診所見有り		0	0	0	0	0	0	0	
内科	四肢	精密検査		0	0	0	0	0	0	0	
血液（貧血検査）				0	0	0	0	0	0	0	※ 要再検（130mg/dl以上）
血液（LDLコレステロール）				0	1	2	1	2	1	7	
心電図二次検査				0	0	0	0	0	0	0	
結核	問診 要検討者			1	0	0	0	0	0	1	
結核	結核対策委員会			0	0	0	0	0	0	0	
眼科	視力矯正0.7未満			0	0	3	12	8	21	44	※裸眼視力1.0未満の割合 小学校 35.9% （県38.2%、国37.5%）
眼科	ｱﾚﾙｷﾞｰ結膜炎			15	14	6	12	9	13	69	
眼科	その他（斜視他）			5	3	3	3	1	3	18	
耳鼻科	聴力所見有り			―	7	7	―	7	―	21	
耳鼻科	耳疾患（中耳炎等）			―	3	5	―	4	―	12	
耳鼻科	鼻・副鼻腔疾患等			―	4	2	―	3	―	9	
歯科	健全歯者			76	70	63	64	52	59	384	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町1.00本 （県0.90本、国0.68本）
歯科	CO所有者			4	5	21	6	36	14	86	
歯科	処置完了者			0	14	6	18	14	23	75	

5　保健教育

＼	内　　容	対　象	日　程
松島第一小学校	スマホ・ケータイ安全教室	6年生	6月17日
松島第二小学校	スマホ・ケータイ安全教室	全学年	9月
	薬物乱用防止教室	6年生	8月
松島第五小学校	家庭学習強調週間	全学年	7月･12月･2月

課題方向性

児童及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を実施した。

新型コロナウイルス感染症による学校休業への対応、感染予防のための保健衛生用品の調達等を今後も継続していく。

スマホ・ケータイ安全教室、薬物乱用防止等をテーマに各学校の児童を対象に研修を実施した。新型コロナウイルス感染症により、活動が制限される場面もあったが、感染症対策を実施しながら児童・保護者が学校・地域・家庭と連携して安全対策を行う一助となったため、今後も継続していく。

各小学校において、コロナによる差別を生まない取組「シトラスリボン運動」を実施し、学校毎に児童が自ら参画して運動を展開することができた。この成果を今後も継続し、思いやりのある学校づくりを推進する。

一　般　会　計

10　款	3　項	1　目	中学校管理費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,402	25,380					25,380

目的

町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、生徒の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
中学校管理経費	B	－	3.0	生徒の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。

実績

1　生徒数及び学校職員数　　（令和3年5月1日現在）

（単位：人）

学　校　名	生徒数	教職員数						
		学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総　計
松島中学校	276	20	1	1	1	2	1	26

2　校務用コンピュータ整備状況

項目／学校名	整備年度	整備台数
松島中学校	R2	34台

3　需用費（修繕料）

・松島中学校　　校舎ﾊﾞﾙｺﾆｰ外壁修繕ほか　（　14 件　）　928,176 円

4　備品購入費

（庁用備品）

・松島中学校　　黒板ふきｸﾘｰﾅｰほか　（　4 品目 、　15 個）　176,980 円

課題方向性

必要な維持修繕等を随時実施しているが、建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要な状況となっている。

学校施設長寿命化計画に基づき、維持管理経費の平準化や計画的な維持管理を行い、生徒達の安全確保を図っていく。

一　般　会　計

10　款	3　項	2　目	教育振興費（中学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,735	13,144	194	550		800	11,600

目的

生徒の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な世帯並びに特別支援学級入級世帯の生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
義務教育教材経費	B	－	3.0	中学校用教科書改訂に伴う指導用教材など、教育上必要な教材の整備が図られた。
要保護・準要保護経費	B	－	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対し必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。
特別支援教育就学奨励経費	B	－	4.0	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。

実績

1　教育用コンピュータ整備状況

項目／学校名		松島中学校
賃貸借	整備年度	R1
	整備台数 （うちタブレット）	42 台 0 台
購入	整備年度	R2
	整備台数 （タブレット）	304 台

2　備品購入費

（教材備品）

・松島中学校　　吹奏楽器、糸ノコ盤ほか　（　13 品目 、　39 個）　1,493,885 円

（図書備品）

・松島中学校　　課題図書、一般図書　（ 133 冊 ）　180,844 円

（次頁へ続く）

10　款	3　項	2　目

実績

3　要保護・準要保護家庭及び特別支援学級生徒に対する教育扶助費

（単位：円）

内容（一人当たり限度額） ＼ 該当人員		就学援助費	特別支援教育就学奨励費	合計
		41 人	6 人	47 人
学用品費	22,730	687,583	56,850	744,433
通学用品費	2,270	40,860	4,540	45,400
校外活動費（泊有）	6,210	0	0	0
校外活動費（泊無）	2,310	0	0	0
新入学用品費	60,000	0	28,990	28,990
通学交通費	26,180	93,619	64,505	158,124
修学旅行費	60,910	604,351	27,571	631,922
体育実技用具費（柔道着）	7,650	0	0	0
医療費	（実費）	0	0	0
給食費	（実費）	1,750,320	100,155	1,850,475
入学準備金	60,000	420,000	0	420,000
支給総額		3,596,733	282,611	3,879,344

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 中学校 ： 就学援助費41人【要保護2人・準要保護（従来要件）26人・準要保護（被災要件）6人・就学予定者7人】
特別支援教育就学奨励費6人

課題方向性

教科書改訂や授業内容の充実のため、必要となる教材や備品等を計画的に整備していく。
また、整備した1人1台端末の有効活用のため、学習ソフトの充実と機器更新を計画的に進めていく。

一　般　会　計

10　款	3　項	3　目	学校保健衛生費（中学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,817	3,511	35			109	3,367

目的

学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
生徒健康診断経費	B	－	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進が図られた。
その他学校保健衛生経費	B	－	3.0	中学校における生徒の健康保持のため、衛生面の強化や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	A	3.3	3.7	新型コロナウイルス感染症対策として必要となるマスク等の保健衛生消耗品を購入し、感染予防が図られた。

実績

1　教職員検診　（単位：人）

項　目	受診者	結果	備考
結核検診　（全教職員対象）	25	要精検 3人	※異常なし
胃がん検診　（30歳以上希望者）	6	要精検 0人	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。
一般健診　（20歳以上希望者）	18	要精検 3人	※重篤な疾患なし。

2　備品購入費

（保健衛生備品）
・松島中学校　保健室用ｼｪｰﾃﾞｨﾝｸﾞｽｸﾘｰﾝ　（　1 品目 、　3 個）　66,000 円

3　新型コロナウイルス感染症対策費【学校保健特別対策事業費補助金】

・感染症対策等の学校教育活動継続支援事業　70,000 円
（マスク、泡ハンドソープ、消毒液ほか保健衛生消耗品）

（次頁へ続く）

10　款	3　項	3　目

実績

4　生徒検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検、要受診となった人数を掲載

（単位：人）

項目＼学年				中学校 1年	2年	3年	計	備考
在籍者数				99	82	96	277	
内科	肥満傾向			11	3	3	17	※肥満傾向=軽度肥満以上
内科	脊柱・胸郭			0	1	0	1	
内科	心雑音			0	0	0	0	
内科	皮膚	アトピー		0	0	1	1	
内科	皮膚	その他		0	0	0	0	
内科	尿	1次所見有り		8	1	3	12	
内科	尿	2次所見有り	蛋白	0	0	0	0	
内科	尿	2次所見有り	糖	0	0	0	0	
内科	尿	2次所見有り	潜血	3	0	0	3	
内科	四肢	事前問診所見有り		2	3	1	6	
内科	四肢	精密検査		0	0	0	0	
血液（貧血検査）					0		0	※ 要再検（130mg/dl以上）
血液（LDLコレステロール）					6		6	
心電図二次検査				2			2	
結核	問診 要検討者			0	0	0	0	
結核	結核対策委員会			0	0	0	0	
眼科	視力矯正0.7未満			19	20	22	61	※裸眼視力1.0未満の割合 中学校 51.9% （県60.1%、国58.3%）
眼科	ｱﾚﾙｷﾞｰ結膜炎			0	0	0	0	
眼科	その他（斜視他）			1	3	0	4	
耳鼻科	聴力所見有り			1		0	1	
耳鼻科	耳疾患（中耳炎等）			1		5	6	
耳鼻科	鼻・副鼻腔疾患等			2		2	4	
歯科	健全歯者			51	43	60	154	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町1.00本 （県0.90本、国0.68本）
歯科	CO所有者			34	23	26	83	
歯科	処置完了者			22	29	12	63	

5　保健教育

	内　　容	対　象	日　程
松島中学校	保健講話「歯科」	1，2年	6月
	薬物乱用防止教室	全学年	12月

課題
方向性

生徒及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を実施した。

新型コロナウイルス感染症による学校休業への対応、感染症予防のための保健衛生用品の調達等を今後も継続していく。

生徒を対象に、薬物乱用防止がテーマの研修や、町の保健師による歯に関する講話を実施した。新型コロナウイルス感染症により、活動が制限される場面もあったが、感染症対策を実施しながら生徒・保護者が学校・地域・家庭と連携して安全・健康対策を行う一助となったため、今後も継続していく。

中学校において、コロナによる差別を生まない取組「シトラスリボン運動」を実施し、生徒が自ら参画して運動を展開することができた。この成果を今後も継続し、思いやりのある学校づくりを推進する。

一　般　会　計

10　款	3　項	4　目	学校建設費（中学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	39,346	18,969			14,200		4,769

目的

学校施設の老朽化対策など安全・安心な施設環境の整備を計画的かつ着実に実施する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
中学校校舎水道管改修事業(繰越事業)	A	3.3	3.0	学校施設内の水道管改修工事を実施し、施設の環境整備が図られた。

実績

1　工事請負費

松島中学校校舎水道管改修工事　18,968,400 円
- 給排水設備工事　一式
- 給湯設備工事　一式
- 電気設備工事　一式
- 撤去工事　一式

課題方向性

学校の現状に応じ、必要な工事を実施して環境整備に努めているが、築年数の経過に伴い大規模な工事を必要とする箇所が増えている。学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を図っていく。

一　般　会　計

10　款	4　項	1　目	社会教育総務費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,774	12,299		308			11,991

目的

松島の「自然と歴史」を通じた生涯学習を家庭・地域・学校との協働により展開し、子供から高齢者まで自発的に学習・交流する機会を提供することで、地域への郷土愛を醸成し、生活の豊かさを育み広げていく。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
ジュニア・リーダー育成等研修経費	A	3.3	3.0	例年参加している地域行事等は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、活動機会が大幅に減少した。なお、次年度以降の活動に向けて定例会や研修会で研鑽を積んだ。
女性団体指導者研修経費	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染症により多くの事業が中止となったが、女性の社会促進・連携協力に努めた。
子ども会育成事業経費	A	3.7	3.0	松島町子ども会育成連合会を通じて、各地区の子ども会活動への支援を行った。毎年、開催される「松っ子まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
家庭教育推進事業等経費(1)地域学校協働活動推進事業に関する事務	A	3.0	3.0	家庭・地域・学校が協働した各種事業を実施することにより、地域力を生かした学校運営となり、また、郷土愛の醸成、子供と高齢者の交流を図ることができた。
家庭教育推進事業等経費(2)こころ・はぐくみ隊に関する事務	A	3.3	3.0	創作活動をとおして児童の芸術に関する関心・意欲や表現力が向上した。また、異年齢間の交流を通じて社会性や思いやり、我慢強さ、責任感などを育む場が創出できた。
芸術文化振興経費	A	4.3	3.0	芸術・文化の振興を図るための事業を実施することができた。また、将来を担う子供たちに芸術・文化の良さを体感してもらうことができた。
青少年健全育成経費	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が実施できなかったが、オンラインによる研修受講などの工夫を図った。
その他社会教育関係経費(2)協働による家庭教育・地域活動の推進	A	3.0	3.0	令和3年度は社会教育活動を中心的に担う社会教育主事資格取得のための育成講習受講は無かった。計画的に社会教育主事の育成を図っていく。
マイクロバス貸出に要する経費	B	－	3.0	学校行事等によりマイクロバスが多く活用された。新型コロナウイルス感染症の影響により社会教育団体等の利用は大幅に減少している。
社会教育委員経費	B	－	3.7	年4回の会議を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2回の会議開催となり、各種社会教育事業に対する貴重な意見を得ることができた。
その他社会教育関係経費(1)	C	－	－	社会教育関係事務を円滑に図るため、各種経理、照会・調査等への対応を行った。

（次頁へ続く）

実績

【ジュニア・リーダー育成等研修経費】 33,400 円
※登録者数　32人（令和4年3月末時点）

実施日	内　　容	参加人数	場　　所
令和3年 5月30日	二市三町合同研修会	9 人	多賀城市文化センター
令和3年 7月29日	二市三町合同キャンプ	7 人	七ヶ浜町生涯学習センター
令和3年11月21日	スポーツ大会	8 人	B&G海洋センター
令和3年11月 7日･14日･28日	こころ・はぐくみ隊	延べ10 人	手樽地域交流センター
令和3年12月4～5日	みやぎジュニア・リーダー交流会	4 人	花山青少年自然の家
令和3年12月12日	クリスマス会	10 人	松島町文化観光交流館
令和3年12月25日	ジュニア・リーダー上級研修会	2 人	蔵王自然の家

定例会　9回　　参加者数　延べ60人

【女性団体指導者研修経費】 167,000 円

・松島町女性団体連絡協議会の運営
（加盟団体数：6団体）

	日時	場所
総会	令和3年 5月21日	石田沢防災センター
役員会	令和3年 4月14日	松島町文化観光交流館
	令和3年 7月 9日	松島町役場
	令和3年 8月30日	松島町役場
	令和3年12月 9日	松島町役場

【社会教育団体、社会教育活動の育成・補助事業】

・ 青少年健全育成松島町民会議　※「青少年健全育成経費」に含む　180,000 円
・ 松島町芸術文化協会　※「芸術文化振興経費」に含む　80,000 円
・ 松島町子ども会育成連合会　※「子ども会育成事業経費」に含む　60,000 円
・ 松島町PTA連合会　※「青少年健全育成経費」に含む　100,000 円
・ 松島町女性団体連絡協議会　※「女性団体指導者研修経費」に含む　7,000 円
・ 松島町婦人会　※「女性団体指導者研修経費」に含む　160,000 円
・ 松島町小・中・高生徒指導連絡協議会　※「青少年健全育成経費」に含む　36,000 円
（ジョイントコンサート事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

【家庭教育推進事業等経費(1)地域学校協働活動推進事業に関する事務】 491,843 円

1　「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラムの推進・推進委員会の開催）
歴史文化教育カリキュラムをもとに、町内各小学校で統一的な体験の実施

小学4年生　：品井沼干拓学習（2学期）
（対象：81名）　・品井沼干拓に関する史跡・施設を見学

小学5年生　：森林学習（1～3学期）
（対象：84名）　・檀山での見学・チェーンソー体験、松食い虫の講話、木工体験　等

小学6年生　：歴史出前授業
（対象：89名）　・出前授業「縄文時代の松島」（7月、9月）
・出前授業「瑞巌寺の歴史」（7月、9月）
・瑞巌寺の見学（7月、10月）
・座禅体験（2学期）
・松島海岸付近の史跡見学（松二小、松五小）

（次頁へ続く）

実績

2 「松島町放課後子ども教室」事業
児童の安全・安心な放課後の活動拠点を確保し、地域ボランティアによる見守りを実施
・活動概要 ：令和3年5月下旬～令和4年1月中旬 （各小学校月に約1回 合計19回）
※9月及び1月下旬～2月 新型コロナウイルス感染症により中止
各小学校体育館・校庭・特別教室を利用
参加者数 松一小 延べ240人、松二小 延べ201人、松五小 延べ272人

【家庭教育推進事業等経費(2)こころ・はぐくみ隊に関する事務】 275,000 円

・こころ・はぐくみ隊パート20の実施
小学校低学年(1～3年生)を対象とした創作活動ワークショップ

実施日	テーマ(内容)	参加人数	場 所
令和3年10月24日	ビロロンぼうであそぼう	25 人	手樽地域交流センター
令和3年11月7日	ぱたぱたとりさん	21 人	手樽地域交流センター
令和3年11月14日	おおきくかこう	23 人	手樽地域交流センター
令和3年11月28日	ちいさなおうち ちいさなまち	23 人	手樽地域交流センター

令和4年2月1日～27日 作品展示（松島町文化観光交流館観光インフォメーションルーム）

【芸術文化振興経費】 388,000 円

・宮城県巡回小劇場（音楽公演）の実施
令和3年9月29日 演目：Let's Swing!!ブラックボトムブラスバンド演奏会
町内小学校4・5年生165人鑑賞
・親子落語ワークショップ
令和4年1月15日 松島町文化観光交流館
ワークショップ参加者 38名

【青少年健全育成経費】 316,000 円

1 中学生リーダー研修会（秋田県にかほ市交流事業） 中止

2 研修会
・青少年健全育成講演会 中止
・教育講演会（音楽鑑賞事業）
令和3年12月23日 松島町文化観光交流館大ホール
・青少年のインターネット安全安心利用フォーラム（オンライン受講）
令和4年2月10日 松島町文化観光交流館会議室

【子ども会育成事業経費】 60,000 円

松島町子ども会育成連合会への補助金交付

【マイクロバス貸出に要する経費】 2,153,365 円

マイクロバス貸出件数
1 社会教育・社会体育等行事 7 件
2 学校行事 78 件
3 その他（他課事業への貸出等） 4 件 計 89 件

（次頁へ続く）

10　款	4　項	1　目

実績

【社会教育委員経費】　137,222 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場　所
令和3年5月17日	年間予定並びに活動内容の確認 社会教育団体への補助金の交付について	12　人	松島町役場
令和3年11月11日	地域学校協働活動推進事業の報告と評価・検証	9　人	松島町役場

※第3回会議(12月)、第4回会議(2月)は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し中止

【その他社会教育関係経費】　358,017 円

1　社会教育関係研修・会議への参加　18 件

課題方向性

ジュニア・リーダー活動については、高校生から中学生への技術継承の場を設けるなど全体のレベルの底上げを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の流行状況に即した工夫を行い、魅力ある活動を検討していく。松島町女性団体連絡協議会については、各団体の連携がとれるよう調整し活動内容の充実を図る。地域学校協働活動推進事業については、地域・学校・家庭の連携を深め地域ぐるみで学習・交流するために学校と地域の人々や団体等が参画するネットワーク(地域学校協働本部)を整備する必要がある。

こころ・はぐくみ隊については、読み聞かせや工作をとおして児童の情操を育むとともに、ジュニア・リーダーも含めた異年齢交流の場とし、今後も継続して実施する。宮城県巡回小劇場については、各学校と連携しながら事業をとおして子供たちが芸術に触れる機会をつくり豊かな感受性を育んでいく。

青少年健全育成については、青少年の心と体への健全な発展を目指す環境づくりに努める。更には秋田県にかほ市との交流事業であるリーダー研修会の再開に向け、オンライン開催の可能性も含めて協議を行う。

社会教育委員の会議については、地域学校協働活動推進事業の評価・検証とともに、本町の社会教育の振興に資するよう調整していく。

一　般　会　計

10　款	4　項	2　目	公民館費
担当部署名	中央公民館		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,288	20,873				134	20,739

目的

町民のニーズに合わせた生涯学習の環境をつくるとともに、その事業の推進に努める。また、分館活動を通じて、町民の健康の増進・生活文化の振興に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
成人教育事業	A	3.0	3.3	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して教室を開いた。また、コロナ禍において講師の指導の下、受講者同士が教え合ったり学び合ったりしてお互いの教養を高めた。
文化観光交流祭事業	A	3.0	2.6	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。
成人式典関係経費	B	－	3.3	アトラクションの中止、来賓の縮小など感染症対策を十分に行った上で開催することができた。
分館活動経費	A	3.6	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止したものもあるが、分館毎の状況に合わせて感染症対策に留意し事業を実施したことで、実施事業数が増加した。
公民館一般活動経費	A	3.0	3.0	印刷機の貸出などを実施することで、利用者が利用しやすく、円滑な公民館活動に寄与することができた。

実績

【成人教育事業】　64,189 円

・中央公民館教室・講座

名　称	内　容	開催期間	受講者（延べ人数）	回数（回）
フラワーアレンジメント教室	花の挿し方や枝の切り方など基本的なことを習い、自分だけのフラワーアレンジメントを作成した。	7月18日	14	1
健康体操教室	負担の少ないからだの使い方について、簡単な体操をしながら学んだ。	9月10日	7	1

【文化観光交流祭事業】　0 円

新型コロナウイルス感染症の影響により、共催である松島町文化芸術協会と協議の上、中止とした。

【成人式典関係経費】　387,826 円

名　称	内　容	開催日	参加人数
第73回成人式	新成人を祝い、励ますと共に社会人としての自覚を高めることを目的に成人式を開催した。 また、式典は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、アトラクション中止や来賓者の人数を絞ることなど、規模を縮小して開催した。	令和4年1月9日	新成人出席者92人

（次頁へ続く）

10　款	4　項	2　目

実績

【分館活動経費】　2,471,447 円

コロナ禍の中ではあったが分館毎に感染症の拡大状況に合わせて、グラウンド・ゴルフ大会や運動会等のスポーツイベント、収穫祭やミニ文化祭などの地域イベントを開催した。

・分館数　12 分館
・松島町公民館分館事業補助金　995 千円
　○ 主な分館活動
　　グラウンド・ゴルフ大会、運動会、収穫祭、ミニ文化祭　等
・分館長会議開催回数　7 回
・第60回町民ふれあいスポーツ大会
　新型コロナウイルス感染症の影響により、主管である松島町分館長会と協議の上、中止とした。
・研修会
　○ 第66回東北地区公民館大会山形大会（WEB視聴）
　　実施日　10月14日
　○分館長移動研修
　　実施日　10月16日
　　研修先　東日本大震災から10年の節目を迎え、震災の記憶を風化させないために、県内の被災状況や復興状況を確認し、地域の防災意識を高め、地域における震災経験を語り継ぐ役割を担うための研修を実施した。
　　石巻市　南浜・門脇地区

【公民館一般活動経費】　2,937,241 円

課題方向性

新型コロナウイルス感染症対策を引き続き講じていき、アンケート等から受講者のニーズに合った教室・講座を展開していく。

分館活動は、コロナ禍においても地域の実情に応じた活動を実施しており、前年度と比較すると実施事業数は増えている。2年間中止した町民ふれあいスポーツ大会をはじめ、各分館事業をコロナ禍でも実施可能なものとするよう分館長会議等で協議していく。

文化観光交流まつりも開催に向け、松島町芸術文化協会と連携を図り、通常の開催方法だけでなく様々な開催方法について模索していく。

一　般　会　計

10　款	4　項	3　目	文化財保護費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,088	19,356		308		2,501	16,547

目的

文化財の保全・活用を通じて、町の歴史文化に対する町民の理解を深め、ふるさとを誇りに思う人材を育み、松島の魅力を広く発信する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
文化財啓蒙普及に要する経費 町所蔵資料の公開・活用に関する業務	A	3.7	3.0	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により「松島れきし再発見講座」の開催を延期とした。 利府町・七ヶ浜町と連携した「松島湾三町文化財展」を含め、充実した展示公開を行うことができた。
文化財調査保存に要する経費 文化財史料整理に関する業務	A	4.0	2.7	基礎資料調査を行うための時間確保ができず作業進捗が低下し、調査整理が思うように進んでいない。
文化財調査保存に要する経費 指定文化財修理管理費補助に関する事務	A	4.0	3.0	瑞巌寺の防災設備整備事業に加え、福島県沖地震で被害を受けた瑞巌寺本堂ほかの災害復旧事業が実施され、事務指導・助言を行った。
日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」普及啓発事業	A	3.0	2.7	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により事業は縮小となったが、認定ガイド養成講座及び小中学生向けのイベントは継続して実施している。
品井沼干拓資料館の管理に要する経費	B	－	3.0	施設の適正な維持管理に努めるとともに、町内小学校を含む小学生及び一般向けの資料館利用に対応し、展示の解説を行った。また、小学生の利用者に分かりやすい展示を心がけた。
文化財保護委員会運営経費	B	－	4.0	2回の会議を行い、町文化財指定に関する諮問に対する審議を行った。
文化財啓蒙普及に要する経費 文化財防火デーに関する事務	B	－	3.0	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、文化財防火デーの訓練は最小限規模による実施となった。
文化財調査保存に要する経費 特別名勝松島現状変更及び埋蔵文化財包蔵地に係る申請等に関する事務	B	－	3.0	特別名勝松島現状変更の申請事務並びに埋蔵文化財包蔵地における開発行為に係る届出事務及び立会等を行い適正な諸手続きが行われるよう努めた。 なお、宮城県文化財保護地区指導員とともに文化財パトロールを実施した。
文化財調査保存に要する経費 西の浜貝塚公園管理に関する事務	B	－	3.0	国史跡西の浜貝塚の調査及び公園施設等の適正な維持管理を行った。
歴史文化基本構想活用事業	C	－	－	各種講座やガイド依頼が減少しているため、PRする機会が確保できない状況である。

（次頁へ続く）

実績

【文化財普及に要する経費】 196,505 円

1 文化財防火デーの訓練
実施日 令和4年1月25日
場 所 瑞巌寺一帯
その他 新型コロナウイルス感染症対策による最小限規模開催

2 町所蔵資料の公開・活用に関する業務
ア)文化財の展示
① 町民スペース
6月11日 ～ 8月13日 帝鑑図屏風
2月 2日 ～ 3月 2日 老松白雪図
3月2日～ 花鳥図

② 松島博物館
～ 5月31日 日本遺産パネル展・「松島れきし再発見講座」代替展示
6月 1日 ～ 7月20日 松島湾の城館
7月21日 ～ 9月24日 夫婦町パネル展
9月24日 ～ 11月26日 松島湾三町文化財展
11月27日 ～ 1月12日 松島芭蕉祭並びに全国俳句大会
1月13日 ～ 日本遺産パネル展

③ 松島湾三町文化財展（利府町、七ヶ浜町と共同）
6月30日 ～ 9月 7日 金梨地桜蒔絵鞍・蜻蛉文象嵌鐙 七ヶ浜町歴史資料館
12月13日 ～ 2月13日 燗銅壺 リフノス

④ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念展示
7月30日 ～ 10月 1日 松島町文化観光交流館 観光インフォメーションルーム

イ)出前講座の実施
・ 学校向け出前授業・見学学習（松島まるごと学等） 14 件 延べ 396 人
・ 一般向け（町内所在の文化財に関する講演、町歩き等） 2 件 27 人

【文化財調査保存に要する経費】 3,728,416 円

1 文化財資料整理に関する業務
・ 町内石碑調査
・ 瑞巌寺境内遺跡出土五輪塔・供養塔整理
・ 西の浜貝塚出土資料整理

2 指定文化財の保存修理等事業補助
・ 瑞巌寺・圓通院・陽徳院維持管理事業補助（自動火災報知設備維持等） 112,000 円
・ 瑞巌寺本堂ほか6棟災害復旧事業補助 386,000 円

3 特別名勝松島の現状変更の指導及び許可申請受付・進達 142 件

4 埋蔵文化財包蔵地の現況調査（文化財保護地区指導員と共同調査） 5 箇所

5 埋蔵文化財の管理及び諸開発事業の事前協議書申請受付・進達 29 件

6 国指定史跡西の浜貝塚公園管理（公園管理・樹木剪定業務委託料、光熱水費、修繕費）
2,370,597 円

【日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」普及啓発事業】 18,000 円

日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の活用
・ 認定ガイド養成講座 1 回 参加者数 23 人
・ セタシマクエスト(小中学生向けイベント) 4 回 参加者数 延べ19 人

（次頁へ続く）

10　款	4　項	3　目

実績

【品井沼干拓資料館の管理に要する経費】　1,171,254 円

1　品井沼干拓遺構及び資料館の維持管理
・穴頭、ずり穴、穴尻草刈業務委託
・資料館の浄化槽保守点検及び清掃、消防施設保守点検、光熱水費　等

2　品井沼干拓資料館の利用（町内小学校も含む）　30 件　371 人

【文化財保護委員会運営経費】　59,354 円

文化財保護委員会の開催

実施日	主な協議事項	出席委員数	場　所
令和3年6月21日	圓通院霊屋三慧殿扁額の町文化財指定について	6人	松島防災センター
令和4年11月25日	大仰寺洞水禅師倚像の町文化財指定について	6人	松島防災センター

町指定文化財の追加指定
指定内容　三慧殿扁額　（美術工芸品）
所 有 者　宗教法人　圓通院
規 格 等　寸法：縦67cm×横140cm　材質：スギ材
指定理由　国重要文化財「圓通院霊屋」の建築当時に設置された扁額であるため
指 定 日　令和 3年 9月 1日

【瑞巌寺ライフライン整備等工事に伴う文化財調査経費】　2,507,085 円
4月1日から3月31日まで、瑞巌寺防災設備工事およびライフライン整備工事の進捗に合わせ発掘調査を行った。陽徳院参道下では凝灰岩の石組遺構を検出した。出土遺物は近世から近代の陶磁器・瓦などがあり、整理作業を進めている。

課題方向性

文化財の展示公開については県から資料を借用するなど新たな手法で企画することができた。展示場所や資料の収蔵スペースのモニタリング結果（温湿度等）は、継続することでデータを蓄積していきたい。
文化財資料については、出土資料が毎年増加していくこともあり、引き続き調査・整理作業を行っていく必要がある。
度重なる地震被害で復旧が必要な文化財もあり、各種国庫補助事業に関する書類の作成等について所有者に対し指導助言を積極的に実施するよう努める。
日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」については、PR活動が思うようにできなかったが、十分に感染対策を施した上で最低限の事業を実施することができた。
品井沼干拓資料館については、主な利用者である小学校4年生に標準を合わせた展示になるよう引き続き展示内容の見直しを行う。
特別名勝松島及び埋蔵文化財包蔵地の開発に係る事務については、申請件数が震災以降と同様に増加したままであることから、申請・届出者の不利益を生じないよう、効率的な運用を図っていく。併せて特別名勝松島保存管理計画改訂についても、地域住民の声を反映できるよう県と協議して進めていく。
西の浜貝塚公園の維持管理業務については、今後とも周辺住民のニーズに合わせるとともに優先度を見極めた管理を行っていく。

一　般　会　計

10　款	4　項	4　目	町民の森費
担当部署名	中央公民館		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,383	13,183				128	13,055

目的

民間の活力を活かして、町民の森施設の施設管理及び生涯学習の場として有効利用促進に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
町民の森維持管理経費	A	3.6	3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンプサイト数を半減した貸出や地域による利用制限を設けたことにより利用者数は減少した。
町民の森運営経費	A	3.6	3.0	長松園まつり事業については、実行委員会の協力により規模を縮小して実施し、コロナ禍でも事業を継続することができた。

実績

【町民の森維持管理経費】　12,600,000 円

1　指定管理業務委託
- 指定管理料　12,600,000円（令和3年4月から令和4年3月まで）
- 指定管理期間　令和2年4月から令和7年3月まで（5年間）
- 指定管理者　特定非営利活動法人　ウイザス

2　利用状況

（単位：人）

	利用者数	内訳					
		センターロッジ	テント	多目的ホール	研修室	円形広場	炊事棟
4月	400	0	6	0	0	394	0
5月	1,224	0	224	0	0	1,000	0
6月	891	0	202	0	0	689	0
7月	1,172	45	260	45	32	774	16
8月	794	0	191	0	0	603	0
9月	954	0	147	0	14	793	0
10月	1,432	76	291	59	76	922	8
11月	1,466	0	333	72	43	1,018	0
12月	349	0	41	0	0	308	0
1月	298	0	0	0	0	298	0
2月	310	0	0	0	0	310	0
3月	621	0	119	0	0	502	0
合計	9,911	121	1,814	176	165	7,611	24

利用者内訳　町内　3,022 人　町外　6,889 人

3　指定管理者自主事業

事　業　名	実　施　日	参加人数
アロマ教室	7月18日	3人
アートデザイン教室	7月25日	4人
	10月20日	6人
ウォーク＆ゲームラリー	11月12日	56人
ワークショップ	11月17日	2人
	11月21日	8人
松島の四季写真コンテスト	12月1日～2月末日	41人

（次頁へ続く）

10　款	4　項	4　目

実績	【町民の森運営経費】　582,278 円 ・補助金 　長松園まつり事業補助金　100,000 円
課題 方向性	引き続き、新型コロナウイルスへの対応、キャンプブームにおける利用者増への施策、施設の老朽化による修繕など指定管理者と情報交換を密に行いながら、利用者が充実した自然体験ができる施設として運営をしていく。 コロナ禍により屋外での活動の需要が増えていることから、キャンプサイトや円形広場を利用者のニーズにあった施設となるよう検討していく必要がある。

一　般　会　計

10　款	4　項	5　目	地域交流センター費
担当部署名	中央公民館		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,115	4,485				28	4,457

目的

地域活動の拠点施設として、生涯学習の振興と町民や親子のふれあいの場として親子工作教室などを開催する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
手樽地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	コロナ禍でも町外の利用者や町内の業者が利用した。
松島東部地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	物づくりの楽しさを学ぶ場として使用したり、町民同士のふれあいの場になった。

実績

1　松島町地域交流センター施設利用一覧表　（単位：人）

区分	利用者数	内訳（手樽地域交流センター）		内訳（松島東部地域交流センター）		
		センター施設	グラウンド	センター施設	グラウンド	体育館
4月	601	74	260	0	0	267
5月	420	93	220	30	0	77
6月	407	112	260	0	0	35
7月	380	96	260	0	0	24
8月	244	48	180	0	0	16
9月	352	105	220	0	0	27
10月	1,190	670	260	32	60	168
11月	720	417	240	11	0	52
12月	654	654	0	0	0	0
1月	135	135	0	0	0	0
2月	398	158	240	0	0	0
3月	495	208	260	0	27	0
合計	5,996	2,770	2,400	73	87	666

2　主催事業

・手樽地域交流センター

名　称	内　容	開催期間	参加者
親子工作教室	紙粘土でおじぞうさんの制作体験を行った。	8月1日	親子8組（22人）

・松島東部地域交流センター

名　称	内　容	開催期間	参加者
陶芸を学ぼう	ろくろを使って、自分だけのカップや茶碗作りを体験した。	11月7日	11人

課題方向性

施設の利活用について、設備の修繕を含め、計画的にプランニングする必要がある。地域の意見を聞きながら、有効活用を模索する。

一　般　会　計

10　款	5　項	1　目	保健体育総務費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,174	23,646		465		6,212	16,969

目的

町民が心身ともに健康で活力に溢れた生活が営めるよう、スポーツ活動へのきっかけを提供する。
また、体育施設を町民の健康と体力づくり、コミュニケーションづくりの場として提供し、地域における生涯スポーツの普及と振興を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
スポーツ推進委員経費	A	3.3	3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ大会への運営協力や様々な研修会等が中止となり、活動機会が大きく減少した。
スポーツ団体等育成経費	A	3.7	3.3	体育協会へ補助金を交付し、各種スポーツイベント等を通じたスポーツの振興並びに全国・東北大会に出場する対する団体等への助成を行った。
東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連経費	A	3.7	3.3	東京2020オリンピックの聖火リレー実施にあたり宮城県実行委員会への協力を行うとともに、ミニセレブレーションを実施した。また、運営にあたっては町内スポーツ団体等の協力もあり成功裏に終えることができた。
町民グラウンド管理経費	B	－	3.3	照明LED化工事を実施し、夜間時の活動環境改善が図られた。なお利用人数については、新型コロナウイルス感染症の影響並びに、照明のLED化工事による利用制限のため、前年同等となった。
管内社会体育担当者研究協議会経費	B	－	3.0	仙台教育事務所管内社会体育担当者と各自治体の事例発表の研修や意見交換を行ったことで、地域における課題を再確認することができた。
社会体育一般経費	B	－	3.0	クイーンズ駅伝の運営協力を行うことで、町民がプロスポーツに身近に触れる機会を得られた。また、各種スポーツ団体が運営に参画することで、ボランティアの育成が図られた。

実績

【スポーツ推進委員経費】　125,681 円

1　会議　・第1回　令和3年6月1日（参加委員6名）　・第2回　コロナ禍のため中止
2　その他
・心の震災復興・障がい者就労支援グラウンド・ゴルフ大会の運営協力
・仙台管内スポーツ推進委員協議会理事会等の参加

【スポーツ団体等育成経費】　2,460,000 円
松島町体育協会への補助金交付

【東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連経費】　930,422 円

1　東京オリンピック聖火リレー
・開催日時：令和3年6月20日
・区　　間：松島町文化観光交流館～松島公園中央広場
(2.12kmを10人のランナーによるリレー)
・備　　考：○松島公園中央広場でミニセレブレーション実施
（五大堂太鼓・宮城県松島高等学校ダンス部のパフォーマンス）
○町内の小中学校の児童生徒による観覧

（次頁へ続く）

10　款	5　項	1　目

実績

【町民グラウンド管理経費】　14,129,571 円

1　町民グラウンド指定管理料　1,153,971 円
・指定管理期間　平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日（5年間）

2　町民グラウンド月別利用状況

区分	件数（件）	人数（人）
4月	25	639
5月	31	836
6月	33	831
7月	16	458
8月	15	461
9月	26	690
10月	20	600
11月	18	471
12月	2	52
1月	0	0
2月	1	4
3月	15	300
計	202	5,342

3　工事請負費

・町民グラウンドLED照明新設工事　12,425,600 円
・町民グラウンドLED照明灯具撤去工事　550,000 円

【社会体育一般経費】　175,099 円

1　松島町立学校体育施設利用状況（一般開放分）

学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合　計
体育館	利用人数(人)	1,374	342	320	2,536	4,572
	利用件数(件)	123	14	5	146	288
校庭	利用人数(人)	2,220	0	0	0	2,220
	利用件数(件)	77	0	0	0	77
合計	利用人数(人)	3,594	342	320	2,536	6,792
	利用件数(件)	200	14	5	146	365

2　クイーンズ駅伝in宮城　第41回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の運営協力
・開催日時：令和3年11月28日（スタート地点：松島町文化観光交流館前）
・協力内容：各スポーツ団体へのコース整理員(60名)の協力依頼、大会副賞の提供

課題
方向性

新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ推進委員の活動の場が大幅に減少していることから、コロナ禍の状況を考慮した活動内容等の検討が必要である。スポーツ団体の育成については継続した支援を行い各種スポーツ団体の活性化に努め、スポーツ推進を図っていく。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会関係については、東京オリンピック2020聖火リレーを成功裏に終えることができた。今後も世紀のイベントを契機として、生涯スポーツの推進へとつなげていく。

町民グラウンドについては、照明LED化工事により夜間の快適な環境を提供することが可能となった。今後、指定管理者と連携しながら町民の利用しやすい施設として運営し、適正な維持管理に努めていく。

一　般　会　計

10　款	5　項	2　目	海洋センター費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,180	10,164				24	10,140

目的

海洋性スポーツ事業を通して相互交流を図るとともに、安全に配慮しながら、誰でも安心して利用できる施設運営を目指す。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
施設管理運営経費	A	3.3	3.3	B&G海洋センターの指定管理者である総合型地域スポーツクラブの自主事業により、巡回教室など子供たちが楽しく気軽に運動遊びに親しむ機会の創出に寄与した。 なお、利用人数に関しては、前年比で1,885人増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ事業が中止となり減少している。

実績

【施設管理運営経費】　10,163,078 円

1　海洋センター指定管理料　9,672,881 円
○指定管理期間　平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日（5年間）

2　海洋センター事業
・マリンスポーツフェスティバル、ウインタースポーツフェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3　海洋センター利用人数　（単位：人）

区分	体育館	会議室	屋外多目的運動場	計
4月	896	82	285	1,263
5月	878	71	313	1,262
6月	1,030	99	166	1,295
7月	947	122	212	1,281
8月	974	165	238	1,377
9月	1,028	140	130	1,298
10月	843	327	337	1,507
11月	820	141	180	1,141
12月	731	92	110	933
1月	664	49	80	793
2月	526	82	107	715
3月	693	217	173	1,083
計	10,030	1,587	2,331	13,948

課題方向性

利用者が利用しやすい施設となるよう指定管理者と協力しながら、利用方法の改善や施設の修繕を行っていく。
また、子供等の運動機会を確保するため、指定管理者と連携を図りながらコロナ禍の状況を考慮した巡回教室やスポーツ体験などの事業を継続的に実施していく。

10　款	5　項	3　目	給食施設費
担当部署名	学校給食センター		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	114,619	111,124				47,879	63,245

目的

栄養バランスの取れた食事の提供と、園児や児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、成長期にある子どもの健康保持や増進、望ましい食習慣の確立に努める。食事の時間を通して、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて、勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことに努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
学校給食センター施設設備更新事業	A	3.3	3.0	施設・設備の管理費が増加傾向にあるが、主要な調理機の更新を計画的に行い、併せて修繕等を実施し施設の安全、衛生面での環境整備が図られた。
学校給食センター管理運営に要する経費	B	－	3.3	献立や調理方法を工夫しながら栄養バランスの取れた給食の提供ができた。また、教育委員会のホームページを活用し、学校給食について広く情報を発信することができた。
学校給食センター運営審議会に要する経費	B	－	3.3	学校給食の運営に関する重要事項の調査審議を行う組織であり、給食の運営方針等について審議を実施することができた。

実績

【学校給食センター施設設備更新事業】

1　使用料及び賃借料　7,706,864 円

・厨房機器等リース（浸漬槽付超高圧洗浄機、食缶洗浄機、スチームコンベクション、オーブン連続揚物機、フードスライサー）

・真空冷却機等リース（真空冷却機、包丁まな板殺菌庫）

・蒸気回転釜リース

・消毒保管機リース

2　備品購入費　1,961,652 円

・食品温度計、デジタル秤、トレイ、お椀、お椀用カゴ、皿用カゴ、保冷バット、食缶、移動ラック、トング、スノコ

【学校給食センター管理運営に要する経費】

1　委託料　23,958,000 円

・学校給食調理等業務委託
調理、食材の検収・保管、盛り付け・配食、食器具等の洗浄・消毒・保管、施設設備の清掃・点検、残滓・厨芥の処理、集配送（車両2台配備）、ボイラー運転及び付帯業務

（次頁へ続く）

実績

2　年間給食回数と給食費

区　分	給食人員(人)	年間給食回数(回)最多食数	1食当たりの給食費(円)
幼稚園	83	160(年少)	260
		165(年中・年長)	
小学校	508	180	280
中学校	268	175(1・2年)	330

※新型コロナウイルス感染症や福島県沖地震の影響による臨時休業により、第五小学校や中学校で2回から4回減となった。

3　食育の推進

・栄養士による食育指導等
○栄養士が各幼稚園、小・中学校等を訪問し、給食時の状況を確認し、給食提供に活用した。
○毎月の予定献立表・給食だよりや教育委員会のホームページを通じて、児童生徒及び保護者に対して、学校給食の目的や食育に関する情報を発信した。
（平成29年度から教育委員会のホームページに掲載）

・宮城県の名物メニュー（郷土料理）給食
○１月末の全国学校給食週間に宮城県の名物を使ったメニューを給食で提供した。
（牛タン入りつくね、油麩の煮びたし、ささかまのマヨネーズ焼き、仙台あおばぎょうざ、気仙沼産ふかひれスープなど）

4　地場産品の利用促進

・松島産の野菜などの使用
給食メニューとして使用が可能な地元産の食材については、JA仙台（東部営農センター）等関係団体の協力により、積極的に取り入れた。

・学校給食用野菜等の使用状況
（野菜・主要品目）

品　目	令和2年度			令和3年度		
	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)
じゃがいも	2,597	185	7.1	1,767	365	20.7
白菜	1,137	801	70.4	758	615	81.1
大根	1,425	523	36.7	1,839	794	43.2
人参	1,873	0	0.0	2,101	0	0.0
ねぎ	1,250	830	66.4	1,298	755	58.2
キャベツ	2,138	270	12.6	2,797	449	16.1
玉ねぎ	3,288	242	7.4	3,422	943	27.6
きゅうり	869	33	3.8	1,027	90	8.8
合計	14,577	2,884	19.8	15,009	4,011	26.7

（米、その他の町内産使用数量・Kg）

品　目	令和2年度	令和3年度
環境保全米	8,111	8,002
トマト	266	355
赤かぼちゃ	289	47
ブルーベリー	10	0
たけのこ	20	32

（次頁へ続く）

10　款	5　項	3　目

実績

5　食物アレルギー対応

・食物アレルギーの児童生徒への対応として、保護者からの個人調査票の提出により、給食対応（給食の全部停止又は一部停止、詳細献立の提供）を実施した。

対　　応	人数
全部停止	1人
一部停止(牛乳停止)	13人
一部停止(パン)	1人
詳細献立の提供	15人

6　学校給食費の収入状況

・現年度分　　単位：円、％

区　　分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
調　定　額（A）	45,298,515	49,285,146	48,696,923
収入済額（B）	43,695,070	47,533,051	47,597,948
不納欠損額（C）	0	0	0
収入未済額（A-B-C）	1,603,445	1,752,095	1,098,975
徴収率（B/A*100）	96.5	96.4	97.7

・滞納繰越分　　単位：円、％

区　　分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
調　定　額（A）	9,737,578	9,148,179	8,836,821
収入済額（B）	1,222,515	1,679,435	281,930
不納欠損額（C）	1,034,109	384,018	0
収入未済額（A-B-C）	7,480,954	7,084,726	8,554,891
徴収率（B/A*100）	12.6	18.4	3.2

【学校給食センター運営審議会に要する経費】

・学校給食センター運営審議会（年1回）　　7月1日開催
　（ 運営委員数 10名 ）

・学校給食担当者会議（年2回）　　第1回会議　4月26日開催
　　第2回会議　1月26日書面開催

課題
方向性

給食センターの設備（機器類・食器類）に関しては、主要な設備の更新は本年度で完了したが、今後も経年劣化に対応した修繕等、適切な維持管理に努める。また、学校給食衛生管理基準に則り、腸内細菌検査等を適切に行い、衛生面及び従事者の安全対策を徹底して行う。

食育に関しては、給食時間等に対面式で講義を行うことが難しい状況であるため、毎月の献立表やホームページを活用し、情報提供に努める。

学校給食費の未納対策については、訪問等は難しい状況であるため、引き続き督促状等を送付し、保護者からの納付相談等に随時対応し、年度内完納の計画を立て収納率の向上に努める。

一　般　会　計

10　款	6　項	1　目	幼稚園費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	68,542	64,316	895	387		35	62,999

目的

幼稚園教育方針の趣旨に基づく、「元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり」に向けた教育体制及び施設の充実を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
第1幼稚園管理費	B	－	3.0	松島第一幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行い、円滑な園運営が図られた。
第2幼稚園管理費	B	－	3.0	松島第二幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行い、円滑な園運営が図られた。
第5幼稚園管理費	B	－	3.0	松島第五幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行い、円滑な園運営が図られた。
保健診療費	B	－	3.7	生活習慣病予防の早期指導や食育・生活習慣・運動習慣の指導等を実施した。健診結果は各学校保健委員会等で報告し、様々な健康問題について研究協議した。
幼保無償化関係事業	B	－	3.0	市町村の確認を受けた幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費に関して給付費を支払うことで、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図った。

実績

1　園児数及び教諭数　（令和3年5月1日現在）　（単位：人）

幼稚園名	定員	園児数	教職員数
松島第一幼稚園	70	43	7
松島第二幼稚園	40	22	7
松島第五幼稚園	40	17	5
計	150	82	19

※教職員数は、園長・兼務職員・臨時職員を含む

2　一時預かり保育事業　（単位：人）

幼稚園名	利用実人数	延べ利用人数	利用事由
松島第一幼稚園	17	24	学校行事（授業参観、懇談会、役員会）、健診、通院等
松島第二幼稚園	8	48	
松島第五幼稚園	10	27	
計	35	99	

3　幼保小等の交流の取組

事業名	内容
親と子の合同学習会	新型コロナウイルス感染症対策として、町内幼稚園毎に園児のみ参加するコンサートを開催
小学校との交流	年長児による小学校見学・小学1年生と相互交流を実施
保育所との交流	日常の保育・行事などにおける園児の交流を第二幼稚園と高城分園で実施
小学校との合同行事	小学校と合同で避難訓練等に参加

（次頁へ続く）

実績

4　幼稚園教育推進の取組

事業名	内容
体力づくり事業	マリソルボール遊びの会・リズムダンスの会の活用や外遊びの推奨
国際理解教育の推進	ALTを活用した初歩的な英語コミュニケーションの推進
保護者アンケート	子どもの生活状況、幼稚園の行事や保育に関するアンケート調査を通して、保護者のニーズや教育環境についてのニーズを把握するため実施
巡回支援専門員整備事業（のびっ子クラブ）	発達障害支援を提供できる専門知識とスキルを習得（全6回）

5　需用費（修繕料）

・松島第一幼稚園　遊具（ブランコ）塗装ほか　（ 3 件）　195,690 円
・松島第二幼稚園　軒天修繕ほか　（ 1 件）　143,000 円
・松島第五幼稚園　玄関木製建具塗装ほか　（ 2 件）　70,400 円

6　備品購入費

（庁用備品）

・松島第一幼稚園
　給食台ワゴン、メッシュ日よけ ほか　（ 8 品目 、 10 個）　296,230 円

・松島第二幼稚園
　ワイヤレスアンプ、幼児用傘かけ ほか　（ 12 品目 、 99 個）　613,800 円

・松島第五幼稚園
　簡易プール、掃除機 ほか　（ 5 品目 、 5 個）　95,920 円

7　園児検診

（単位：人）

項目＼学年			幼稚園 年少	年中	年長	計
在籍者数			26	30	25	81
内科	肥満傾向		2	3	2	7
	脊柱・胸郭		0	0	0	0
	心雑音		0	0	0	0
	皮膚	アトピー	0	0	0	0
		その他湿疹	0	0	0	0
	尿	1次所見有り	0	0	0	0
		2次所見有り 蛋白	0	0	0	0
		2次所見有り 糖	0	0	0	0
		2次所見有り 潜血	0	0	0	0
眼科	視力矯正0.7未満		－	－	－	0
	アレルギー結膜炎		0	1	1	2
	その他（斜視他）		0	1	0	1
歯科	健全歯者		25	20	18	63
	う歯所有者		0	4	3	7
	処置完了者		0	4	2	6

（次頁へ続く）

10　款	6　項	1　目

実績	8　施設等利用給付費 ・子育てのための施設等利用給付 利用料（2人）　616,800 円 預かり保育料(3人)　283,200 円 9　新型コロナウイルス感染症対策費【教育支援体制整備事業費交付金】 ・感染症対策等の学校教育活動継続支援事業　120,000 円 （マスク、泡ハンドソープ、消毒液ほか保健衛生消耗品）
課題 方向性	巡回支援専門員整備事業などを活用し、増加傾向にある特別な支援を必要とする園児について、保育園・小学校や関係機関と連携しながら相談や支援体制の充実を図っていく。 新型コロナウイルス感染症等の対策を講じながら、食育、体づくり、自然のふれあい等、幼児教育の充実を図っていく。

一　般　会　計

11　款	1　項	2　目	農業用施設災害復旧費
担当部署名	建設課建設班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,014	27,998	25,707		500		1,791

目的

令和元年東日本台風（台風第19号）、令和4年3月に発生した福島県沖地震で被災した農業用施設の復旧を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
農業用施設災害復旧費（雨災）	B	－	3.0	令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した農業用施設について、復旧が図られた。
農業用施設災害復旧費（地震災）	B	－	3.0	令和4年3月に発生した福島県沖地震により被災した農業用施設について、復旧が図られた。

実績

【農業用施設災害復旧費（補助・雨災）】

令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した農業用施設（ため池1箇所）の復旧に向けて、実施設計及び災害復旧工事を実施した。

1　委託料　594,000 円

・元災第17-113号小森地区災害復旧実施設計業務委託　594,000 円

2　工事請負費　26,367,000 円

・元災第17-113号小森地区農業用施設災害復旧工事　26,367,000 円
　災害復旧工　N= 1箇所（ため池1箇所）

【農業用施設災害復旧費（単独・地震災）】

令和4年3月に発生した福島県沖地震で被災した農業用施設について、災害復旧工事を実施した。

1　工事請負費　643,830 円

・農業用施設災害復旧工事　643,830 円
　災害復旧工　N=3箇所（農道2箇所、水路1箇所）

課題方向性

災害復旧事業採択を受けた農業用施設（ため池1箇所）を復旧したことにより、令和元年東日本台風で被災したすべての農業用施設が復旧した。

令和4年3月に発生した福島県沖地震により被災した農業用施設については、3箇所を復旧した。残りの被災箇所については令和4年度中の復旧を目指す。

一　般　会　計

11　款	2　項	1　目	公共土木施設災害復旧費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	716,323	7,708					7,708

目的

東日本大震災、令和4年3月に発生した福島県沖地震で被災した公共土木施設の復旧を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
公共土木施設災害復旧費（松島大橋）	B	－	3.7	東日本大震災により被災した公共土木施設について、復旧が図られた。
公共土木施設災害復旧事業（地震災）	B	－	3.0	令和4年3月に発生した福島県沖地震により被災した公共土木施設について、復旧が図られた。

実績

【公共土木施設災害復旧費（補助・地震災）】

東日本大震災で被災した町道松島・磯崎線及び松島大橋について、災害復旧工事に対する監理業務を実施した。

1　委託料　4,871,900 円

・町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事施工監理業務委託（出来高払金）　4,871,900 円

【公共土木施設災害復旧事業（単独・地震災）】

令和4年3月に発生した福島県沖地震で被災した公共土木施設について、災害復旧工事を実施した。

1　工事請負費　2,836,070 円

・福島県沖を震源とする公共土木施設災害復旧工事　2,836,070 円
　災害復旧工　N=7箇所（道路4箇所、漁港3箇所）

課題方向性

災害復旧事業採択を受けた公共土木施設（道路1箇所、橋梁1箇所）の復旧について、令和2年度に新橋が完成した。令和3年度から旧橋の撤去工事を実施しており、令和4年度末の完了を目指す。

令和4年3月に発生した福島県沖地震により被災した公共土木施設については、7箇所を復旧した。残りの被災箇所については、令和4年度中の復旧を目指す。

一　般　会　計

11　款	3　項	1　目	公立学校施設災害復旧費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,500	2,211					2,211

目的

令和3年3月20日の宮城県沖地震及び令和4年3月16日の福島県沖地震により被災した公立学校施設の復旧を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
公立学校施設災害復旧費	B		3.0	地震により被災した公立学校施設の復旧が図られた。

実績

【公立学校施設災害復旧費】

1　工事請負費

・松島第一小学校災害復旧工事　1,595,000 円
　松島第一小学校　エキスパンションジョイント復旧工

・松島第一小学校他災害復旧工事　616,000 円
　松島第一小学校及び松島中学校　エキスパンションジョイント復旧工

課題方向性

施設の老朽化が進んでいる状態であるため、今後の災害に対応できるよう設備の補強や改修等を図っていく。

一　般　会　計

11　款	4　項	1　目	その他公共施設・公用施設災害復旧費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	656	656					656

目的	令和4年3月16日の地震により被災した老人ふれあいの家（ひだまりの家）浄化槽の復旧工事を行う。

評価成果	事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
	ひだまりの家地震等による浄化槽修繕工事	B	－	3.3	地域の集会施設として住民の方々が安心して利用できるようになった。

実績

【その他公共施設・公用施設災害復旧費】

1　工事請負費　655,600 円

・ひだまりの家地震等による浄化槽修繕工事
　災害復旧工事　（浄化槽配管のずれ）

課題方向性

施設の老朽化が進んでいる状態であるため、災害時は施設状況を速やかに確認し、適切に管理運営していく。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	国民健康保険特別会計
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,865,499	1,756,899	5,899	1,385,653		192,178	173,169

目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与する。 また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
【国保】総務費	B	－	3.0	国民健康保険被保険者の資格及び給付管理を適切に行い、被保険者の適正な医療の確保に努めた。また、国民健康保険税の賦課徴収が適正に行われ、新型コロナウイルス感染症の影響があった世帯に対しては、国民健康保険税の減免を行い、世帯の負担軽減を図ることができた。
【国保】保険給付費	B	－	3.0	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡の際の保険給付について速やかに行うことができた。 また、新型コロナウイルスによる社会情勢を鑑み、令和2年度から傷病手当金の制度を設け、独自に支給対象の範囲を広げることで被保険者の負担軽減を図った。
【国保】保健事業費	B	－	3.0	特定健診については、新型コロナウイルス感染症対策のもとに実施し、町民の健康維持管理に努めた。また、長期的な医療費適正化に向けた糖尿病性腎症重症化予防事業により、参加者が生活習慣の改善に取組むことができた。また、第二期データヘルス計画の中間評価の結果を踏まえ、課題の明確化及び各事業内容の見直しを行った。
【国保】国民健康保険事業費納付金	B	－	3.0	財政の運営主体である宮城県に、国民健康保険事業費納付金を納めることにより、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。
【国保】基金積立金	B	－	3.0	国民健康保険の財政を調整し、健全な財政運営を確保することができた。
【国保】諸支出金	B	－	3.0	保険税や保険給付費の還付金等、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。

実績

1　運用状況

区分＼年度	単位	令和3年度	令和2年度	比較
年間平均世帯数	世帯	2,010	2,013	△ 3
年間平均被保険者数	人	3,071	3,114	△ 43
年間平均介護保険第2号被保険者数	人	934	965	△ 31

2　保険給付状況

区分＼年度	令和3年度		令和2年度		比較	
	件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）
療養給付費	58,053	1,113,784	56,293	1,053,723	1,760	60,061
療養費	821	5,778	725	4,719	96	1,059
高額療養費	2,812	185,336	2,621	158,199	191	27,137
出産育児一時金	6	2,504	5	2,100	1	404
葬祭費	23	1,150	28	1,400	△ 5	△ 250
傷病手当金	0	0	0	0	0	0
計	61,715	1,308,552	59,672	1,220,141	2,043	88,411

区分＼年度		令和3年度（円）	令和2年度（円）	比較（円）
療養給付費平均1人当たりの額	一般被保険者	362,678	338,382	24,296
	退職被保険者等	0	0	0
療養費平均1人当たりの額	一般被保険者	1,881	1,515	366
	退職被保険者等	0	0	0
高額療養費平均1人当たりの額	一般被保険者	60,350	50,803	9,547
	退職被保険者等	0	0	0

（次頁へ続く）

実績

3　国民健康保険事業費納付金

区分＼年度	令和3年度（千円）	令和2年度（千円）	比較（千円）
医療給付費分	241,523	257,876	△ 16,353
後期高齢者支援金分	86,567	88,093	△ 1,526
介護納付金分	29,547	26,870	2,677

4　保健事業

特定健康診査

区分＼年度	令和3年度			令和2年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
特定健康診査	2,603人	1,327人	51.0%	2,602人	1,275人	49.0%

※受診者は、情報提供事業（120人）を含む。

特定保健指導

年度	区分	対象者（人）A	参加者（人）B	参加率（%）B／A	終了者（人）
令和3年度	動機付け支援	151	47	31.1	43
	積極的支援	47	20	42.6	14
令和2年度	動機付け支援	166	19	11.4	18
	積極的支援	52	3	5.8	3

5　データヘルス計画に基づく保健事業

事業名	事業内容	評価
特定健診・特定保健指導受診率向上事業	① 未受診者対策 ② 医療機関からの情報提供事業 ③ 特定健診・特定保健指導に関する啓発 ④ 特定健診早期介入保健指導事業	特定健診受診率　51.0% 情報提供数　120件 受診勧奨の実施：100% 特定保健指導実施率　33.8%
糖尿病重症化予防事業	① 啓発普及事業 ② 地区組織活動育成・支援事業 ③ 保健指導判定該当者に対する保健指導 ④ 要医療判定で未受診者に対する受診勧奨 ⑤ 糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健診受診者のHbA1ｃの保健指導判定以上の割合：80.6% 糖尿病性腎症重症化予防事業 申込者数：3人 新規人工透析導入者数：1人
生活習慣病予防事業	① 生活習慣病予防をテーマとした健康教育・健康相談の実施 ② 地域における運動普及の推進 ③ 地区組織やボランティア等の活用による啓発普及 ④ 健康ポイント事業の実施	肥満者の割合 男性：33.5%　女性：29.5% メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合：36.6% 運動習慣のある人の割合 男性：41.2%　女性：31.3% 生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合：31.6%
健診異常値放置者受診勧奨事業	① 血圧異常値放置者への受診勧奨 ② 健診結果から至急受診連絡者への受診勧奨 ③ e-GFR異常値放置者への受診勧奨 ④ 健診後行動に関する普及啓発	受診行動につながった人の割合 67.0%
医療費適正化指導事業	① 重複・頻回受診者への普及啓発 ② ジェネリック医薬品差額通知事業 ③ 医療費通知事業 ④ 普及啓発事業	重複・頻回受診 調査対象者　84人 訪問指導対象者　なし

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

実績

6　国民健康保険税課税状況

区分 ＼ 年度		令和3年度（円）	令和2年度（円）	比較（円）
現年度課税分調定済額	医療給付費分	143,116,500	157,529,700	△ 14,413,200
	後期支援金分	52,037,800	57,129,400	△ 5,091,600
	介護納付費分	17,220,300	19,835,100	△ 2,614,800
	計	212,374,600	234,494,200	△ 22,119,600
現年度課税分収入済額	医療給付費分	140,027,433	152,609,320	△ 12,581,887
	後期支援金分	50,911,635	55,341,706	△ 4,430,071
	介護納付費分	16,441,345	18,652,037	△ 2,210,692
	計	207,380,413	226,603,063	△ 19,222,650

区分 ＼ 年度		令和3年度（%）	令和2年度（%）	比較（%）
収納率	医療給付費分	97.84	96.88	0.96
	後期支援金分	97.84	96.87	0.97
	介護納付費分	95.48	94.04	1.44
	計	97.65	96.63	1.02

7　国民健康保険税軽減状況

	令和3年度		令和2年度	
	（世帯数） 平等割軽減額（円）	（被保険者数） 均等割軽減額（円）	（世帯数） 平等割軽減額（円）	（被保険者数） 均等割軽減額（円）
7割軽減	604	787	579	741
	9,396,193	16,561,215	10,337,583	17,959,970
5割軽減	336	559	351	590
	3,574,328	8,557,498	4,342,616	10,148,705
2割軽減	251	461	268	481
	1,069,171	2,707,998	1,308,607	3,259,882
計	1,191	1,807	1,198	1,812
	14,039,692	27,826,711	15,988,806	31,368,557

8　国民健康保険税減免状況

減免事由	令和3年度		令和2年度	
	世帯数	金額（円）	世帯数	金額（円）
旧被扶養者減免 （社会保険加入者が、後期高齢者医療制度に移行することにより、その被扶養者であった者が国民健康保険に加入することによる減免）	15	232,000	17	346,200
新型コロナウイルス感染症の影響による収入が減少した被保険者に対する減免	56	9,013,500	96	20,710,300
収監減免	1	11,800	0	0
貧困により生活のため公私の扶助を受ける者に対する減免	1	34,200	0	0
事業の廃止、失業、又は死亡、疾病及び負傷その他の事由により生活維持が困難な者に対する減免	1	33,200	0	0
子どもの均等割額全額減免	111	2,752,500		
原子力災害対策特別措置法による避難世帯に対する減免	0	0	1	8,600
令和元年台風第19号被災による減免			38	697,200
計	185	12,077,200	152	21,762,300

課題方向性

国民健康保険の被保険者については、少子高齢化に伴う高齢化比率の上昇により、1人当たりの医療費が増加傾向にある。令和3年度の保険給付の傾向として、新型コロナウイルスの影響による受診控えの反動が数値にも表れている。今後においても、国保財政の長期安定的な運営のため、医療の適正化を図りながら、若い世代からの健康意識の向上と生活習慣病等の重症化予防事業を継続して行っていく。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

一　款	一　項	一　目	後期高齢者医療特別会計
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	207,911	203,935				201,403	2,532

目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を遂行する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
【後期高齢】一般管理費	B	-	3.7	後期高齢者医療に係る各種申請の受付、説明、勧奨等を行い、75歳以上の高齢期における被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。
【後期高齢】徴収費	B	-	3.7	後期高齢者医療保険料の納付及び還付事務を適切に行い、納付勧奨により未納の解消や還付の早期振込を実施することができた。
【後期高齢】納付奨励費	B	-	3.7	後期高齢者医療保険料の納期内納付を行った納税貯蓄組合に対し事務費補助金を交付し、未納防止と納期内納付が確保できた。
【後期高齢】後期高齢者医療広域連合納付金	B	-	3.7	後期高齢者医療広域連合に保険料及び保険基盤安定負担金を納付し、75歳以上の高齢期における被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。

実績

1　被保険者数　2,848人　（令和4年3月末日現在）

2-1　申請書受付状況

（令和4年3月末日現在）

	申請・届書名	受付件数（件）
1	葬祭費支給申請書	183
2	受領申出・送付先届出書	183
3	高額療養費支給申請書	368
4	基準収入額適用申請書	17
5	限度額適用・標準負担額認定申請書	112
6	特定疾病認定申請書	7
7	療養費支給申請書	42
8	被保険者証等再交付申請書	80
9	資格取得喪失届出書	19
10	送付先変更申請書	17
11	高額介護合算療養費等支給申請書	204
12	負担区分等証明書	5
	計	1,237

2-2　申請書受付状況［新型コロナウイルス感染症関連］

（令和4年3月末日現在）

	申請・届書名	受付件数（件）
1	保険料減免申請書	20
	計	20

3　保険料納付方法状況　（賦課期日現在）

（単位：人）

特別徴収	2,528
普通徴収	510
計	3,038

※うち併徴　226人

（再掲）普通徴収内訳（単位：人）

口座振替	189
納税組合	21
納付書	300

（次頁へ続く）

一　款	一　項	一　目

実績

4　保険料収納状況

現年分　（単位：円）

徴収方法	調定額	収入済額※	不納欠損額	収入未済額	徴収率
特別徴収	116,122,600	116,124,600	0	0	100.00%
普通徴収	41,831,500	40,886,900	0	942,600	97.74%
計	157,954,100	157,011,500	0	942,600	99.40%

※収入済額には過誤納金還付未済額5,100円（相続放棄等）を含む

滞納繰越分　（単位：円）

調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率
809,460	248,800	156,200	404,460	30.74%

5　保険料納付方法変更申請状況　（令和4年3月末日現在）

・62人　（特別徴収から普通徴収（口座振替）へ）

課題方向性

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を継続して行う。

介護保険特別会計

介護保険特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	介護保険特別会計
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,072,544	1,909,827	503,880	289,521		789,075	327,351

目的

介護保険事業の運営を健全、かつ、円滑に行うために、公正な要介護認定、住民の相談体制の充実を図り、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施する。

また、日常生活が自立している高齢者を対象に、生活機能の維持又は向上に向けた取り組みを行い、虚弱な状態にある高齢者については、生活機能低下の早期発見・早期対応を行うことにより、要介護状態若しくは要支援状態となることを予防する。

さらに、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活をできる限り継続することができるよう、介護予防や生活支援、サービス提供が一体的に提供される地域包括ケアシステムの取組を強化する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
一般管理経費（含職員人件費）	B	－	4.0	令和3年度においては第8期介護保険事業計画の初年度であったため、ガイドブックを全戸配布し、介護保険制度や保険料改定について周知を行った。また家族や本人からの相談対応や介護保険制度の適切な運営を図った。
介護認定審査会負担金	B	－	4.3	新規・区分変更は例年並みの件数だったが、更新申請件数は前年度より増加したため、全体の申請件数は増加した。申請から認定までの平均日数は二市三町で最も短いが、コロナ禍において意見書遅延や訪問調査が先延ばしされるなど前年度より数日遅く判定されている。
介護保険給付費	B	－	4.0	グループホームの定員増や有料老人ホームの新設により、町内におけるサービス事業所が増えているが、適正な給付を実施することができた。また、一部償還払いのデータ伝送化を開始し、事務作業の効率化を図った。
介護予防・日常生活支援サービス事業	B	－	4.0	総合事業の訪問型サービス及び通所型サービスを実施することで、事業対象者及び要支援認定者の心身の機能の維持・改善に努め、介護予防の支援を図った。
介護予防ケアマネジメント事業費	B	－	4.0	介護予防・日常生活支援サービス事業を利用する事業対象者及び要支援認定者に対し、ケアマネジメント支援を行うことで心身の機能の維持・改善に努め、介護予防の支援を図った。
介護予防普及啓発事業	A	4.0	4.0	介護予防教室「まつしま元気塾」を松島町社会福祉協議会に委託し、町内の各会場で高齢者が集い、定期的に介護予防活動が継続できるよう支援した。
地域介護予防推進事業	A	3.0	3.0	高齢者の自主グループの活動が継続できるよう、補助金の助成や講師の派遣を行った。また、リハビリテーション専門職を派遣し、介護予防活動の強化を図った。
包括的支援事業	A	4.3	4.0	地域包括支援センターの運営費であり、高齢者の増加により、ニーズも多様化・複雑化しているが、包括支援センター及び関係機関の連携により、適正な対応が図られている。
在宅医療・介護連携推進事業	A	4.7	3.0	塩釜地区二市三町担当者会議を実施し、今後の事業の方向性等について検討した。地域包括支援センターが相談窓口として個別対応し、医療と介護の関係機関の連携推進に努めた。
生活支援体制整備事業	A	4.3	3.0	事業を松島町社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーターが地域のサロンや団体からの相談に対応したり、普及啓発活動を行うことで、介護予防活動を継続し、地域の繋がりが図られるよう支援した。
認知症総合支援事業	A	4.7	3.7	認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員、関係機関と連携し、認知症の本人や家族の支援体制の構築が図られた。また、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の知識の普及啓発を行った。

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
地域ケア会議推進事業	B	－	3.0	ケース検討を行う個別ケア会議を開催し、困難な課題を抱える高齢者等の課題解決や自立支援に取り組むとともに、地域包括支援ネットワークの構築が図られた。関係機関が集う全体会議は、書面による情報提供と研修会を実施した。
家族介護支援事業	B	－	3.3	介護家族同士の交流や情報交換を行い、介護家族の慰労が図られた。
成年後見制度利用支援事業	B	－	4.0	意思決定や契約行為、金銭管理ができない方、身寄りのない困難ケースなどの相談対応にあたり、各種制度を活用し支援しながら、高齢者の権利を守ることができた。

実績

1　第1号被保険者保険料収納状況

(1) 収納方法　（人）

区分	人数
特別徴収	5,091
普通徴収	448
計	5,539

（再掲）普通徴収内訳（人）

口座振替	52
納税組合	3
納付書	393

(2) 現年度分

徴収方法	調定額（円）	収入済額※（円）	収入未済額（円）	徴収率（%）	還付未済（円）
特別徴収	363,147,400	363,240,080	△ 92,680	100.0	92,680
普通徴収	30,245,300	26,942,974	3,302,326	89.1	1,260
計	393,392,700	390,183,054	3,209,646	99.2	93,940

※ 収入済額には過誤納付金還付未済額93,940円を含む。
※ 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方に対する介護保険料減免
（事業収入等の減少が前年比3/10以上）
令和3年度保険料分　免除件数　43件、　減免額　3,032,420円

(3) 滞納繰越分

調定額（円）	収入済額（円）	不納欠損額（円）	未納額（円）	徴収率（%）
5,879,394	1,415,676	1,958,504	2,505,214	24.1

2　要介護認定状況

(1) 申請者数　（単位：人）

令和3年度		令和2年度	
新規申請	216	新規申請	229
更新申請	397	更新申請	233
区分変更	170	区分変更	163
その他申請	11	その他申請	6
計	794	計	631

※ 区分変更申請者数には、要支援者の新規申請を含む。

(2) 要介護等認定者実人数　（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	101	118	249	156	114	149	105	992
65歳以上75歳未満	12	13	20	19	16	7	12	99
75歳以上	89	105	229	137	98	142	93	893
第2号被保険者	3	1	1	5	2	3	0	15
総　数	104	119	250	161	116	152	105	1,007

※「2（2）～5」の数値については、介護保険事業状況報告（令和4年3月分）より抜粋。

3　居宅介護（介護予防）サービス受給者数　（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	47	61	181	102	68	54	34	547
第2号被保険者	2	0	1	3	1	2	1	10
総　数	49	61	182	105	69	56	35	557

（次頁へ続く）

実績

4　地域密着型（介護予防）サービス受給者数　　※1号・2号含む

（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総数	4	2	40	24	28	14	9	121

※地域密着型サービス受給者数：松島町が指定する認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護を利用している人数

5　施設介護サービス受給者数

（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	1	5	18	36	17	77
第1号被保険者	1	5	18	36	17	77
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	15	24	17	39	34	129
第1号被保険者	15	24	16	38	34	127
第2号被保険者	0	0	1	1	0	2
介護医療院	0	1	1	13	17	32
第1号被保険者	0	1	1	13	17	32
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
総　　数	16	30	36	87	67	236

6　介護保険給付費の推移

（単位：千円）

年度 サービス区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
居宅介護サービス	482,998	507,402	503,994	486,571	482,367
地域密着型介護サービス	261,586	280,384	273,169	256,703	223,853
施設介護サービス	816,870	837,290	734,737	680,186	627,547
特定入所介護サービス	62,559	70,914	60,959	53,003	49,154
居宅介護サービス計画給付費	71,017	72,691	70,516	69,973	67,447
高額介護サービス	46,755	48,237	39,819	32,199	26,726
審査支払手数料	1,397	1,482	1,378	1,278	1,173
合計	1,743,182	1,818,400	1,684,572	1,579,913	1,478,267

（単位：円）

		令和3年度	令和2年度
第1号被保険者1人当たりの給付月額	町	28,332	29,095
	県	24,237	23,773
	国	25,340	24,580

※令和3年度は、令和3年3月から12月ｻｰﾋﾞｽ利用分までの給付額から算出。

（単位：円）

	令和3年度		令和2年度	
	在宅	施設	在宅	施設
1人当たりの給付月額	89,854	337,884	99,834	348,272
月平均給付総額	50,048,713	72,982,990	52,312,932	75,226,709

7　要介護度別支給限度額利用状況（月平均）

（単位：%）

	要介護度別対支給限度額比率							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
令和3年度	32.2	25.4	46.6	66.4	60.4	79.1	68.6	54.1
令和2年度	35.4	22.8	52.2	67.6	58.5	72.1	79.2	55.4

（次頁へ続く）

実績

8　第8期介護保険事業計画値との比較（令和3年度）

区分	計画値		実　績		計画値と実績の比較		
	件 数（件）	総 額（千円）	件 数（件）	総 額（千円）	件 数（件）	総 額（千円）	率
居宅介護サービス	11,880	543,160	12,991	482,998	1,111	△ 60,162	88.9%
訪問サービス	3,720	134,979	5,299	143,102	1,579	8,123	106.0%
通所サービス	2,976	245,616	2,793	204,987	△ 183	△ 40,629	83.5%
短期入所サービス	840	66,059	597	45,641	△ 243	△ 20,418	69.1%
福祉用具貸与	3,924	47,660	3,965	45,937	41	△ 1,723	96.4%
福祉用具購入	72	1,382	59	1,446	△ 13	64	104.6%
住宅改修費	60	5,170	38	3,770	△ 22	△ 1,400	72.9%
特定施設入居者生活介護	288	42,294	240	38,115	△ 48	△ 4,179	90.1%
地域密着型介護サービス	1,992	282,107	1,698	261,586	△ 294	△ 20,521	92.7%
施設介護サービス	3,228	884,261	2,956	816,870	△ 272	△ 67,391	92.4%
介護老人福祉施設	1,008	241,234	933	237,841	△ 75	△ 3,393	98.6%
介護老人保健施設	1,764	478,081	1,605	433,844	△ 159	△ 44,237	90.7%
介護医療院	456	164,946	418	145,185	△ 38	△ 19,761	88.0%
特定入所介護サービス	－	66,923	3,900	62,559	－	△ 4,364	93.5%
居宅介護サービス計画給付費	6,348	78,687	5,842	71,017	△ 506	△ 7,670	90.3%
高額介護サービス	－	47,879	3,568	46,755	－	△ 1,124	97.7%
審査支払手数料	21,535	1,292	23,285	1,397	1,750	105	108.1%
合計	44,983	1,904,309	54,240	1,743,182	9,257	△ 161,127	91.5%

（対象期間：令和3年4月審査から令和4年3月審査まで）

9　介護予防・日常生活支援サービス事業
介護予防ケアマネジメント事業費

	件数（件）	費用総額（円）
訪問型・通所型サービス費	1,365	23,253,137
介護予防ケアマネジメント	664	3,085,030
高額介護予防サービス相当事業	50	127,670
審査支払手数料	2,029	121,740
合　　計	4,108	26,587,577

※利用件数：訪問型・通所型サービス　113件、介護予防ケアマネジメント　57件
審査支払手数料　170件（令和4年3月審査分）

10　一般介護予防事業
①　介護予防普及啓発事業　　事業費　5,325,257 円
ア　介護予防教室「まつしま元気塾」
事業を松島町社会福祉協議会へ委託し、概ね65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に町内9カ所（12教室）において、高齢者の「閉じこもり防止」「介護予防」の観点から、脳トレ・体操・趣味活動・各種講話等を実施した。

地区	松島	高城		磯崎		品井沼	本郷	初原	全地区	計
会場	ほほえみの家	ふれあいの家	高城避難所	白萩避難所	華園集会所	農村環境改善センター	ふれあいセンター	コミュニティセンター	どんぐり	
開催頻度	週3日	週4日	週1日	週2日	週1日	週2日	週1日	週1日	週1日	―
開催回数（回）	136	181	42	87	45	90	46	45	42	714
実人数	8	17	14	9	9	16	7	14	5	99
延参加者数	645	668	465	598	279	682	257	518	142	4,254

※実人数に3人重複あり（品井沼）

イ　地域包括支援センター機関紙「スマイル」の発行

発行回数	配布状況	内　　容
年4回	全戸配布並びに役場、保健福祉センターに配置	介護保険、保健福祉に関するお知らせ、各種行事案内、介護予防や健康増進に関すること、権利擁護に関する啓発、認知症に関する情報、災害時の備えに関すること等

（次頁へ続く）

実績

② 地域介護予防活動支援事業　事業費　7,213,119 円

・地域サロン活動状況

時期	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末
活動団体数	34団体	37団体	37団体

・講師派遣事業利用状況

利用団体数	利用回数	
5団体	5回	介護予防活動全般（運動器機能低下防止）、グループの自主活動に関する指導員を派遣

・高齢者ふれあい地域サロン補助金活用団体

地域支え合い活動の進展、定着を目的に、月2回以上サロン活動を実施する希望団体に対し、運営費補助として補助金を交付した。

申請団体数　3団体　交付団体数　3団体　交付金額　114,000 円

③ 地域リハビリテーション活動支援事業　事業費　235,000 円

地域における介護予防の取組を機能強化するため、専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)を派遣し、介護予防を目的とした通いの場や事業所に、講話や体操指導を実施した。

派遣回数　18 回

11　包括的支援事業　事業費　28,253,940 円

① 総合相談支援業務

高齢者の生活全般に係る相談に対応し、不安の軽減や必要な社会資源の活用につながった。

相談件数　938件　うち勤務時間外対応　6件

相談方法内訳

相談方法	件数（件）
来所	224
訪問	324
電話	409
その他	16

※その他：医療機関、介護施設等

相談者内訳

相談者内訳	件数（件）
本人	268
家族・親戚	382
ケアマネジャー	198
介護サービス事業所	57
医療機関	67
行政各係	19
その他	50

※その他：民生委員、地域住民、警察署等

相談内容内訳

相談内容	件数（件）
介護相談	55
健康疾病	38
認知症・精神	196
医療・入退院	97
介護保険関係	211
介護保険サービス	113
保険外サービス	11
虐待関係	39
財産管理・成年後見	29
独居等把握	7
施設入所	50
高齢福祉	61
経済困窮	23
生活全般	110
予防支援	207
その他	82

他機関への連絡　168件

連絡先内訳

連絡先	件数（件）
ケアマネジャー	69
介護サービス事業所	27
医療機関	34
行政各係	23
県・保健所	6
家族・親戚	13
民生委員	4
地域住民	3
その他	18

（次頁へ続く）

実績

② 権利擁護業務
・権利擁護、財産管理に関する相談
高齢者本人の権利を擁護するため、成年後見制度、財産管理に関する手続き、入所措置事業などについて説明や対応を行った。また、関係機関と連携し支援を行った。
相談実人数　3件
（内訳）申立てに関する被後見人の支援　0件、財産管理に関する相談　3件
・虐待相談
虐待の疑いのあるケースについて、訪問等により状況確認を行い、その後、関係者による地域ケア会議の実施、ケアプランの見直しを行い、重症化を防ぐため迅速に対応した。また、各種福祉関係の諸制度の説明や紹介、利用手続き等の支援を行った。
相談実人数　9件（うち、県外の方についての相談件数1件）

③ 在宅医療・介護連携推進事業　事業費　84,359 円
・二市三町担当者会議　1回、情報共有部会（三町担当者会議）　1回
・塩釜地区医療・介護連携シート（H31.4月から運用）　活用状況等アンケート実施
・塩釜地区の医療機関・介護事業所の周知（塩釜医師会「医療と介護のホームページ」更新）
・地域包括支援センターが相談窓口となり、医療・介護連携の相談対応を行っている。

④ 生活支援体制整備事業　事業費　4,359,242 円
多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、事業を社会福祉協議会に委託し、関係機関と連携しながら、支援体制の充実・強化を図った。
・生活支援・介護サービス基盤整備事業
広報誌「つながるまつしま」の発行
・サロン活動団体への支援
相談・打合せ件数　延べ13件
訪問件数　延べ37件
活動状況確認件数　延べ140件
※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの実施を見合わせた。

⑤ 認知症総合支援事業　事業費　3,418,280 円
・認知症初期集中支援チーム
認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の早期診断や早期対応に向けた支援を行った。

対象者数　8件
チーム員会議

回数(回)	検討件数(件)	場所	参集者
2	新規5、継続2、終了4	文化観光交流館	チーム員（認知症サポート医、健康長寿課保健師・社会福祉士、認知症相談員）

・認知症への理解を深めるための普及・啓発
認知症の早期発見・早期対応及び認知症について正しい知識を持つことを目的とし、認知症サポーター養成講座、認知症ケアパスの全戸配布を実施した。

認知症サポーター養成講座

	日程	対象	対象者数	啓発内容
1	R3.10月	町民	11人	・認知症の理解 ・認知症の人との接し方 ・認知症サポーターにできること
2	R4.1月	松島第一小学校6年生	49人	・高齢化に関する町の現状 ・認知症の症状 ・認知症の人とのかかわり方　等
3	R3.7月	松島第二小学校6年生	28人	
4	R4.2月	松島第五小学校5年生	14人	

・認知症地域支援推進員　委嘱･･･2名（R4.3月末時点）
情報交換会を開催し、認知症の人や家族を支援するための体制構築に向けて検討した。

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

・認知症カフェの開催と運営補助金交付
　認知症の本人や家族、地域の人が情報交換し、認知症の知識を深めたり、本人や介護者の不安や負担の軽減を図ることを目的とし、町内3ヶ所で開設しているが、令和3年度は全てのカフェが感染症の影響で開催見合わせとなった。

名称	運営団体
SaKuRaカフェ	グループホーム桜の家
秋桜カフェ	グループホームコスモス松島
わいわいカフェ「かこまち」	ひまわり会（松島医療生協）

松島町認知症カフェ運営補助金交付団体　0団体（開催見合わせのため）
※カフェ開設1回8,000円に開催回数（月2回を限度）を乗じた額を上限として交付

・松島町はいかい高齢者SOSネットワーク事業

登録者数	20人　うち令和3年度新規登録5人　（令和4年3月末時点）
稼働実績	町内1件　※未登録者⇒町内で町職員が発見
協力団体	35団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）

⑥　地域ケア会議　　事業費　83,441 円
・個別会議
　本人、家族、介護サービス事業者、行政各担当、担当ケアマネジャー、医療機関、地域包括支援センター職員等の関係者で協議、検討した。

回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容
4	34	保健福祉センター、医療機関 等	介護サービス等の利用に向けた支援、支援の方向性について情報共有、自立支援に向けた支援方法の検討等

・全体会議

実施日	対象事業所数	主な事業所	内容
R3.4月	25事業所	居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等	書面による情報提供 ・介護保険担当からの事務連絡 ・地域包括支援センターからの事務連絡 ・高齢福祉担当からの事務連絡

・研修会

実施日	参加者数	主な参加者	内容
R3.12月	会場33名 オンライン12名	居宅介護支援事業所、介護サービス事業所、介護保険施設、医療機関、薬局、町民、行政	研修会テーマ 講話「若年性認知症の理解を深める」 講師：宮城県若年性認知症コーディネーター

12　任意事業　　事業費　41,622 円
①　家族介護支援事業
　介護者交流会

実施回数(回)	実人数(人)	延人数(人)	内容
5	10	29	情報交換、介護保険情報の提供を行い、体操や作業活動により気分転換を図った。

※新型コロナウイルス感染症の影響のため1回中止となった。

②　成年後見制度利用支援事業　　事業費　432,000 円
・首長申立て被後見人の支援　　0件（親族申立て被後見人の支援　0件）
・報酬助成　　2件

課題方向性	

　高齢化の進展及び核家族化や支え手の減少により、要介護認定者は年々増加している。高齢者の生活を支えるため、介護サービスは重要な資源となっており、今後も増加する見込みである。高齢者の生活を支える資源への需要に対応するため、相談体制の充実、制度の周知、医療・介護事業者との連携を図り、地域包括ケアシステムの充実を図る。
　一方でコロナ禍において、高齢者が生きがいを持って自分らしく生活できるよう、感染症予防対策をとりながら介護予防への取組や住民主体の通いの場への支援、健康づくり班と連携して生活機能の低下を予防し健康寿命の延伸を目指す。

介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計

1　款	1　項	1　目	介護サービス事業特別会計 居宅介護支援事業費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,478	8,089				8,089	

目的

要支援認定者及び総合事業対象者に対し、心身の状況等に応じ、適切なサービスが提供されるよう介護予防サービス計画もしくは介護予防ケアマネジメントを作成する。

また、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要支援状態の軽減、悪化の防止を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
居宅介護支援事業費	B	－	3.7	介護予防サービス計画や介護予防ケアマネジメントの作成を居宅介護支援事業所に委託し、要支援状態の軽減や悪化防止を図ることができた。

実績

【居宅介護支援事業】

・利用実人数　208人
・作成人数　延べ　1,850人
・事業費　8,088,490円

1　要支援認定者及び総合事業対象者サービス利用状況

（単位：人）

	要支援認定者		総合事業事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数
	支援1	支援2			介護予防サービス計画	介護予防ケアマネジメント		
令和3年度	104	119	19	242	100	58	158	84
令和2年度	109	123	15	247	93	48	141	106

※人数及び利用状況については3月末時点集計

2　介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント委託状況

（単位：件）

事業所名		介護予防サービス計画	介護予防ケアマネジメント	計
1	介護相談センター	417	218	635
2	松島病院訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	296	149	445
3	松島町社協指定居宅介護支援事業所	191	72	263
4	桜の家居宅介護支援事業所	101	77	178
5	松島長松園居宅介護支援事業所	43	93	136
6	ケアプランセンタービッグハート	59	3	62
7	その他の事業所	63	68	131
令和3年度合計		1,170	680	1,850
令和2年度合計		1,047	611	1,658

※介護予防サービス計画：要支援認定者が介護予防給付のみ又は介護予防給付と総合事業のサービスを利用する場合の計画作成
※介護予防ケアマネジメント：要支援認定者又は総合事業対象者が総合事業のサービスのみを利用する場合の計画作成

課題方向性

要支援者や総合事業事業対象者のうち、状態を維持している方がいる一方、要介護状態に移行する方もいる。状態の悪化を防止するため、委託している各居宅介護支援事業所やサービス事業所と連携を図り、個々の評価を行いながら事業を進めていく。

観 瀾 亭 等 特 別 会 計

観瀾亭等特別会計

1　款	1　項	1　目	（観瀾亭等特別会計） 観瀾亭費：管理費
担当部署名	産業観光課観光班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,921	25,496				53	25,443

目的	松島の重要な観光財産である観瀾亭・松島博物館の維持管理等を行い、誘客に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
観瀾亭博物館管理運営経費	A	3.3	3.0	運営については、依然として新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けてはいるが、観覧料、売上収入ともに前年度を上回る収益となった。旅行形態の変化により団体利用が減少し、個人利用の割合が増加した。飲食メニューの見直しや、日本遺産をテーマとしたオリジナルグッズの販売、松島博物館の企画展に併せた土産品の販売等を行い、観光スポットとしての魅力を高めるための取り組みを行った。 プロモーション事業については、昨年度に引き続き「月の松島in観瀾亭」を感染症拡大防止対策を講じながら実施し、松島の月景色の魅力発信に努めた。 また、歴史・文化を後世に継承するための環境整備や、良好な施設管理に努めた。

実績

【観瀾亭博物館管理運営経費】

1　観覧者数及び観覧料・売上収入

・観覧者数　（令和3年4月～令和4年3月）　15,810 人（前年度　13,960 人）
・観覧収入　（令和3年4月～令和4年3月）　2,740,050 円（前年度　2,513,000 円）
・売上収入　（令和3年4月～令和4年3月）　5,705,251 円（前年度　4,664,755 円）

2　イベント開催に係る観覧者数及び観覧料・売上収入

・月の松島in観瀾亭
○日　程　令和3年9月21日
○観覧者数　30 人　（前年　21 人）
○売上収入　30,000 円　（前年　21,000 円）

3　観瀾亭・松島博物館及び明月庵の管理業務

・観光施設清掃業務委託　285,600 円
○内容　観光施設床清掃他
・観光施設樹木剪定等業務委託　561,000 円
○内容　樹木剪定工・枯枝撤去工他
・観光施設除草業務委託　393,800 円
○内容　除草・集草・側溝清掃他
・松島町各施設機械警備業務委託　382,800 円

・観瀾亭火災報知器保守点検業務委託　447,700 円

・観瀾亭枯損枝処理業務委託　264,000 円

（次頁へ続く）

1　款	1　項	1　目

実績

4　販売品等仕入

・菓子・抹茶他　1,807,320 円

5　備品購入費

・観瀾亭備品購入　372,460 円
　○内容　業務用冷凍庫　1台
・観瀾亭備品購入　341,000 円
　○内容　展示用パネルボード　5台
・観瀾亭備品購入　49,500 円
　○内容　電子レンジ　1台、電気ポット　2台
・観瀾亭備品購入　40,700 円
　○内容　消火器　5本

課題方向性

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大状況等により、今後も利用者数が増減する懸念があるが、観光客が安心安全な観光を楽しめるよう感染予防対策を講じた運営を継続して実施する。

施設管理について、利用者の安全対策や施設の長寿命化の為、適宜修繕や改修等を行い、適切な維持管理を実施する。

観覧者数を増加させる取り組みについて、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」構成文化財のひとつとして、更なる情報発信を図っていく。また、飲食メニューや取り扱う土産物の見直しなど、観光スポットとしての魅力を高められるよう努めていく。

観瀾亭・松島博物館入込及び売上

観覧料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	618 人	875 人	715 人	1,050 人	1,239 人	1,096 人	2,111 人	4,110 人	1,464 人	930 人	548 人	1,054 人	15,810 人
	115,900 円	160,550 円	129,450 円	198,200 円	224,850 円	205,250 円	376,650 円	717,300 円	232,050 円	136,250 円	101,250 円	142,350 円	2,740,050 円
令和2年度	101 人	106 人	673 人	1,061 人	1,743 人	1,734 人	2,657 人	3,532 人	1,002 人	369 人	393 人	589 人	13,960 人
	18,050 円	18,550 円	125,800 円	173,800 円	297,950 円	321,700 円	484,550 円	656,900 円	173,350 円	65,000 円	71,950 円	105,400 円	2,513,000 円
比較増減	517 人	769 人	42 人	▲ 11 人	▲ 504 人	▲ 638 人	▲ 546 人	578 人	462 人	561 人	155 人	465 人	1,850 人
	97,850 円	142,000 円	3,650 円	24,400 円	▲ 73,100 円	▲ 116,450 円	▲ 107,900 円	60,400 円	58,700 円	71,250 円	29,300 円	36,950 円	227,050 円

令和3年度

個　　人	15,006 人	2,580,950 円
団　　体	804 人	159,100 円
合　　計	15,810 人	2,740,050 円

令和2年度

個　　人	13,082 人	2,340,450 円
団　　体	878 人	172,550 円
合　　計	13,960 人	2,513,000 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	248,300 円	360,300 円	281,650 円	361,500 円	473,632 円	442,608 円	805,616 円	1,240,545 円	553,200 円	317,300 円	249,150 円	371,450 円	5,705,251 円
令和2年度	25,900 円	9,000 円	224,550 円	273,000 円	579,100 円	608,900 円	948,500 円	1,112,750 円	325,750 円	123,955 円	147,300 円	286,050 円	4,664,755 円
比較増減	222,400 円	351,300 円	57,100 円	88,500 円	▲ 105,468 円	▲ 166,292 円	▲ 142,884 円	127,795 円	227,450 円	193,345 円	101,850 円	85,400 円	1,040,496 円

観瀾亭等特別会計

2　款	1　項	1　目	（観瀾亭等特別会計） 福浦橋費：管理費
担当部署名	産業観光課観光班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	33,146	30,887					30,887

目的

松島の重要な観光財産である福浦橋の維持管理等を行い、誘客に努める。
また、カフェ・ベイランドを利用する観光客等へのサービスの向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
福浦橋等管理運営費	A	3.3	3.0	運営については、依然として新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けてはいるが、通行料、売上収入ともに前年度を上回る収益となった。町内の教育旅行宿泊数が増加したことにより、福浦橋の学生の利用についても個人・団体ともに増加傾向にあった。 福浦橋を活用した観光PRについては、「世界で最も美しい湾清掃ツアー」を「アマモ場再生事業」と併せて開催し、SDGs（持続可能な開発目標）に関する本町の取り組みについて、参加者や観光客に広く周知した。 環境整備については、適宜施設の修繕等を実施し、良好な施設維持管理に努めた。

実績

【福浦橋等管理運営費】

1　通行者数及び通行料・売上収入

・通行者数　（令和3年4月～令和4年3月）　191,238 人（前年度　167,860 人）
・通行料収入　（令和3年4月～令和4年3月）　36,568,850 円（前年度　32,451,870 円）
・売上収入　（令和3年4月～令和4年3月）　2,499,394 円（前年度　2,240,076 円）

2　地場産品の提供に係る売上収入

・かき料理売上収入　（令和3年4月～令和4年3月）　92,800 円

3　福浦橋を活用した観光PR

・松島の夜の魅力発信事業
○内容　福浦橋のライトアップを実施。
（満月とその前後を含む3日間を除き夜間点灯※午後10時まで）

・「橋の日」記念イベント
○日程　令和3年8月4日
○内容　松島三橋のPRチラシとノベルティ（先着100名）の配布。

・世界で最も美しい松島湾清掃ツアー
○日程　令和3年11月6日
○場所　福浦島、瑞巌寺　等
○参加者　一般参加者　24人

4　福浦橋・福浦島パンフレット印刷　319,000 円

○部数　100,000部
○内容　漫画家の手代木史織氏（松島町出身）による表紙デザインで作成。

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績

5　福浦橋及びカフェ・ベイランド管理業務等

・観光施設清掃業務委託　120,000 円
　○床清掃他

・松島町各施設機械警備業務委託　72,600 円

・松島町役場他消防設備保守点検業務委託　6,851 円

・福浦橋通行券券売機保守点検業務委託　410,080 円

・カフェ・ベイランド自動扉開閉装置保守点検業務委託　105,600 円

・カフェ・ベイランド厨房機器保守点検業務委託　79,200 円

6　主な使用料及び賃借料

・福浦橋券売機リース(12ヶ月)　818,400 円

・カフェ・ベイランド施設賃貸料（12ヶ月）　686,400 円

7　販売品等仕入

・ソフトクリーム・飲み物等　1,158,127 円

8　備品購入費

・カフェ・ベイランド備品購入　71,500 円
　○内容　卓上型対面冷蔵ショーケース　1台

課題
方向性

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大状況等により、今後も利用者数が増減する懸念があるが、観光客が安心安全な観光を楽しめるよう感染予防対策を講じた運営を継続して実施する。

福浦橋を活用した観光PRに関しては、持続可能な観光地づくりの実現のため、松島湾の環境保全に関する取り組みや、地場産品を活用したテイクアウトメニューの提供など、時代に即した事業を検討していく必要がある。

福浦橋カフェ・ベイランド入込及び売上

通行料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	7,351 人	14,700 人	9,610 人	16,343 人	22,191 人	16,918 人	19,261 人	27,277 人	16,601 人	10,738 人	10,906 人	19,342 人	191,238 人
	1,415,520 円	2,833,260 円	1,863,580 円	3,183,610 円	4,263,930 円	3,312,540 円	3,642,350 円	5,221,590 円	3,238,580 円	2,070,080 円	2,140,500 円	3,383,310 円	36,568,850 円
令和2年度	2,152 人	3,691 人	8,696 人	12,263 人	23,092 人	23,983 人	21,721 人	32,707 人	13,931 人	4,414 人	7,028 人	14,182 人	167,860 人
	400,400 円	684,900 円	1,671,900 円	2,375,800 円	4,427,400 円	4,639,460 円	4,204,730 円	6,355,570 円	2,723,210 円	850,220 円	1,362,460 円	2,755,820 円	32,451,870 円
比較増減	5,199 人	11,009 人	914 人	4,080 人	▲ 901 人	▲ 7,065 人	▲ 2,460 人	▲ 5,430 人	2,670 人	6,324 人	3,878 人	5,160 人	23,378 人
	1,015,120 円	2,148,360 円	191,680 円	807,810 円	▲ 163,470 円	▲ 1,326,920 円	▲ 562,380 円	▲ 1,133,980 円	515,370 円	1,219,860 円	778,040 円	627,490 円	4,116,980 円

令和3年度

個　人	189,897 人	36,371,800 円
団　体	1,341 人	197,050 円
合　計	191,238 人	36,568,850 円

令和2年度

個　人	166,919 人	32,297,700 円
団　体	941 人	154,170 円
合　計	167,860 人	32,451,870 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	94,337 円	182,735 円	166,918 円	337,854 円	427,697 円	252,247 円	209,796 円	272,033 円	163,816 円	116,299 円	102,193 円	173,469 円	2,499,394 円
令和2年度	49,526 円	6,463 円	173,031 円	182,695 円	607,920 円	339,240 円	232,701 円	276,086 円	123,428 円	56,158 円	82,133 円	110,695 円	2,240,076 円
比較増減	44,811 円	176,272 円	▲ 6,113 円	155,159 円	▲ 180,223 円	▲ 86,993 円	▲ 22,905 円	▲ 4,053 円	40,388 円	60,141 円	20,060 円	62,774 円	259,318 円

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計

1　款	1　項	1　目	下水道事業特別会計 一般管理費
担当部署名	水道事業所施設班・経営班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	254,402	240,281			13,500	156,328	70,453

目的

町民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全等を図るため、公共下水道施設の機能を維持保全し、適正な運転管理を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
一般管理事務経費	B	－	3.0	排水設備公認業者及び責任技術者の登録や消費税申告等の一般管理事務を円滑に行うことができた。
汚水維持管理経費	A	3.7	3.7	松島浄化センターをはじめ、関連施設の維持保全と適正な運転管理が図られた。
雨水維持管理経費	A	3.7	3.3	雨水ポンプ場（15箇所）と幹線雨水路の維持保全により、適正な運転管理が図られた。
賦課徴収経費（受益者負担金）	B	－	3.0	下水道事業受益者負担金の賦課及び徴収を行った。
水質試験・調査経費	A	4.7	4.0	定期的な水質検査により放流水の確認を行い、また、河川及び湾内については、水質汚濁防止法に基づく水質の確認を行うことで、下水道法に基づく水質基準を遵守することができた。
下水道促進事業経費	B	－	3.0	水洗便所改造資金融資斡旋及び利子補給を行い、下水道の普及促進が図られた。

実績

1　汚水系委託料　（9件）　102,656,180 円

- 松島浄化センター運転管理業務委託　79,105,000 円
  （松島浄化センターの運転管理）
- 松島浄化センター汚泥脱水ケーキ運搬業務委託　6,898,100 円
  （汚泥脱水ケーキの処理施設への運搬）
- 公共下水道施設(汚水系)電気工作物点検業務委託　562,980 円
  （松島浄化センター等の電気事業法に基づく電気工作物の点検）
- 松島浄化センター他消防設備点検業務委託　244,200 円
  （松島浄化センター等の消防法に基づく防災設備の点検）
- 松島浄化センター他し渣運搬処分業務委託　548,900 円
  （松島浄化センター等より発生するし渣の運搬処分）
- 松島浄化センター機械警備業務委託　462,000 円
  （松島浄化センターの機械警備）
- 松島浄化センター濃縮汚泥引抜ポンプ点検整備業務委託　3,080,000 円
  （松島浄化センターの濃縮汚泥引抜ポンプの点検整備）
- 松島中継ポンプ場運転管理業務委託　10,787,000 円
  （松島中継ポンプ場の運転管理）

（次頁へ続く）

1　款	1　項	1　目

実績	・公共下水道下水道台帳整備業務委託 （工事で整備した管渠の台帳への加筆）	968,000 円
	2　雨水系委託料　（5件）	42,047,456 円
	・新町雨水ポンプ場他運転管理業務委託 （新町他14箇所の雨水ポンプ場の運転管理）	29,392,000 円
	・公共下水道施設（雨水系）電気工作物点検業務委託 （雨水ポンプ場の電気事業法に基づく電気工作物の点検）	2,845,656 円
	・公共下水道雨水路等清掃業務委託 （幹線雨水路の清掃）	6,490,000 円
	・公共下水道雨水路等除草業務委託 （幹線雨水路の除草）	1,889,800 円
	・新町雨水ポンプ場天井クレーン点検整備業務委託 （新町雨水ポンプ場の天井クレーンの法定点検整備）	1,430,000 円
	3　その他委託料　（4件）	21,106,564 円
	・松島浄化センター放流水及び松島湾内水質調査業務委託 （松島浄化センター放流水及び松島湾内の水質調査）	3,190,000 円
	・下水道使用料徴収事務委託 （下水道使用料の徴収事務委託）	4,407,464 円
	・公共下水道事業公営企業会計移行業務委託 （固定資産調査及び評価、移行事務支援）	13,508,000 円
	・破傷風予防接種業務委託 （職員の破傷風予防接種）	1,100 円
	委託料合計　（18件）	165,810,200 円

課題 方向性	（汚水系） 下水道法に基づく放流水質を堅持するため、今後も汚水処理施設の適切な維持管理を行っていく。 （雨水系） 浸水被害を防止し住民の安全安心を確保するため、今後も雨水処理施設の適切な維持管理を行っていく。

業務概況の推移

項目／年度			H29	H30	R1	R2	R3	備考
下水道普及状況	行政区域内人口	（人）	14,366	14,073	13,820	13,594	13,445	A
	市街地人口	（人）	7,259	6,928	6,928	6,928	6,592	
	全体計画人口	（人）	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
	処理区域内人口	（人）	9,811	9,720	9,533	9,616	9,637	B
	処理区域内戸数	（戸）	3,980	3,974	3,970	4,117	4,172	C
	普及率(人口)	（%）	68.3	69.1	69.0	70.7	71.7	B/A
	水洗化人口	（人）	8,950	8,993	8,939	9,182	9,155	D
	水洗化戸数	（戸）	3,580	3,597	3,617	3,924	3,963	E
	水洗化率(人口)	（%）	91.2	92.5	93.8	95.5	95.0	D/B
	水洗化率(戸数)	（%）	89.9	90.5	91.1	95.3	95.0	E/C
汚水処理	日最大処理水量	（㎥）	4,759	4,846	5,375	5,251	5,178	晴天時最大
	日平均処理水量	（㎥）	4,401	4,267	4,571	4,221	3,938	晴天時平均
	年間処理水量	（千㎥）	1,606	1,558	1,673	1,545	1,441	F
	年間有収水量	（千㎥）	1,325	1,289	1,238	1,111	1,115	G
	有収率	（%）	82.5	82.7	74.0	71.9	77.4	G/F

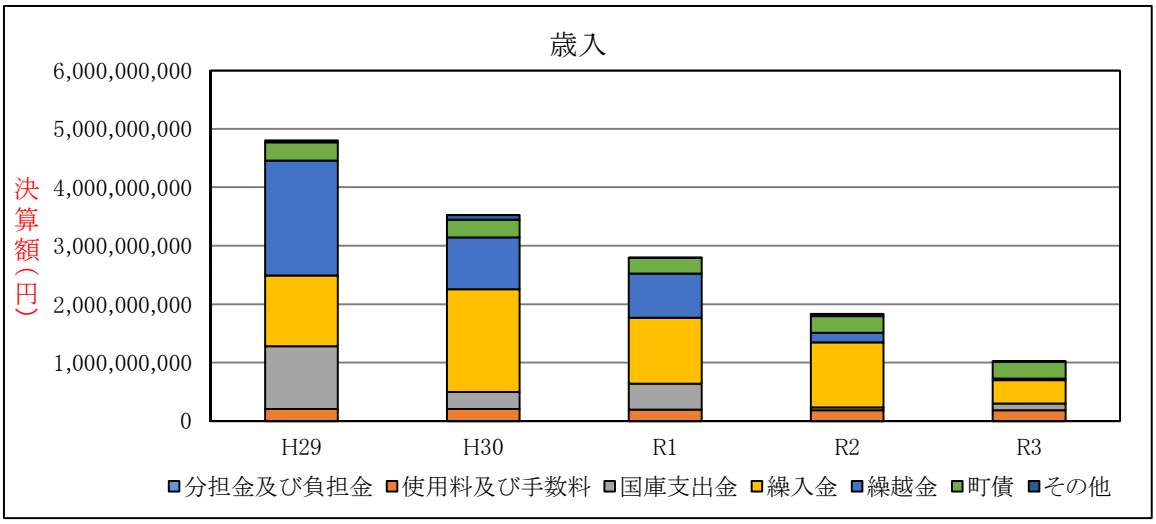
下水道事業特別会計決算の推移

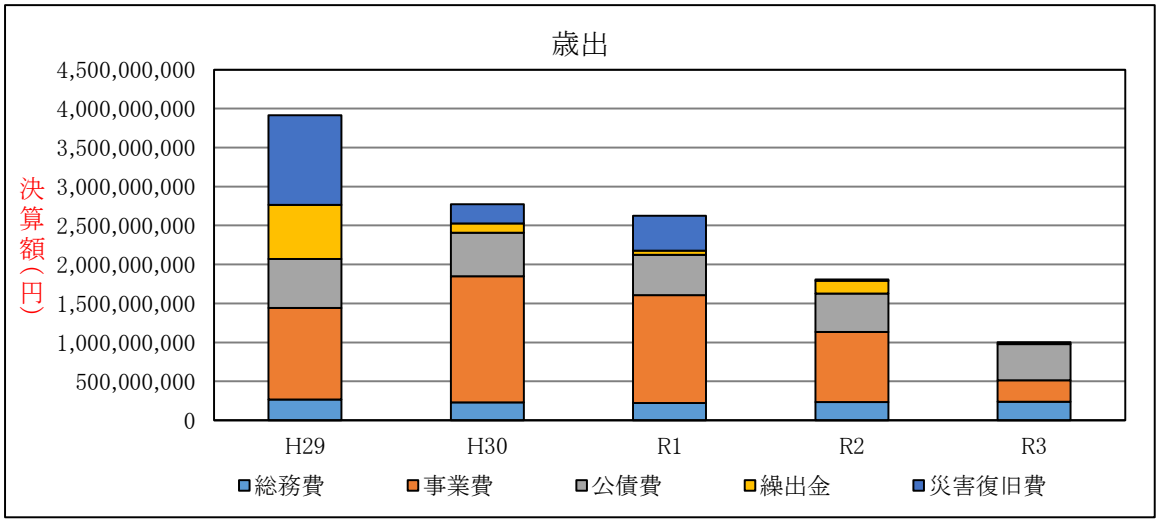
［歳入］ （単位：円）

項目／年度	H29	H30	R1	R2	R3
分担金及び負担金	793,530	872,550	796,140	963,290	1,211,620
使用料及び手数料	208,972,290	205,140,410	198,303,480	183,460,610	182,021,339
国庫支出金	1,069,471,220	289,644,520	440,887,000	50,494,140	118,494,000
繰入金	1,213,751,000	1,759,959,000	1,128,593,000	1,109,451,000	398,732,000
繰越金	1,963,778,645	887,945,926	754,041,100	165,645,037	26,892,637
町債	313,300,000	299,300,000	268,300,000	285,000,000	290,400,000
その他	33,750,343	81,904,289	129,600	37,180,811	34,223
計	4,803,817,028	3,524,766,695	2,791,050,320	1,832,194,888	1,017,785,819

［歳出］

項目／年度	H29	H30	R1	R2	R3
総務費	267,029,637	231,704,103	221,362,048	233,249,904	240,281,430
事業費	1,175,396,163	1,617,999,924	1,385,001,509	899,307,045	274,308,244
公債費	626,531,315	557,975,049	517,509,244	495,021,806	461,487,051
繰出金	693,823,000	117,546,000	54,194,000	164,646,000	25,893,000
災害復旧費	1,153,090,987	245,500,519	447,338,482	13,066,696	0
計	3,915,871,102	2,770,725,595	2,625,405,283	1,805,291,451	1,001,969,725

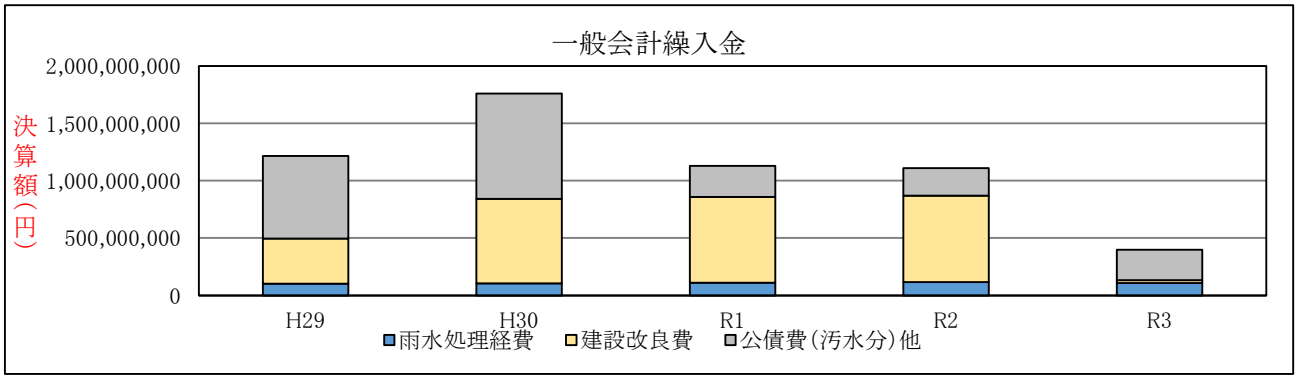




一般会計繰入金の推移

（単位：円）

項目／年度	H29	H30	R1	R2	R3
一般会計繰入金	1,213,751,000	1,759,959,000	1,128,593,000	1,109,451,000	398,732,000
雨水処理経費	103,229,654	103,571,787	109,291,579	117,000,058	107,047,355
建設改良費	391,079,215	736,588,254	749,912,369	750,863,755	24,902,624
公債費（汚水分）他	719,442,131	919,798,959	269,389,052	241,587,187	266,782,021

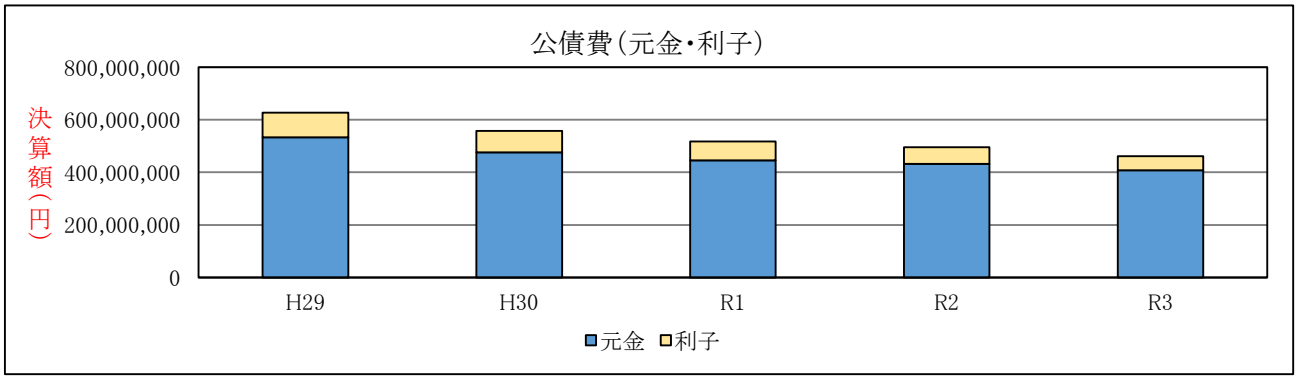


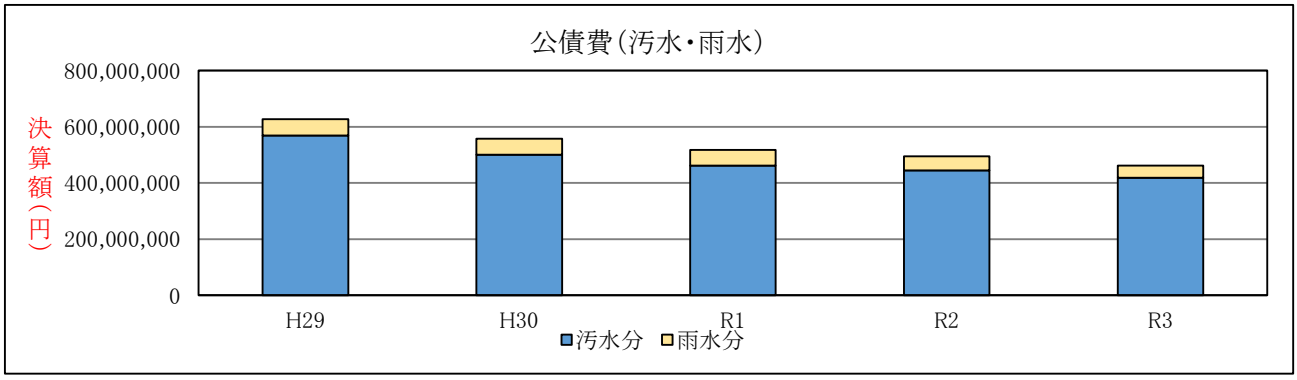
公債費の推移

（単位：円）

項目／年度	H29	H30	R1	R2	R3
公債費	626,531,315	557,975,049	517,509,244	495,021,806	461,487,051
元金	533,239,581	475,795,344	445,838,242	432,736,167	407,623,990
利子	93,291,734	82,179,705	71,671,002	62,285,639	53,863,061

うち	汚水分	569,392,132	500,796,076	461,935,437	444,491,677	418,114,476
	雨水分	57,139,183	57,178,973	55,573,807	50,530,129	43,372,575





下水道等普及状況（令和4年3月31日現在）

［下水道整備状況］　（単位：ha）

行政区域面積 A	全体計画面積 B	整備済面積 C	整備率 C/B
5,356.0	338.0	294.1	87.0%

［汚水処理普及状況］　（単位：人）

項目／年度		H29	H30	R1	R2	R3
行政区域内人口		14,366	14,073	13,820	13,594	13,445
下水道処理区域内人口		9,811	9,720	9,533	9,616	9,637
	下水道水洗化人口	8,950	8,993	8,939	9,182	9,155
	合併処理浄化槽人口	3,116	3,158	3,073	2,626	2,785
汚水処理人口		12,066	12,151	12,012	11,808	11,940

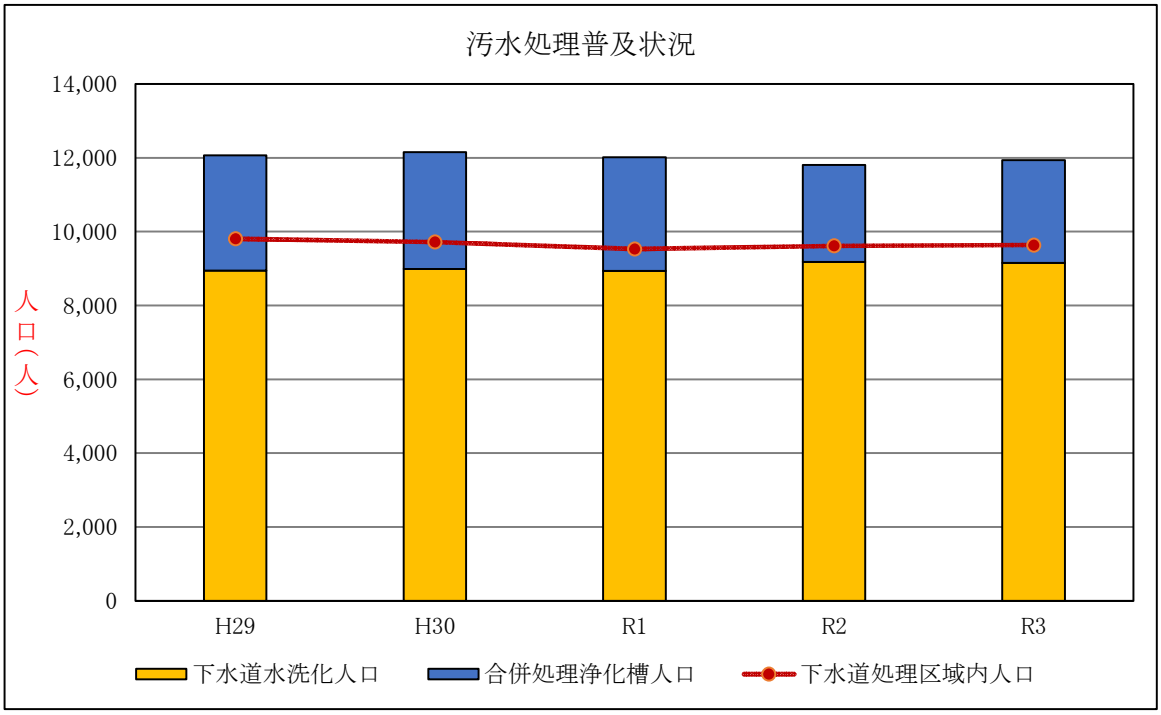
［下水道］

普及率 71.7 % ＝ 処理区域内人口 9,637 人 ÷ 行政区域内人口 13,445 人

水洗化率 95.0 % ＝ 水洗化人口 9,155 人 ÷ 処理区域内人口 9,637 人

［下水道＋合併処理浄化槽］

汚水処理率 88.8 % ＝ 汚水処理人口 11,940 人 ÷ 行政区域内人口 13,445 人



汚水処理費の内訳

［決算状況］

項目／年度		H29	H30	R1	R2	R3	備考
処理区域内人口	（人）	9,811	9,720	9,533	9,616	9,637	A
水洗化人口	（人）	8,950	8,993	8,939	9,182	9,155	B
年間処理水量	（㎥）	1,606,417	1,557,568	1,673,162	1,544,897	1,441,436	C
年間有収水量	（㎥）	1,325,385	1,288,610	1,237,825	1,110,558	1,115,158	D
使用料収入	（千円）	208,771	204,826	198,043	183,285	181,857	E
汚水処理費	（千円）	315,977	333,101	265,895	281,331	287,024	F
維持管理費	（千円）	220,939	185,311	165,992	166,779	176,607	G
資本費	（千円）	95,038	147,790	99,903	114,552	110,417	H

［経営指標］

項目／年度		H29	H30	R1	R2	R3	備考
(1) 施設の効率性							
①水洗化率	（%）	91.2	92.5	93.8	95.5	95.0	B/A
②有収率	（%）	82.5	82.7	74.0	71.9	77.4	D/C
(2) 経営の有効性							
①使用料単価	（円／㎥）	157.5	159.0	160.0	165.0	163.1	I=E/D
②汚水処理原価	（円／㎥）	238.4	258.5	214.8	253.3	257.4	J=F/D
維持管理費	（円／㎥）	166.7	143.8	134.1	150.2	158.4	K=G/D
資本費	（円／㎥）	71.7	114.7	80.7	103.1	99.0	H/D
③経費回収率	（%）	66.1	61.5	74.5	65.1	63.4	I/J
維持管理費	（%）	94.5	110.5	119.3	109.9	103.0	I/K
資本費算入率	（%）	0.0	13.2	32.1	14.4	4.8	

使用料対象経費は汚水維持管理費と汚水資本費の合計で算定される。

令和3年度決算では、汚水維持管理費176,607千円と汚水資本費110,417千円を合わせた287,024千円が使用料対象経費となる。

汚水処理原価は、令和3年度決算で汚水処理に要した経費287,024千円に対し、有収水量が1,115,158㎥であるため、1㎥あたり257円となっている。

使用料収入の181,857千円を有収水量で割り戻すと、1㎥あたり163円の収入となり、その差額分である94円は資本費平準化債と一般会計繰入金で賄われている。

下水道使用料年度別未収額調書

［令和3年度滞納繰越分　収入状況及び不納欠損調べ］

賦課年度	調定額		収入額		不納欠損額		収入未済額	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
平成25年度	1	10,080	0	10,080	0	0	0	0
平成26年度	4	140,250	2	128,350	1	7,480	1	4,420
平成27年度	14	820,430	11	10,280	8	725,690	3	84,460
平成28年度	27	834,680	3	58,930	0	0	24	775,750
平成29年度	16	509,430	1	28,000	0	0	15	481,430
平成30年度	24	273,940	3	15,979	1	3,551	20	254,410
令和元年度	15	324,520	7	152,150	0	0	8	172,370
令和2年度	579	1,176,980	570	1,055,620	0	0	9	121,360
計	680	4,090,310	597	1,459,389	10	736,721	80	1,894,200

水洗便所改造資金融資斡旋状況

年度	確認申請件数(件)	斡旋申請件数(件)	斡旋率	斡旋金額(円)	利子補給金額	
					予算額(円)	決算額(円)
平成2～28年度	3,490	849	24.3%	486,740,000	55,840,000	34,103,340
平成29年度	49	2	4.1%	1,497,000	116,000	8,230
平成30年度	54	2	3.7%	1,600,000	126,000	19,215
令和元年度	53	0	0.0%	0	117,000	19,711
令和2年度	39	1	2.6%	930,000	107,000	17,030
令和3年度	58	0	0.0%	0	108,000	13,024
計	3,743	854	22.8%	490,767,000	56,414,000	34,180,550

下水道事業特別会計

2　款	1　項	1　目	下水道事業特別会計 公共下水道建設費
担当部署名	水道事業所施設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	344,040	274,308	118,494		129,700	1,212	24,902

目的

公共下水道施設の整備を行い、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
汚水施設整備経費（補助対象）	A	4.3	3.7	長寿命化計画に基づき、松島浄化センター水処理関連設備（最終沈殿池汚泥掻寄機等）の長寿命化改築工事を実施し、事業の進捗が図られた。 また、初原地区で未普及対策工事を実施し、下水道の整備推進が図られた。
汚水施設整備経費（単独）	A	4.3	3.7	三居山地区で未普及対策工事を実施し、下水道の整備推進が図られた。 また、磯崎地区で腐食したマンホールの更正を実施し、長寿命化が図られた。
雨水施設整備経費（単独）	A	4.0	3.7	蛇ヶ崎雨水ポンプ場の老朽化した制水扉を更新することで、長寿命化が図られた。 また、間坂地区の雨水対策について検討を行った。

実績

1　汚水系委託料　（2件）	194,000,000 円
・松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定（前払金）	112,000,000 円
（繰越明許費）	
・松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定 （1系最終沈殿池汚泥掻寄機の更新）	82,000,000 円
2　雨水系委託料　（1件）	1,292,500 円
・初原樋田外１地区雨水対策検討業務委託 （松島間坂地区の雨水対策検討）	1,292,500 円
委託料合計　（3件）	195,292,500 円
3　汚水系工事請負費　（4件）	41,819,800 円
・公共下水道初原準幹線築造工事 硬質塩化ビニル管工　L=130m	23,588,400 円
・公共下水道三居山枝線工事 硬質塩化ビニル管工　L= 40m	13,750,000 円
・公共下水道マンホール更正工事 マンホール更正工　N=1基	3,828,000 円

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績	・公共下水道普賢堂地内取付管布設工事　653,400 円 取付管及び公共桝工　N=1箇所 4　雨水系工事請負費　(1件)　13,200,000 円 ・蛇ヶ﨑雨水ポンプ場制水扉扉体更新工事　13,200,000 円 制水扉扉体更新　N=1基 工事請負費合計　(5件)　55,019,800 円
課題 方向性	下水道未普及対策事業について、早期に整備完了することを目標に事業を実施していく。 また、松島浄化センターの長寿命化計画に基づき、計画的に事業を実施していく。 さらに、老朽化している雨水ポンプ場等の設備について、計画的に更新を実施していく。